

年報 34（令和 3 年度版）

千葉県立中央博物館

NATURAL HISTORY MUSEUM AND INSTITUTE, CHIBA

目次

令和3年度1年間のあゆみ	1	3 特別展	63
令和3年度のトピック	2	4 季節展	64
千葉県立中央博物館概要	3	5 生体園トピックス展	66
新型コロナウイルス感染症への対応	5	6 トピックス展	66
		7 ミニトピックス展	67
		8 その他の展示	67
		9 出前展示	67
I 資料収集・整理保存		第2 大利根分館	
第1 本館		1 企画展	69
1 資料の登録	8	2 テーマ展示	69
2 資料の収集	9	3 出前展示	70
3 資料の寄託・仮保管・借用	10	第3 大多喜城分館	
4 資料の利用	14	1 常設展示	70
5 保存環境の整備等	19	2 企画展	71
6 図書の利用	20	3 テーマ展示	72
第2 大利根分館		第4 分館海の博物館	
1 資料の登録	20	1 常設展示	72
2 資料の収集	20	2 マリンサイエンスギャラリー	73
3 資料の寄託・借用	20	3 収蔵資料展	73
4 資料の利用	21		
第3 大多喜城分館		IV 教育普及	
1 資料の登録	22	第1 本館	
2 資料の収集	22	1 展示観覧支援	74
3 資料の寄託・借用	22	2 講座・観察会等の開催	74
4 資料の利用	24	3 アウトリーチ支援	79
第4 分館海の博物館		4 職場体験・インターンシップ・博物館実習・ 教員研修等	81
1 資料の登録	25	5 県民参画	82
2 資料の収集	25	6 外部機関との協定	83
3 資料の借用	25	第2 大利根分館	
4 資料の利用	26	1 展示観覧支援	83
5 保存環境の整備等	27	2 講座・観察会等の開催	83
		3 アウトリーチ支援	83
II 調査研究		第3 大多喜城分館	
第1 本館		1 展示観覧支援	85
1 研究課題	28	2 講座・観察会等の開催	85
2 外部資金等による研究	40	3 アウトリーチ支援	85
3 研究成果の公表・周知	42	4 職場体験・インターンシップ・博物館実習・ 教員研修等	85
4 研究員の執筆・研究発表	43	5 県民参画	86
5 研究交流	52	第4 分館海の博物館	
第2 大利根分館		1 展示観覧支援	86
1 研究課題	56	2 講座・観察会等の開催	86
2 研究員の執筆・研究発表	57	3 アウトリーチ支援	87
3 研究交流	57	4 職場体験・インターンシップ・博物館実習・ 教員研修等	87
第3 大多喜城分館		V 情報発信	
1 研究課題	57	1 出版物・印刷物の発行	88
2 研究員の執筆・研究発表	58	2 インターネットの活用	89
第4 分館海の博物館		3 マスコミ等の活用	91
1 研究課題	58	4 郵メンパー	97
2 外部資金等による研究	59		
3 研究成果の公表・周知	59	VI 施設維持保守	
4 研究員の執筆・研究発表	60	1 施設維持保守工事	98
5 研究交流	61		
III 展示			
第1 本館			
1 常設展示	62		
2 野外展示（生体園）	63		

Ⅶ 千葉県立博物館ネットワーク	
1 千葉県立博物館情報システム -----	99
2 千葉県立博物館文化セミナー「千葉学講座」 -----	99

Ⅷ 入館者状況	
1 月別入館者数 -----	100
2 団体入館状況 -----	102
3 団体の種類・地域内訳 -----	103

Ⅸ 組織・運営	
1 千葉県博物館協議会 -----	108
2 職員 -----	108
3 分掌 -----	109
4 運営推進チーム・委員会 -----	109
5 利用方法 -----	110

令和3年度1年間のあゆみ

(令和2年度から継続)

- 春の展示「九十九里浜の自然誌」(～5月30日)【本館】
収蔵資料展「ノスタルジック・ポストカード」(～5月30日)【本館】
ミニトピックス展「新鉱物『房総石』の発見」(～5月30日)【本館】
ミニトピックス展「研究紹介「国内初記録の外來昆虫オオクロマダラナガカメムシ」」
(～6月27日)【本館】
生態園トピックス展「身近なコケ」(～5月23日)【本館(生態園)】
マリンサイエンスギャラリー「ウミカラ―海の生きものの殻の話―」(～6月27日)【分館海の博物館】

令和3(2021)年

- 4月1日(木) さわやかちば県民プラザ展示「カミツシガメ」(～4月15日)【さわやかちば県民プラザ】
4月1日(木) 出前展示「教えてください朝市のこと」(～5月25日)【本館/会場 かつうら商店街】
4月1日(木) トピックス展「うめ・もも・さくら」(～5月5日)【大利根分館】
4月1日(木) 出張写真展「水郷の原風景 一米づくり・魚とり、そして日々の暮らしー」(～4月20日)
【大利根分館/会場 道の駅・川の駅 水の郷さわら】
5月29日(土) 企画展「ちばらきー千葉県と茨城県の境ー」(～6月27日)【大利根分館】
6月2日(水) 出張写真展「古写真にみる佐原の大祭」(～7月27日、9月14日～10月12日)
【大利根分館/会場 道の駅・川の駅 水の郷さわら】
6月8日(火) ミニトピックス展「千葉県指定文化財「明治二年奥州出征米国船ハーマン号勝浦沖遭難絵巻」
指定記念展」(～9月5日)【本館】
6月8日(火) 生態園トピックス展「生態園の虫たち」(～9月5日)【本館(生態園)】
6月15日(火) 施設無料開放(千葉県民の日)
7月3日(土) 夏の展示「うみ鳥つぷ [umi-Trip] ー海鳥とめぐる島の旅・半島の旅ー」(～9月12日)【本館】
7月8日(木) 出前展示「教えてください勝浦と朝市のこと」(～8月31日)【本館/会場 かつうら商店街】
7月8日(木) 収蔵資料展「古文書にみる近世の大多喜」(～10月17日)【大多喜城分館】
7月17日(土) 夏休み展示「躍進の佐原ー新聞記者の見た戦前の暮らしと世相ー」(～8月31日)【大利根分館】
7月17日(土) 収蔵資料展「イカ展」(～9月5日)【分館海の博物館】
8月26日(木) 第1回千葉県博物館協議会【本館】
9月14日(火) 中央博物館巡回展「九十九里浜の自然誌」(～10月24日)【分館海の博物館】
9月14日(火) 収蔵資料展「古い道具とむかしのくらし」(～3月4日)【大利根分館】
9月27日(月) 中央博物館巡回展「うみ鳥つぷ [umi-Trip] ー海鳥とめぐる島の旅・半島の旅ー」(～12月3日)
【利島村郷土資料館】
10月2日(土) 中央博物館巡回展「九十九里浜の自然誌」(～10月31日)【銚子市地域交流センター】
10月9日(土) 特別展「バラのすべて～All about Roses～」(～11月28日)【本館】
10月20日(水) さわやかちば県民プラザ展示 ちばのお宝発見「チバニアンと千葉の地層」(～10月31日)
【さわやかちば県民プラザ】
10月22日(金) 企画展「兜とカブト」(～12月5日)【大多喜城分館】
11月3日(水・祝) 施設無料開放(文化の日)
11月5日(金) 中央博物館巡回展「九十九里浜の自然誌」(～10月31日)【海の駅九十九里】
11月16日(火) ミニトピックス展「珍しい雄のナナフシモドキ」(～11月28日)【本館】
12月4日(土) 中央博物館巡回展「うみ鳥つぷ [umi-Trip] ー海鳥とめぐる島の旅・半島の旅ー」(～2月27日)
【銚子市地域交流センター】
12月9日(木) 特別公開「赤羽刀」(～2月6日)【大多喜城分館】
12月12日(日) 中央博物館巡回展「九十九里浜の自然誌」(～1月26日)【いいおかユートピアセンター】
12月18日(土) ミニトピックス展「十二支にちなんでー寅年ー」(～1月16日)【本館】
12月23日(木) 第2回千葉県博物館協議会【本館】
12月27日(月) 施設改修のため休館 展示・講座等の中止【大多喜城分館】

令和4(2022)年

- 1月7日(金) 出張写真展「水郷の原風景 一米づくり・魚とり、そして日々の暮らしー」(～2月15日)
【大利根分館/会場 道の駅・川の駅 水の郷さわら】
1月8日(土) 春の展示「苔松苔梅ー春を寿ぐうめのきごけー」(～5月8日)【本館】
1月21日(金) さわやかちば県民プラザ展示「十二支にちなんでー寅年ー」(～2月27日)【さわやかちば県民プラザ】
1月22日(土) ミニトピックス展「市原市 天神台遺跡展～縄文人と海との関わりのはじまり～」(～3月13日)
【本館】
2月4日(木) 青葉の森公園芸術文化ホール出張展示「苔松苔梅」(～2月13日)【青葉の森公園芸術文化ホール】
2月16日(火) さわやかちば県民プラザ展示「苔松苔梅」(～6月30日)【さわやかちば県民プラザ】
2月24日(木) 第3回千葉県博物館協議会【本館】
2月26日(土) マリンサイエンスギャラリー「千葉県エビ・カニ大集合！」(～5月8日)【分館海の博物館】
3月1日(火) 生態園トピックス展「カエル」(～5月15日)【本館(生態園)】
3月14日(月) 研修館での展示開始「大多喜城と城下町」【大多喜城分館】
3月19日(土) 「昭和の名車大集合10」【大利根分館】中止
3月23日(水) 出張写真展「水郷の原風景 一米づくり・魚とり、そして日々の暮らしー」(～3月31日)
【大利根分館/会場 道の駅・川の駅 水の郷さわら】
3月31日(木) 海の生きもの観察ノート16「千葉県勝浦沖キンメ場の魚」発行【分館海の博物館】

令和3年度のトピック

令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を引き続き講じながら、予定していた展覧会を開催することができた。

本館は、特別展「バラのすべて～All about Roses～」(10月9日～11月28日)を開催した。かつてない規模で、花の女王であるバラの資料を中央博物館に集め、その魅力を紹介した。また、県内にあるバラ園10園と連携して、「千葉県のバラ園スタンプラリー」(5月1日～11月28日)を開催した。

季節展では、収蔵資料展として「ノスタルジック・ポストカード」(3月23日～5月30日)を開催し当館所蔵の故菱田忠義氏コレクションの絵はがきを中心に展示し、絵はがきの歴史やその役割の移り変わりについて紹介した。また、春の展示「九十九里浜の自然誌」(3月23日～5月30日)では、砂浜の動植物や浜の人とのかかわり、現在の九十九里浜に迫っている危機的な状況について、標本や写真を用いて紹介した。さらに、夏の展示「うみ鳥つぶ[umi-Trip]ー海鳥とめぐる島の旅・半島の旅ー」(7月3日～9月12日)では、様々な海の環境をうまく利用して暮らす海鳥の目線で、島や半島の魅力を探っていった。令和4年1月8日から開催した春の展示「苔梅苔松ー春を寿ぐうめのきごけー」では、日本画や能舞台などに描かれている日本文化にみられる苔(ここでは地衣類)と、地衣類の不思議な世界について紹介した。

生態園は生態園トピックス展「身近なコケ」(3月23日～5月23日)、「生態園の虫たち」(6月8日～9月5日)、「カエル」(令和4年3月1日～5月15日)を開催した。また、11月3日に体験イベント「生態園でツリーラリー」を開催した。房総の山のフィールド・ミュージアムでは、旧君津市立三島小学校で「三島小教室博物館」を延べ23日間開館したほか、11月13日～14日には第49回清和地区文化祭で出張展示を開催した。また、11月21日に観察会「小糸川流域の地形を訪ねる2」を開催した。

大利根分館は、年度当初からトピックス展「うめ・もも・さくら」(4月1日～5月5日)を開催し、併せて企画展「ちばらきー千葉県と茨城県の境ー」(5月29日～6月27日)、夏休み展示「躍進の佐原ー新聞記者の見た戦前の暮らしと世相ー」(7月17日～8月31日)などを館内で開催するとともに、道の駅・川の駅水の郷さわらでの出張展示として、「古写真にみる佐原の大祭」(6月2日～7月27日、9月14日～10月12日)、「水郷の原風景ー米づくり・魚とり、そして日々の暮らしー」(4月1日～4月20日、1月7日～2月15日)を行った。また、小学3年社会科の授業「道具とくらしのうつりかわり」にあわせた、館蔵資料による展示を館内及び県内の小学校で実施した。例年好評を博している「昭和の名車大集合」は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止となった。なお大利根分館は、10月～3月は事前予約のみの見学となった。

大多喜城分館は、収蔵資料展「古文書にみる近世の大多喜」(7月8日～10月17日)、企画展「兜とカブト」(10月22日～12月5日)、併せて講演会「戦国時代の東上総ー上総武田氏から正木氏へー」(11月6日)を開催した。特別公開「赤羽刀」(12月9日～2月6日)は、施設改修のため16日間開催した。休館時の見学者への配慮と地域の観光拠点の振興のため、研修館を活用しパネル展「大多喜城と城下町」(3月14日～)を臨時に開催した。

分館海の博物館は、7月17日～9月5日に収蔵資料展「イカ展」を開催し、海の博物館に収蔵されているイカやタコの標本類を展示した。世界最小のイカであるヒメイカは、水槽で生きたまま展示した。年度末の2月26日からはマリンサイエンスギャラリー「千葉県エビ・カニ大集合！」を開催し、房総半島の丘陵地帯から深海まで様々な環境にすむたくさんさんのエビやカニの仲間の標本や生体を展示し、千葉県の自然の豊かさを、そこで見られるエビやカニの多様性を通して紹介した。また、シリーズで発行している「海の生きもの観察ノート」の第16号として、勝浦沖で行われているキンメダイ漁で獲れ、資料として海の博物館に収蔵された魚を紹介した「千葉県勝浦沖キンメ場の魚」を刊行した。

千葉県立中央博物館概要

1 使命

千葉県立中央博物館は、地域の方々と共に、自然と歴史に関わる資料・情報を収集・蓄積するとともに、基礎的・国際的視野に立つ科学研究により、その新たな価値を発見し、教育、展示、その他全ての博物館活動を通して県民へ発信し、県民共有の知的資産として未来へ伝える。

また、千葉県の中核的综合博物館として、さまざまな県民の幅広い知的ニーズに応えつつ、双方向の交流を通して、その生涯学習拠点となる。

2 場所

本館	千葉市中央区青葉町 955-2 (県立青葉の森公園内)
大利根分館	香取市佐原ハ 4500
大多喜城分館	夷隅郡大多喜町大多喜 481
分館海の博物館	勝浦市吉尾 123

3 機関設置

本館	平成 元年 1 月 11 日 (同年 2 月 7 日 一般公開)
大利根分館	平成 18 年 4 月 1 日分館化 (大利根博物館 昭和 54 年 4 月 1 日機関設置 同年 11 月 21 日一般公開)
大多喜城分館	平成 18 年 4 月 1 日分館化 (総南博物館 昭和 50 年 4 月 1 日機関設置 同年 9 月 10 日一般公開)
分館海の博物館	平成 11 年 3 月 12 日 (同日 一般公開)

4 施設

区分	敷地面積	建物延床面積
本館 生態園	13,178 m ² 66,000 m ²	15,254 m ² (展示室面積 4,291 m ² /収蔵庫面積 3,591 m ² /研究・管理部門 6,812 m ²) 758 m ²
大利根分館	13,195 m ²	1,751 m ² (展示室 535.66 m ² /収蔵庫 253.83 m ²)
大多喜城分館	5,673 m ²	1,952.93 m ² (展示室 656.60 m ² /収蔵庫 310.93 m ² /研修室 246.75 m ² 等)
分館海の博物館	7,161.01 m ²	7,696.13 m ² (本館棟 3,919 m ² /駐車場 3,694 m ² 等)

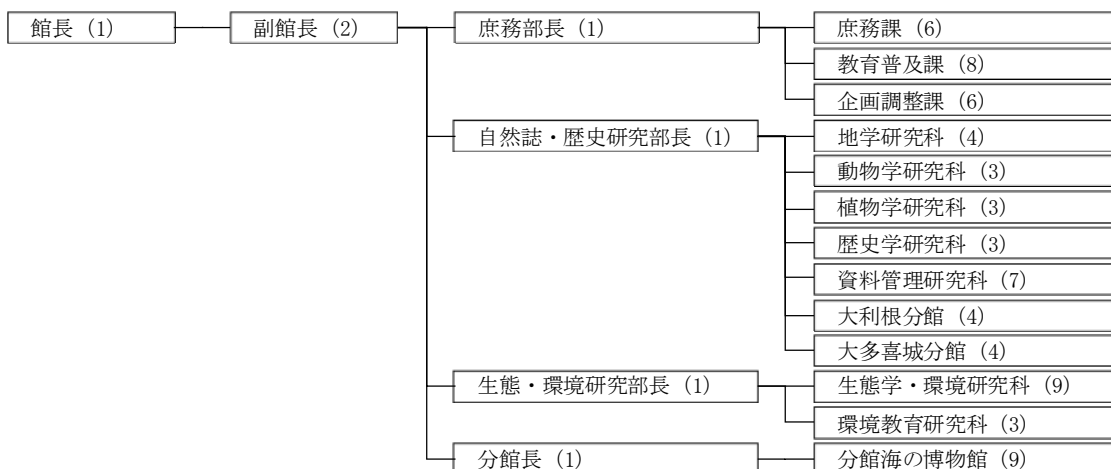
5 組織

(1) 職員数 83 名 (うち、再任用 22 名、体験交流員等 7 名)

区分	行政職	研究職	体験交流員等	合計
本館	12(3)名	46(15)名	4名	62名
大利根分館	1名	3名	0名	4名
大多喜城分館	1(1)名	3名	0名	4名
分館海の博物館	3(1)名	7(2)名	3名	13名
計	17(5)名	59(17)名	7名	83名

※環境生活部自然保護課生物多様性センター併任職員 2 名、教育庁教育振興部文化財課兼務職員 1 名を含む
() 内は再任用で内数。

(2) 組織図 () 内は所属人数



6 予算 328,828,000 円

本館	大利根分館	大多喜城分館	分館海の博物館
203,689,000	18,086,000	28,850,000	78,203,000

7 常設展示の構成

本館	房総の自然と人間、房総の自然誌（房総の地学、房総の生物、海洋、生物の分類、小動物展示室）、 房総の歴史、自然と人間のかかわり、体験学習室
生態園	房総の代表的自然を再現し、動植物の生態を身近に観察する野外施設
大利根分館	利根川の自然と歴史、千葉県農業
大多喜城分館	房総の城と城下町
分館海の博物館	房総半島の海の自然（房総の海、さまざまな海の姿、博物館をとりまく自然、海と遊ぼう）

8 収蔵資料 1,205,765 点

本館	大利根分館	大多喜城分館	分館海の博物館
1,111,127 点	18,545 点	2,020 点	74,073 点

9 入館者数 193,810 人 うち有料入館者数 69,919 人、入館料収入 17,919,560 円

区分	本館	大利根分館	大多喜城分館	分館海の博物館
入館者数	97,033 人	4,466 人	43,837 人	48,474 人
うち有料入館者数	19,627 人	1,533 人	21,760 人	26,999 人
入館料収入	7,611,880 円	375,250 円	4,683,390 円	5,249,040 円

新型コロナウイルス感染症への対応

中央博物館では、新型コロナウイルス感染症（以下「新型コロナ」という）への対応として、令和3年度は、コロナ禍の長期化を踏まえ、中止事業の安全な再開を目指すとともにウィズコロナを見据えた新たな事業展開を模索した。

1 令和3年度新型コロナ対応の経過

年	国、県等の動向	月 日	中央博物館の状況
令和3年			感染対策の検討と実践 〈第2フェーズ〉 前年から継続
	国がまん延防止等重点措置(以下まん防)を千葉県に適用(対象：市川・船橋・松戸・柏・浦安市)	4月22日	
	まん防対象区域に千葉・野田・流山・我孫子・鎌ヶ谷・習志野・八千代市を追加	4月28日	
		5月18日	自動検温計を導入
		6月8日	「講座・観覧会等計画書」にコロナ対策欄を新規追加
	県教委が感染防止対策を条件に7/1からの団体受入と講師派遣の再開を許可、合わせて展示室の同時利用人数について基準を見直して制限を緩和	6月17日	
	まん延防止等重点措置	7月1日	展示室の同時利用人数を200名から400名に緩和 学校に限って団体受入を再開
	まん防対象区域から野田、我孫子、鎌ヶ谷を除外	7月12日	
		7月13日	入館者が手指消毒、検温、等を、介助がなくとも自ら行えるシステムに表示と機器配置を変更 休祝日の受付当番を4人体制から3人体制に集約・
		7月26日	松戸保健所へ応援要員派遣を開始
	国方針により千葉県はまん防から緊急事態宣言に移行	8月2日	
		8月17日	展示室当番を4人体制から2人体制に集約
		8月17日	印旛保健所①へ応援要員派遣を開始
		8月22日	足踏み式手指消毒液噴霧器を導入 延べ61人日
		8月24日	研修室(定員43名)の同時使用人数を12名から22名に、講堂(定員200名)を40名から77名に緩和
		8月31日	松戸・印旛保健所①への応援要員派遣を終了
	国が全ての緊急事態宣言を解除	9月30日	
		10月1日	感染防止対策を条件に、対面での講師派遣事業とミュージアムトークを再開
	日本博物館協会がガイドラインを改定	10月14日	
		11月9日	R2.10.27策定の「講演会・講座・観覧等のガイドライン(第2段階)」を、規制等の現状を踏まえて改訂
南アフリカ共和国が新型コロナウイルスの新たな変異株の発生を報告	11月25日	宿泊療養施設への応援要員派遣①を開始	
WHOが南アでの変異株をオミクロン株と命名し、懸念される変異株(VOC)に指定	11月26日		
	11月29日	宿泊療養施設への応援要員派遣①を終了	
国が検疫で、国内でのオミクロン株感染者を初確認	11月30日		
千葉県が県内でのオミクロン株患者を初確認	12月23日		
令和4年	国が沖縄・山口・広島県にまん防を再発	1月8日	
		1月17日	鴨川保健所へ応援要員派遣を開始
		1月26日	市原・印旛保健所②へ応援要員派遣を開始
	国がまん防を千葉県を含む13都県に拡大	1月21日	
		2月2日	自動検温計を高性能機種に更新
		2月8日	各収蔵庫の同時利用制限を、空間の広さに合わせて緩和(第1収蔵庫:3→6名、第2収蔵庫:2→4名、第3収蔵庫:2→4名、第4収蔵庫:2→4名、第5収蔵庫:5→10名、液浸収蔵庫:1→2名) 延べ183人日
		2月28日	宿泊療養施設への応援要員派遣②を開始
		3月4日	宿泊療養施設への応援要員派遣②を終了
		3月13日	当面はコロナ禍が継続することを前提に、第2段階規制で令和4年度事業計画を決定
	国が全てのまん防を解除	3月21日	
	3月31日	市原保健所への応援要員派遣を終了(他は継続)	

2 令和3年度の新型コロナへの対応

令和元年度末から2年度は、まず新型コロナの感染拡大防止に主眼を置いた第1フェーズとしての対策を、次に館事業を安全に再開、実施するための第2フェーズとしての対策を順次行った。令和3年度は、これまでの対策を継続するとともに、ウィズコロナ時代の新たな博物館運営を目指し、対策のさらなる整備と対応業務の改善を図った。

(1) 感染防止対策の見直し

手指消毒や検温など、入館者に求める基本的な感染防止対策は継続する一方、前年度に定めた館内施設の利用人数制限については、それぞれ緩和する方向で見直しを行った。見直しは、6月17日に県教委から示された新たな算定基準に基づいており、同時入館者数制限（以前は無制限）は、7月1日に、200名から400名に変更した。また、講堂（本来定員200名）と研修室（本来定員43名）の同時利用制限は、8月24日に、各々40名から77名に、12名から22名に変更した。さらに、2月8日には、各収蔵庫の同時利用制限（以前は、第3収蔵庫を除き、利用人数の定め無し）を、第1収蔵庫は3名から6名に、第2～4収蔵庫は各々2名から4名に、第5収蔵庫は5名から10名に、液浸収蔵庫は1名から2名に変更した。これらに合わせ、それぞれの部屋を利用して行う事業や行事の定員上限も、新たな同時利用制限へと上方修正した。

講座・観察会等は、感染防止対策が施せる行事に限って実施してきたが、対策については、行事毎の有効性及び行事間の均衡性、並びに責任の所在を確認するシステムがなかった。そこで、6月8日からは、各事業の担当者が担当科（課）長の責任の下に一律の安全対策を施すよう、「講座・観察会等計画書」に「感染防止対策欄」を設け、実施内容の確認を行うこととした。また、10月27日には、「講演会・講座・観察等のガイドライン（第2段階）」を、現状の規制等を踏まえたものに改正した。以降、これを基に次年度事業を検討、企画し、3月13日に第2段階の下での令和4年度事業計画を確定させた。

以上により、各事業を安全に実施するための環境を整備した。

(2) 新型コロナに係る日常業務の省力化

入館者の検温については、5月18日に、職員が個別対応する非接触型検温計に変えて、入館者が自ら体温を計測する非接触型自動検温計を試験的に導入し、性能と省力効果の検証を行った。これにより有効性が確認できたことから、7月13日には、入館者が職員の補助が無くとも基本的な感染防止対策が行えるよう、感染対策物品の配置や表示を見直し、入口から受付に至る動線を整理した。そして、それまで感染対策による混雑整理のために、繁忙日には4名体制としていた教育普及課の職員配置を3名体制に減員した。また、新たな入館システムが軌道に乗ったのを見計らい、8月17日には、システムの日々の運用に当たる自然誌・歴史研究部の職員配置も4名体制から2名体制に減員した。この後、8月22日には手押し式であった手指消毒液ポンプを足踏み式に、さらに2月2日には検温計を高機能機種に更新し、安全性と利便性の向上を図った。

以上により、入館者の感染対策については、内容を変えることなく、人員配置の省力化が図られた。また、毎朝の出勤全職員による展示室の消毒清掃においても、作業への慣れから、所用時間の短縮が図られるようになった。

(3) 休止事業の再開

休止事業については、令和3年度当初より、受入体制や機器の整備など、事業を安全に再開するための検討と準備を進めてきた。これらのうち、団体利用については、6月17日に県教育委員会から解禁方針が示されたことを受け、学校団体に限って7月1日から受入を再開した。学校団体に限ったのは、学校は団体としての安全性が担保されているとの判断によるが、さらなる感染リスク低減のために、来館予定校には当館の感染対策を事前周知するとともに、その徹底を求めた。また、同じ時間帯には複数校が同時入館することがないように、予約を調整した。

講師派遣事業についても6月17日に県教委から解禁方針が示されたが、こちらは、まん延防止等重点措置が明けるのを待って、10月1日から対面での事業を再開した。再開に際しては、派遣先機関にも当館と同等の感染防止対策を求め、それが事前確約できた機関（事業）に限って派遣を認めた。

一方、感染防止の観点から中止を余儀なくされていた事業の内、ミュージアムトークについては、社会的距離が確保できる個別通信機器（インカムシステム）の導入と、実施日時及び定員を密が回避できるよう見直すことによって、10月1日から再開した。この後、密を避けつつ定員を増やす対策として、講堂を会場に講演会方式で行う方法も導入した。

(4) 社会のリモート化への対応

小中学校における一人一台端末の整備及びコロナ禍が教育現場のリモート化を大きく進行させたことを踏まえ、ウェブページに小中学校の教員向けコンテンツを新たに追加した。また、1件の教員研修（小学校）を通信講座で、1件の職場体験授業（中学校）をリモートで開催した。一方、展示会においては、対面で行う予定であった春の展示関連行事1件を期間限定のYouTube配信に変更した。また、特別展の関連では、3件の行事を対面とリモートの併用で開催し、うち1件については、開催後、YouTubeでも公開している。さらに、講師派遣事業においては、対面での実施を中止中も、リモートでの派遣要望には応じた。

なお、当館が事務局を務める県立博物館協議会及び千葉県博物館協会の会議、並びに当館が会場となった県立博物館・美術館合同企画事業「千葉学講座」及び千葉県博物館等職員研修会についても、それぞれリモート（一部は対面併用）で開催した。

(5) 県対策への協力

感染者が急増した感染拡大第5波及び第6波においては、県からの要請に応じ、業務が逼迫する保健所へ、当館からも感染者対策の応援要員を派遣した。派遣先は5機関で、派遣人員は、松戸保健所(本所)へは7月26日～8月31日に延べ6名を44人日、印旛保健所(本所)へは8月17日～8月31日と1月26日～3月31日に延べ19名を82人日、市原保健所(本所)へは1月26日～3月31日に延べ16名を65人日、安房保健所(鴨川地域保健センター)へは1月17日～3月31日に延べ12名を48人日であった。また、感染者宿泊療養施設(東横イン千葉みなと駅前店)の運営支援要員としても、11月25～29日と2月28日～3月4日の間に延べ2名を10人日派遣した。

派遣人員の総数は、延べ55名249人日に及び、この支援には、主として現役の研究職員が当たった。

3 影響

令和3年度は、新型コロナに関連する臨時休館は行わなかったが、令和2年度前半の臨時休館明けから始めた館内の一部施設の利用停止、各種事業の制限・自粛、職員の在宅勤務や活動制限などの措置は、引き続き実施した。一方で、国や県の指針や規制等が緩和され実施が可能となった事業については、段階的に再開するとともに、緩和内容に合わせた事業定員の見直し(上方修正)も行った。これらにより、令和3年度の入館者は、コロナ禍以前には及ばないまでも、大幅な回復が見られた。

表. 入館者数の比較(平成30年度～令和3年度)

	中央博物館	大利根分館	大多喜城分館	分館海の博物館	COVID-19対策としての臨時休館
令和3年度	97,033	4,466	43,837	48,474	無し
令和2年度	53,865	2,335	43,128	32,029	4/1～5/24(分館5/31)、1/9～3/21
令和元年度	108,751	11,275	62,419	49,868	3/3～3/31
平成30年度	154,482	12,320	77,362	51,188	無し

また、教育普及事業は、第2段階における事業として66件を計画していたが、このうち4件を感染防止の観点から中止とした。さらに、7月から再開した学校利用では、多くの予約があったものの、感染拡大第5波及び第6波への懸念による予約のキャンセルが相次いだ。

表. 令和3年度学校団体の利用状況

	申込校数	来館校数	キャンセル		
			キャンセル校数	キャンセル要因別内訳*	
				天候	コロナ・不明
実数	161	69	92	28	64
割合:%	100	43	57(100)	17(30)	40(70)

※キャンセル要因

天候：雨天時のみ来館予定校のキャンセル

コロナ：コロナ対策によるキャンセル

不明：理由未告知のキャンセル(時節柄、大半はコロナ対策によるキャンセルと思われる)

4 今後の課題

長期化する事態を見据え、令和4年度も、令和3年度と同様に、感染防止対策を推し進め、ウィズコロナ時代の安定的な博物館運営を目指していく必要がある。

(1) 感染防止対策の整備、改善

当館の感染防止対策は、公益財団法人日本博物館協会の「博物館における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」が定める規制に基づくところが大きい。ガイドラインは不定期で改正されており(R2.5.25、R2.9.18、R3.10.14に改正)、改正点は、時点での感染状況や社会情勢に鑑み、各種の規制を緩和する内容となっている。当館においても、ガイドラインの改正を踏まえて段階的に感染防止対策を見直し、休止事業の再開にもつなげているので、この流れは今後も継続していく必要がある。また、感染防止対策として新たに付加された業務は、博物館本来の業務を行う上で大きな負担となっていることから、この業務を省力化するシステムや機器についても、引き続き検討・導入していく必要がある。

(2) 休止施設、事業の再開

新型コロナ発生により主管課からの指示や十分な安全対策が施せないために休止した事業については、規制の緩和や安全対策を施せたものについて、令和3年度から、順次、再開してきた。しかし、館内の「たいけんの森」やスイッチ操作を含むハンズオン展示、並びに生態園の「野鳥観察舎」などは、有効な感染防止対策が施せず未だに再開できずにいる。また、体験学習交流員やボランティアが行う展示解説、並びに学校団体への食事場の提供などについても同様の状況である。一方で、博物館利用者からは、それらの再開を望む声が多く寄せられている。新型コロナも3年目に入り、国の補助金制度や感染防止物品の進歩や充実も進んでいることから、今後は、それらも有効に活用し、今なお休止中の施設及び事業の早急なる再開を目指す必要がある。

(3) ウィズコロナ時代の博物館事業

令和3年度には、いくつかの事業について、リモートでの開催を試みた。これらは機材の準備も不十分な中での実施であったが、感染リスクの低減や利用者の不安の解消、遠隔地在住者の参加など、コロナ禍において安全・安定的に学びの機会を提供する上で、オンラインツールの有効性が確かめられた。本件については、ウィズコロナ時代の新たな事業として今後とも充実を図るとともに、機能的かつ有効に実施するための機材整備を進める必要がある。

I 資料収集・整理保存

第1 本館

1 資料の登録

(令和4年3月31日現在)

分野		年間増加	総登録点数	情報システム 総点数
動物資料	哺乳類	5	5,435	685
	鳥類	0	1,674	200
	魚類	1,037	22,099	21,980
	両生類・爬虫類	0	2,057	0
	昆虫	3,125	200,873	127,801
	甲殻類	513	17,061	15,725
	カブトガニ・ウミグモ・多足類	8	702	571
	クモ類	15	1,407	237
	軟体動物	1,402	82,137	1,847
	多毛類	0	1,126	2
	その他無脊椎動物	0	76	2
	小計	6,105	334,647	169,050
植物・菌類資料	維管束植物	3,340	392,712	147,935
	蘚苔類	224	42,883	6,899
	藻類	0	6,110	3,484
	植物資料小計	3,564	441,705	158,318
	地衣類	680	28,415	6,206
	担子菌類	0	26,488	6,265
	子囊菌類他	0	3,102	172
	変形菌類	0	191	2
	菌類資料小計	680	58,196	12,645
小計	4,244	499,901	170,963	
地学資料	岩石・鉱物※1	48	20,105	20,363
	地層（はぎとりなど）	0	26	22
	植物化石	1	206	206
	軟体動物化石	157	6,789	6,789
	その他無脊椎動物化石	96	3,733	2,109
	微化石	15	87	87
	脊椎動物化石	0	8,323	8,323
	地学景観画像	0	218	219
	その他	0	819	0
	小計	317	40,306	38,118
自然誌資料合計		10,666	874,854	378,131
人文資料	小計	1,938	55,222	25,114
生態・環境資料	生態・環境にかかわる生物音響資料	0	1,868	-
	生態・環境にかかわる映像資料	0	2,042	-
	環境教育資料	0	8	-
	小計	0	3,918	0
	リンネ関係レンスコークコレクション	0	5,397	-
その他稀観本	0	50	-	
特殊資料・貴重書	小計	0	5,447	0
図書資料	図書（冊数）	439	54,616	20,736
	雑誌（冊数）	1,572	92,159	-
図書資料	雑誌（誌数）※2	-9	5,088	2
	小計	2,011	146,775	20,738
合計		14,615	1,086,216	423,983

※1 岩石・鉱物は、情報システム入力資料のうち、登録番号の枝番資料については、年間増加分・総登録点数には含まない

※2 雑誌（誌数）は、年間増加分・総登録点数には含まない

2 資料の収集

(1) 収集点数

種別	点数
購入	0
製作委託	10
寄附	53
保管換え	0
館員による収集	34,822

種別	点数
寄託	-20
仮保管	0
借用（長期）	-9
合計	34,856

※寄託・仮保管・借用は、新規受入・返却の変更があったものを計上

(2) 内訳

ア 製作委託

資料系	資料名	点数	委託先
動物	鳥類剥製標本	10	名倉剥製所

イ 寄附

資料系	資料名	点数	寄贈者
動物	武田卓明氏甲虫コレクション 一式	1	個人
地学	君津市川谷ポーリング資料 一式	1	個人
人文	半円方格帯神獸鏡、勾玉、古写真、由緒書	4	個人
人文	勝浦市鶴原の漁撈用具	44	千葉県環境生活部自然保護課
人文	タマ	2	個人
人文	多古町北中の渋谷家資料 一括	1	個人

ウ 館員による収集等

資料系	資料名	点数	収集者
動物資料	哺乳類	5	館員
	鳥類	0	館員
	魚類	1,037	館員
	両生類・爬虫類	0	館員
	昆虫	3,125	館員
	甲殻類	513	館員
	カブトガニ・ウミグモ・多足類	8	館員
	クモ類	15	館員
	軟体動物	610	館員
	多毛類	0	館員
	その他無脊椎動物	0	館員
植物・菌類資料	維管束植物	28,251	館員
	蘚苔類	224	館員
	藻類	0	館員
	地衣類	680	館員
	担子菌類	0	館員
	子囊菌類他	0	館員
	変形菌類	0	館員
地学資料	岩石・鉱物	47	館員
	植物化石	1	館員
	軟体動物化石	157	館員
	その他無脊椎動物化石	96	館員
	微化石	15	館員
	脊椎動物化石	0	館員
	地学景観画像	0	館員
	その他	0	館員
人文資料	「佐原張子関係資料」、「第132回オリンピック競技大会(2020/東京)・東京2020パラリンピック競技大会関係資料(千葉県)」ほか	38	館員

3 資料の寄託・仮保管・借用

(1) 寄託 (返却)

資料系	資料名	点数	寄託者
歴史資料	九十九里町いわし博物館所蔵資料 (伊能忠敬書簡ほか)	20	九十九里町

(2) 寄託 (更新)

資料系	資料名	点数	寄託者
人文資料	神宮寺文書	554	神宮寺
	神崎神社文書	91	神崎神社
	大絵馬 (会津藩士遊泳) 1点、木造菩薩半伽像 1点	2	三柱神社
	銅鑄口 1点、銅鑄孔雀文磬 1点、銅鑄唐草文釣籠 1点	3	笠森寺
	板絵馬著色武者絵 (弁慶) 1点、板絵馬著色武者絵 (牛若) 1点	2	縣神社
	地引網絵馬 4点、揚繰網絵馬 1点	5	玉前神社
人文資料	板絵馬著色武者絵 (昇亭北寿 文久二年) 1点、板絵馬著色伊勢参宮図 (〃) 1点	2	大宮神社
人文資料	明治2年奥州出征絵巻 (ハーマン号事件に関する絵巻物)	1	勝浦市

(3) 仮保管 (更新)

資料系	資料名	点数	保管者
歴史資料	千葉寺経塚出土遺物	10	千葉県立千葉高等学校

(4) 常設展示資料の借用 (一部返却)

展示室	資料名	点数	保管者
歴史展示室	鉄帽ほか	8	印西市立印旛歴史民俗資料館

(5) 常設展示資料の借用 (更新)

展示室	資料名	点数	借用先
房総の地学	サンゴ岩体化石	1	とみうら元気倶楽部
	ナウマンゾウ臼歯化石ほか	23	個人
	ナウマンゾウ臼歯化石	1	個人
	ニホンジカ角化石	2	木更津市立中郷小学校
	銚子産化石・岩石	105	個人
	馬蹄石	1	個人
房総の生物	海岸漂着物	33	個人
房総の歴史	姥山貝塚出土縄文土器	9	慶應義塾大学
	城の腰遺跡出土石器ほか	95	千葉県立房総のむら
	農業要集・草木撰種録ほか	3	個人
	西広貝塚出土石剣ほか	17	市原市教育委員会
	三田遺跡出土赤彩土器ほか	40	芝山町教育委員会
	山田水呑遺跡出土墨書土器ほか	24	東金市教育委員会
	鳥浜貝塚出土クルミほか	11	福井県立若狭民俗資料館
	中山新田 I 遺跡出土石器ほか	460	千葉県教育委員会
	地租改正の丈量器具 一式	1	富津市文化協会
	林跡遺跡出土木葉形尖頭器ほか	8	鎌ヶ谷市郷土資料館
	大山台第 36 号墳出土須恵器ほか	24	木更津市教育委員会
	本名輪遺跡出土炭化米 一式	1	君津市教育委員会
	新坂 1 号墳出土円頭太刀ほか	60	山武市教育委員会
	飯山満東遺跡出土浅鉢	5	国立歴史民俗博物館
	宮内井戸作遺跡出土深鉢	13	佐倉市教育委員会
	配給手帳ほか	10	印西市立印旛歴史民俗資料館

(6) 調査等における資料の借用 (寄附に変更)

資料名	点数	借用先
渋谷家資料 一式	1	個人

(7) 調査等における資料の借用(更新)

資料名	点数	借用先
山岳鳥瞰図ほか 一式	1	個人

(8) 特別展示資料の借用

ア 特別展「バラのすべて～All about Roses～」

資料名	点数	借用先
薔薇文高脚杯 (ドーム家旧蔵)、フランスの薔薇文花瓶、薔薇文鶴頸花瓶、薔薇文鶴頸花瓶	4	(公財)北澤美術館
バーデンバーデン国際コンクール金賞『緑光』賞状・メダル、ベルギー(コルトレイク)KEIseult 賞状	2	京成バラ園芸株式会社
「アイヒシュテットの庭園」	1	コノサーズ・コレクション東京
「バラ図譜」10点、「バラ属」10点	20	コノサーズ・コレクション東京
「バラ図譜」オクタヴォ判 vol1、2、「バラ属」vol.1、2	4	NPOバラ文化研究所
「本草図譜」(複製)3点、「草木育種」2点、「草木錦葉集」1点	6	佐倉草ぶえの丘バラ園
書籍「図入 薔薇栽培法」2冊、「薔薇培養法」「薔薇栽培新書」「薔薇栽培法」「変咲詳説薔薇培養秘訣」「ばらの栽培」「ばらと随筆」各1冊、「ばら叢書」5冊	13	佐倉草ぶえの丘バラ園
書籍「ばら」「ヒロシマのばら」	2	佐倉草ぶえの丘バラ園
朝日バラ年鑑(1955-1969)	14	佐倉草ぶえの丘バラ園
会報「日本ばら会会報」一式、「英国王立ばら会会報」13冊、大日本薔薇協会「薔薇」10冊、帝国ばら協会「会報」5冊、「東京支部薔薇會誌」1冊	30	佐倉草ぶえの丘バラ園
カタログ「東京駒込ばら新」	1	佐倉草ぶえの丘バラ園
ポスター「ばら展覧会(銀座 資生堂ギャラリー)」2点、「バラ展覧会(横浜市 日本貿易博覧会 反町迎賓館)」2点、「日本バラ会ばら展」2点、「とどろきバラ園」1点	6	佐倉草ぶえの丘バラ園
鈴木省三氏遺品(剪定鋏1、鋏入れ2)、鈴木省三氏 育種ノート、海外のバラ関係者から鈴木省三氏宛て書簡一式	3	佐倉草ぶえの丘バラ園
鈴木省三氏(写真)	1	佐倉草ぶえの丘バラ園
「ニュージラランド南太平洋特別金賞 聖火メダル」1点、「ローマ国際コンクール金賞 乾杯 賞状(複製)」2点、「園芸学会賞功労賞 賞状」1点、「園芸文化賞 賞状・記念品(朱肉入れ)」2点	6	佐倉草ぶえの丘バラ園
「アマチュアズ・ローズ・ブック」"The Amateur's Rose Book"	1	(医療)式場病院
「式場隆三郎氏」「式場病院で開かれたローズカーニバル」「現在の式場病院バラ園」(写真)	3	(医療)式場病院
「生写四十八鷹図」	1	草雲美術館
「長春花游蜂之図」「草花画卷」「草木花角力」「万年青七種 金魚葉椿 斑入薔薇」「東海道五十三図会(美人東海道)廿一 丸子」「東京名所三十六花撰 東京 根津 ばら」「女礼式之図」「東風俗福つくし HOHUKU 匍匐」「小供風俗 おはじき」「無題」「百花図纂 草花部」「今すがた 一枝」	12	(一財)雑花園文庫
「本草図譜」「群芳園薔薇花鑑」「四季の花」「虫類画譜」「西洋草花図譜」	5	(一財)雑花園文庫
「西洋各国薔薇見立鏡」「各国薔薇花鏡」「各国薔薇花鏡」「薔薇花見立鏡」「薔薇花集」「薔薇花鏡」「薔薇名一覧」	7	(一財)雑花園文庫
「白梅小禽図」	1	千葉市美術館
「賞春芳帖」「画本虫撰」2点、「絵本詠物撰」「素絢画譜」「草木錦葉集」(ラヴィッツ・コレクション)	6	千葉市美術館
「花鳥蟲獸図巻」(画像)	1	千葉市美術館
「梅鳩薔薇図」「柳に翡翠図」「花鳥図」	3	(公財)摘水軒記念文化振興財団(千葉市美術館寄託)
千葉大学園芸学部 飯島亮教授による式場病院サンクガーデン計画図(画像)	1	千葉大学園芸学部
銘仙・足利産着物2点、羽織2点	4	橋本晴男
「秋季植物目録」「春季植物目録」「植物目録バラエン」各1点、「バラエン植物総目録」4点	7	(有)薔薇園植物場
「薬用植物図譜」第5巻、「本草図譜」「各国薔薇花鏡」	3	平野恵
「東京名所三十六花撰 東京 根津 ばら」、「薔薇名花集」、カタログ「東京駒込ばら新」	1	文京ふるさと歴史館
「頭花植物図譜」巻7、唐枕、琉球香合	3	(公財)松浦史料博物館
レプリカ「ノイバラ(花枝、実枝)」2点、「テリハノイバラ(花枝)」1点、「アズマイバラ(花枝)」1点「ハマナス(花枝、実枝)」2点、拡大模型「ハマナス(実)」	7	ミュージアムパーク茨城県自然博物館

資料名	点数	借用先
「薔薇」「新板鉢植つくし」「夜商内六夏撰(植木売り)」「新板うへき花尽」「しん板うゑき尽」「しんばん植木尽し」	6	宇田川知克
「バラの手帖」 Vol. 5	1	個人
会報「会報」(日本バラ会・新日本バラ会)8冊、「ばらの四季」(新日本ばら会)4冊	12	個人
書籍「Rose List バラの品種解説」「薔薇 バラの文化史」「薔薇物語」「バラの作り方」	4	個人
カタログ「東京駒込ばら新」3点、「静岡聖代園」1点、「静岡薔薇園」5点、「駒場ばら園」3点、「確実園植物場」2点、「関西植物園」1点、「山本牡丹園」1点、「福井農園営業部」1点、「旭植物園」2点、「ヤマト植物園」1点、「日本園芸株式会社」3点、「仲徳園植物場」1点、「日之花壇」1点、「八千代園藝報」1点、「寺田花園営業所」1点、「東洋薔薇園」1点、「赤司廣楽園」1点、「小松遊覧農場園芸部」1点	30	個人
「モダン・ローゼズ 7」 "Modern Roses 7"	1	個人
「春日権現験記絵」、「動植綵絵」紫陽花双鶏図、薔薇小禽図(画像)	3	宮内庁三の丸尚蔵館

イ 特別展「バラのすべて」同時開催 バラの現代作家展1「バラの植物画展」

資料名	点数	借用先
バラ植物画	28	道恵
英国王立園芸協会ロンドンボタニカルアートショー2018 金賞及び最高賞メダル・記念品	一式	道恵
使用道具(パレット、筆)、現地スケッチ	一式	道恵

ウ 特別展「バラのすべて」同時開催 バラの現代作家展2「バラの写真展」

資料名	点数	借用先
バラの写真(デジタル画像)	21	大作晃一
大作晃一著作物	一式	大作晃一

エ 特別展「バラのすべて」同時開催 バラの現代作家展3「絵と染と陶展」

資料名	点数	借用先
バラ水彩画20点、巻物「薔薇」1点、バラ絵付け(磁器11点、バラソル1点、木箱2点)、染料手描き染め(ロールスクリーン2点、タペストリー3点)、スケッチブック1点	41	流郷由紀子

オ 夏の展示「うみ鳥つづ [umi-Trip] 一海鳥とめぐる島の旅・半島の旅一」

資料名	点数	借用先
鳥類剥製標本	8	東京海洋大学
鳥類剥製標本4点、ウミガラス卵複製1点	5	我孫子市鳥の博物館
捕獲竿1点、輸送籠1点	2	日立市郷土博物館
うみどり号資料	6	銚子電鉄株式会社
マンホール蓋	1	銚子市水道局
キタオットセイ剥製標本	1	水産庁
ハシブトアジサシ糞標本	1	個人
ウミガラスデコイ	1	個人
バイオロギング調査道具	3	個人
鉄道資料	1	個人
鉄道ヘッドマークデザイン	22	個人
郵便・鉄道・その他資料	339	個人
新聞記事	1	日刊留萌新聞
ポスター	1	出雲市文化財課
漫画イラスト	1	個人
マリーナ IBA 位置図	1	バー ドライフインターナショナル
動画	1	Islandscare
写真	1	小笠原村教育委員会
写真	1	海上保安庁
写真	2	門川町観光協会

資料名	点数	借用先
写真	1	鴨川市教育委員会
写真	1	鷗稲荷神社氏子町会
写真	1	環境省沖縄奄美自然環境事務所
写真・動画	2	環境省羽幌自然保護官事務所
写真	1	北九州市立自然史・歴史博物館
写真	1	九十九里町教育委員会
写真	1	銚子ジオパーク推進協議会
写真	1	名護市観光協会
写真	1	函館市観光協会
動画	2	北海道海鳥センター
動画	3	御蔵島のオオミズナギドリを守りたい有志の会
写真 各1点	8	個人(8名)
写真 各2点	6	個人(3名)
写真 各3点	6	個人(2名)
写真	4	個人
写真・動画	2	個人
動画	1	個人

カ 春の展示「苔松苔梅―春を寿ぐ うめのきごけー」

資料名	点数	借用先
立華正道集1点、新撰瓶花図彙 乾・坤各1点、古今立花手引草1点、表題なし立花の古典籍1点、いけばな資料・特別展観(チラン)1点、生花の動画1点	7	法人
生花の写真1点	1	法人
花王以来の花伝書画像1枚、池坊専応口伝画像1枚	2	池坊中央研究所
紅白梅図屏風画像2枚、妙法蓮華経 授記品画像1枚	3	MOA美術館
万祝「下り藤・鶴亀・松竹梅」	2	館山市立博物館
模様雛形(全)1点、萬祝模様雛形1点、巻見本1点	3	館山市立博物館
島台	1	神栖市歴史民俗資料館
鏡板組立ひな形	1	奏風 秀世記念 松野藝文館
松のスケッチブック	2	奏風 秀世記念 松野藝文館
観世能楽堂鏡板の小下図	1	奏風 秀世記念 松野藝文館
巖島神社鏡板見本	1	奏風 秀世記念 松野藝文館
観世能楽堂の鏡板のモデルとなった松調査写真 81点、山本能楽堂鏡板写真 1点、名古屋能楽堂鏡板写真 1点、MOA美術館鏡板写真 1点、春日神社丹波篠山鏡板下図などの写真 8点、松野奏風氏写真 3点、観世能楽堂の鏡板制作過程写真 8点、アステールプラザの鏡板制作過程写真 10点、名古屋城能楽堂の鏡板制作過程写真 20点	133	奏風 秀世記念 松野藝文館
越谷能楽堂の制作工程表	1	奏風 秀世記念 松野藝文館
観楓図屏風画像 3枚、立花図屏風画像 40枚、檜図屏風画像 3枚、四季草花小禽図屏風画像 4枚、能装束画像 6枚	56	東京国立博物館
旧本丸能舞台正面羽目板松ノ絵并御脇羽目竹之絵図画像	1	東京都立中央図書館
鏡板画像	3	石川県立能楽堂
鏡板画像	1	(一社)観世会
鏡板画像	4	大分市
鏡板画像	4	大津市伝統芸能会館
鏡板画像	2	岡崎城二の丸能楽堂
鏡板画像	1	岡山後楽園
鏡板画像	1	(公財)広島市文化財団 アステールプラザ
鏡板画像	2	(公財)大槻能楽堂
鏡板画像	3	(公財)鏡仙会
鏡板画像	4	高知県立美術館
鏡板画像	5	越谷市
鏡板画像	3	白石市古典芸能伝承の館
鏡板画像	2	セルリアンタワー能楽堂
鏡板画像	1	豊田市能楽堂
鏡板画像	4	奈良春日野国際フォーラム

資料名	点数	借用先
鏡板画像	1	彦根城博物館
鏡板画像	3	福井市都市戦略部都市整備課
鏡板画像	3	福岡市
鏡板画像	5	松山市
鏡板画像	10	湊川神社神能殿
鏡板画像	1	横浜能楽堂
越乃寒梅ラベル画像	20	石本酒造株式会社
立花巻物（複製）1点、立華正道集2点、立花指南大全2点、増補立花大全1点	6	個人
着物（振袖2点、ウメノキゴケ染めの訪問着2点、訪問着1点、産着1点）、帯2点、ウメノキゴケ染めのマフラー1点、掛袢紗5点、ブリブリ香合1点、立華瓶1点、ちらし1点、アイスランドモス1点	18	個人

キ 生態園トピックス展「カエル」

資料名	点数	借用先
カエル類（標本）	19	個人
カエル類（写真）	1	個人
カエル類（写真）	1	個人

ク ミニトピックス展「明治二年奥州出征米国船ハーマン号勝浦沖遭難絵巻」指定記念展

資料名	点数	借用先
「覚」（古文書）「海難記」（古文書）各1点	2	勝浦市
海中引揚遺物（そばちょこ片、スープチュリーン2点、白磁器片、陶器片、土瓶片）	6	日本水中考古学調査会

ケ ミニトピックス展「十二支にちなんで一寅年」

資料名	点数	借用先
トライグチ	3	宮崎県総合博物館
ミズトラノオ 画像	1	個人

4 資料の利用

(1) 利用点数

利用方法	件数	点数
閲 覧	2	3
撮影・複製	8	53
貸 出	15	473
デジタル情報の複製	60	156
その他	2	23

利用方法	件数	点数
研究用貸出	8	173
標本データの提供	2	200,680
館内利用	57	4,288
合 計	154	205,849

※一式を1点とカウントした

(2) 閲覧・撮影・複製・デジタル情報の複製・貸出・その他

ア 動物資料

利用方法	資料名	点数	利用者
館内撮影	タカラガイ 18種	18	小学館
館内撮影	貝類標本	5	(株)山と溪谷社
貸出	タヌキ頭骨、ニホンザル頭骨、ノウサギ頭骨、ハト全身骨格	4	四街道市立四街道小学校
貸出	ニホンジカ下顎	300	東京大学大学院新領域創生科学研究科
貸出	ニホンジカ頭骨、タヌキ頭骨	8	大網白里市立増穂中学校
貸出	魚類、甲殻類、貝類標本・剥製	33	袖ヶ浦市郷土博物館
貸出（外部撮影）	貝類：オオツタノハ、ゴホウラ 各2個体	4	あいち朝日遺跡ミュージアム
デジタル情報の複製	スナメリ、マダライルカの骨格標本の写真 各3点（全身、胸ビレ、骨盤）	6	(株)ホールマン
デジタル情報の複製	遺跡出土貝製品の原材料の巻貝：ゴホウラ、アンボンクロザメ 写真各1点	2	あいち朝日遺跡ミュージアム
デジタル情報の複製	当館ウェブサイト「教室博日記」掲載のニジオビベニアツバ幼虫生態写真	1	(株)ホワイトホールラボ
デジタル情報の複製	当館ウェブサイト「教室博日記」掲載のヒメハルゼミ写真	2	夷隅郡市自然を守る会

イ 植物・菌類資料

利用方法	資料名	点数	利用者
貸出	レプリカ (テングタケ、ドクツルタケ、ドクカラカサタケ)	3	ミュージアムパーク茨城県自然博物館
貸出	展示用きのご類資料 (薬用菌類等)	22	宮崎県総合博物館
貸出	蘚苔類含浸標本・拡大模型・感想標本	30	ミュージアムパーク茨城県自然博物館
貸出 (外部撮影)	ヤエヤマヒルギの模型、腊葉標本と殻斗果 (コナラ属、マテバシイ属、シイ属)	7	(独法) 国立科学博物館
デジタル情報の複製	シラタマモ Lamprothamnium succinctum 写真	1	四国放送株式会社
デジタル情報の複製	ブクリョウ (標本) 画像	1	千葉菌類談話会
デジタル情報の複製	若名東一肖像写真 (デジタルミュージアム「維管束植物百選」)	1	東金市教育委員会
デジタル情報の複製	生物展示室「ナガエノスギタケ」模型写真	2	(有)ハマユ
デジタル情報の複製	当館ウェブサイト掲載のマツグミ花写真	1	苗木地域まちづくり推進協議会
デジタル情報の複製	茯苓 (半加工品) 画像	1	千葉菌類談話会
デジタル情報の複製	ヤドリギ寄生根断面写真、発芽したヤドリギの種子の写真 (しいむじな掲載 55号)	2	NHKエデュケーショナル科学健康部

ウ 地学資料

利用方法	資料名	点数	利用者
館内撮影	ネパール産アンモナイト化石 2点、ネパール産ノジュール 3点	5	(独法) 国立科学博物館
貸出 (外部撮影)	礫岩 (高神礫岩)	1	佐野市葛生化石館
デジタル情報の複製	ザトウクジラ発掘現場写真、ホホジロザメの歯化石	3	(株)テレビ朝日
デジタル情報の複製	デジタルミュージアム「房総のジオツアー」より画像	3	(株)オフィス201
デジタル情報の複製	化石の画像 (アサリ、チョウセンハマグリ)	2	(株)増進堂
デジタル情報の複製	画像 (ハコクモヒトデ化石、ナウマンゾウ復元骨格)	2	(株)ポプラ社
デジタル情報の複製	岩石標本写真	5	(株)日経サイエンス
デジタル情報の複製	五百澤智也氏の山岳鳥瞰図「槍・穂高連峰」「穂高の澗沢と岳沢」	2	山と溪谷社
デジタル情報の複製	五百澤智也氏の山岳鳥瞰図「槍・穂高連峰」ほか	14	山と溪谷社
デジタル情報の複製	西川功氏より借用のオキナワアナジャコ化石の展示風景	1	油木協働支援センター (にしかわ化石館)
デジタル情報の複製	石英閃緑岩 (CBM-GR0012434) 標本写真	1	(株)日本入試センター
デジタル情報の複製	礫岩 (高神礫岩) (切断研磨標本) 写真	1	(同)ミカボックス

エ 人文資料

利用方法	資料名	点数	利用者
閲覧	市原市祇園原貝塚出土有角石器、市原市南向原遺跡出土有角石器	2	個人
閲覧	「総州真景図巻」	1	個人
館内撮影	市原市草刈貝塚出土石器	4	市原市教育委員会
館内撮影	千葉県文化財実態調査事業「石造文化財」資料より 長柄町分 一式	1	個人
館内撮影	鑄銅罅口 (応永三十四年在銘)	1	市原市教育委員会
館内撮影	柏市中山新田遺跡出土旧石器	18	個人
館内撮影	明治二年奥州出征米国船ハーマン号勝浦沖遭難絵巻	1	千葉県教育委員会
貸出	日本博覧図 海水浴場狩野屋支店海気館	1	千葉市民ギャラリー
貸出	量程車 (複製)、垂揺球儀 (複製)	2	千葉県立現代産業科学館
貸出	菱田コレクション 稲毛海岸ノ景	1	千葉市民ギャラリー
貸出 (外部撮影)	菱田コレクション絵葉書 44点、マッチラベル 吉澤貞一コレクション 12点	56	千葉経済大学地域経済博物館
デジタル情報の複製	𦵑粕 (複製) 画像	1	世田谷区立郷土資料館
デジタル情報の複製	干鰯 (模型)、𦵑粕 (模型) 画像 各1点	2	千葉市立郷土博物館

デジタル情報の複製	小金原鹿狩図屏風（部分）の画像	1	千葉菌類談話会
デジタル情報の複製	「職人尺絵 塗師・蒔絵師」画像	1	荒川区立荒川ふるさと文化館
デジタル情報の複製	「職人尺絵貼りませ屏風」より「鳥屋 籠屋」画像	1	(株) テレビマンユニオン
デジタル情報の複製	「成田香取鹿島息栖細見絵図」画像	1	香取市生涯学習課
デジタル情報の複製	「千葉県史編さん考古部会関係資料」より「姉崎二子塚古墳出土遺物」画像	12	市原市教育委員会
デジタル情報の複製	「大日本物産図会」より「壱岐国鯨漁之図」、「同神楽棧にて引揚図」画像	2	(株) 少年写真新聞社
デジタル情報の複製	「大日本物産図会」より「能登素麵製造之図」画像	1	NHK 金沢放送局
デジタル情報の複製	「日本博覧図千葉県後編」より「江澤潤一郎邸宅之図」画像	1	勝浦市教育委員会
デジタル情報の複製	「日本博覧図千葉県後編」より「廣栄山妙覚寺境内之図」画像	1	個人
デジタル情報の複製	「日本博覧図千葉県初編」より「稲毛海水浴場加納屋支店海気館」画像	1	千葉県立美術館友の会
デジタル情報の複製	「日本博覧図千葉県初編」より「佐久間元三郎邸宅」画像	1	個人
デジタル情報の複製	「日本博覧図千葉県初編」より「佐倉同協社全図」画像	1	八街市郷土資料館
デジタル情報の複製	「日本博覧図千葉県初編」より「醤油醸造業諸房半兵衛」画像	1	(株) 日本ケーブルテレビジョン
デジタル情報の複製	兵法虎巻号魔除守（一天流剣術・真妙流柔術伝書） 1巻	1	個人
デジタル情報の複製	「六十余州名所図会下総銚子の浜外浦」画像	1	千葉県立房総のむら指定管理者（公財）千葉県教育振興財団房総のむら
デジタル情報の複製	関東第一山 上総鹿野山 神野寺宝物絵葉書のうち「神野寺宝物ノ内親鸞上人（御自作尊像）」	1	個人
デジタル情報の複製	吉野章郎氏撮影写真	2	国立歴史民俗博物館
デジタル情報の複製	菱田コレクション（鹿野山神野寺絵葉書）の画像	10	神野寺表門設計監理事務所
デジタル情報の複製	菱田コレクション（鹿野山神野寺絵葉書）の画像	3	神野寺表門設計監理事務所
デジタル情報の複製	菱田コレクション（鹿野山神野寺絵葉書）の画像	6	神野寺表門設計監理事務所
デジタル情報の複製	菱田コレクション絵葉書 ほか	2	(株) kimika
デジタル情報の複製	菱田コレクション絵葉書「（安房名所）保田元名海水浴場」（部分）、「習志野名所 櫛形森」（部分）の画像	2	千葉菌類談話会
デジタル情報の複製	菱田コレクション絵葉書2点、ポスター1点、林辰雄撮影写真1点	4	千葉商工会議所
デジタル情報の複製	林辰雄撮影写真	1	千葉市立郷土博物館
デジタル情報の複製	林辰雄撮影写真	1	千葉市商工会議所
デジタル情報の複製	林辰雄撮影写真	2	東京新聞千葉支局
デジタル情報の複製	林辰雄撮影写真	1	個人
デジタル情報の複製	林辰雄撮影写真	4	(株) 日企
デジタル情報の複製	林辰雄撮影写真 13点、吉野章郎氏撮影写真 7点	20	千葉市民ギャラリー

オ 生態・環境資料

利用方法	資料名	点数	利用者
デジタル情報の複製	「自然と人間のかかわり」展示室 模型「マツ林の管理方法」、パネル「花粉が語る谷津周辺の植生のうつりかわり」の画像 各1点	2	千葉菌類談話会

カ 特殊資料・貴重書

利用方法	資料名	点数	利用者
デジタル情報の複製	レーシヒ『パラ彩色図譜』画像	3	(株) ミュージアムクルー
デジタル情報の複製	「植物ならびに園芸文化史関係の文献、絵画」より葛飾北斎「萬年春寿」（複製）	1	(株) ワード

デジタル情報の複製	「植物ならびに園芸文化史関係の文献、絵画」より鈴木春信「めだかすくい」(複製木版)画像	1	(株)日企
デジタル情報の複製	二口善雄植物画集(キモッコウバラ、シカゴ・ピース)	2	群馬県立近代美術館
デジタル情報の複製	本草図譜 菌草譜(ハツタケ、アミタケ)の画像	2	千葉菌類談話会
デジタル情報の複製	本草図譜 菌草譜(ハツタケ)の画像	1	個人

キ その他

利用方法	資料名	点数	利用者
デジタル情報の複製	中央博物館外観写真	1	テレビ朝日映像株式会社
その他(提供)	特別展「バラのすべて」バラ現代作家展 大作晃一『バラの写真展』パネル	22	NPOバラ文化研究所
その他(提供)	特別展「バラのすべて」第3章バラの育種パネル(紙プリント)	1	京成バラ園芸株式会社

(3) 研究用貸出

資料系	資料名	件数	点数
植物・菌類資料	菌類	1	4
動物資料	昆虫	5	140
動物資料	貝類	2	29
合計		8	173

(4) 標本データの提供

資料系	分野	科博 S-net・GBIF 提供件数	千葉県 GIS 提供件数
動物資料	哺乳類	0	685
	魚類	0	9,043
	昆虫	10,395	43,048
	甲殻類	0	390
	カブトガニ・ウミグモ・多足類	0	570
	クモ類	0	236
	軟体動物	0	7,450
	小計	10,395	61,422
植物・菌類資料	維管束植物	11,631	87,045
	蘚苔類	0	10,395
	藻類	0	3,378
	地衣類	0	6,204
	担子菌類	0	9,044
	微小菌類	0	190
	変形菌類	0	2
	小計	11,631	116,258
地学資料	古無脊椎動物	654	0
	古脊椎動物	320	0
	小計	974	0
合計		23,000	177,680

(5) 館内利用

ア 本館展示

① 特別展「バラのすべて～All about Roses～」

資料系	資料名	点数
植物資料	植物標本	4
人文資料	「西本願寺本 万葉集」(影印本)	1
人文資料	吉澤貞一マッチラベルコレクション 一式	1
特殊資料	レンスコークコレクション	2
特殊資料	カーチス植物学雑誌	15
特殊資料	植物洋書1点、植物和書4点	5
特殊資料	植物ならびに園芸文化史関係の文献、絵画	3
特殊資料	「二口善雄植物画集」より植物画1点、画像7点	8
特殊資料	森啓蔵書	58

図書	ばら花譜	1
写真	二口善雄氏	2

② 夏の展示「うみ鳥つぷ[umi-Trip]-海鳥とめぐる島の旅・半島の旅-

資料系	資料名	点数
動物資料	鳥類剥製標本（ハジロシロハラミズナギドリなど）68点、鳥類複製標本（ズグロカモメなど）7点、鳥類単卵複製標本（シロチドリなど）2点、鳥類骨格標本（オオミズナギドリなど）2点	79
動物資料	哺乳類剥製標本（アカギツネなど）	8
動物資料	爬虫類複製標本（シマヘビ）	1
動物資料	昆虫標本（ミクラミヤマクワガタなど）	2
動物資料	甲殻類標本（コメツキガニ）	1
植物・菌類資料	植物さく葉標本（スベリヒユなど）	3
地学資料	地形模型（マリアナ海溝など）	4
地学資料	北大東島産燐鉱石	1
生態・環境資料	鵜の森カワウ繁殖地の音声資料	1
その他	鵜の森の油絵	1

③ 春の展示「苔松苔梅一春を寿ぐうめのきごけ」（令和3年度に展示したもの）

資料系	資料名	点数
植物・菌類	地衣類標本（ウメノキゴケなど）27点、地衣類樹脂含浸標本（ウメノキゴケなど）11点、地衣類レプリカ1点	39
植物・菌類	苔松2点、松1点、苔梅1点	4
人文	高砂人形、江戸風俗屏風	2

④ 生態園トピックス展「生態園の虫たち」

資料系	資料名	点数
動物資料	昆虫標本（キベリナガアシドロムシなど）161点	161
動物資料	昆虫生態写真（キマダラセセリなど）174点	174
動物資料	クモ類生態写真（チリイソウロウグモなど）30点	30

⑤ 生態園トピックス展「カエル」（令和3年度に展示したもの）

資料系	資料名	点数
動物資料	カエル類液浸標本	2
生態・環境資料	生物音響資料	1

⑥ ミニトピックス展「明治二年奥州出征米国船ハーマン号勝浦沖遭難絵巻」指定記念展

資料系	資料名	点数
人文資料（寄託）	明治二年奥州出征米国船ハーマン号勝浦沖遭難絵巻	1

⑦ ミニトピックス展「珍しいナナフシモドキの雄」

資料系	資料名	点数
動物資料	昆虫標本（ナナフシモドキ雄→アマミトガリナナフシ雄に訂正）	1

⑧ ミニトピックス展「十二支にちなんで-寅年-」

資料系	資料名	点数
動物資料	哺乳類2点、鳥類4点、爬虫類2点、魚類3点、貝類7点、甲殻類1点、多足類2点、昆虫類2点	23
植物・菌類資料	海藻類1点、維管束植物4点、蘚苔類1点	6
地学資料	岩石3点、化石レプリカ2点	5
人文資料	千人針1点、張り子1点、朱印状1点、マッチラベル49点	52

イ 分館展示

① 大利根分館 春の展示「うめ・もも・さくら」

資料系	資料名	点数
植物・菌類資料	ノイバラ標本など	47

② 大多喜城分館 企画展「兜とカブト」

資料系	資料名	点数
動物資料	カブトムシ、クワガタムシを収納した標本箱	8

ウ 行事利用・その他

資料系	資料名	利用方法	対応件数	点数
動物資料	昆虫	閲覧	5	81
動物資料	貝類	行事利用	2	51
動物資料	貝類	閲覧	2	69
動物資料	貝類	同定比較	20	313
動物資料	貝類	その他	2	12
動物資料	哺乳類（鯨類）	行事利用	1	5
動物資料	哺乳類（ニホンジカ頭骨）	閲覧	15	3,000

(6) 学習キットの利用（貸出ほか）

ア 学校等の授業・講座・教材（館行事・講師派遣での利用を含む）

キット名	件数			人数		
	館外	館内	合計	館外	館内	合計
生命と大地の歴史を体感する化石キット	6	1	7	153	5	158
昆虫標本作製キット（国語編）	0	0	0	0	0	0
昆虫標本作製キット（理科編）	0	0	0	0	0	0
人類進化学習キット	1	0	1	40	0	40
校庭の野草観察キット	5	0	5	262	0	262
合 計	12	1	13	455	5	460

イ 展示・紹介・その他（館事業での利用を含む）

キット名	館外（件数）	館内（件数）	合計（件数）
生命と大地の歴史を体感する化石キット	2	1	3
昆虫標本作製キット（国語編）	0	1	1
昆虫標本作製キット（理科編）	0	1	1
人類進化学習キット	1	1	2
校庭の野草観察キット	1	0	1
合 計	4	4	8

5 保存環境の整備等

(1) 環境調査

生物生息調査（トラップ調査）	粘着トラップを設置し、捕獲した生物の同定・個体数を集計した。資料に影響を及ぼす生物を発見した場合は、発生源を特定し排除した。
	実施回数：4回
	調査区域：全館
温湿度測定	トラップ数：各回226個
	自記温湿度計：収蔵庫10カ所・歴史展示室4カ所・閲覧コーナー1カ所 データロガー：企画展示室3カ所、収蔵庫1カ所、図書室1カ所、野鳥観察舎1カ所

(2) 清掃

収蔵庫の定期清掃	各収蔵庫2回実施
収蔵庫の清掃委託	実施なし

(3) 燻蒸・殺虫・殺菌

収蔵庫の燻蒸	実施なし
燻蒸釜の運転（殺虫・殺菌）	実施回数：14回
	使用薬剤：酸化エチレン（商品名：エキヒュームS）
	保守点検：令和4年3月28日実施
低温処理（冷凍庫）による殺虫	常時運転
高温処理（乾燥機）による殺虫	常時運転

(4) 施設・設備の改善 実施なし

6 図書の利用

(1) 館職員利用

ア 貸出冊数 789 冊

(2) 来館者利用

コロナ対策のため、閲覧コーナー・体験学習室での図書公開、閉架図書の出納サービス及び複写サービスを休止した。

(3) 資料保全

ア 館内修理 5 冊

第2 大利根分館

1 資料の登録

(令和4年3月31日現在)

分野		年間増加分	総登録点数	情報システム 総登録点数
人文資料	民俗資料	0	4,869	2,231
	歴史（古文書）	0	12,612	
	考古（埋蔵文化財）	0	206	
	文字・絵画（絵葉書）	0	593	
	小計	0	18,280	
自然資料	動物・地学	-3 ※借用資料を返却したため	265	263
合 計		-3	18,545	2,494

2 資料の収集

(1) 資料収集点数

種別	点数
寄附	0
寄託	0
借用（長期）	-3

種別	点数
保管換え	0
館員による収集	0
合計	-3

3 資料の寄託・借用

(1) 寄託

ア 更新

資料系	資料名	点数	寄託者
地学資料	ナウマンゾウ・クジラの化石	2	成田市
古文書	三区用水関係文書	20	三区
古文書	山来家文書	2,127	個人
古文書	寺田家文学資料	447	個人
古文書	寺内区有文書	15	寺内区
古文書	十六島図	1	香北土地改良区
古文書	船板図	20	個人
古文書	鷗崎区有文書	34	鷗崎区
絵画	涅槃図	1	大貫山興福寺
歴史資料	和同開珎	1	野田稲生大神社総代

(2) 借用（常設展）

ア 返却

資料系	資料名	点数	寄託者
自然	翼竜復元模型・トンボ化石・巨大トンボ メガネウラ化石（レプリカ）	3	航空科学博物館

イ 更新

資料系	資料名	点数	寄託者
歴史資料	黒田家文書	8	個人
歴史資料	板碑	2	惣持院
歴史資料	板碑	1	個人
歴史資料	木造阿弥陀如来坐像	1	西福寺
歴史資料	水戸御用札ほか	2	個人
歴史資料	多田造船舟大工道具	1	個人

埋蔵文化財	丸木舟	1	匝瑳市教育委員会
埋蔵文化財	阿玉台北遺跡出土土器・炭化米・石製浮子・石錘・土器片錘	17	千葉県立房総のむら指定管理者(公財)千葉県教育振興財団
埋蔵文化財	馬場遺跡・東野遺跡・多田遺跡・鵜崎貝塚・取香和田戸遺跡出土遺物	74	千葉県教育委員会
埋蔵文化財等	城山第5号前方後円墳出土人物埴輪・大六天遺跡・織幡ササノ倉遺跡出土土器・プロペラ・河童図	42	香取市教育委員会

(3) 借用 (企画展)

ア 企画展「ちばらきー千葉県と茨城県の境ー」

資料名	点数	寄託者
香取神宮古神宝類 銅鏡「神号鏡」ほか	2	香取神宮
香炉形顔面付土器、注口土器	2	良文貝塚史跡保存会
吉原三王遺跡出土墨書土器	38	千葉県教育委員会
土師器 椀 神野向遺跡 墨書「神宮」ほか	17	鹿嶋市文化スポーツ振興事業団
扇島水神社棟札	14	扇島第一・第二区

イ 夏休み展示「躍進の佐原ー新聞記者の見た戦前の暮らしと世相ー」

資料名	点数	寄託者
写真アルバム「躍進の佐原」	12	香取市教育委員会
松井天山「千葉県佐原町鳥瞰」	1	千葉県立中央図書館

4 資料の利用

(1) 資料利用点数

種別	件数	点数
閲 覧	0	0
撮影・複製	2	20
貸 出	0	0

種別	件数	点数
デジタル情報の複製	11	14
館内利用	5	506
合 計	18	540

※一式を1点とカウントした

(2) 閲覧・撮影・複製・デジタル情報の複製・貸出

利用方法	資料名	点数	施行先
撮影	山口家文書 No. 531	19	個人
撮影	河童図	1	茨城新聞社鹿嶋支社
デジタル情報の複製	かまど (画像)	1	(株)ア・プリオリ
デジタル情報の複製	火熨斗 (画像)	1	株式会社キャデック
デジタル情報の複製	しょうゆ樽を積んだ高瀬船(画像)	1	(株)テレビマンユニオン
デジタル情報の複製	しょうゆ樽を積んだ高瀬船(画像)	1	(株)極東テレビ
デジタル情報の複製	しょうゆ樽を積んだ高瀬船(画像)	1	(株)童夢
デジタル情報の複製	しょうゆ樽を積んだ高瀬船(画像)	1	NEXT KEY
デジタル情報の複製	しょうゆ樽を積んだ高瀬船(画像)	1	千葉市教育委員会学校教育部教育指導課
デジタル情報の複製	しょうゆ樽を積んだ高瀬船(画像) ほか	3	霞ヶ浦問題協議会
デジタル情報の複製	収蔵品展展示風景 (画像)	1	千代田区地域振興部国際平和・男女平等人権課
デジタル情報の複製	水郷地方の稲作りパネルなど	2	農事組合法人多古町旬の味産直センター
デジタル情報の複製	ブクリョウ突き 画像	1	千葉菌類談話会

(3) 資料の館内利用 (主催事業での利用)

ア 館内展示

展示名	資料名	点数
企画展「ちばらきー千葉県と茨城県の境ー」	赤松宗旦 佐原村分間絵図、山来家文書 (寄託資料) など	25
春の展示「うめ・もも・さくら」	和菓子木型 (梅鉢)、黒漆盆、重箱など	5
夏休み展示「躍進の佐原ー新聞記者の見た戦前の暮らしと世相ー」	写真パネル 226 点、現物資料 (暖気樽ほか) 61 点、年表 1 点	288
収蔵品展「古い道具と昔の暮らし」	井戸ポンプなど	185

イ 館外展示

展示名	資料名	点数
本館春の展示「苔松苔梅ー春を寿ぐうめのきごけ」	着物見本帳 2 点、五月人形	3

第3 大多喜城分館

1 資料の登録

(令和4年3月31日現在)

分野		年間増加分	総登録点数	情報システム 総登録点数
歴史・民俗資料	歴史	-1	842	1,020
	生活	-27	350	
	芸術	0	1	
	宗教	0	53	
	文学	0	18	
	古文書	0	294	
	考古	0	9	
	その他	0	424	
合計		-28	1,991	1,020

2 資料の収集

(1) 資料収集点数

種別	点数
購入	0
寄附	0
寄託	-28
借用(長期)	0

種別	点数
保管換え	0
仮保管	0
館員による収集	0
合計	-28

※マイナスは、資料の返却による

3 資料の寄託・借用

(1) 寄託

ア 返却

資料名	点数	寄託者
短刀(正直)	1	個人
万祝(鶴亀) など	27	九十九里町

イ 更新

資料名	点数	寄託者
袴 など	23	個人
木造薬師如来坐像 など	2	青龍寺
上総国伊北荘山中郷御繩打水帳 など	10	堀之内区
絵馬 など	6	広厳院観音堂
善光寺参詣絵馬 など	3	宗教法人 清水寺
奉納額 など	3	船子八幡神社
西畑の内平沢村坪入改帳 など	6	妙厳寺
大多喜城残置武具覚 など	136	個人
脇差(豊永行秀鍛之) など	2	個人
紺糸威桶側胴具足(覆輪兜付) など	2	個人
沢瀉紋銭紋散刀筒 など	3	個人
芝居絵	1	個人
額(熊野神社遷宮額)	1	小佐部区長
短刀(関住兼氏) など	2	個人
木札 など	4	個人
槍(銘 藤原国重作)	1	個人
総房軍記・全 など	20	個人
中瀧城跡出土遺物	1	立教大学考古学研究会中瀧城址調査団
新堀区有文書	1	新堀町会
房総志料 など	2	個人
熊野観心十界図	1	宝聚院
紺糸威伊予札二枚胴具足 など	6	個人
刀(平安城住大隅守平広光) など	12	個人
大河内信敬油絵 など	2	八幡神社
古文書 など	3	個人

資料名	点数	寄託者
刀(無銘) など	9	個人
百万遍講中道具 など	2	個人
鎧通し など	13	個人
松平正和書	1	個人
四季豊年図	1	個人
刀(人見神社御神刀・長旨作)	1	人見神社
太刀(波平吉安) など	3	個人
藁箆笥 など	8	個人
蒋介石総統扁額 など	2	個人
袴	2	個人
俳句帳 など	20	個人
銭箱	1	個人
段替胴腰取具足(日根野頭形兜付)	1	個人
紫糸威連山頭桶側胴具足(桃形兜付) など	2	個人
陣笠	1	個人
三ツ葉葵紋付宇瓦	1	紺屋区観音寺
木造大日如来坐像 など	9	猿橋区
大多喜御在城私宅江殿様入れられ候節の覚書 など	7	個人
紺糸威仏胴具足(小星兜付) など	316	大多喜町長
紺糸菱綴桶側胴具足(覆輪筋兜付) など	5	神明神社
色々威腹巻(筋兜付) など	38	玉前神社
古文書 など	3	個人
染付土瓶 など	6	個人
白磁製マリア観音像	1	下大多喜台区
木造僧形坐像(院廣 銘) など	48	応徳寺
短刀(氏貞・白鞘入り) など	2	個人
古書籍 など	2	個人
光福寺八代華徳院日妙曼荼羅	1	個人
松平家紋所付御膳 など	20	圓照寺
刀(無銘) など	10	薬王寺
刀(無銘) など	2	白子神社
太刀(大和國住包永)	1	個人
遠山金四郎景元公肖像画 など	2	遠山講
刀 など	2	個人
正質公・みね(金へんに丘)子夫人合作軸 など	3	個人
勝海舟扁額	1	大多喜町立大多喜小学校長

(2) 借用(長期)

ア 更新

資料名	点数	借用先
松平正質筆驚図 など	6	個人
梅徳筆 梅図掛図 など	14	個人
紙本著色本多忠勝画像など	3	良玄寺
屏風 など	6	個人
キリシタン禁制 など	2	個人
萌黄糸威素懸二枚胴具足(小星兜付)	1	個人
黒糸肩裾取威胴丸(兜・小具足付) など	3	個人
鱧口	1	法華寺
火縄銃 など	2	個人
鉄砲所持許可鑑札 など	3	個人
紺糸威鉾綴桶側胴具足(十六間筋兜付)	1	個人
朽葉糸威素懸胴具足(頭形兜付) など	11	個人
本多家御膳 など	10	東長寺
鋸鍛冶道具	1	個人

(3) 借用（企画展示）
ア 企画展「兜とカブト」

資料名	点数	借用先
銀箔押張懸兎耳形兜	1	国立歴史民俗博物館
鉄一枚張南蛮鎖兜	1	国立歴史民俗博物館
鉄六枚張桃形前付伏蝶兜	1	国立歴史民俗博物館
二葉葵張懸兜	1	国立歴史民俗博物館
唐冠形兜	1	国立歴史民俗博物館
鉄八枚張椎形眼鏡付兜	1	国立歴史民俗博物館
黒漆塗置手拭張懸兜	1	国立歴史民俗博物館
鉄三枚張峯界形張懸兜	1	国立歴史民俗博物館
黒漆塗一ノ谷張懸兜	1	国立歴史民俗博物館
黒漆塗輪異形張懸兜	1	国立歴史民俗博物館
『武具訓蒙図彙』	1	国立歴史民俗博物館
カブトクラゲ（写真）	1	個人
キタカブトクラゲ（写真）	1	個人

4 資料の利用

(1) 資料利用点数

種別	件数	点数
閲 覧	0	0
撮影・複製	0	0
貸 出	2	3

種別	件数	点数
デジタル情報の複製	18	20
館内利用	4	97
合 計	24	120

※一式を1点とカウントした

(2) 閲覧・撮影・複製・デジタル情報の複製・貸出

利用方法	資料名	点数	施行先
貸出	短刀	1	千葉県立現代産業科学館
貸出	いすみ市作田地先出土須恵器・鉄製灯籠	2	いすみ市郷土資料館
デジタル情報の複製	大薙刀	1	(株)美和企画
デジタル情報の複製	紙本著色本多忠勝	1	(株)千代田ラフト
デジタル情報の複製	紙本著色本多忠勝	1	(有)キャップストーン
デジタル情報の複製	紙本著色本多忠勝	1	(株)テレビ朝日
デジタル情報の複製	赤絲威大鎧	1	戎光祥出版株式会社
デジタル情報の複製	紙本著色本多忠勝	1	(公財)日本武道館
デジタル情報の複製	紙本著色本多忠勝	1	(株)平凡社
デジタル情報の複製	大多喜城外観(春・夏)	2	otomo 株式会社
デジタル情報の複製	萌黄威胴丸	1	(株)NHK エンタープライズ 第4制作センター ドラマ部
デジタル情報の複製	紙本著色本多忠勝	1	東海テレビ放送株式会社
デジタル情報の複製	紙本著色本多忠勝・大多喜城外観	2	(株)コミュニティネット
デジタル情報の複製	紙本著色本多忠勝	1	(株)八木書店出版部
デジタル情報の複製	大多喜城外観	1	(株)造形社
デジタル情報の複製	紙本著色本多忠勝	1	東京メトロポリタンテレビジョン株式会社
デジタル情報の複製	紙本著色本多忠勝	1	(株)ABC アーク
デジタル情報の複製	大多喜城外観	1	(株)プランジスタ
デジタル情報の複製	赤絲威大鎧	1	横浜市歴史博物館
デジタル情報の複製	大多喜城外観(春)	1	(株)テレビ朝日

(3) 資料の館内利用（主催事業での利用）

ア 館内展示

展示名	資料	点数
企画展「兜とカブト」	歴史	26
	古文書	4
収蔵資料展「古文書にみる近世の大多喜」	古文書	13
特別公開「赤羽刀」	歴史	13
常設展「房総の城と城下町」※	歴史	35
	古文書	4
	生活	1
	文学	1

※展示資料を変更

第4 分館海の博物館

1 資料の登録

(令和4年3月31日現在)

分野		年間増加分	総登録点数	情報システム 総登録点数
動物資料	海綿動物	7	320	0
	刺胞動物	20	9,777	845
	環形動物	21	2,278	618
	貝類	1,352	16,873	112
	頭足類	2	270	108
	甲殻類	30	2,888	797
	棘皮動物	70	1,829	179
	その他	17	546	52
	魚類	124	15,111	3,231
	動物資料小計		1,643	49,892
植物資料	種子植物	0	73	73
	藻類	85	8,186	5,500
	植物・菌類資料小計	85	8,259	5,573
画像資料	写真	0	12,215	0
	動画	0	1,577	0
	画像資料小計	0	13,792	0
資料合計		1,728	74,073	11,515
図書・雑誌資料	図書・雑誌(冊数)	0	2,130	0
合計		1,728	74,073	11,515

2 資料の収集

(1) 資料収集点数

種別	点数
購入・製作委託	0
寄附	0

利用方法	点数
保管換え	0
館員による収集	1,728
合計	1,728

(2) 内訳(館員による収集)

資料系	資料名	点数
動物資料	海綿動物	7
	刺胞動物	20
	環形動物	21
	貝類	1,352
	頭足類	2
	甲殻類	30
	棘皮動物	21
	その他	17
	魚類	124
	小計	1,653
植物資料	種子植物	0
	藻類	85
	小計	85
映像資料	写真	0
	動画	0
	小計	0
図書資料	図書・雑誌等	0
合計		1,728

3 資料の借用

(1) 常設展示の借用 該当なし

(2) 企画展示資料の借用

ア マリンサイエンスギャラリー「千葉県のエビ・カニ大集合」

該当なし

イ 収蔵資料展「イカ展」

該当なし

4 資料の利用

(1) 資料利用点数

種別	件数	点数
閲覧	0	0
撮影	0	0
展示用標本の貸出	1	8
研究用標本の貸出	5	32

種別	件数	点数
映像資料の貸出	6	20
標本の複製	0	0
標本データの提供	0	0
館内利用	2	224
合計	15	286

※一式を1点と算出

(2) 内訳（展示用標本の貸出）

資料名	点数	利用者
海藻標本	3	袖ヶ浦市郷土博物館
魚類・鳥類剥製	3	袖ヶ浦市郷土博物館
模型	2	袖ヶ浦市郷土博物館

(3) 内訳（研究用標本の貸出）

資料名	点数	利用者
刺胞動物乾燥標本	5	日本造礁サンゴ分類研究会
刺胞動物液浸標本	5	東京大学大気海洋研究所 国際沿岸海洋研究センター
多毛類液浸標本	15	名古屋大学・菅島臨海実験所
甲殻類液浸標本	6	京都大学フィールド科学教育研究センター 舞鶴水産実験所
ホヤ類液浸標本	1	個人

(4) 内訳（映像資料の貸出）

資料名	点数	利用者
イッカク全身骨格写真	1	(株) ネクサス
アマミホシゾラフグとミステリーサークルの写真	10	FM サウンズ
紅藻オゴノリ、ツルシラモの写真	2	文部科学省初等中等教育局
チチュウカイミドリガニの写真	1	袖ヶ浦市郷土博物館
アマモ場、海苔収穫の写真	2	袖ヶ浦市郷土博物館
ハコフグの写真	1	千葉県科学館
アマミホシゾラフグとミステリーサークルの写真	3	(株) リバネス

(5) 内訳（館内利用）

展示名	資料名	点数
マリンサイエンスギャラリー「千葉県のエビ・カニ大集合！」	根鰓亜目（クルマエビ類）	5
マリンサイエンスギャラリー「千葉県のエビ・カニ大集合！」	抱卵亜目・オトヒメエビ下目	2
マリンサイエンスギャラリー「千葉県のエビ・カニ大集合！」	抱卵亜目・コエビ下目	18
マリンサイエンスギャラリー「千葉県のエビ・カニ大集合！」	抱卵亜目・ザリガニ下目	3
マリンサイエンスギャラリー「千葉県のエビ・カニ大集合！」	抱卵亜目・イセエビ下目	7
マリンサイエンスギャラリー「千葉県のエビ・カニ大集合！」	抱卵亜目・アナエビ下目	1
マリンサイエンスギャラリー「千葉県のエビ・カニ大集合！」	抱卵亜目・異尾下目（ヤドカリ類）	18
マリンサイエンスギャラリー「千葉県のエビ・カニ大集合！」	抱卵亜目・短尾下目（カニ類）	32
マリンサイエンスギャラリー「千葉県のエビ・カニ大集合！」	写真	54
マリンサイエンスギャラリー「千葉県のエビ・カニ大集合！」	編集動画	2
収蔵資料展「イカ展」	液浸標本（頭足類）	32
収蔵資料展「イカ展」	乾燥標本（頭足類）	5
収蔵資料展「イカ展」	拡大カメラ用標本（スルメイカの歯舌）	1
収蔵資料展「イカ展」	生体（ヒメイカ）	1
収蔵資料展「イカ展」	写真（ダイオウイカほか）	42
収蔵資料展「イカ展」	編集動画（ユウレイイカ）	1

5 保存環境の整備等

(1) 環境調査

生物生息調査（トラップ調査）	粘着トラップを設置し、捕獲した生物の同定・個体数を集計した。資料に影響を及ぼす生物を発見した場合は、当該部屋管理責任者に注意を喚起した。
	実施回数：12回
	調査区域：全館
	トラップ数：各回20個
温湿度測定	自記温湿度計：乾燥収蔵庫1カ所

(2) 清掃

乾燥収蔵庫の定期清掃	週1回実施
液浸収蔵庫の定期清掃	週1回実施
大型標本庫の定期清掃	年3回実施

(3) 燻蒸

※隔年のため今年度は実施せず

Ⅱ 調査研究

第1 本館

1 研究課題

(1) 重点研究

ア 下総台地東部の自然

【担 当】萩野康則（代表者）・斎木健一・水野大樹・平田和弘・天野誠・御巫由紀・西内李佳・山本伸子・原田浩・坂田歩美・古木達郎・大野将史・黒住耐二・尾崎煙雄・斉藤明子・伴光哲・樽宗一朗・岡崎浩子・八木令子・吉村光敏・千葉友樹・奥田昌明

【研究内容】下総台地東部において植物・菌類のフロラ調査や生態学的調査、昆虫を含む動物のファウナ調査や生態学的調査、地学分野の地形・地層・化石調査などを行うことで、この地域の自然誌分野の基礎的な知見と資料（登録標本含む）を増大させるとともに、生物相の多様性と特異性や、地質の特性を明らかにする。

【年度実績】

「昆虫のファウナ調査」尾崎煙雄・斉藤明子・伴光哲

昆虫調査を3回行い、採集された約100個体を標本化した。うち1種は県内から近年の採集記録が少ない種であったため、記録を短報として投稿した。

「下総台地東部の多足類・クモ類相調査」萩野康則

成田市、香取市、多古町の計6地点の森林で土壌資料を採取し、その中に生息する土壌動物を抽出装置で採集した。この6地点を含む15地点分の土壌動物から多足類とクモ類を選別し、クモ類については専門家に同定を依頼した。

「新生代以降の現生を中心とした貝類相の追加調査」黒住耐二

現地調査は横芝光町と印西市で実施した。これまでの調査によって銚子地域で得られた標本も用いて、2冊の貝類図鑑を執筆した。下総台地の化石貝類が含まれている提供標本群を検討・登録した。

「地域植物相の調査」水野大樹・平田和弘・天野誠・御巫由紀・西内李佳・山本伸子・斎木健一

旭市において、市域を約1km²のメッシュに分け、メッシュ毎に出現した植物を記録している。令和3年度は、13回の調査で65メッシュの調査を行い、約400点の標本を採集した。そのうち、112点を同定して仮登録した。

「下総台地東部の蘚苔類相調査」古木達郎

県立房総のむらで追加調査を実施し、稀産種ミゾウキゴケを含む15種を確認した。

「下総台地東部の地衣類相調査」原田浩・坂田歩美

成田山公園と周辺において昨年度収集した150点の同定作業を進め、55種（仮同定を含む）を同定した。また、香取神宮の地衣類相調査を実施した。

「下総台地東部の大型菌類相調査」大野将史

千葉県立房総のむらで採集された大型菌類について目録を作成した。これまで約35年間に収集した2833件の標本及び記録をもとに目録を作成し、合計321種の大型菌類が産することが明らかとなった。この中には、今回国内初記録となるコキララダマシ *Coprinellus xanthothrix* が含まれる。また過去に採取、標本化できていなかったキヒラタケ、ヒラタケ、ヌルダタケ、ツノマタタケを含む128点の標本を登録することができた。

「下総層群の貝化石調査」千葉友樹

茨城県鹿嶋市で露頭表面から貝化石を採集した。ベニサラガイ、エゾバイ、オシドリネリガイなどの千葉県内の下総層群ではあまり産出しない種が得られた。

「牛久-東金崖線の地形」八木令子・吉村光敏

令和4年度トピックス展「五百沢智也氏が描いた房総の風景」で、大網白里の崖線沿いを描いた「昭和の森・大網白里町付近鳥瞰図」を展示する。そのため一般向けに、「牛久-東金崖線地形」を説明するパネルや地図などを作成している。

「下総台地の地層（下総層群）調査」岡崎浩子

下総台地との対比のために連続して分布する鹿島台地の調査を行い、ドローンによる下総層群の写真を25枚撮影した。また飯岡台地を調査し、漂着軽石を20個採取した。

「下総台地東部の表層花粉調査」奥田昌明

下総台地の自然植生と空中花粉の関係を明らかにする基礎資料として、昨年度に引き続き、東総台地から4社寺林を選び出し、31点の表層花粉試料を分析した。このうち成田市台方の麻賀多神社などから採取した試料15点が極めて良好な状況だったので、永久プレパラートに封じて中央博物館の微化石標本として登録した。

イ 「房総のお浜降り習俗」の歴史・民俗学的研究

【担 当】小林裕美（代表者）・秋山笑子・本吉正宏・米谷博

【研究内容】海にかこまれた房総では、神輿を海岸に巡行させるお浜降りの祭礼が広く行われている。その分布と各祭礼の神事・神輿巡行・付随する芸能などの詳細を調査し、さらに祭礼組織等の歴史的・民俗的調査を行い分析することにより、本県における神輿祭礼の特色をあきらかにし、日本の祭礼文化史に位置付けることを課題としている。

【年度実績】県内各地のお浜降り行事について、歴史・民俗資料の調査を進めた。その成果をお浜降りセミナーとして紹介した。

第1回 本館講堂 12月12日(日) 22名参加。

第2回 県立東部図書館研修室 1月30日(日)24名参加(県立東部図書館との共催事業)。

ウ 古写真を用いた県内の景観変遷の解析

【担 当】 小田島高之(代表者)・島立理子・八木令子・山本伸子・小出麻友美(共同研究員)

【研究内容】 古写真や古絵葉書は過去の景観を知るためのツールとして有効である。当館は昭和中期の林辰雄写真コレクションや昭和中期～平成期の吉野写真コレクション、明治期から昭和期の古絵はがき菱田古絵葉書コレクションを所蔵している。これらの古写真資料を地理学、民俗学、地形学、動物学、植物学など様々な視点から解析し、現在の景観と比較することでその変遷を解明する。

【年度実績】 研究成果の公開として昨年度末(3月23日)から5月30日までの日程で収蔵資料展「ノスタルジック・ポストカード」と題する展示を行った。それぞれの展示の中で古写真や古絵葉書を現在の景観写真と比較することにより、過去の景観を知るためのツールとして古写真や絵葉書が有効であることを示した。展示内容は同名のデジタル・ミュージアムのコンテンツとしても配信を行っている。

(2) 地域研究

ア 地球誌系(房総の大地から探る地球の歴史/房総半島南部の大地の動きをさぐる/房総丘陵の地誌・地形・地質と生物と人のくらしの関連性)

① 房総半島嶺岡帯の地質構造の解明

【担 当】 高橋直樹

【研究内容】 嶺岡帯は無数の断層が発達したきわめて複雑な地質構造を持っている。詳細な現地調査を実施するとともに、構成岩石の岩石学的特徴の検討を加えて、これらの地質構造を明らかにする。

【年度実績】 嶺岡帯で特徴的に産出する蛇紋岩は地元を中心に墓石や石碑などの石造物に使用され、その数はおそらく数1000基に上るとみられることが判明した。蛇紋岩は露頭では剪断破碎した産状を示すが、石材として使用されている岩塊は長径数10cm～2m程度のサイズを持つことから、剪断を免れた比較的大型のブロックが幅広く存在することが推定された。

② 房総半島の無脊椎動物化石相

【担 当】 加藤久佳

【研究内容】 房総半島の第四系から産出する無脊椎動物、とくに十脚甲殻類化石資料を重点的に収集し、国内各地の既知のデータと比較検討する。

【年度実績】 県内の下総層群および完新統産の、断片化した十脚甲殻類化石の分類・同定を進めた。その他、完新統の石灰質ノジュールに包含されるカニ化石について、愛知・大阪の資料との比較を行った。

③ 房総半島の軟体動物化石相

【担 当】 伊左治鎮司

【研究内容】 房総半島から産出する軟体動物化石について、地域や地層ごとに、化石群集を構成する代表的な分類群を調査し、そのコレクションを充実させる。

【年度実績】 下総層群藪層及び銚子層群君ヶ浜層から産出した軟体動物化石122点を情報システムデータベースに登録し、全ての資料のデータと付随画像を公開した。

④ 房総半島の地層の堆積環境の復元

【担 当】 岡崎浩子

【研究内容】 房総半島はそのほとんどが新生代の地層からできており、この時代の日本の模式地層として位置づけられている。したがってその地層の形成時の堆積環境を復元することは、房総半島の成り立ちおよび日本列島の成り立ちを解明する上で大変重要である。この堆積環境の復元を、堆積相解析を用いて地域ごとに行う。

【年度実績】 千葉県飯岡台地の香取層の堆積相解析から香取層は沿岸から海浜、河川の堆積相からなり、約10-8万年前に飯岡台地周辺では現在の九十九里平野と同じように海岸平野が徐々に沖合に前進していたことが明らかになった。その成果を国際誌に投稿した。

⑤ 房総半島の脊椎動物化石相

【担 当】 丸山啓志

【研究内容】 房総半島に分布する地層から、ナウマンゾウなどの陸棲哺乳類や、アワイルカなどの海棲哺乳類のような多種多様な脊椎動物化石が産出する。この化石記録から地質時代の房総半島における脊椎動物相の変遷を明らかにする。

【年度実績】 採集や提供で収集した試料のクリーニングを行い、標本化・登録を進め、公表する準備を進めた。また、チバニアン期を代表するナウマンゾウのタイプ標本について、X線CTで内部構造を検討し、国際学会で発表した。

⑥ 房総周辺の花粉・環境誌

【担 当】 奥田昌明

【研究内容】 2020年1月のチバニアン採択にともない、現地では更なる研究成果が期待されている。本研究課題では、市原市田淵の千葉セクションに対して花粉化石にかかる再分析を行い、申請段階では詰め切れなかった詳細なMIS 19の古気候復元を行った後、MIS 1の古気候状態と比較する。

【年度実績】昨年度に引き続き、市原市田淵の千葉セクション（チバニアン露頭）の花粉分析をおこなった。分析点数は200点を超えているが、絶滅群の同定に一部変更が生じたために、昨年以前に分析した試料については全てのデータを取り直し、劣化したプレパラートについても作り直した。

⑦ 房総半島における水利用に関する研究

【担 当】小田島高之

【研究内容】川回しや上総掘り、二五穴等の房総半島に特徴的な水利用について、それら分布や変遷を調査する。

【年度実績】小櫃川流域地域の二五穴や上総掘りの井戸の分布の調査を行った。

⑧ 房総丘陵を水源とする河川流域の地形誌

【担 当】八木令子・共同研究員

【研究内容】房総半島南部の隆起や岩質を反映した河川の地形発達、川廻しなどの人工改変地形を調査し、房総丘陵を水源とする河川流域の地域特性を明らかにする。

【年度実績】房総丘陵を水源とする小糸川流域の最終氷期以降の段丘面の分布と編年について、補足調査を行い、令和4年度の中央博紀要に投稿する予定で準備を進めている。また調査結果を基に、房総の山の観察会を実施した。この他房総丘陵や河川流域で見られる特徴的な地形景観や、自然と人間とのかかわりを記録し、房総の山のフィールド・ミュージアムの教室博日記などで発信した。

⑨ 千葉県に生息するタゴガエルの産卵場所に関する環境地質学的研究

【担 当】大木淳一

【研究内容】タゴガエルの産卵場所および越冬場所である湧水箇所を環境地質学的に解明する。

【年度実績】館山市と南房総市でタゴガエルの産卵場所を新たに10地点見出し、その湧水箇所について地質学的な記載を行った。

⑩ 千葉県で観測される蜃気楼の発生メカニズムに関する基礎研究

【担 当】大木淳一

【研究内容】千葉県で観測される蜃気楼の発生状況を調査し、発生メカニズムを地形学及び気象学的側面から明らかにする。

【年度実績】九十九里町に定点カメラを設置し24時間観測態勢を確立した。令和3年度は60日以上、上位蜃気楼を捉えることに成功し、日本有数の上位蜃気楼観測地であることが判明してきた。

⑪ 房総半島の最終氷期以降の植生変遷

【担 当】西内李佳

【研究内容】最終氷期（主に2～3万年前）から現在にかけての房総半島の植生変遷を、特に照葉樹林の拡大と針葉樹の衰退に着目して、花粉や葉、種実の化石から明らかにする。

【年度実績】房総半島南部の最終氷期末期以降の照葉樹林の拡大過程を明らかにするため、南房総市で採取した過去約1万年間の年代を示すボーリングコアの花粉分析を進めている。また、房総半島南部の河川にて露頭調査を行い、葉や種実化石の分析を進めている。

⑫ 房総の地層学

【担 当】千葉友樹

【研究内容】房総半島の地層を構成する堆積物（砂、泥、貝化石など）や縞模様の観察を通して、当時の環境や生物と環境との関わりを明らかにする。

【年度実績】房総半島に分布する下総層群、沼層と八幡層を調査した。下総層群については、定量試料に含まれる貝化石の同定を引き続き進めた。研究費獲得のための申請書を作成し、藤原ナチュラルヒストリー振興財団の学術研究助成に採択された。沼層と八幡層については、良好な露頭を発見し、露頭写真の撮影、堆積物試料と貝化石の採取を行った。

イ 生命誌系

(ア) 房総の分類学的多様性の特徴とその保全

① 房総の土壌動物誌

【担 当】萩野康則

【研究内容】房総に生息する多種多様の土壌動物について文献調査と採集を行い、詳細な文献リストと生息種リストを作成し、生息種の標本を収集する。

【年度実績】H27年度に発表した「千葉県産土壌動物リスト I. 有翅昆虫を除く動物群」の続編となる「千葉県産土壌動物リスト II. 有翅昆虫類」とりまとめのため、その後発表された採集記録の整理を行った。また、これまでに判明している県内の土壌動物の知見について、千葉学講座で発表した。

② 房総の甲殻類誌

【担 当】駒井智幸・村田明久

【研究内容】房総半島とその周辺海域に出現する甲殻類相の解明を行い、未記載種、国内未記録種（外来種を含む）の公表を随時進める。

【年度実績】コロナ禍により、野外調査はできなかった。これまで収集した標本資料の検討を行った。南房総市沖で採集された標本に基づき、テングクモエビ属の新種 *Uroptychodes fuscilineatus* (ヨツスジテングクモエビ) を記載し

た。千葉市からカワリヌマエビ属の新たな外来種を記録した。鋸南町沖で採集されたマメヘイケガニ属が未記載種であることが判明し、論文を準備中である。

③ 房総の貝類誌

【担 当】黒住耐二

【研究内容】房総半島にどのような貝類が第四紀以降生息しており、それが人間活動を含めた環境変化に対して、どのように変遷し、また人間にどのように利用されてきたか等について調査する。

【年度実績】今年度は、我孫子市の縄文貝塚・下ヶ戸貝塚の微小貝を中心とした貝類と千葉市等の東京湾沿岸の近世~現代の貝灰生産に関する報告を行った。また、これまでに収集した標本の分類学的な検討を加えて、千葉県産の種を多数掲載した貝類図鑑を研究のまとめとして一般書店から出版することができた。更に貝塚の希少な外房地域において、これまで自然貝層と認識されてきた貝層の資料を採取し、縄文貝塚である可能性を検討している。

④ 房総の哺乳類誌

【担 当】宮川尚子

【研究内容】千葉県内に生息する哺乳類に関して、標本の収集と文献調査を行い、分布や生息状況を明らかにする。

【年度実績】千葉県内のロードキル個体と死体を2体拾得。2011年以降約10年分の千葉県内に座礁した海清哺乳類の情報を収集するとともに2021年度に座礁した9体から標本を採取した。

⑤ 房総の魚類誌

【担 当】宮 正樹・共同研究員

【研究内容】千葉県沿岸に生息する魚類を網羅的に収集し、種組成や生態などを明らかにするとともに、DNA種判定のための組織片を採取する。また、2017年度8月から続けてきた房総半島南部11測点における環境DNA隔週調査を、月別調査に変更して引き続きモニタリングを継続する。本年度はその第70~82回目の調査を行う。

【年度実績】千葉県産魚類388個体を収集し情報システムに登録するとともに、組織を採取しDNAを抽出した。抽出DNAから環境DNA検出に用いるMiFish領域の塩基配列を決定した。房総半島11地点の月別採水を計12回行い現在環境DNAメタバーコーディング法による実験を進めている。また、5月に上げ潮と下げ潮で環境DNAで検出される魚類群集に違いがあるかどうか検討したところ差がないことを明らかにした。

⑥ 房総丘陵の昆虫・クモ類相

【担 当】尾崎煙雄・大木淳一

【研究内容】「房総三角帯」に属し特有の昆虫およびクモ類が生息する房総丘陵の昆虫・クモ類相を解明する。

【年度実績】東大千葉演習林において2回の調査を実施した。また、その他の山域においても数回の調査を行った。採集した標本の同定、登録の作業を進めている。これまでに東大千葉演習林において採集してきたヨコバイ・ウンカ類の標本のうち整理の完了した445点を情報システム資料データベースに登録した。

⑦ 房総丘陵の両生爬虫類相

【担 当】大木淳一・栗田隆気・尾崎煙雄

【研究内容】千葉県の中でも最も多くの両生爬虫類が生息する房総丘陵の両生爬虫類相を解明し、1kmメッシュ単位の分布図を作成する。また、生態写真も撮影し、博物館活動に役立てる。

【年度実績】安房丘陵でタゴガエルの産卵場所を調査し、12月~2月に産卵を確認したことで、房総丘陵との産卵時期の違いが明らかになってきた。

⑧ 千葉県の甲虫相に関する研究

【担 当】斉藤明子・樽 宗一郎

【研究内容】本研究は、房総地域に生息する昆虫の戸籍簿の作成を目的とするもので、特に、全昆虫の約三分の一の種数を占める甲虫類について千葉県の記録を網羅し、さらに調査を実施して未記録種の発見に努める。

【年度実績】房総丘陵と生態園において甲虫の調査を行い、千葉県初記録種4種等を報告した。昆虫標本1,125点を新規に登録し、3,151点を資料データベースへ登録した。千葉県から記録のある甲虫についてデータベース化を進め、2020年末時点の千葉県産甲虫は3,242種であることを確認した。これら全種について千葉県動物誌以降の文献記録を掲載した「千葉県産甲虫目録2020」を刊行した。

⑨ 千葉県のカメムシ亜目相に関する研究

【担 当】伴 光哲

【研究内容】千葉県内に生息するカメムシ亜目について、県内のファウナの全容解明を目的とした調査を実施する。また、その過程で得られた県内未記録種および未記載種については、記録の報告および分類学的な措置を積極的に行う。

【年度実績】県内各地で調査を行った結果得られた13種のカメムシについて、県内初記録種または県内から記録の少ない注目すべき種として報告を行なった。また、普及的な著作物を2本執筆し、カメムシをはじめとした昆虫について話題を提供した。

⑩ 千葉県の鳥類相に関する研究

【担 当】桑原和之

【研究内容】千葉県を中心とした文献を基礎的資料として、千葉県全域の鳥類相を把握する。期間は3年間を予定している。千葉県全体の鳥類相を知る目的から、はじめに海岸部の鳥類相の状況などを現地調査により可能な限り把握し、過去の文献と比較する。

【年度実績】千葉県北部の鳥類相を知る目的から、夏と冬に旧関宿町周辺の利根川下流域の鳥類相の調査を行った。銃猟が可能な地域では、カモ類などの水鳥類が少ないという傾向が確認できた。

⑪ 房総の維管束植物誌

【担 当】天野 誠・齋木健一・水野大樹・西内李佳・山本伸子

【研究内容】千葉県旭市周辺の維管束植物相を調査し、あわせて標本を収集する。この地域は植物相が豊かであり、過去の記録と照合することで植物相の変遷を知ることができる。

【年度実績】6月1日と7月30日に現地調査をして、約200点の標本を採集し、サルトリイバラ等、112点に標本を同定し、仮登録した。ラベルを打ち出し、貼り付け、現在標本を貼り付け中である。調査地点は、11メッシュである。

⑫ 房総の大型菌類相

【担 当】吹春俊光

【研究内容】千葉県内に生育する大型菌類(きのこ類)について、継続して調査をすすめ、千葉県の菌類誌(戸籍簿)を更新しつづける。

【年度実績】昭和61年(1986年)から大型菌類資料を収集してきた「県立房総のむら」の大型菌類目録を作成し、大型菌類321種(担子菌類・子囊菌類)、変形菌類15種が、県立房総のむらに産することが明らかとなった。この中には、今回国内初記録となる日本新産種コキララダマシ *Coprinellus xanthothrix* が含まれる。

⑬ 房総の蘚苔類誌

【担 当】古木達郎・市民研究員

【研究内容】千葉県内に生育するコケ植物について、分類学的な再検討を行い、併せて分布と生態を記述する。重点地域は継続して下総台地とする。

【年度実績】県内から記録されている希産種の標本や内浦山で採集された標本を再検討し、分布上興味深い種を数種確認した。

⑭ 房総の地衣類誌

【担 当】原田 浩・坂田歩美・共同研究員・市民研究員

【研究内容】千葉県内に産する地衣類の目録を完成するために、野外調査を行うとともに既に収集した標本資料の同定、分類学的検討を行う。また県内における地衣類の分布を明らかにするために、県内各地で調査を行う。市民研究員・共同研究員と協力して実施する。

【年度実績】千葉県新産となる地衣類2種(オオクロボシゴケ、クロウメボシゴケ)を報告し、日本産ヤママンジュウゴケの実体に明らかにする中で君津市産の標本を使用した。フトネゴケとツツジノチャサジゴケについて、県外産標本も含めて分布と形態等について明らかにした。ウメノキゴケ科30種について、これまで収集した標本のリストと分布図を「自然誌資料集第2号」で公表した。その他、共同研究員・市民研究員と協力し、地衣類相調査を実施するとともに、これまでに収集した標本の同定作業を進めた。

⑮ 房総丘陵の維管束植物相

【担 当】尾崎煙雄

【研究内容】希少種の探索を行い、千葉県の中でも特有の植物種を多く擁する房総丘陵の維管束植物相を解明する。

【年度実績】房総丘陵において探索調査を10回以上実施し、アワチドリ(県RDB最重要保護生物)の新たな生育地を確認し、自然誌研究報告に発表した。

(イ) 房総の生態学的多様性の特徴とその保全

① 生態園の生態系変遷に関する研究

【担 当】尾崎煙雄・小田島高之・由良浩・斉藤明子・桑原和之・八木令子・栗田隆気・西内李佳・千葉友樹・林紀男・林浩二・平田和彦・古木達郎・山本伸子・樽宗一郎・吹春俊光・水野大樹・天野誠・宮川尚子・伴光哲

【研究内容】生態園の植物、動物、菌類、水生生物などの生物相を調査し、水質データ、気象データなどとともに長期的に記録を蓄積して、生態園における生態系管理や教育普及に役立てていく。さらに、これらを開園以来の既存のデータや在来の里山における資料とも比較して、都市近郊域における生態系の再生過程を明らかにする。なお、野鳥調査についてはボランティア8名の協力を得て実施する。

【年度実績】生物全般についてほぼ毎日調査し、1,127件以上の観察記録と1,338点以上の写真を収集した。シダ植物15種類を記録し、生態園観察ノートを執筆した。昆虫調査の結果、千葉県初記録のカメムシ類3種、甲虫については千葉県初記録2種、千葉県2例目1種、外来種1種を公表した。哺乳類のカメラトラップ調査、野鳥モニタリング調査、舟田池の水質および生物調査を実施した。気象観測装置により気象データを収集した。

② 北総地域の植物相

【担 当】平田和弘

【研究内容】北総地域については、現在、栄町・印西市・白井市について目視による記録データが比較的充実している。本事業では、3市町を中心とした希少植物の標本の採集と、さらなる北総地域の植物相調査を行う。

【年度実績】印西市・白井市の牧跡地について、季節ごとに目視による調査を行い、貴重種等を中心に251件の標本を採集した。

③ 房総のヒメコマツの保全生態学的研究

【担 当】尾崎煙雄

【研究内容】近年急速に減少している房総丘陵のヒメコマツ個体群について、モニタリング調査を行い、その保全に向けた研究を行う。

【年度実績】元清澄山系、高宕山山系を中心にモニタリング調査を行い、新規加入個体の生育状況を確認した。また、繁殖状況調査、補強試験地、移植試験地のモニタリング調査を実施した。

④ 千葉県におけるナラ枯れ病に関する研究

【担 当】尾崎煙雄・斉藤明子

【研究内容】ブナ科樹木萎凋病（通称：ナラ枯れ）はナラ菌 *Raffaelea quercivora* が感染することによりブナ科樹木が枯死する樹病で、1980年代以降本州日本海側を中心に広葉樹林に大きな被害をもたらしている。我々の調査により2017年8月に千葉県内で初めてナラ枯れを発見した。この菌を媒介する甲虫の1種カシノナガキクイムシの生態を調べ、県内におけるナラ枯れの動向を予測する。

【年度実績】房総丘陵においてナラ枯れ発生状況の調査を行った。また、生態園において探索を行い、新たに42個体の被害木を発見し、枯死木の伐倒燻蒸法、立木燻蒸法による被害拡大対策を講じた。

⑤ 砂浜植物の保護増殖

【担 当】由良 浩

【研究内容】千葉県をはじめとして海岸植物、特に砂浜と塩性湿地の植物は全国的に激減している。千葉県に生育する海岸植物を対象に海岸植物の生態を明らかにし、最適な保護策を考察する。

【年度実績】千葉市内で絶滅が危惧されている、市内産のスカシユリを、現在、増殖のために栽培を試みている。また、サンドブラスティングの測定法の改良も試みた。

⑥ 侵略的外来水生植物の分布・生理・生態に関する研究

【担 当】林 紀男

【研究内容】侵略的外来水生植物の繁茂状況の変遷追跡、および陸水環境における異常繁茂が水生生物に及ぼす生理・生態的な影響などについて検討する。

【年度実績】侵略的外来水生植物の繁茂域モニタリングについて、外房エリアでは九十九里地域、内房エリアでは村田川から小糸川までの繁茂域を調査し、今年度の繁茂拡大の足跡を記録した。

⑦ 房総半島周辺海域における海鳥の分布と生態

【担 当】平田和彦

【研究内容】房総半島周辺海域における海鳥の分布と生態ならびにそれらの季節変化を、直接観察とバイオロギングによって明らかにし、その特徴を海流や海底地形、漁業等の環境要因に着目して解析する。

【年度実績】令和2年度に直接観察（太平洋フェリー・東海汽船・東京湾フェリー）およびバイオロギング（伊豆諸島利島における新潟大学との共同研究）によって得られたデータを解析した。その結果は、夏の展示「うみ鳥っふ [umi-Trip] ー海鳥とめぐる島の旅・半島の旅ー」の制作に役立てた。

ウ 人類誌系（房総という環境の成り立ち及び人々の生活誌に関する研究）

① 千葉県を中心とする仏教美術に関する研究

【担 当】植野英夫

【研究内容】常設展示「房総の歴史」で紹介している仏教美術に関する美術工芸品・史料に関する歴史的意義を再考察する。

【年度実績】県内の仁王像について所在確認と関連資料収集を行い、ほぼ現存事例を把握した。

② 房総における生業の複合的なありかたと環境について

【担 当】小林裕美

【研究内容】近現代における農業・諸職・行商など、生業の重層的な在り方と環境とのかかわりについて調査・考察を行う。

【年度実績】野菜行商が盛んであった北総地域で引き続き情報収集と聞き取り調査を行った。

③ 利根川下流域に生きた人々に関する社会史的研究

【担 当】米谷 博

【研究内容】利根川下流域に生きた人々の暮らしや地域社会とのかかわりについて、歴史・民俗資料などを中心に考察する。

【年度実績】江戸時代に流行した利根川下流域の香取・鹿島・息栖の三詣について、道中日記や出版物などの資料調査を進めた。

④ 房総の遺跡出土骨の研究

【担 当】田邊由美子

【研究内容】千葉県内の遺跡から出土した動物遺存体や人骨資料を用いて、縄文時代の動物利用のあり方や縄文人の生活の様子について調べる。

【年度実績】千葉県内の遺跡から出土した動物遺存体や人骨資料を用いて、縄文時代の動物利用のあり方や縄文人の生活の様子について調べた。

⑤ 都市近郊低湿地における生業の研究

【担 当】秋山笑子

- 【研究内容】千葉県内の低湿地を中心に、生業と生活戦略を検討し、近現代における低湿地における生活と環境の変化との関連について調査研究を行う。
- 【年度実績】利根川下流域の水神社の変遷について調査し、企画展で成果を展示した。
- ⑥ 鳥瞰図などから見る房総
- 【担 当】渡辺善司
- 【研究内容】鳥瞰図などの資料から描かれた当時の房総の姿を明らかにし、加えて現在に至るまでの歴史の変遷を追う。
- 【年度実績】鳥瞰図等に見られる事象について、当時の新聞などの記述を確認した。
- ⑦ 明治期銅版画に関する研究
- 【担 当】大谷弘幸
- 【研究内容】「博覧図」等の明治期銅版画について、出版会社・絵師・彫師などを通じてその制作過程や変遷を調査するとともに、県内の産業・風俗などについて考察する。
- 【年度実績】「博覧図」の発行元である精行社の銅版画について、「博覧図」および一枚物銅版画のデータベースの作成を行った。
- ⑧ 大正期の流感禍と千葉県
- 【担 当】内田龍哉
- 【研究内容】大正7～10年にかけて、全世界に蔓延した流行性感冒について、わが国、特に千葉県地方における感染拡大とそれへの対応を、日刊新聞記事をベースに再構成する。
- 【年度実績】当館蔵「萬朝報」から大正7～10年の流行性感冒に関する記事を、ほぼリストアップし、記事画像と書き下し文で記録した。千葉県における流行性感冒の蔓延状況をおおむね把握できた。
- ⑨ 房総丘陵における人の生活と自然のかかわりに関する研究
- 【担 当】島立理子
- 【研究内容】房総丘陵に生活する人々が、地域の自然とどのようにかかわりながら生活をしてきたを調査する。
- 【年度実績】勝浦の朝市において調査を行い、人々が周辺の自然をどのように利用しているかを検討した。その結果、現在では山林の利用はごく限られ、各家庭の庭先や畑の利用に重点がおかれていることがわかった。
- ⑩ 下総台地における近世以降の薪炭林育成に関する歴史地理学的研究
- 【担 当】白井 豊
- 【研究内容】下総台地において、近世以降に幕府直轄の馬牧とその周辺で展開した薪炭林育成について、空間的広がりパターン、経過を探求しその意義を明らかにする。
- 【年度実績】下総台地における幕府と佐倉藩による薪炭林育成に関する研究成果のサーチを継続した。特に2021年度の関東近世史研究会の大会テーマ「近世関東における森林の管理と利用」が下総台地上の村々での森林に関するものであり、リモートでの参加であるが、コメントを求められることに対応すべく、自身の研究の意義を整理して臨み、最終討論において意見を述べた。

エ 博物館誌系（博物館とその社会的役割に関する研究）

- ① 博物館と学校の連携の在り方に関する研究
- 【担 当】藤原友里
- 【研究内容】子どもたちの学びや内容を広げることができる場として、博物館を利用することの意義を浸透させていくことを研究の目的とし、新規の学習プログラム開発を行う。
- 【年度実績】新しい学習プログラムの中で学習キットの活用を図り、学校との連携を進めることができた。HPやパンフレットの配布を工夫したことで、学校団体の利用数を昨年度より大きく増やすことができた。
- ② 中央博物館の収蔵資料の保存管理に関する研究
- 【担 当】御巫由紀・友田暁子・奥田昌明・村田明久・宮 正樹・内田龍哉・斉藤明子・樽 宗一郎・（伴 光哲）
- 【研究内容】博物館の貴重な資料を劣化させない収蔵環境を維持するためには、総合的有害生物管理（IPM）を行う必要がある。温湿度などの管理、燻蒸釜による燻蒸、トラップによる生物生息調査などを継続的に行い、異常を素早く見つけて対処し、さらに中央博物館に適切な総合的有害生物管理を行うための調査研究を行う。
- 【年度実績】IPMの一環として4回の生物生息調査を全館的に実施した。第2回の調査（8-9月）にタバコシバンムシ1匹が発見された体験学習室では、追加調査を行うとともに3月から室内の樹木標本の防虫処理を行い、経過を観察している。自記温湿度計・データロガーにより、収蔵庫、歴史展示室、企画展示室および図書室の温湿度の測定を継続した。
- ③ 博物館と学校との博学連携による博物館学習の推進に関する研究
- 【担 当】大野将史・木本利行
- 【研究内容】先進的な博物館の学校教育対応と展示環境の調査を通して、博学連携による博物館学習及び学校教育に対応した博物館展示のあり方について研究する。博物館の学校利用の現状を分析し、実態に即した博物館学習と展示改善を推進する。
- 【年度実績】道具とくらしのうつりかわり学習キットについて、本館と大利根分館にある実物を照らし合わせながら新学習指導要領に沿った指導ができるように指導案を用意した。新学習指導要領になったことで古い道具について学習

時間が大幅に減ったことを考慮し、学習キットを使った教員が指導案を見ながら、負担感なく短時間で授業を行えるようにすることができた。

④ 学校と博物館との連携・「科学技術教育」普及に関する研究

【担 当】相原康平・大野将史

【研究内容】千葉県の特徴を活かした環境教育を中心に、昨年度から実施された新学習指導要領の各学習内容（テーマ）において、博物館を実際利用すること、もしくは所蔵資料・デジタル資料の活用などが望ましいものを選別し、小中教職員の方に役立つコンテンツ開発と広報の在り方、博物館の展示利用の促進など、よりよい博学連携について研究する。

【年度実績】昨年、中央博 WEB ページ「教育・学習」>博物館学習にアップされた小学校版学校向け資料に引き続き、本年度は中学校版「中学校の学習内容（単元）と展示資料との関連表（例）」を作成し、広報を行うことができた。県内各教育事務所の会議に出席の際、教職員向け配布資料として、小中学校の理科、社会、道徳、総合・特別活動等の学習に博物館展示が利用できることについて積極的に案内することができた。

(3) 普遍研究

ア 地球誌系（地形地質学的多様性に関する基礎研究）

① 東北日本弧新第三紀火山活動の特質

【担 当】高橋直樹

【研究内容】東北日本弧の新第三紀火山活動に関して、特に珪長質火山活動の要因を探求することを目的とし、それらの時空分布、並びに、苦鉄質火山活動との成因的關係を中心に調査を進める。

【年度実績】栃木県北東部の真岡～茂木地域に分布する新第三紀中新世の火山岩及び凝灰岩類の調査を行い、資料を採取した。多種類の火山岩礫を含む凝灰角礫岩が多く、栃木県北西部の同時代の凝灰角礫岩とは異なり、基盤岩類の礫（足尾帯チャートなど）をほとんど含まないことが判明した。また、下部は玄武岩～安山岩質で、上部は流紋岩質であることが確認された。

② 日本産化石十脚甲殻類の分類と古生態

【担 当】加藤久佳

【研究内容】主として東日本産十脚甲殻類化石の分類学的な記載を進め、化石の産状、共産する化石など古生態学的な情報もあわせて検討する。

【年度実績】東京都五日市盆地、埼玉県秩父盆地などからの十脚甲殻類化石の記載、福島県いわき市産出の白亜紀十脚甲殻類化石の検討を進めた。

③ 微小化石に基づく貝類化石の分類及び古生態の研究

【担 当】伊左治鎮司

【研究内容】白亜系手取層群（福井県・石川県）の淡水生貝類化石および白亜系銚子層群（千葉県）の海生貝類化石について、未記載の微小種を中心に、その多様性を明らかにし、幼生生態や古生物地理を議論する。

【年度実績】銚子層群君ヶ浜層から産出した微小貝類化石について、未記載種 12 種を報告し、そのうちの 6 種を新種として記載した。本研究は、日本古生物学会誌「Paleontological Research」（令和 4 年 1 月 1 日付）で公開された。

④ OSL 年代測定と堆積相解析を用いた浅海堆積物の堆積過程の解明

【担 当】岡崎浩子

【研究内容】OSL（光ルミネッセンス）年代測定と堆積相解析を常総台地に分布する下総層群に適応し、高精度の時間軸の入った堆積過程を明らかにする。

【年度実績】千葉県飯岡台地の香取層の OSL 年代と指標火山灰（0n-Pm1）から香取層は約 10-8 万年前に堆積したことが明らかになった。それにより房総半島東部の 10 万年前から現在の平均隆起速度は 0.7m/千年で従来考えられていたものよりも 2 倍速いことが明らかになった。その成果を国際誌に投稿した。

⑤ 化石種・現生種に見られるハクジラ類特有の左右非対称な内部形態の意義

【担 当】丸山啓志

【研究内容】ハクジラ類は脊椎動物の中でも珍しく左右非対称な内部形態（頭骨など）を有する。本研究では、幾何学的形態測定学的手法を用い、その非対称性を定量化し、その要因（機能形態学的・系統的など）を統計学的手法から明らかにする。

【年度実績】これまで収集したハクジラ類の頭骨等のデータについて、近年の耳骨等関係する先行研究を基に解析を進め、公表の準備を進めた。

⑥ 東アジアを中心とした地域の貝類相の変遷

【担 当】黒住耐二

【研究内容】現生/考古学遺跡/化石等の調査を行い、人間の貝類利用を含めて、包括的に変遷史を明らかにする。

【年度実績】日本で初めて旧石器時代の貝類利用が明らかになった沖縄県のサキタリ洞遺跡の貝製品、中国・浙江省の 4 千 5 百年前の遺跡出土貝類、製塩関連を含む宮城県と京都府で唯一知られていた縄文時代の遺跡出土貝類、あるいは京都市で初めてとなる中世貝塚の貝類、東京都多摩地域の現生陸貝等の報告を行った。また、古くから人に利用されてきたタカラガイの全世界の種を網羅した図鑑を出版した。

⑦ 日本列島周辺の花粉・環境誌

【担 当】奥田昌明

- 【研究内容】化石花粉から古気候を復元するための基礎資料として、千葉県を含む日本列島とその周辺から表層土壌を収集し、現生花粉群を洗い出してデータ化する。
- 【年度実績】千葉県北東部の社叢林から採取した表層花粉試料 15 点を分析し、永久プレパラートを作成した。
- ⑧ 日本周辺地域の地・植物学的研究
- 【担 当】小田島高之
- 【研究内容】地形や地質と植生分布との関連性について、デジタル標高モデルや空中写真、衛星画像等の様々なデータを用いて解析し、明らかにする。
- 【年度実績】黒滝不整合の分布域について、引き続き植生調査を行い、地形や地質と植生分布との関連性について検討した。
- ⑨ 地形景観とその成り立ちに関する研究
- 【担 当】八木令子
- 【研究内容】日本列島には隆起や侵食、氷河性海面変動などに起因して形成された各種の地形が見られる。これらの分布や成り立ちに関する総括的な調査を行うとともに、近世以降の地形改変とその影響について考察する。
- 【年度実績】日本列島では軟弱地盤である低地に人口が集中し、地震などの自然現象に伴う災害リスクが大きい。低地の成り立ちや人工改変の時期、方法について、東葛地域（松戸市）や君津～富津の河川流域などで調査を行い、その結果を地域の自然災害に関する講座や山のフィールド・ミュージアムの教室博日記などで発信した。
- ⑩ 日本列島の最終氷期以降の植生変遷
- 【担 当】西内李佳
- 【研究内容】最終氷期（主に 2～3 万年前）から現在にかけての日本列島の植生変遷を、花粉や葉、種実の化石から明らかにする。
- 【年度実績】長崎県五島列島の氷期の植物化石から多様な針葉樹相を明らかにし、学会発表を行った。長野県北部の山岳地域において、最終氷期以降の湿原堆積物の採取を行い、分析を進めている。
- ⑪ 前弧火成活動に関する地球化学的研究
- 【担 当】大木淳一
- 【研究内容】銚子半島に分布する火山岩の地球化学的特徴から、日本海形成時の前弧火成活動の成因を明らかにする。
- 【年度実績】銚子半島の 3 地域に分布する火山岩を調査し、各地域の記載岩石学および地球化学的特徴を明らかにし、他の高マグネシア安山岩分布域との違いを検討した。
- ⑫ 人新世の生物学
- 【担 当】千葉友樹
- 【研究内容】干潟の堆積物（砂、泥、貝殻など）から、外来種の移入や人間活動が生態系に及ぼす影響を明らかにする。
- 【年度実績】静岡県浜名湖の干潟において、堆積物採取のための下見を行った。研究費獲得のための申請書を作成し、科学研究費の基盤研究（C）に採択された。

イ 生命誌系

（ア）分類学的多様性に関する基礎的研究

- ① 日本産エダヒゲムシ類の分類学的研究
- 【担 当】萩野康則
- 【研究内容】日本産エダヒゲムシ類は現在までに種名が確定しているのは約 30 種であるが、潜在的には 100 種以上が生息しているものと推定される。日本産本類を収集し調査研究し、多数の新種記載を含めて日本のファウナを明らかにする。
- 【年度実績】関東地方を中心にエダヒゲムシ類約 100 個体をプレパラート化し、検鏡・同定した。また、全世界から記録のあるエダヒゲムシ類約 1000 種のデータベースおよびそれらが記載されている文献約 400 点のデータベースを補完した。これまでに作成したプレパラート標本の保存状態の確認を継続中である。
- ② 十脚甲殻類の分類
- 【担 当】駒井智幸
- 【研究内容】全世界の十脚甲殻類を対象とした分類学的研究を行い、系統学的研究や生物多様性研究への基盤整備に貢献する。今年度は、深海生物の環境 DNA メタバーコーディング技術開発に向けて、深海性種のリファレンスデータの蓄積を進める。
- 【年度実績】インド太平洋域で収集された標本資料の検討を進め、DNA 配列情報（16S rRNA、COI）の蓄積を行った。12 篇の論文が新たに公表され、8 新種が公表された。さらに 12 編の論文を国内外の学術誌に新規に投稿した。環境研究総合推進費に係わる調査として、調査船「かいめい」に乗船し、環境 DNA 分析のためのサンプルと深海性甲殻類の標本の採集を行った。また鹿児島県甬島において海洋深層水のサンプリングを行った。
- ③ 鯨類の寛骨および後肢痕跡に関する形態学的研究
- 【担 当】宮川尚子
- 【研究内容】鯨類の退化した寛骨と後肢骨格に関する情報は非常に少ない。そこで、本研究では鯨類の寛骨および後肢痕跡の形態学的な研究を行い、種ごとの特徴を明らかにすると共に、鯨類の後肢退化過程の解明に寄与する。
- 【年度実績】座礁鯨類 9 個体の寛骨を回収した。

④ 地衣類の多様性に関する研究

【担 当】原田 浩・坂田歩美・共同研究員・市民研究員

【研究内容】主として日本および周辺地域を対象として、アナイボゴケ科を中心とする地衣類の分類・分布、化学成分等に関する研究を行う。今年度は、(1)日本地衣類誌の編纂、(2)海岸など特殊環境に生育する地衣類の多様性解明、(3)東アジア産(主に中国雲南省)地衣類の分類学的研究、等。共同研究員、市民研究員、館外研究者と協力して実施する。

【年度実績】①小笠原諸島産標本に基づきムニンヒメイワノリと、②高知県産標本に基づく地衣類の1新種を記載し、③日本新産属となるシフキノリを報告、④富士山頂で採集した標本に基づき日本新産属となるタカネノリを報告した(②③は印刷中、④は投稿中)。日本産海岸生地衣類について研究を進め、⑤モツレノリの実体を明らかにし、⑥広義ダイダイゴケ属と⑦トリハダゴケ属について報告した(⑥⑦は投稿中)。日本産石灰岩生地衣類のうち、⑧広義イワノリ属の分類を明らかにした(⑧は投稿中)。

⑤ 日本産リトマスゴケ科地衣類の分類学的研究

【担 当】坂田歩美

【研究内容】日本産リトマスゴケ科地衣類の分類を形態、分子系統、含有成分に基づいて明らかにする。

【年度実績】日本産広義本科13点からDNAを抽出すると共に、化学成分分析を行った。

⑥ バラ属植物の香りの研究

【担 当】御巫由紀

【研究内容】バラ属の野生種、オールドローズ、現代品種の香りを分析し、フルーツ香の香りの起源を明らかにする。

【年度実績】274種類のバラの香気成分を分析し、フルーツ香の代表的な品種‘ダブル・ディライト’と‘ドゥフトボルケ’について園芸学会で発表し、また突然変異により香りが変化した例について、香料・テルペンおよび精油化学に関する討論会にて発表した。

⑦ 環境DNAメタバーコーディング法の改良・開発・実践

【担 当】宮 正樹・共同研究員

【研究内容】環境DNAメタバーコーディング法(同時並列多種分析法)を深海性魚類の検出に適用できるように実験法を開発し、全国各地の深層水汲み上げ施設ならびに沖合海洋保護区で得られた環境DNAサンプルで手法の性能を検証する。また、日本各地のさまざまな生態系に本手法を適用し、魚類群集の時空間動態を明らかにする。本年は先島諸島・沖縄本島・都井岬・足摺岬で調査を行う。

【年度実績】沖縄県久米島、高知県室戸、三重県尾鷲、伊豆赤沢にある4つの深層水汲み上げ施設の海水を利用してMiFishプライマーを用いた環境DNAメタバーコーディングを行い300種以上の深海魚を検出することに成功した。また、沖合保護区において実施された調査でも水深300~2000mから得られた海水からヨコヅナイワシを含む計100種以上の深海魚を検出した。さらに、房総半島南端11地点から得られた計50回の隔週調査に基づき魚類群集の時空間動態を明らかにした。並行して先島諸島、都井岬、足摺岬で調査を行い、黒潮流域の魚類群集の空間変動を明らかにしつつある。

⑧ カミキリムシ科甲虫の分類

【担 当】齊藤明子

【研究内容】アジア産を中心とするカミキリムシ類についての分類学的な研究を行う。

【年度実績】特に進展はなかった。

⑨ アジアの低緯度地域における有鱗目の多様性に関する研究

【担 当】栗田隆気

【研究内容】アジアの低緯度に広がる湿潤熱帯・亜熱帯地域において、トカゲ・ヘビの仲間(有鱗目)が種を多様化させたプロセスを分類、系統、集団遺伝、生態など、様々な情報に基づいて明らかにする。

【年度実績】マレーシア国サラワク州ミリの国立公園の爬虫両生類相の調査結果を国際誌上で発表した。

⑩ 高山帯における植物分類学的研究

【担 当】天野 誠

【研究内容】高山帯には、特異な種分化を遂げた分類群が数多く存在する。その分化の様式は一律ではない。ユーラシア大陸の東のはずれに位置する日本の植物相を明らかにするためにも、北半球の高山帯及び寒帯の植物相の調査は欠かせない。本研究は、高山帯で多様に分化した分類群を生物地理学的観点も含めて、研究するものである。

【年度実績】未整理の標本、158点を再同定し、仮登録した。

⑪ アジア太平洋地域におけるコケ植物の分類学的研究

【担 当】古木達郎・共同研究員

【研究内容】千葉県と関係が深いアジア・太平洋地域に生育するコケ植物の多様性を探り、系統分類学的な研究を推進する。

【年度実績】屋久島産ムチゴケ属を再検討して、日本新産種を確認して、学会発表した。

⑫ 糞ハンズ・オン標本の研究

【担 当】丸山啓志

【研究内容】様々な動物の糞ハンズ・オン標本を作成し、形態学的研究を進める。また、従来失われていた糞中の未消化物の3次元データをCTスキャンや薄片観察により、取得する。併せて、安心安全な運用のできる教育普及活動への活用も推進する。

- 【年度実績】これまで採集した糞の標本化をすすめた。あわせて、データの整理と公表に向けての準備を行った。
- ⑬ 特殊環境に生える大型菌類
- 【担 当】吹春俊光
- 【研究内容】アジアとその周辺地域の、特殊環境に生える菌類（糞生菌類など）に関する多様性を調査し、日本列島の菌類相の成り立ちと由来をさぐる。
- 【年度実績】屋久島産糞生菌類についてニホンジカ糞を温室培養し調査した。発生した大型菌類は菌株を分離し標本化し保存した。
- ⑭ ナガカメムシ上科の分類学的研究
- 【担 当】伴 光哲
- 【研究内容】数多くの分類学的な問題が残されている東アジア～東南アジアのナガカメムシ上科について分類学的研究を行い、生物多様性保全の基盤整備および応用利用に向けた有用種の探索に貢献する。
- 【年度実績】カメムシの分類やファウナに関する3編の原著論文と7編の和文短報を公表するとともに、9編を新たに投稿した。また、研究紹介ミニトピックス展「国内初記録の外來昆虫オオクロマダラナガカメムシ」を前年度から継続して実施し、来館者に研究成果について紹介した。
- ⑮ アリヅカムシ亜科甲虫の分類学的研究
- 【担 当】樽 宗一郎
- 【研究内容】日本を中心としたアリヅカムシ亜科について分類学的研究を行い、日本のファウナを明らかにする。
- 【年度実績】屋久島に生息している種の記載を行った。
- (イ) 生態学的多様性の維持機構に関する基礎的研究
- ① 維管束植物に関する千葉県メッシュデータの活用
- 【担 当】平田和弘
- 【研究内容】千葉県立中央博物館で収集する維管束植物については、標本及び目視による情報が1kmメッシュ単位で集積されている。そのデータの整理方法を検討し、千葉県の維管束植物の分布状況について考察する。
- 【年度実績】限定された地域では、重点研究等で、データのメッシュ表示を行い、ホームページで速報値を報告した。全県的には、メッシュ情報の標準化にあたり、種名リストの作成を行っている。
- ② 磯の生物群集の生態学的研究
- 【担 当】村田明久
- 【研究内容】岩礁潮間帯において、主に付着生物を対象に、生物群集の地理的変異や長期的な動態を研究する。
- 【年度実績】継続して行っている鴨川市でのモニタリング調査を実施し、取りまとめを行った。また、比較調査のため、県内の海岸で予備調査を行った。
- ③ シダ植物の生育環境の多様性に関する研究
- 【担 当】水野大樹
- 【研究内容】シダ植物が生育する環境を、微地形や周囲に生育する植物との相互作用の観点から調査し、定着メカニズムの解明を目指す。
- 【年度実績】生態園とその周辺のシダ植物の分布を調査し、湿潤環境に置かれた石積み、乾燥環境に置かれた石積み、湿地、落葉のある林床など、異なる環境では生育するシダ植物種に違いがみられることが明らかになった。一方で、テリハヤブソテツのように、湿地と林床の両方に出現する種も存在したことから、種によって環境依存性が異なることが示された。
- ④ ヤドリギ類の生態学的研究
- 【担 当】尾崎煙雄
- 【研究内容】半寄生植物のヤドリギ類（ヤドリギ、オオバヤドリギ、マツグミ、ヒノキバヤドリギ、ホザキヤドリギ等）の分布、生態について生態学的、生物地理学的視点から研究を行う。
- 【年度実績】県内のヤドリギおよびオオバヤドリギの分布調査を実施し、新たな個体を追加した。
- ⑤ 遷移初期における風の影響
- 【担 当】由良 浩
- 【研究内容】火山荒原や大規模造成地のような母岩が露出しているような大規模な土地から始まる1次遷移は、すぐに草地になる2次遷移と比較して風の影響を受けやすいことが考えられる。1次遷移の初期において、風が遷移の進行等にどのような影響を及ぼすのかを明らかにする。
- 【年度実績】富士山の標高1400m付近の火山荒原にて、年間の土壌の堆積量、サンドブラस्टイングの強さ等を測定したデータの解析を行った。
- ⑥ 水位攪乱・かいぼり等による水環境保全技術の検証
- 【担 当】林 紀男
- 【研究内容】水位攪乱、かいぼりなどによる池の水環境保全について、その機構を解明する。併せて埋土種子等の散布体を用いて土着株による水辺植生の再生に向けた取り組みについて、地域特性に応じた留意事項を検証する。
- 【年度実績】土着水生植物株を移植した池創出による水生生物の挙動等について、印西市に実験池を創り検証を実施し、水生生物の初期定着遷移についての検討を実施した。併せて同池で人為的水位変動攪乱を起こし、水生生物への影響を検証した。
- ⑦ 沿岸域における人間活動が生態系に及ぼす影響

【担 当】平田和彦

【研究内容】漁業や洋上風力発電をはじめとする沿岸域の人間活動が生態系に及ぼす影響について、最高次捕食者である海鳥の行動生態を目視やバイオロギングにより観察することで、行動生態学ならびに保全生態学の観点から検討する。

【年度実績】沿岸漁業が海鳥の行動に及ぼす影響を明らかにするために、常磐海域で越冬するカモメ類とウ類の分布を記録した。特にウミウについて、2羽にGPS データロガーを装着し、その行動圏に関する情報を収集した。なお、これらの調査は科研費（20K15588）により実施した。

⑧ シギ・チドリ類の越冬生態、特に個体数変動に関する研究

【担 当】桑原和之

【研究内容】チドリ目の越冬期の生態に関して、チドリ科、シギ科に属する種を中心に生態的な基礎研究を行なう。シギ・チドリ類の個体数の変動は、気象状況や捕食者に大きく影響をうけるので、これらの記録も現地調査で収集し、解析する。

【年度実績】現地調査を行った結果、東京湾岸では、シロチドリやダイゼンの越冬個体数が、減少していることが確認された。

ウ 人類誌系（景観史という新領域の創出）

① 民俗文化の伝播と伝承について

【担 当】小林裕美

【研究内容】講の行事、祭礼など民俗行事の変遷や地域による差異に着目し、民俗文化の伝播や伝承の在り方について考察を進める。

【年度実績】お浜降りを伴う祭礼について文献調査・現地調査を行い、房総のお浜降り習俗の地域性と普遍性について考察を進めた。

② 大河川流域の地域社会に関する研究

【担 当】米谷 博

【研究内容】流域地域に対して河川が果たしてきた歴史的な意義と、そこで展開された地域社会について考察する。

【年度実績】江戸時代に流行した利根川下流域の香取・鹿島・息栖の三社参りについて、道中日記や出版物などの資料調査を進めた。

③ 人間と動物の関わりの歴史について

【担 当】田邊由美子

【研究内容】遺跡から出土する動物遺存体等を用いて、当時の人々と動物との関わりについて研究する。

【年度実績】遺跡から出土する動物遺存体等を用いて、当時の人々と動物との関わりについて研究した。

④ 原始・古代農耕技術に関する研究

【担 当】大谷弘幸

【研究内容】農耕生産の場である水田跡や畠跡などの遺構、生産用具である農具、生産物である穀類などの種実から、弥生時代から古代にかけての農業技術の変遷や生産物の対象について考察する。

【年度実績】水田遺構と農耕具の変遷について資料収集を行い、成果の一部を博物館セミナー「弥生農耕の実像を探る」と題して講演発表した。

⑤ 関東平野における明治10年代の土地利用に関する研究

【担 当】白井 豊

【研究内容】迅速測図を基礎的資料として、関東平野全域の土地利用を約2kmメッシュのオーダーで把握する。明治10年代の土地利用の意義を知る目的から近世の都市・信仰的中心地や交通の状況なども可能な限り把握する。その際には近世の道標を初めとする石造文化財や古文書を資料とする場合もある。

【年度実績】迅速測図による土地利用把握は、埼玉県北東部について地図の着色作業を継続した。迅速測図の視図（風景スケッチ）から景観を探る試みについては、千葉郡域の視図で昨年度位置を特定した一点に関する文献を収集し、考察した内容をまとめた。また、視図にはないが、現在の千葉市若葉区高品町の常夜灯（文久3年）について、銘文の解読をほぼ完了し、その記載と傍らにある道標から街道上で交通の状況を把握し内容をまとめた。

⑥ 定期市からみる人と自然のかかわりについて

【担 当】島立理子

【研究内容】定期市で販売されている商品を手がかりに、人が自然とどのようにかかわりあってきたかについて考察する。

【年度実績】佐賀、秋田、勝浦の定期市を調査した。佐賀では山の自然をしている例はすくないのに対し、秋田の定期市では山の恵みを非常に多く利用していることがわかった。また、勝浦においては、庭先を利用していることがわかった。今後は地域による差は何によるものなのかを考えたい。

⑦ 房総の古墳出土副葬品に関する研究

【担 当】石井友菜

【研究内容】千葉県内の古墳から出土する副葬品を主な対象とし、古墳時代の手工業生産やものづくりの技術について検討する。

【年度実績】千葉県内の古墳から出土する副葬品のうち、とくに石枕と腕輪形石製品について、資料所蔵機関での実見観察をもとに製作技術を検討した。

エ 博物館誌系（博物館の歴史および機能の充実・発展に関する基礎的研究）

① 持続可能な社会のための教育と博物館

【担当】林 浩二

【研究内容】国際的にまた国内でも関心を集めている「国連持続可能な開発目標（SDGs）」の普及啓発や「持続可能な社会のための教育（ESD）」に、博物館として何ができるか、具体的な活動から探る。

【年度実績】SDGsやESDについて、館種を問わず博物館における対応を調べている。博物館における環境保全やその教育への取り組みについては林(2006)以来取り組んでおり、現段階の取りまとめを発表した。日本環境教育学会・日本動物園水族館教育研究会等に参加して意見交換してきた。

② 博物館における哺乳類の3D資料の収集・保存の意義と活用：クジラを例に

【担当】宮川尚子

【研究内容】現生哺乳類分野における3D技術の有用性についてクジラをモデル生物として検証し、新たな研究・教育手法の確立を目指す。

【年度実績】座礁鯨類5体の外部形態および鯨類の骨格標本1体分の3Dデータを作成した。3Dプリントを活用した講座を1回実施した。

③ 展示や展示物のイメージに関する基礎的研究

【担当】丸山啓志

【研究内容】来館者が展示や展示物に対して抱くイメージを知ることは、企画展や常設展更新を検討する上で有用である。また、幅広い層の来館者の満足度を上げる工夫を考える指針となる。本研究では、1) 展示の第一印象とイメージの変遷に関する研究、2) いろいろな来館者にやさしい展示に関する研究、3) “クジラ・イルカ”を例とした展示物に対する研究、4) 新型コロナウイルス感染症の影響に関する研究、以上4つの課題を基に多角的に取り組む。

【年度実績】1) 既存のデータについて、テキストマイニングを試みた。2) 他館のインクルーシブデザインなどの先事例を収集した。3) 特撮に関するイメージをまとめ、学会発表した。4) 当館の対応について、論文として公表した。

2 外部資金等による研究

(1) 文部科学省科学研究費補助金による研究

ア 研究代表者

① 日本産地衣類の総合的なデータベースの整備とウェブ公開

【担当】原田浩

【研究種目／審査区分／開始年度／期間】基盤研究（C）／一般／令和3年度／3年間

② 多地点・高頻度環境DNA観測に基づく魚類群集構造の変動様式と形成・維持機構の解明

【担当】宮正樹

【研究種目／審査区分／開始年度／期間】基盤研究（B）／一般／平成31年度／4年間

③ 江戸時代における貝類利用の俯瞰的研究—食用から美術工芸までを視野に入れて—

【担当】黒住耐二

【研究種目／審査区分／開始年度／期間】基盤研究（C）／一般／令和3年度／3年間

④ 子どもの発達段階に応じて学ぶ「蜃気楼」の教育プログラムの開発と実践

【担当】大木淳一

【研究種目／審査区分／開始年度／期間】基盤研究（C）／一般／令和3年度／3年間

⑤ 五百沢式鳥瞰図と各種主題図との融合による地理景観教材の開発と博物館における活用

【担当】八木令子

【研究種目／審査区分／開始年度／期間】基盤研究（C）／一般／平成29年度／5年間（うち2年はコロナによる延長）

⑥ 博物館における哺乳類の3D資料の収集・保存の意義と活用：クジラを例に

【担当】宮川尚子

【研究種目／審査区分／開始年度／期間】若手研究／一般／平成31年度／4年間

⑦ 山地性トカゲ類の進化・集団動態から迫る熱帯の高い種多様性と過去の気候変動の関係性

【担当】栗田隆気

【研究種目／審査区分／開始年度／期間】若手研究／一般／令和2年度／3年間

⑧ 黒姫山における最終氷期末期以降のオオシラビソ林形成過程に湿地が果たした役割

【担当】西内李佳

【研究種目／審査区分／開始年度／期間】若手研究／一般／令和2年度／4年間

⑨ 日本沿岸の多様な漁法が海鳥に及ぼす影響—原発事故からの漁業復旧に着目して

【担当】平田和彦

【研究種目／審査区分／開始年度／期間】若手研究／一般／令和2年度／4年間

- ⑩ 房総半島南部における最終氷期末期以降の照葉樹林の分布拡大に黒潮が与えた影響
 【担当】西内李佳
 【研究種目／審査区分／開始年度／期間】研究活動スタート支援／一般／平成30年度／4年間
- ⑪ 腕輪形石製品の生産・流通体制からみた古墳時代前・中期の社会構造
 【担当】石井友菜
 【研究種目／審査区分／開始年度／期間】研究活動スタート支援／一般／令和1年度／2年間(1年延長)

イ 研究分担者（当館職員が研究代表者である研究課題は、ア 担当にまとめた）

- ① 関東平野の高分解能 OSL 年代層序による地殻変動レジームシフトの解明
 【研究分担者】岡崎浩子
 【研究代表者】田村亨（国立研究開発法人産業技術総合研究所）
 【研究種目／審査区分／開始年度／期間】基盤研究(B)／一般／令和2年度／5年間
- ② 変動帯の文化地質学
 【研究分担者】高橋直樹
 【研究代表者】鈴木寿志（大谷大学）
 【研究種目／審査区分／開始年度／期間】基盤研究(B)／一般／平成29年度／4年間（→延期）
- ③ 小規模島嶼における文化適応と潜在性の考古学的研究
 【研究分担者】黒住耐二
 【研究代表者】新里貴之（鹿児島大学）
 【研究種目／審査区分／開始年度／期間】基盤研究(B)／一般／平成30年度／4年間
- ④ 日本列島における製塩技術史の解明
 【研究分担者】黒住耐二
 【研究代表者】阿部芳郎（明治大学）
 【研究種目／審査区分／開始年度／期間】基盤研究(A)／一般／平成31年度／4年間
- ⑤ 浜堤の考古学—瀬戸内海島嶼部における海岸利用史の研究—
 【研究分担者】黒住耐二
 【研究代表者】槇林啓介（愛媛大学）
 【研究種目／審査区分／開始年度／期間】基盤研究(C)／一般／平成31年度／4年間
- ⑥ 土器に残る動植物痕跡の形態学的研究
 【研究分担者】黒住耐二
 【研究代表者】佐々木由香（金沢大学）
 【研究種目／審査区分／開始年度／期間】学術変革領域研究(A)／一般／令和3年度／4年間
- ⑦ 「ボカシの文化」にメスを入れる
 【研究分担者】黒住耐二
 【研究代表者】高宮広土（鹿児島大学）
 【研究種目／審査区分／開始年度／期間】基盤研究(A)／一般／令和3年度／3年間
- ⑧ 石材劣化リスクの高い地衣類とその遺伝的系統に関する研究
 【研究分担者】原田浩
 【研究代表者】河崎衣美（榎原考古学研究所）
 【研究種目／審査区分／開始年度／期間】挑戦的研究(萌芽)／一般／令和2年度／3年間
- ⑨ バラ芳香性育種のためのフルーツ香の香りの起源の解明とデータベース化
 【研究分担者】御巫由紀
 【研究代表者】大久保直美（国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構）
 【研究種目／審査区分／開始年度／期間】基盤研究(C)／一般／令和3年度／3年間
- ⑩ 長期定点観測と化石を併用した貝類・貝形虫類の環境激変イベントからの回復過程の比較
 【研究分担者】千葉友樹
 【研究代表者】佐藤慎一（静岡大学）
 【研究種目／審査区分／開始年度／期間】基盤研究(C)／一般／令和3年度／4年
- ⑪ 侵略的外来水生植物の生態解明及び防除手法の評価を踏まえた早期対応社会技術の確立
 【研究分担者】林紀男
 【研究代表者】中井克樹（滋賀県立琵琶湖博物館）
 【研究種目／審査区分／開始年度／期間】基盤研究(C)／一般／令和3年度／3年間

(2) その他の助成金による研究

ア 研究代表者

- ① SII-7-2 深海大型生物相の環境 DNA によるモニタリング法の開発（脊椎動物における調査方法の開発と実践ならびに基盤データの整備）
 【担当】宮正樹

- 【助成名】環境省・総合研究推進費自然共生領域（環境問題対応型） 令和2年度環境研究総合推進費 戦略的研究開発 (II) SII-7 新たな海洋保護区（沖合海底自然環境保全地域）管理のための深海を対象とした生物多様性モニタリング技術開発
- ② 海洋DNAデータ解析技術の開発と実運用（魚類DNAデータ解析技術の開発・魚類ミトコンドリアゲノムデータベース（MitoFish）の拡充）
- 【担当】宮 正樹
- 【助成名】海洋資源利用促進技術開発プログラム 海洋情報把握技術開発「海洋生物遺伝子情報の自動取得に向けた基盤技術の開発と実用化」
- 【期間】4年半

イ 研究分担者

- ① 環境DNAを用いた深海性大型動物物のモニタリング法の実践と実践、ならびに基盤データの整備 サブテーマ2：無脊椎動物における調査方法の開発と実践、ならびに基盤データの整備
- 【研究分担者】駒井智幸
- 【研究代表者】源 利文（神戸大学）
- 【助成名】環境省・総合研究推進費自然共生領域（環境問題対応型） 令和2年度環境研究総合推進費 戦略的研究開発 (II) SII-7 新たな海洋保護区（沖合海底自然環境保全地域）管理のための深海を対象とした生物多様性モニタリング技術開発
- 【期間】令和2～4年度
- ② 両生爬虫類をモデルとした希少種選定の基礎資料整備と保全対象種の簡易同定法の確立およびそれらのワークフローの提案
- 【研究分担者】栗田隆気
- 【研究代表者】戸田守（琉球大学）
- 【助成名】環境研究総合推進費
- 【期間】令和2～4年度
- ③ 「古福江湖」の生い立ちを探るー山内盆地に分布する湖成堆積物と段丘ー
- 【研究分担者】西内李佳
- 【研究代表者】近藤玲介（東京大学大気海洋研究所）
- 【助成名】環境研究総合推進費
- 【期間】令和2～4年度

(3) 他機関との共同研究

ア 研究代表者

- ① 定期市からみた地域の生活文化の歴史と多様性に関する研究
- 【研究代表者】島立理子
- 【研究分担者】小田島高之、水野大樹、西内李佳
- 【機関名】国立歴史民俗博物館
- 【期間】令和2～4年度

イ 研究分担者

- ① 富ノ森城跡で検出した貝層の観察および検討
- 【研究分担者】黒住耐二
- 【機関名】東海大学
- 【期間】令和3年4月

3 研究成果の公表・周知

- (1) 自然誌シンポジウム「バラの育種最前線！」
- 10月17日（日）（会場：本館講堂）参加者数151名（会場参加66名、オンライン配信視聴者最大85名）
- バラの育種に関わる各分野で活躍している研究者・育種家を招き、これまでの歴史とこれからのバラについて、講演とパネルディスカッションを交えたシンポジウムとした。
- (2) 中央博セミナー（会場：本館講堂）
- 新型コロナウイルス感染対策のため実施されなかった。
- (3) 自然誌フェスタ千葉
- 新型コロナウイルス感染対策のため実施されなかった。
- (4) 研究報告の発行
- ア 発行 千葉県立中央博物館研究報告 16巻1号 2022年3月31日発行

目次

- ① 伊左治鎮司・岩本直哉：下部白亜系銚子層群から産出したミノガイ科ハネガイ属二枚貝化石. pp. 1-6.
- ② 尾崎煙雄・西内李佳・斉藤明子・樽宗一郎：房総丘陵におけるアワチドリ（ラン科）生育地の確認. pp. 7-9.
- ③ 水野大樹：近接した生育地間におけるミツデウラボシ *Selligueahastata* の葉形変異. pp. 11-16.
- ④ 坂田歩美・原田 浩：千葉県産の地衣類 (12) 県新産の2種：オオクロボシゴケ *Pyxine limbulata* とクロウメボシゴケ *Trypetheliopsis yoshimurae*. pp. 17-21.
- ⑤ 吹春俊光・腰野文男・大野将史・佐野悦三・P. T. Nguyen・N. H. Nguyen・清水公徳：県立房総のむらの大型菌類相. pp. 23-47.
- ⑥ 黒住耐二・中原ゆうじ：日原鍾乳洞周辺を中心とした東京都奥多摩地域における陸産貝類の現況調査. pp. 49-56.
- ⑦ 木村悟朗・尾崎煙雄：千葉県立中央博物館生態園で人囮法により捕獲されたアオバトシラミバエ. pp. 57-59.
- ⑧ 平田和彦・小田谷嘉弥・白川浩一・黒田理生・神田義之・椎原路子・澤本将太・森 颯人・桑原和之：千葉県におけるアカアシカツオドリ *Sula sula* の記録. pp. 61-67.
- ⑨ 宮川尚子・下稲葉さやか：千葉県立中央博物館敷地内（千葉市中央区）における ニホンアナグマ *Meles anakuma* の出現記録. pp. 69-72.

4 研究員の執筆・研究発表

(1) 執筆

※中央博物館メールマガジン連載への執筆は、「V 情報の発信 2 (2) イ. メルマガコラム」を参照のこと。

【副館長】

植野英夫

学術論文・学術書

植野英夫. 2022. 成田市・龍正院における仁王造像銘札について. 千葉文華. (46): 11-20

植野英夫. 2022. 上総国に伝わる親鸞聖人像について-鹿野山神野寺の事例-. 東国真宗. (14): 24-35

報告書

植野英夫. 2022. 神野寺の歴史. In (公財)文化財建造物保存技術協会(編). 重要文化財神野寺表門保存修理(災害復旧)工事報告書. p. 2-7. 鹿野山神野寺. 君津市.

【庶務部】

【教育普及課】

古木達郎

学術論文・学術書

古木達郎. 2021. 八ヶ岳で発見されたムチゴケ属 *Bazzania* 3種の分類学的研究. 蘚苔類研究. 12(6): 155-156.

普及書

古木達郎. 2021. 孤高の天才! 水谷正美先生の教え. 蘚苔類研究. 12(6): 166-169.

古木達郎. 2021. コラム 房総丘陵の動植物 21: 房総丘陵は石灰岩を好むコケの宝庫?! しいむじな(房総の山のフィールド・ミュージアムニュースレター). (73): 3.

古木達郎. 2021. 下総台地の蘚苔類. 重点研究「下総台地東部の自然」(千葉県立中央博物館ウェブサイト 2021年4月30日掲載). <http://www2.chiba-muse.or.jp/www/NATURAL/contents/1607402508232/index.html>

大野将史

報告書

吹春俊光・腰野文男・大野将史・佐野悦三・P. T. Nguyen・N. H. Nguyen・清水公徳. 2022. 県立房総のむらの大型菌類相. 千葉県立中央博物館研究報告. 16(1): 23-47.

普及書

大野将史. 2021. 房総のむらのきのこ. 重点研究「下総台地東部の自然」(千葉県立中央博物館ウェブサイト 2021年10月27日掲載). <http://www2.chiba-muse.or.jp/www/NATURAL/contents/1607402508232/index.html>

高橋直樹

報告書

高橋直樹. 2021. 房総半島南部の地形と地質. 温泉科学. 71(1): 27-37.

原田 浩

学術論文・学術書

Harada, H. 2021. Taxonomic study on calcicolous lichens of Japan (3). *Lempholemma boninense* sp. nov. Lichenology. 19: 65-71.

Harada, H. 2021. Taxonomic notes on pyrenocarpous lichens in Japan (12). *Porina pallidocarpa* sp. nov. Lichenology. 19: 73-78.

Harada, H. 2021. Illustrated flora of marine and maritime lichens of Japan (4). *Pyrenopsis conturvata* (Lichinaceae). Lichenology. 19: 79-83.

Watanuki, O., H. Harada, K. Hara and S. Fuji. 2021. Taxonomic study of corticolous species of the genus *Buellia* s. lat. (lichenized Ascomycota) of Japan (3). *Chiasmofulvea*. Lichenology. 19: 47-64.

坂田歩美・原田 浩. 2022. 千葉県産の地衣類 (12) 県新産の2種: オオクロボシゴケ *Pyxine limbulata* とクロウメボシゴケ *Trypetheliopsis yoshimurae*. 千葉県立中央博物館研究報告. 16(1): 17-21.

報告書

原田 浩・坂田歩美・伊左治鎮司・加賀山翔一. 2022. 千葉県産の地衣類標本 (1) ウメノキゴケ科. 自然誌資料集. (2): 1-48.

普及書

原田 浩. 2021. 生物の新しい系統樹. 日本地衣学会ニュースレター. (162): 629-631.

山本伸子

学術論文・学術書

Ikeda, H., B.-M. Nam, N. Yamamoto, H. Funakoshi, A. Takano & H.-T. Im. 2021. Chromosome number of myoga ginger (*Zingiber mioga*: Zingiberaceae) in Korea. Korean Journal of Plant Taxonomy. 51(1): 100-102.

普及書

山本伸子. 2021. コラム 房総丘陵の動植物 24: 房総丘陵の新参者-タシロラン-. しいむじな(房総の山のフィールド・ミュージアムニュースレター). (76): 3.

樽宗一朗

学術論文・学術書

Taru S. and S. Nomura. 2021. A new species of the genus *Bryaxis* Kugelann, 1794 (Coleoptera, Staphylinidae, Pselaphinae) from Yakushima Island, Kagoshima Prefecture, off Kyushu, southwestern Japan. Elytra New Series. 11(1): 39-46.

久末 遊・樽宗一朗・小島弘昭. 2021. 2019年に粟国島で採集されたアリ類 付・粟国島産種リスト. 蟻. (42): 36-39.

尾崎煙雄・西内李佳・斉藤明子・樽宗一朗. 2022. 房総丘陵におけるアワチドリ(ラン科)生育地の確認. 千葉県立中央博物館研究報告. 16(1): 7-9.

普及書

樽宗一朗. 2021. コラム 房総丘陵の動植物 23: 落ち葉の下をのぞこう. しいむじな(房総の山のフィールド・ミュージアムニュースレター). (75): 3.

【企画調整課】

島立理子

学術論文・学術書

大久保悟, 島立理子. 2021. 小櫃川沖積低地における地籍図情報からみた1950年代の「島畑」分布と地形要因. GIS-理論と応用. 32(2): 91-100.

普及書

島立理子. 2021. 絵葉書にみる聖地と観光 聖地と周辺の観光地化. 地域人. (76): 52-55.

島立理子. 2021. 絵葉書にみる聖地と観光 千葉県立中央博物館所蔵の菱田コレクションなど. 地域人. (76): 58-59.

吹春俊光

報告書

吹春俊光・腰野文男・大野将史・佐野悦三・P. T. Nguyen・N. H. Nguyen・清水公德. 2022. 県立房総のむらの大型菌類相. 千葉県立中央博物館研究報告. 16(1): 23-47.

普及書

吹春俊光. 2022. 美しい画、美しい物种. In PIE BOOKS(編). 蘑菇图鉴. p.44-45. 湖南美術出版社. 中華人民共和国.

Fukiharu, T. 2021. Mushroom Botanical Art. 207 pp. PIE International. China

吹春俊光 (監修)・堀 博美 (文)・榊井 亮 (写真). 2021. ときめくきのご図鑑. 127 pp. 山と溪谷社. 東京.

吹春俊光. 2021. きのこにまつわるQ&A. 山と溪谷. 2021(10): 99-102, 112.

吹春俊光. 2021. きのこの自然誌一きのご調査の楽しみ. 季刊きのこ. (41): 15-16.

吹春俊光. 2021. きのこの自然誌一きのご鑑定依頼. 季刊きのこ. (42): 19-20.

吹春俊光. 2021. きのこの自然誌一きのご鑑定依頼 (2). 季刊きのこ. (43): 15-16.

吹春俊光. 2022. きのこの自然誌一マッチ箱の中のきのこ. 季刊きのこ. (44): 15-16.

吹春俊光. 2021. 吹春さんに聞く不思議でスゴイきのこの話. 千葉県、埼玉県中心の口コミ情報、地域の声が見えるチイコミ!. 2021年11月10日公開. <https://chiicomi.com/press/1810541/>

Fukiharu, T. 2022. Interviews: Q&A with Dr. Toshimitsu Fukiharu, author of Mushroom Botanical Art. The Mycological Book Club. 1 March 2022. <https://mycobookclub.blogspot.com/p/interviews.html>

水野大樹

学術論文・学術書

水野大樹・福地毅彦・佐土哲也. 2021. 飯岡沖(千葉県旭市)で採集された千葉県初記録のテンジクガレイ *Pseudorhombus arsius*. 千葉生物誌. 71(2): 81-83.

水野大樹. 2022. 近接した生育地間におけるミツデウラボシ *Selliguea hastata* の葉形変異. 千葉県立中央博物館研究報告. 16(1): 11-16.

普及書

水野大樹. 2022. 生態園観察ノート No. 22 生態園のシダ. 18 pp. 千葉県立中央博物館. 千葉市.

水野大樹. 2021. シダ植物のフロラ調査. 重点研究「下総台地東部の自然」(千葉県立中央博物館ウェブサイト 2021年7月13日掲載). <http://www2.chiba-muse.or.jp/www/NATURAL/contents/1607402508232/index.html>

【自然誌・歴史研究部】

【地学研究科】

伊左治鎮司

学術論文・学術書

Isaji S., T. Haga and K. Kashiwagi. 2022. Early Cretaceous small-sized gastropods from the shallow marine deposits of the Kimigahama Formation, Choshi Group, Japan. *Paleontological Research*. 26(1): 31-54.

Aotsuka K., S. Isaji and H. Endo. 2022. An avian sternum (Aves: Procellariidae) from the Pleistocene Ichijiku Formation in Chiba, Japan. *Paleontological Research*. 26(1): 74-86.

伊左治鎮司・岩本直哉. 2022. 下部白亜系銚子層群から産出したミノガイ科ハネガイ属二枚貝化石. 千葉県立中央博物館研究報告. 16(1): 1-6.

報告書

原田 浩・坂田歩美・伊左治鎮司・加賀山翔一. 2022. 千葉県産の地衣類標本(1) ウメノキゴケ科. 自然誌資料集. (2): 1-48.

普及書

伊左治鎮司. 2022. 千葉県の外来種 タイワンシジミ. 生命のにぎわいとつながり(生物多様性ちばニュースレター). (73): 4.

岡崎浩子

普及書

岡崎浩子. 2021. 下総台地の地層(下総層群)調査. 重点研究「下総台地東部の自然」(千葉県立中央博物館ウェブサイト 2021年7月24日掲載). <http://www2.chiba-muse.or.jp/www/NATURAL/contents/1607402508232/index.html>

丸山啓志

学術論文・学術書

丸山啓志. 2021. 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)禍での千葉県立中央博物館本館の取組み. ICOM日本委員会ジャーナル: コロナ禍のミュージアムの現場より. <https://icomjapan.org/journal/2021/11/17/p-2723/>

【動物学研究科】

駒井智幸

学術論文・学術書

Komai, T. 2021. A new species of the squat lobster genus *Uroptychodes* Baba, 2004 (Decapoda: Anomura: Chirostylidae) from Japan. *Zootaxa*. 4966(3): 349-358.

Komai, T., T.-Y. Chan and S.-C. Chang. 2021. Redescription of the colorful deep-sea shrimp *Lebbeus compressus* Holthuis, 1947 and description of a closely allied new species from Taiwan (Decapoda: Caridea: Thoridae). *Journal of Crustacean Biology*. 41(3): 1-13. <https://doi.org/10.1093/jcobiol/ruab048>

Komai, T. and I. Hirabayashi. 2021. A new species of the processid shrimp genus *Nikoidea* Paul' son, 1875 (Decapoda: Caridea) from Japan. *Zootaxa*. 5057(1): 114-126.

Komai, T. and R. Koreeda. 2022. A new species of the infaunal alpheid shrimp genus *Richalpheus* Anker & Jeng, 2006 (Decapoda: Caridea) from Kagoshima, Japan. *Zootaxa*. 5115(3): 397-408.

Komai, T., T. Maenosono, T. Saeki and T. Naruse. 2021. Redescription of the brackish water crab *Ptychognathus glaber* Stimopson, 1858 based on the topotypic material from the Ogasawara Islands and new record of *P. lipkei* N.K. Ng, 2010 from Japan (Decapoda: Brachyura: Varunidae). *Zootaxa*. 5048(1): 58-76.

Komai, T., A.K. Miller & M.C.D. Malay. 2021. Three new species of pagurid hermit crabs (Decapoda: Anomura: Paguroidea) from the Northern Mariana Islands, Micronesia. *Zootaxa*. 5099(5): 563-585.

Komai, T., T. Naruse, H. Yokooka, M. Taru, M. Shimetsugu & T. Watanabe. 2022. Redescription of *Pinnixa haematosticta* Sakai, 1934, its transfer to *Indopinnixa* Manning & Morton, 1987, and a reappraisal of *Indopinnixa kumejima* Naruse & Maenosono, 2012 (Decapoda: Brachyura: Pinnotheridae). *Zootaxa*. 5110(3): 361-389.

Komai, T. and D.L. Rahayu. 2021. Three new species of the pagurid hermit crab genus *Catapagurus* A. Milne-Edwards, 1880 (Decapoda: Anomura: Paguroidea) from the Bohol Sea, the Philippines. *Raffles Bulletin of Zoology*. 69: 156-174.

Komai, T., D.L. Rahayu and Y. Fujita. 2021. Hermit crabs of the family Paguridae (Crustacea: Decapoda: Anomura) from Christmas and Cocos (Keeling) Islands, Indian Ocean Territory of Australia, with descriptions of three new species and reappraisal of the genus *Kumepagurus* Komai & Osawa, 2012. *Raffles Bulletin of Zoology*. 69: 378-402.

Chan, T.-Y., T. Komai and C.-H. Yang. 2021. An illustrated list of shrimps and lobsters (Crustacea: Decapoda: Dendrobranchiata, Caridea, Stenopodidea, Polychelida, Astacidea, Achelata, Axiidea, Gebiidea) collected by the SJADES 2018 Indonesian expedition. *Raffles Bulletin of Zoology, Supplement*. 36: 119-161.

- Kakui, K. and T. Komai. 2022. First record of *Scutariella japonica* (Platyhelminthes: Rhabdocoela) from Hokkaido, Japan, and notes on its host shrimp *Neocaridina* sp. aff. *dauidi* (Decapoda: Caridea: Atyidae). *Aquatic Animals*. 2022: AA2022-1.
- Malay, M.C.D., A.K. Miller and T. Komai. 2021. Hermit crabs (Crustacea: Decapoda: Anomura: Paguroidea) of the Northern Marianas, including new records and an updated checklist. *Micronesica*. 202101: 1-29.
- 伊藤寿茂・駒井智幸・山川宇宙. 2021. 相模湾で採集された北限記録のフタバベニツケモドキ *Thalmita admete* (軟甲綱: 十脚目: ワタリガニ科). *黒潮 Biosphere*. 18(2): 19-28.
- 普及書
駒井智幸. 2021. 節足動物. In 藤原義弘(編). 小学館の図鑑NEO 深海生物 DVDつき. p.142-157. 小学館. 東京.
- 黒住耐二**
学術論文・学術書
黒住耐二・趙 晔. 2022. 良渚遺跡群の卞家山遺跡の貝塚堆積物から抽出された貝類遺体. In 中村慎一(編). 中国江南の考古学. p. 117-122. 中国文明起源プロジェクト. 石川.
阿部芳郎・田村正樹・樋泉岳二・黒住耐二. 2022. 松島湾周辺地域における土器製塩の展開—林崎貝塚・清水洞窟貝塚・表浜貝塚における縄文晩期から古代の土器製塩—. *駿台史学*. (175): 33-62
山崎真治・黒住耐二・宮城幸也. 2021. 知名町中甫洞穴出土海産貝類の放射性炭素年代. *奄美考古*. (9): 61-70.
山崎真治・澤浦亮平・黒住耐二・藤田祐樹・竹原弘展・海部陽介. 2021. サキタリ洞遺跡の貝製ビーズと顔料利用に関する新たな知見—沖縄の旧石器文化をめぐる特殊性と普遍性—. *旧石器研究*. (17): 57-77.
- 報告書
黒住耐二. 2022. 浜詰遺跡の貝塚から得られた貝類遺体 (予報). In 奥 勇介(編). 浜詰遺跡・東風ヶ奥遺跡発掘調査報告書, 京丹後市文化財調査報告書 24. p. 12-13, 22. 京丹後市教育委員会. 京都.
黒住耐二. 2022. 下ヶ戸貝塚の7次調査で得られた微小貝類および非食用の貝類片. In 手嶋秀吾(編). 下ヶ戸貝塚X, 我孫子市埋蔵文化財報告 67. p. 28-34. 我孫子市教育委員会. 我孫子市.
黒住耐二. 2022. 「建築用材・漆喰の原料となる貝灰生産に関する基礎資料の収集・調査活動」研究成果. 公益信託大成建設自然・歴史環境基金成果報告書. 9 pp. 千葉県立中央博物館. 千葉市.
黒住耐二. 2022. 金武鍾乳洞遺跡から得られた貝類遺体 (予報). In 新里貴之(編). 金武鍾乳洞遺跡(4): p36-45. 沖縄国際大学. 沖縄.
黒住耐二・中原ゆうじ. 2022. 日原鍾乳洞周辺を中心とした東京都奥多摩地域における陸産貝類の現況調査. 千葉県立中央博物館研究報告. 16(1): 49-56.
- 普及書
黒住耐二. 2021. 微小貝類からみた沖縄の貝塚. In 山崎真治(編). 博物館企画展. 海とジュゴンと貝塚人—貝塚が語る9000年のくらし—. p. 67-68. 沖縄県立博物館・美術館. 沖縄.
黒住耐二. 2021. ならべる図鑑. 第40回. タカラガイ. 読売 KODOMO 新聞. (536): 7.
黒住耐二(監修). 2021. 千葉県立中央博物館. *Gariben Magazine*. 2: 44.
黒住耐二・大作晃一. 2021. くらべてわかる貝殻. 127 pp. 山と溪谷社. 東京.
黒住耐二・武井哲史. 2021. 日本と世界のタカラガイ. 271 pp. 誠文堂新光社. 東京.
黒住耐二. 2021. “進化”を見ることのできる場所—下総台地のヌマコダキガイ化石. 重点研究「下総台地東部の自然」(千葉県立中央博物館ウェブサイト2021年11月30日掲載). <http://www2.chiba-muse.or.jp/www/NATURAL/contents/1607402508232/index.html>
- 宮川尚子**
学術論文・学術書
宮川尚子・下稲葉さやか. 2022. 千葉県立中央博物館敷地内(千葉市中央区)におけるニホンアナグマ *Meles anakuma* の出現記録. 千葉県立中央博物館研究報告. 16(1): 69-72.
- 【植物学研究科】
平田和弘
普及書
平田和弘. 2021. 旭市の維管束植物相調査の途中経過. 重点研究「下総台地東部の自然」(千葉県立中央博物館ウェブサイト2021年12月21日掲載). <http://www2.chiba-muse.or.jp/www/NATURAL/contents/1607402508232/index.html>
- 天野 誠**
普及書
天野 誠. 2021. 郷土の植物を記録する(旭市を例として). 重点研究「下総台地東部の自然」(千葉県立中央博物館ウェブサイト2021年8月13日掲載). <http://www2.chiba-muse.or.jp/www/NATURAL/contents/1607402508232/index.html>
- 坂田歩美**
学術論文・学術書
坂田歩美・原田 浩. 2022. 千葉県産の地衣類(12) 県新産の2種: オオクロボシゴケ *Pyxine limbulata* とクロウメボンゴ *Trypetheliopsis yoshimurae*. 千葉県立中央博物館研究報告. 16(1): 17-21.
報告書

原田 浩・坂田歩美・伊左治鎮司・加賀山翔一. 2022. 千葉県産の地衣類標本(1) ウメノキゴケ科. 自然誌資料集. (2): 1-48.

普及書

坂田歩美. 2022. 苔松苔梅-春を寿ぐうめのきごけ-. 16 pp. 千葉県立中央博物館. 千葉市.

【歴史学研究科】

小林裕美

普及書

小林裕美. 2021. 房総の祭り 中島の梵天立て. ひまわり倶楽部. 2021 冬号(58): 24-25.

小林裕美. 2021. 新刊紹介『市川市史民俗編-台地・町・海辺の暮らしと伝承-』. 千葉史学. (79): 96-98.

田邊由美子

学術論文・学術書

田邊由美子. 2022. 縄文海進と貝塚. In 秋道智彌・角南 篤(編). シリーズ海とヒトの関係学⑤ コモンズとしての海. p.112-117. 西日本出版社. 大阪.

普及書

田邊由美子. 2022. 縄文海進と貝塚. Ocean Newsletter. 518: 4-5

【資料管理研究科】

御巫由紀

学術論文・学術書

Soufflet-Freslon, V., E. Araou, J. Jeauffre, T. Thouroude, A. Chastellier, G. Michel, Y. Mikanagi, K.

Kawamura, M. Baneld, C. Oghina-Pavie, J. Clotault, A. Pernet and F. Foucher. 2021. Diversity and selection of the continuous-flowering gene, RoKSN, in rose. Horticulture Research. (8): 76-88.

普及書

御巫由紀. 2021. 日本の薔薇を知りたくて その15: モリイバラ *Rosa onoei* var. *hakonensis* 「薄暗い森に点々と白く咲くモリイバラ」. ガーデンダイアリー. (15): 88-89.

御巫由紀. 2021. 日本の薔薇を知りたくて その16: ヤブイバラ *Rosa onoei* 「ヤブイバラ、チャームポイントは伏毛です!」. ガーデンダイアリー. (16): 64-65.

御巫由紀. 2022. 日本の薔薇を知りたくて その17: カイドウバラ *Rosa x uchiyamana* 「海棠の花を思わせる、カイドウバラ」. ガーデンダイアリー. (17): 78-79.

御巫由紀. 2022. バラの育種の歴史について考える. ガーデンダイアリー. (17): 72-77.

御巫由紀. 2021. 千葉県のバラ園巡り. マイガーデン. (99): 64-67.

御巫由紀. 2021. 千葉県立中央博物館でバラの特別展が開催されます. マイガーデン. (100): 56-59.

御巫由紀. 2021. 解説. In バラのすべて~All about Roses~ 千葉県立中央博物館令和3年度特別展. p.65-69. 千葉県立中央博物館. 千葉市.

奥田昌明

普及書

奥田昌明. 2021. 花粉研究に没頭 すべてが繋がりに「チバニアン」誕生. 山ざる. 52: 14-18.

奥田昌明. 2022. 下総台地東部の表層花粉調査. 重点研究「下総台地東部の自然」(千葉県立中央博物館ウェブサイト 2022年3月10日掲載). <http://www2.chiba-muse.or.jp/www/NATURAL/contents/1607402508232/index.html>

村田明久

学術論文・学術書

斉藤明子・村田明久. 2021. 千葉県立中央博物館内で捕獲されたカツオブシムシ. 房総の昆虫. (68): 94-95.

宮 正樹

学術論文・学術書

Miya, M. 2021. Environmental DNA Metabarcoding: A Novel Method for Biodiversity Monitoring of Marine Fish Communities. Annual Review of Marine Science. 14(1): 161-185.

Harrington, R. C., M. Friedman, M. Miya, T. J. Near and M. A. Campbell. 2021. Phylogenomic resolution of the monotypic and enigmatic *Amarsipus*, the Bagless Glassfish (Teleostei, Amarsipidae). Zoologica Scripta. 50(4): 411-422.

Sakata, M. K., M. U. Kawata, A. Kurabayashi, T. Kurita, M. Nakamura, T. Shirako, R. Kakehashi, K. Nishikawa, M. Y. Hossman, T. Nishijima, J. Kabamoto, M. Miya and T. Minamoto. 2021. Development and evaluation of PCR primers for environmental DNA (eDNA) metabarcoding of Amphibia. Metabarcoding and Metagenomics. 6: 15-26.

Sakata, M. K., T. Watanabe, N. Maki, K. Ikeda, T. Kosuge, H. Okada, H. Yamanaka, T. Sado, M. Miya and T. Minamoto. 2021. Determining an effective sampling method for eDNA metabarcoding: a case study for fish biodiversity monitoring in a small, natural river. Limnology. 22(2): 221-235.

Santana, C. D., L. R. Parenti, C. B. Dillman, J. A. Coddington, D. A. Bastos, C. C. Baldwin, J. Zuanon, G. Torrente-Vilara, R. Covain, N. A. Menezes, A. Datovo, T. Sado and M. Miya. 2021. The critical role of natural history museums in advancing eDNA for biodiversity studies: a case study with Amazonian fishes. Scientific Reports. 11(1): 18159.

平井惇也・宮 正樹・藤木徹一・吉田 聡・乙坂重嘉・埴山秀樹・加古真一郎・片岡智哉・松岡大祐・日高弥子・杉山大祐・小瀧不二夫. 2021. 海洋学の10年展望2021: 新たな手法と問題. 海の研究. 30(5): 227-253.

【生態・環境研究部】

【生態学・環境研究科】

尾崎煙雄

学術論文・学術書

斉藤明子・村川功雄・尾崎煙雄. 2022. 千葉県におけるアマミトガリナナフシの再発見. 月刊むし. (614): 39-41.

尾崎煙雄・西内李佳・斉藤明子・樽宗一郎. 2022. 房総丘陵におけるアワチドリ(ラン科)生育地の確認. 千葉県立中央博物館研究報告. 16(1): 7-9.

木村悟朗・尾崎煙雄. 2022. 千葉県立中央博物館生態園で人囮法により捕獲された アオバトシラミバエ. 千葉県立中央博物館研究報告. 16(1): 57-59.

普及書

尾崎煙雄. 2021. 館のない博物館から(73) カキの実. 館報せいわ. (380): 4.

尾崎煙雄. 2021. 良好な谷津環境の指標となる昆虫寄生菌. 重点研究「下総台地東部の自然」(千葉県立中央博物館ウェブサイト 2021年9月16日掲載). <http://www2.chiba-muse.or.jp/www/NATURAL/contents/1607402508232/index.html>

尾崎煙雄. 2021. 変形菌. しいむじな(房総の山のフィールド・ミュージアムニュースレター). (75): 1-2.

大木淳一

普及書

大木淳一. 2021. 生命のにぎわい調査団の現地研修会を催しました. 生命のにぎわいとつながり(生物多様性ちばニュースレター). (70): 3.

大木淳一. 2021. 蟹気楼の魅力で地域を元気にしたい!. with コロナの暮らしのなかで 作家が語る きょう・あした・未来. 9: https://note.com/poplar_jidousho/n/n4527434ab3ee

大木淳一. 2022. 生命のにぎわい調査団の現地研修会を催しました. 生命のにぎわいとつながり(生物多様性ちばニュースレター). (72): 3-4.

大木淳一. 2022. 爆笑! 蟹気楼室内実験. 自然保護. 586: 32.

大木淳一. 2022. 千葉県のカエルを指名手配〜この顔にピンと来たら調査団へ報告を〜. 生命のにぎわいとつながり(生物多様性ちばニュースレター). (73): 1-3.

斉藤明子

学術論文・学術書

斉藤明子. 2021. 生態園で2020年に確認された注目すべき甲虫. 房総の昆虫. (68): 59-60.

斉藤明子. 2021. アオバトシラミバエのヒトへの飛来例. 房総の昆虫. (68): 99-100.

斉藤明子. 2021. 千葉県におけるスジグロボタルの記録. 房総の昆虫. (69): 54-55.

斉藤明子. 2021. エグリゴミムシを君津市で採集. 房総の昆虫. (69): 85.

斉藤明子. 2021. キイロクチキムシの採集記録. 房総の昆虫. (69): 89, pl. 2.

斉藤明子・村田明久. 2021. 千葉県立中央博物館内で捕獲されたカツオブシムシ. 房総の昆虫. (68): 94-95.

斉藤明子・村川功雄・尾崎煙雄. 2022. 千葉県におけるアマミトガリナナフシの再発見. 月刊むし. (614): 39-41.

中村 涼・斉藤明子. 2021. 千葉県におけるスズキマルズヤセバエの記録. 房総の昆虫. (68): 98-99.

鈴木 勝・斉藤明子. 2021. 千葉県動物誌、千葉県産動物総目録に掲載されていない甲虫 補遺と追加(X). 房総の昆虫. (69): 99-102.

鈴木 勝・斉藤明子. 2021. 千葉県の甲虫確認種数(2020年3月現在). 房総の昆虫. (68): 118-119.

鈴木 勝・斉藤明子. 2021. 千葉県甲虫目録2020. 319 pp. 個人出版. 佐倉市.

安川 憲・斉藤明子. 2021. 2020年の東金市におけるアサギマダラのマーキング調査報告. 房総の昆虫. (68): 84-85.

尾崎煙雄・西内李佳・斉藤明子・樽宗一郎. 2022. 房総丘陵におけるアワチドリ(ラン科)生育地の確認. 千葉県立中央博物館研究報告. 16(1): 7-9.

普及書

斉藤明子. 2021. カミキリムシの魅力. しいむじな(房総の山のフィールド・ミュージアムニュースレター). (73): 1-2.

斉藤明子. 2022. 館のない博物館から(75) 昔の田んぼ. 館報せいわ. (382): 4.

斉藤明子. 2022. コロナ禍でできること〜データベースの活用〜. 重点研究「下総台地東部の自然」(千葉県立中央博物館ウェブサイト 2022年1月22日掲載). <http://www2.chiba-muse.or.jp/www/NATURAL/contents/1607402508232/index.html>

桑原和之

学術論文・学術書

平田和彦・小田谷嘉弥・白川浩一・黒田理生・神田義之・椎原路子・澤本将太・森 颯人・桑原和之. 2022. 千葉県におけるアカアシカツオドリ *Sula sula* の記録. 千葉県立中央博物館研究報告. 16(1): 61-67.

報告書

平田豊治・桑原和之. 2021. 野田山ラインセンサス結果2016年. In 石川野鳥年鑑2016. p. 81-82. 日本野鳥の会石川. 石川.

平田豊治・桑原和之. 2021. 野田山ラインセンサス結果 2017 年. In 石川野鳥年鑑 2017. p.97-98. 日本野鳥の会石川. 石川.

桑原和之・糠谷 隆・齊藤敏一・箕輪義隆・隈部 修. 2022. いきもの調査隊報告 10. たかつぼ通信. (14): 1.

桑原和之. 2022. 房総丘陵の鳥類. しいむじな(房総の山のフィールド・ミュージアムニュースレター). (76): 1-2.

八木令子

普及書

八木令子. 2021. 文献紹介「新版 古地図で読み解く江戸東京地形の謎(芳賀ひらく著)」. 地図情報. 41(1): 39-40.

八木令子. 2021. 館のない博物館から(72) 河岸段丘を調べる. 館報せいわ . (379): 4.

栗田隆気

学術論文・学術書

Fukuyama R., I. Fukuyama, T. Kurita, Y. Kojima, M.Y. Hossman, A. Noda and K. Nishikawa. 2021. New herpetofaunal records from Gunung Mulu National Park and its surrounding areas in Borneo. Herpetozoa. 34: 89-96.

Sakata M.K., M.U. Kawata, A. Kurabayashi, T. Kurita, M. Nakamura, T. Shirako, R. Kakehashi, K. Nishikawa, M.Y. Hossman, T. Nishijima, J. Kabamoto, M. Miya and T. Minamoto. 2021. Development and evaluation of PCR primers for environmental DNA (eDNA) metabarcoding of Amphibia. Metabarcoding and Metagenomics. 6: e76534.

西内李佳

学術論文・学術書

尾崎煙雄・西内李佳・齊藤明子・樽宗一朗. 2022. 房総丘陵におけるアワチドリ(ラン科)生育地の確認. 千葉県立中央博物館研究報告. 16(1): 7-9.

普及書

西内李佳. 2022. 植物相調査と果実・種子標本採集. 重点研究「下総台地東部の自然」(千葉県立中央博物館ウェブサイト 2022年3月24日掲載). <http://www2.chiba-muse.or.jp/www/NATURAL/contents/1607402508232/index.html>

千葉友樹

普及書

千葉友樹. 2021. 特集 マガキのリレー戦略. しいむじな(房総の山のフィールド・ミュージアムニュースレター). (74): 1-2

千葉友樹. 2021. 館のない博物館から(74)小糸川の地層と化石. 館報せいわ. (381): 4

【環境教育研究科】

林 紀男

学術論文・学術書

林 紀男・小倉久子・竹内順子・八鍬雅子. 2021. 手賀沼における抽水植物の衰退 ~マコモ・ヒメガマ・外来ハス~. 日本水処理生物学会誌. 57(4): 103-110.

林 紀男. 2021. 手賀沼・印旛沼流域での侵略的外来水生植物の現状と水環境への影響. 用水と廃水. 63(7): 495-501.

林 紀男. 2021. 水生植物とプランクトン. In 日本水環境学会(編). 水環境の事典. p.438-441. 朝倉書店. 東京.

報告書

林 紀男. 2021. 水草の系統維持栽培を通じた水生生物の回廊創出. 水草研究会誌. 112: 61-67.

林 紀男. 2021. 足田堤(秋田県羽後町)の浮遊生物相. 秋田自然史研究. 79: 106-111.

松木和雄・林 紀男. 2021. 千葉県立中央博物館舟田池でナゴヤサナエ羽化殻を採集. 房総の昆虫. 69: 20.

石川紀行・谷口吉光・鎌田洋平・一関晋太郎・堤 朗・林 紀男. 2021. 八郎湖の湖内生態系復元のために流域各地に在来沈水植物の再生拠点を整備する. In 自然保護助成基金助成成果報告書 第30期. p.88-93. 自然保護助成基金. 東京.

林 紀男. 2021. 千葉県外房・内房地域に繁茂拡大した侵略的外来水生植物 ~ナガエツルノゲイトウ・オオバナミズキンバイ・ミズヒマワリ~. 千葉生物誌. 71(2): 97.

北村 岳・林 紀男・古川靖英. 2021. 印旛沼流域における水生植物の生息域外保全 の取り組み. 千葉生物誌. 71(2): 99-100

梶 眞壽・鈴木盛智・林 紀男. 2021. 四つ池の池干しに伴うプランクトン相の変化. 千葉生物誌. 71(2): 100.

竹内順子・林 紀男・小倉久子・高橋 葉. 2021. 手賀沼における侵略的外来水生植物ナガエツルノゲイトウとオオバナミズキンバイの拮抗. 千葉生物誌. 71(2): 98.

小倉久子・林 紀男・竹内順子・八鍬雅子. 2021. 手賀沼における抽水植物の衰退現象 ~マコモ・ヒメガマ・外来ハスを中心~. 千葉生物誌. 71(2): 98.

普及書

林 紀男. 2021. 2020年度 第73回 児童生徒生物研究発表大会(504回例会) 講評. 千葉生物誌. 71(1): 46.

林 浩二

普及書

林 浩二. 2022. 連載: 博物館と社会を考える(11) 博物館の世界的組織の環境保全と教育への取り組み. 市民研通信. (65): https://www.shiminkagaku.org/csinewsletter_065_202202_hayashi/

平田和彦

学術論文・学術書

- 平田和彦・小田谷嘉弥・白川浩一・黒田理生・神田義之・椎原路子・澤本将太・森 颯人・桑原和之. 2022. 千葉県におけるアカアシカツオドリ *Sula sula* の記録. 千葉県立中央博物館研究報告. 16(1): 61-67.
- 倉沢康大・平田和彦. 2021. 津軽海峡における海鳥の密度の季節変化. Bird Research. 17: A31-A44.
- 普及書
- 無記名. 2021. 令和3年度夏の展示「うみ鳥つぷ [umi-Trip] ー海鳥とめぐる島の旅・半島の旅ー」. 千葉教育. (668): 31.
- 平田和彦. 2021. 令和3年度夏の展示「海鳥とめぐる房総半島の旅」. 14 pp. 千葉県立中央博物館. 千葉市.
- 平田和彦. 2021. 海鳥を通して考える島づくり. 季刊『しま』. (266): 76-81.
- 平田和彦. 2021. しまぐに日本の海鳥 (1) 漢字の「島」と「鳥」. ritokei. (離島経済新聞社). <https://ritokei.com/voice/21800>
- 平田和彦. 2021. しまぐに日本の海鳥 (2) 海鳥たちの島暮らし. ritokei. (離島経済新聞社). <https://ritokei.com/voice/22182>
- 平田和彦. 2021. しまぐに日本の海鳥 (3) 島に生きる海鳥たちの危機 (前編). ritokei. (離島経済新聞社). <https://ritokei.com/voice/22920>
- 平田和彦. 2021. しまぐに日本の海鳥 (4) 島に生きる海鳥たちの危機 (中編). ritokei. (離島経済新聞社). <https://ritokei.com/voice/23566>
- 平田和彦. 2021. しまぐに日本の海鳥 (5) 島に生きる海鳥たちの危機 (後編). ritokei. (離島経済新聞社). <https://ritokei.com/voice/23665>
- 平田和彦. 2021. しまぐに日本の海鳥 (6) 学芸員の島づくりチャレンジ調査地開拓から巡回展示へー. ritokei. (離島経済新聞社). <https://ritokei.com/voice/23757>
- 平田和彦. 2022. しまぐに日本の海鳥 (7) 海鳥に絶滅危惧種が多いわけー海鳥の独特な繁殖生態ー. ritokei. (離島経済新聞社). <https://ritokei.com/voice/24782>
- 平田和彦. 2021. 博物館発! 鳥のお宝ツアー#03 千葉県立中央博物館〜環境を伝える「音」の資料〜. BIRDER. 35(6): 66-67.
- 平田和彦. 2022. 博物館発! 鳥のお宝ツアー#10 冬休み、春休みは博物館へ!〜博物館で楽しみたい「ならび」〜. BIRDER. 36(1): 66-67.

(2) 研究発表

植野英夫

植野英夫/2021.12.5/千葉県栄町・龍角寺の龍角寺大縁起の新出写本について/千葉県郷土史研究連絡協議会第48回研究発表大会/千葉市民会館/千葉市.

植野英夫/2022.3.20/龍角寺縁起の相伝と図像的發展/栄町史講座/ふれあいプラザさかえ/印旛郡栄町.

植野英夫/2022.3.26/上総国に伝わる親鸞聖人像について-鹿野山神野寺の事例-/東国真宗研究所立教開宗800年研究部会/オンライン.

古木達郎

古木達郎/2021.9.4/屋久島で確認された日本新産 *Bazzania vietnamica* Pocs/日本蘇苔類学会第50回記念宮崎大会/オンライン/宮崎県日南市.

高橋直樹

高橋直樹・大木淳一/2021.6/房総半島における凝灰岩層の資源利用の一形態-「房州白土(房州砂)」/日本地球惑星科学連合2021年大会/オンライン.

竹之内惇志・米田成一・山口 亮・岡崎隆司・高橋直樹・白井直樹・藤原康徳・片岡龍峰/2021.6/The first fall-

observed and recovered meteorite in Japan: Narashino meteorite/日本地球惑星科学連合2021年大会/オンライン.

米田成一・山口 亮・竹之内惇志・岡崎隆司・高橋直樹/2021.9/習志野隕石の落下と分類/日本地球化学会第68回年会/オンライン.

原田 浩

原田 浩・原 光二郎・木下 薫・坂田歩美/2021.12.5-21/日本産地衣類の総合的なデータベースの整備とウェブ公開/日本地衣学会第20回大会/オンライン.

坂田歩美・原田 浩・伊左治鎮司・加賀山翔一/2021.12.5-21/房総の地衣類誌/日本地衣学会第20回大会/オンライン.

木下 薫・谷川寛典・藤原恒司・坂田歩美・原田 浩・原 光二郎・河崎 衣美/2021.12.5-21/日本産地衣類のLC/MSによる化学成分の分析と分類への応用-1/日本地衣学会第20回大会/オンライン.

原田 浩・坂田歩美/2021.8.29/日本地衣類誌. ーインベントリー, 分類, 同定ツールの整備ー/日本菌学会第65回大会研究シンポジウム「菌類藻類相互作用から地衣共生を考える」/オンライン.

山本伸子

N. Yamamoto, H. Ikeda, C.-K. Lee, S. Fuse, M. N. Tamura, H.-T. Im and Y.-P. Yang/2021.10.29-30/New or noteworthy chromosome variation in some flowering plants in Asia II/The 9th East Asian Plant Diversity and Conservation-Virtual Symposium 2021/Sungkyunkwan University, Korea (online)/Seoul.

樽 宗一郎

野村周平・松原 豊・上田衛門・山崎裕志・亀澤洋・金子直樹・樽 宗一郎/2022.2.19/皇居吹上御苑(東京都千代田区)における甲虫相調査(昆虫綱, コウチュウ目)(第Ⅲ期)の計画と1年次報告/関東昆虫学研究会第5回大会/オンライン.

樽 宗一郎/2022.2.20/アリヅカムシを探そう!/千葉県昆虫談話会例会/オンライン.

吹春俊光

吹春俊光・永山智久・ニュエン フン タオ・清水公德/2021.6.20-21(開催中止)/日本新産のケコガサ属 *Galerina sulciceps* によるアマニタトキシ中毒について./日本菌学会第65回大会/オンライン.

小暮誠一・吹春俊光/2021.11.11-12/大型菌類の胞子の法科学的有用性についての検討/日本法科学技術学会 第27回大会/オンライン.

伊左治鎮司

坂田歩美・原田 浩・伊左治鎮司・加賀山翔一/2021.12.5-21/房総の地衣類誌/日本地衣学会第20回大会/オンライン.

岡崎浩子

田村 亨・岡崎浩子・中里裕臣・納谷友規・中島 礼/2021.11.13/関東平野東縁における最終間氷期海成段丘の再考/日本堆積学会/オンライン.

丸山啓志

S. Maruyama, H. Matsuoka/2021.9.13/Investigation on reconstruction of the holotype of Naumann Elephant *Paleoloxodon naumanni* by X-ray CT/ICOM NATHIST Virtual Conference 2021/Slovenian Museum of Natural History (on line)/Ljubljana, Slovenia.

丸山啓志/2021.12.18/仮面ライダーにおける海棲哺乳類のイメージ/2021年度勇魚会シンポジウム/オンライン.

駒井智幸

西澤峻平・鄔 倩倩・中野智之・駒井智幸・石田 惣・源 利文/2022.03.14-19/花虫綱を対象とした環境DNAメタバーコーディング系の野外調査への適用/日本生態学会第69回大会/オンライン.

八巻鮎太・伊勢優史・今原幸光・岡西正典・櫛田優花・小枝圭太・駒井智幸・高岡博子・西田和記・野中正法・柳 研介・杉村 誠・伊藤昌平/2022.03.14-19/相模湾江の島沖大陸斜面の水深100-300mにおける水中ドローンを用いた生物相調査/日本生態学会第69回大会/オンライン.

黒住耐二

山崎京美・黒住耐二・江田真毅・大内利紗・谷口康浩/2021.7.3/群馬県居家以岩陰遺跡出土の動物遺存体から見た縄文早期の動物資源利用—2017・2018年資料を中心に—/日本動物考古学会第8回大会/奈良文化財研究所(オンライン).

黒住耐二/2021.7.10/種子島における貝類利用/『ボカシの文化にメスを入れる』研究発表会/鹿児島大学国際島嶼教育研究センター(オンライン)

黒住耐二/2021.10.16/沖縄の貝塚と貝類/沖縄県立博物館・美術館 博物館企画展「海とジュゴンと貝塚人」第531回 博物館文化講座/沖縄県立博物館・美術館/那覇市.

坂田歩美

坂田歩美・原田 浩・伊左治鎮司・加賀山翔一/2021.12.5-12.11/房総の地衣類誌/日本地衣学会第20回大会/オンライン.

大谷弘幸

大谷弘幸/2021.6.26/弥生農耕の実像を探る/令和3年度博物館セミナー/大多喜城分館/大多喜町.

大谷弘幸/2021.11.27/藻原寺の文化財と茂原の旧市街をたどる/令和3年度街並み探検/大多喜城分館/大多喜町.

御巫由紀

大久保直美・御巫由紀/2021.9.11/バラのフルーツ香の起源の解明(第1報)‘ダブル・ディライト’と‘ドゥフトボルケ’の香気成分の解析/園芸学会令和3年度秋季大会/岐阜大学(オンライン).

大久保直美・御巫由紀/2021.10.30/バラの枝変わり品種の香気成分__突然変異による香りの変化/第65回 香料・テルペンおよび精油化学に関する討論会/山口東京理科大学.

奥田昌明

奥田昌明/2022.1.18/第四紀「チバニアン」の時代を中心とする環境花粉学について/チバニアンガイド養成講座/市原市立加茂公民館/市原市.

奥田昌明/2022.3.4/顕微鏡で花粉観察 ~花粉博士の特別講座①~/千葉県科学館メンバー会員限定講座/千葉県科学館/千葉市.

奥田昌明 /2022.3.11/顕微鏡で花粉観察 ~花粉博士の特別講座②~/千葉県科学館メンバー会員限定講座/千葉県科学館/千葉市.

宮 正樹

Miya, M./2022,1.19/Environmental DNA metabarcoding: A novel method for biodiversity monitoring of marine fish communities /eDNA Webinar Week/UK(オンライン).

尾崎煙雄

木村悟朗・足立行男・尾崎煙雄/2021.4.16-18/BG-Proを用いたヒトスジシマカ生息調査/第73回日本衛生動物学会大会/オンライン.

山本航平・尾崎煙雄・村川功雄・嶋崎 拓・安田 守・細矢 剛/2021.8.24-29/ヤクシマセミタケの本州における初記録/日本菌学会第65回大会/オンライン.

大木淳一

高橋直樹・大木淳一/2021.5.30/房総半島における凝灰岩層の資源利用の一形態-「房州白土(房州砂)」/日本地球惑星科学連合2021年大会/オンライン.

柴野暉崇・高橋俊郎・大木淳一・岩本直哉 2021.9.6/銚子地域に産する高マグネシア安山岩と古銅輝石安山岩の記載岩石学的検討/日本地質学会第128年学術大会オンラインポスター発表/名古屋大学愛知県名古屋市.

大木淳一 2021.11.28/千葉県九十九里浜で2015~2020年に観測した上位層気楼の特徴/令和3年度日本層気楼協議会研究発表会オンライン発表/魚津埋没林博物館富山県魚津市.

八木令子

八木令子/2021.10.30/ところ変われば備えも変わる あなたの街と自然災害/千葉県立西部図書館サイエンス・カフェ/千葉県立西部図書館/松戸市.

西内李佳

近藤玲介・高場智博・西内李佳・植村杏太・宮入陽介・横山祐典・坂本竜彦/2021.8.27-28/福江島山内盆地における中期

更新世以降の層序・発達史・大型植物化石群（予報）/日本第四紀学会/大阪市立大学（オンライン）/大阪市。
西内李佳・近藤玲介・高場智博・植村杏太・長井雅史・坂本竜彦・百原 新/2021.10.31/五島列島福江島，山内盆地における中期更新世以降の大型植物化石群（予察的研究）/日本植生史学会/帝京大学文化財研究所（オンラインと会場）/笛吹市。

林 紀男

林 紀男・北村 岳・松木和雄/2021.11.25/都市部に創成した池の初期生物相 ～土着種移植による水生植物、プランクトン、トンボ～/第24回自然系研究機関連絡会議（NORNAC24）/栃木県立博物館（オンライン）/宇都宮市。

林 紀男・中井克樹/2021.10.29/手賀沼における侵略的外来水生植物の繁茂拡大と防除の取り組み/日本水処理生物学会 第57回大会/関東学院大学（オンライン）/横浜市。

類家 翔・和田桂子・一瀬 諭・林 紀男・稲森隆平・稲森悠平/2021.10.29/沈水植物の種類とプランクトン群集特性の比較解析/日本水処理生物学会 第57回大会/関東学院大学（オンライン）/横浜市。

林 紀男/2022.2.23/千葉県における侵略的外来水生植物繁茂拡大 2021年までの足跡/千葉県生物学会/千葉県立中央博物館/千葉市。

林 紀男・北村 岳・松木和雄/2022.2.23/都市部に創出した池での水生生物の初期遷移/千葉県生物学会/千葉県立中央博物館/千葉市。

小倉久子・林 紀男/2022.2.23/手賀沼ナガエ防除の循環監視/千葉県生物学会/千葉県立中央博物館/千葉市。

林 紀男/2022.2.18/水生生物の回廊創出を通じた広域多重連携 /全国科学博物館協議会 第29回研究発表大会/三重総合博物館（オンライン）/津市。

林 浩二

林 浩二/2021.8.20-21/博物館・動物園・水族館・植物園の世界的組織の環境保全と教育への取り組み/日本環境教育学会 第32回年次大会/オンライン。

林 浩二/2022.2.17-18/非対面・非接触で行う市民参加の展示制作イベント「あなたの発見おしえてください」/全国科学博物館協議会 第29回研究発表大会/オンライン。

平田和彦

平田和彦/2021.11.27/海鳥を通して考える島づくり/しまづくりフォーラム/公益財団法人日本離島センター（オンライン）。

平田和彦/2021.12.5/銚子半島の野鳥/銚子ジオパーク講座/銚子市勤労コミュニティセンター/銚子市。

平田和彦/2022.3.6/房総半島の多様な海鳥/千葉学講座/千葉県立中央博物館/千葉市。

5 研究交流

- (1) 海外出張 実績なし
- (2) 海外研究者の来訪 記録なし
- (3) 各種委員・非常勤講師等の受託

植野英夫

- ・伊能忠敬記念館協議会委員/香取市教育委員会/2021.4-2022.3
- ・栄町史編さん委員会専門委員/栄町教育委員会/2021.4-2022.3

萩野康則

- ・千葉県希少生物及び外来生物に係るリスト作成検討会委員（動物部会：多足類）/千葉県環境生活部自然保護課/2021.5-2022.3
- ・環境省希少野生動物種保存推進員/環境省自然環境局野生生物課/2021.7-2022.3

古木達郎

- ・千葉県希少生物及び外来生物に係るリスト作成検討会委員（植物・菌類部会：蘚苔類）/千葉県環境生活部自然保護課/2021.5-2022.3
- ・環境省希少野生動物種保存推進員/環境省自然環境局野生生物課/2021.7-2022.3
- ・環境省絶滅のおそれのある野生生物の選定・評価検討会蘚苔類分科会委員（蘚苔類）/環境省自然環境局野生生物課/2021.4-2022.3
- ・皇居の生物相調査（第三期）調査員/（独法）国立科学博物館/2021.10.21-2022.3
- ・成東・東金食虫植物群落保護検討委員会作業部会長/山武市教育委員会/2021.4-2022.3

山本伸子

- ・希少野生動物種保存推進員/環境省自然環境局野生生物課/2021.7-2022.3

島立理子

- ・国立歴史民俗博物館客員教授/国立歴史民俗博物館/2021.4-2022.3
- ・木更津市史編さん部会委員/木更津市教育委員会/2021.4-2022.3
- ・木更津市史編集委員/木更津市/2021.4-2022.3

吹春俊光

- ・令和3年度絶滅のおそれのある野生生物の選定・評価検討会 検討委員/環境省自然環境局野生生物課/2021.4-2022.3
- ・千葉県希少生物及び外来生物に係るリスト作成検討会委員（菌類）/千葉県環境生活部自然保護課/2021.4-2022.3
- ・希少野生動物種保存推進員/環境省自然環境局野生生物課/2021.4-2022.3

水野大樹

- ・千葉県希少生物及び外来生物に係るリスト作成検討会委員（植物部会：シダ植物）/千葉県環境生活部自然保護課/2021.4-2022.3

- ・環境省希少野生動植物種保存推進員/環境省自然環境局野生生物課/2018.7-2021.6
 - ・非常勤講師/千葉大学/2021.4-2022.3
 - ・成東・東金食虫植物群落作業部会/山武市教育委員会/2021.4-2022.3
- 加藤久佳
- ・市原市地磁気逆転地層保存活用検討委員会委員/市原市/2021.10.1-2022.3
 - ・印西市貝化石分類整理作業及び活用方針の検討委員/印西市教育委員会/2021.4-2022.3
- 伊左治鎮司
- ・非常勤講師/千葉大学/2021.4-2022.3
 - ・白山市手取層群化石調査協議会委員/石川県白山市/2021.10-2022.3
 - ・印西市貝化石分類整理作業及び活用方針の検討委員/印西市教育委員会/2021.4-2022.3
- 岡崎浩子
- ・非常勤講師/千葉大学/2021.7-2021.10
 - ・文部科学省教科書用図書検定調査審議会委員/文部科学省/2021.4-2022.3
 - ・千葉県立船橋高等学校 SSH 運営指導協議員/千葉県教育委員会/2021.4-2022.3
 - ・千葉県 SSH 重点枠高大接続運営指導協議員/千葉県教育委員会/2021.4-2022.3
 - ・印西市文化審議会委員/印西市教育委員会/2021.4-2022.3
 - ・印西市貝化石分類整理作業及び活用方針の検討委員/印西市教育委員会/2021.4-2022.3
- 駒井智幸
- ・希少野生動植物種保存推進員/環境省自然環境局野生生物課/2021.7-2022.3
 - ・魚介類（甲殻類）の名称ガイドライン検討委員会委員/消費者庁/2021.8.17-2022.3.25
- 黒住耐二
- ・希少野生動植物種保存推進員/環境省自然環境局野生生物課/2021.7-2022.3
 - ・千葉県希少生物及び外来生物に係るリスト作成検討会委員（動物部会：貝類）/千葉県環境生活部自然保護課/2021.5-2022.3
 - ・千葉県ミヤコタナゴ保全協議会委員/千葉県環境生活部自然保護課/2017.4-
 - ・成田空港の更なる機能強化事業に係る自然環境保全検討座談会専門部会委員/成田空港株式会社/2021.6-2022.3
 - ・谷津川・高瀬川・菊田川の河川環境に係る情報収集/千葉県県土整備部/2021.10.
 - ・沖縄県立博物館・美術館 博物館企画展「海とジュゴンと貝塚人」. 開会式テープカット/沖縄県立博物館・美術館/2021.10.
 - ・沖縄県対策外来種リストの見直しに関するヒアリング調査.外部有識者/沖縄県自然保護課/2021.11-2021.12
 - ・伊仙町誌「先史・原史時代部会」委員/鹿児島県伊仙町教育委員会/2022.1-2022.3
 - ・印西市貝化石分類整理作業及び活用方針の検討委員/印西市教育委員会/2021.4-2022.3
- 宮川尚子
- ・希少野生動植物種保存推進員/環境省自然環境局野生生物課/2021.7-2022.3
- 平田和弘
- ・市原市生物多様性地域戦略協議会委員/市原市/2021.6-2022.3
- 天野 誠
- ・千葉県希少生物及び外来生物に係るリスト作成検討会種子植物分科会長/千葉県環境生活部自然保護課/2021.4-2022.3
 - ・希少野生動植物種保存推進員/環境省自然環境局野生生物課/2019.7-2022.3
 - ・非常勤講師/東邦大学/2021.9-2022.3
- 小林裕美
- ・佐倉市文化財保護審議会委員/佐倉市教育委員会/2021.7-2022.3
- 米谷 博
- ・銚子市文化財審議会委員/銚子市教育委員会/2021.5-2022.4
 - ・旭市文化財審議会委員/旭市教育委員会/2021.5-2022.3
- 田邊由美子
- ・千葉大学文学部非常勤講師/千葉大学/2021.4-2022.3
 - ・市川市博物館協議会委員/市立市川考古博物館/2019.7-2021.7
2021.7-2022.3
- 御巫由紀
- ・千葉県希少生物及び外来生物に係るリスト作成検討会種子植物分科会委員/千葉県環境生活部自然保護課/2021.4-2022.3
 - ・木更津市教育委員会/木更津市文化財保護審議会委員/2021.4-2022.3
 - ・市川市公園緑地課/市川市緑の調査専門委員/2021.4-2022.3
 - ・国営越後丘陵公園/国際香りのばら新品種コンクール審査員/2021.4-2022.3
 - ・非常勤講師/千葉大学/2021.4-2022.3
- 村田明久
- ・モニタリングサイト 1000 磯分科会委員/環境省/2021.4-2022.3

小田島高之

- ・木更津市史編さん部会（民俗部会）委員/木更津市教育委員会/2021.4-2022.3

尾崎煙雄

- ・非常勤講師/千葉大学大学院理学研究院/2021.4-2022.3
- ・モニタリングサイト 1000 里地調査検討会委員/（公財）日本自然保護協会/2021.4-2022.3

由良 浩

- ・成東・東金食虫植物群落保護検討委員会委員/山武市教育委員会/2021.4-2022.3

斉藤明子

- ・千葉県希少生物及び外来生物に係るリスト作成検討会委員（動物部会：昆虫）/千葉県環境生活部自然保護課/2021.5-2022.3
- ・希少野生動植物種保存推進員/環境省自然環境局野生生物課/2021.7-2022.3

桑原和之

- ・千葉県希少生物及び外来生物に係るリスト作成検討会委員（動物部会：鳥類）/千葉県環境生活部自然保護課/2020.5-2022.3
- ・令和3年度重要生態系監視地域モニタリング推進事業シギ・チドリ類調査検討委員/環境省/2021.12.15
- ・第5回海辺の生物国勢調査に関する研究会委員/国土交通省国土技術政策総合研究所/2022.1.13

八木令子

- ・非常勤講師/国際医療福祉大学成田キャンパス/2021.7.8
- ・市原市地磁気逆転地層保存活用検討委員会委員/市原市/2019.9-2021.9
- ・屏風ヶ浦保存活用計画策定会議オブザーバー/銚子市/2022.1.26

千葉友樹

- ・印西市貝化石分類整理作業及び活用方針の検討委員/印西市教育委員会/2021.4-2022.3

林 紀男

- ・千葉県印旛沼水質改善技術検討会植生ワーキンググループ委員/千葉県県土整備部河川環境課/2021.4.1-2022.3.31
- ・千葉県印旛沼水質改善技術検討会生態系ワーキンググループ委員/千葉県県土整備部河川環境課/2021.4.1-2022.3.31
- ・千葉県印旛沼流域水循環健全化会議水環境部会委員/千葉県県土整備部河川環境課/2022.1.14-2023.3.31
- ・千葉県手賀沼水生植物再生事業検討会委員/千葉県環境生活部水質保全課/2021.4.1-2022.3.31
- ・千葉県侵略的外来水生植物対策庁内連絡会議専門委員/千葉県環境生活部自然保護課/2021.4.1-2022.3.31
- ・皇居外苑濠水環境管理検討会委員/環境省自然環境局皇居外苑管理事務所/2021.4.1-2022.3.31
- ・水産多面的機能発揮対策支援サポート専門家/全国内水面漁業協同組合連合会/2021.6.1-2022.3.31
- ・関東農政局特定外来生物対策検討会委員/農林水産省関東農政局土地改良技術事務所/2022.2.25-2023.3.31
- ・東邦大学理学部非常勤講師/東邦大学理学部/2021.4.1-2022.3.31

林 浩二

- ・博物館に関する研修 企画運営委員会 委員/文化庁（2021.6.11～2022.3.31）
- ・非常勤講師/東邦大学理学部（2021.5.25～2022.3.31）
- ・非常勤講師/星槎大学共生学部（2021.5.25～2022.3.31）

(4) 共同研究員、市民研究員、研究生の受入れ

ア 共同研究員

共同研究員は、当館職員と共同で当館の資料や設備等を利用して研究を行う館外の研究者・専門家で、本年度は26名（継続 24名、新規2名）を受け入れた。

氏名	研究テーマ	担当	区分
綿貫 攻	日本産スミイボゴケ属地衣類の分類学的研究	原田 浩	継続
吉川裕子	地衣類の化学分類	原田 浩	継続
坪田美保	地衣類の共生藻に関する研究	原田 浩	継続
Nguyen Phuong Thao	アンモニア菌類・糞生菌類・ヒトヨタケ類の研究	吹春俊光	継続
加瀬谷優子	文化財の保存に関する研究	吹春俊光	継続
宮田昌彦	房総半島における海藻相の分類学的再検討	水野大樹	継続
富塚朋子	房総半島に分布する海藻相の調査研究及び標本整理	水野大樹	継続
高山順子	干潟及び砂浜に生息するカニ類の生態学的研究	駒井智幸	新規
佐土哲也	ユニバーサルプライマーに基づく次世代シーケンサを用いた環境 DNA の分析法の確立ならびにリファレンスデータの収集	宮 正樹	継続
福地毅彦	ユニバーサルプライマーに基づく次世代シーケンサを用いた環境 DNA の分析法の確立ならびにリファレンスデータの収集	宮 正樹	継続
大庭照代	生物音響資料の編纂	御巫由紀	継続
上野尚久	ショウジョウバエ類の多様性の季節動態	尾崎煙雄	継続
木村悟朗	ヒトスジシマカの効率的な捕獲に関する研究	尾崎煙雄	継続

倉西良一	東アジア産トビケラ目昆虫の分類と分子系統地理	尾崎煙雄	継続
木村陽子	千葉県の維管束植物相に関する研究	天野 誠	継続
大野啓一	芽ばえに関する記載的研究	由良 浩	継続
茶木慧太	ラン科シユンラン属植物における菌従属栄養植物への進化過程の解明	由良 浩	継続
原 正利	ブナ科植物ほかの標本作成および生態園の植物生態観察	由良 浩	継続
吉村光敏	信仰対象となっている巨岩地形の形成史ー阿武隈山地の事例ー	八木令子	継続
田尻浩伸	里地、特に農耕地における鳥類相と環境利用	桑原和之	継続
箕輪義隆	利根川水系の湿地における鳥類相の解明	桑原和之	継続
鈴木弘行	東京湾岸の湿地における鳥類相の解明	桑原和之	継続
布留川 毅	外房海岸における鳥類相の変遷	桑原和之	継続
斉藤敏一	利根川水系の湿地における鳥類相の変遷	桑原和之	継続
横林庸介	千葉県における水草（水生植物）の種子の発芽から枯死に至る1年の記録	林 紀男	継続
豊谷 純	地域の音環境の記録および音声資料の共有を促進する地理情報ネットワークシステムの構築	平田和彦	新規
富谷朗子	シアノバクテリアー植物共生の多様性	古木達郎	継続

イ 市民研究員

市民研究員は当館職員の助言により館内外で調査研究活動を行う市民で、本年度は42名（継続39名、新規3名）を受け入れた。

氏名	研究テーマ	担当	区分
本間千舟	国内外より産出した鉱物と化石の記録	高橋直樹	継続
木澤武司	収集された国内外の砂資料の高精度画像保存及び分析	高橋直樹	継続
赤司卓也	房総半島の歴史的建築用石材の旧丁場及び産出石材の用途とその現状調査	高橋直樹	継続
関口優紀	千葉石に関する生成環境および生成条件の探求	高橋直樹	継続
山田俊弘	リンネコレクション等を利用した科学史研究とその教育的な意義について	高橋直樹	継続
松崎 務	長野県上田市周辺の地衣類相	原田 浩	継続
牧野純子	茨城県土浦市、つくば市周辺および県内空白地域における地衣類相調査	原田 浩	継続
東 あずさ	地衣類の顕微鏡観察	原田 浩	継続
中村正樹	長野県大町市の「冷風の丘」（風穴現象地帯）における地衣類植生	原田 浩	継続
田中慶太	長崎県の地衣類相	原田 浩	継続
高橋雅彦	茨城県の地衣類相	原田 浩	継続
加藤裕一	21世紀の森と広場（松戸市）における地衣類観察の取り組み	原田 浩	継続
小山内行雄	苗場山の地衣類相	原田 浩	継続
泉 宏子	房総の地衣類誌	原田 浩	継続
森田考恵	白井市周辺の地衣類相	原田 浩	継続
今井邦裕	本州中部山岳地帯における地衣類の多様性	原田 浩	継続
加藤恵美子	房総の自然に関する研究	吹春俊光	継続
小暮誠一	さのこ類の研究	吹春俊光	継続
小倉豊史	さのこ類の研究	吹春俊光	継続
佐野悦三	さのこ類の研究	吹春俊光	継続
石井明夫	北総台地における木下層化石の研究	加藤久佳	継続
松浦良彦	上総層群万田野層の古生物相	加藤久佳	継続
時田 徹	三浦層群および上総層群の動物化石の分布調査	加藤久佳	継続
津野絵里子	多様な来館者に開かれたミュージアム活動の実現に向けた調査研究	伊左治鎮司	継続
池田裕二	屋久島産大型地衣類を対象としたウェブ図鑑制作	坂田歩美	継続
土井 学	伊豆諸島利島の昆虫標本の作成・収蔵	斉藤明子	継続
安川 憲	千葉県におけるアサギマダラを中心とした昆虫類の調査	斉藤明子	継続
鶴田賢治	昭和の森公園（千葉市緑区）で冬季発生が確認されたスギナハバチに関する調査	斉藤明子	継続
鈴木 勝	千葉県北部地域の昆虫相（甲虫類）	斉藤明子	継続
斉藤 修	千葉県産蛾類データベースの構築	斉藤明子	継続
中尾健一郎	千葉県立中央博物館関連鱗翅目調査	斉藤明子	継続

森 晃	国内のシャジクモ科の研究	御巫由紀	継続
金谷小百合	ヤドリギの生態調査及び繁殖について	尾崎輝雄	継続
久保田貴志	a 生態園におけるヤマムユガ科類の生息状況とその食性 b ヤマムユガ科 Samia 属 (シンジュサン) の食性と量的形質	尾崎輝雄	新規
新井通子	千葉県最重要保護植物エイザンスミレの保護・増殖	由良 浩	新規
倉俣武男	千葉県最重要保護植物エイザンスミレの保護・増殖	由良 浩	新規
佐藤恭子	子供たちが、どうすれば地理や地学に興味をもつかの考察	八木令子	継続
上原 恵	地域に残る災害の痕跡と記録の収集と分析(3)	八木令子	継続
綾部宏子	迅速測図原図から探る印旛沼周辺を中心とする千葉県の景観	白井 豊	継続
藤島成邦	印旛沼の鳥類相の解明	桑原和之	継続
藤島 剛	印旛沼の鳥類相の解明	桑原和之	継続
隈部 修	コジュリン等、利根川水系の湿地に生息する鳥類の生態に関する研究	桑原和之	継続
高野直也	千葉県における湿地性ゴミムシの分布調査並びに生活史解明	伴 光哲	新規
内海陽一	流山市の戦隊類(コケ植物)誌	古木達郎	継続
川井正光	茂原-八積湿原とその周辺の水辺の蘚苔類相調査	古木達郎	継続

ウ 研究生

研究生は、当館職員が大学と連携して研究指導を行う大学・大学院在籍の学生で、本年度は受入実績なし。

第2 大利根分館

1 研究課題

(1) 地域研究

ア 生命誌系(房総の分類学的多様性の特徴とその保全)

千葉県のカメムシ亜目相に関する研究

【担 当】伴 光哲

【研究内容】千葉県内に生息するカメムシ亜目について、県内のファウナの全容解明を目的とした調査を実施する。また、その過程で得られた県内未記録種および未記載種については、記録の報告および分類学的な措置を積極的に行う。

【年度実績】県内各地で調査を行った結果得られた13種のカメムシについて、県内初記録種または県内から記録の少ない注目すべき種として報告を行なった。また、普及的な著作物を2本執筆し、カメムシをはじめとした昆虫について話題を提供した。

イ 人類誌系(房総という環境の成り立ち及び人々の生活誌に関する研究)

都市近郊低湿地における生業の研究

【担 当】秋山笑子

【研究内容】千葉県内の低湿地を中心に、生業と生活戦略を検討し、近現代における低湿地における生活と環境の変化との関連について調査研究を行う。

【年度実績】実績なし

ウ 博物館誌系(博物館とその社会的役割に関する研究)

博物館と学校との博学連携による博物館学習の推進に関する研究

【担 当】大野将史・木本利行

【研究内容】先進的な博物館の学校教育対応と展示環境の調査を通して、博学連携による博物館学習及び学校教育に対応した博物館展示のあり方について研究する。博物館の学校利用の現状を分析し、実態に即した博物館学習と展示改善を推進する。

【年度実績】道具とくらしのうつかり学習キットについて、本館と大利根分館にある実物を照らし合わせながら新学習指導要領に沿った指導ができるように指導案を用意した。新学習指導要領になったことで古い道具について学習時間が大幅に減ったことを考慮し、学習キットを使った教員が指導案を見ながら、負担感なく短時間で授業を行えるようにすることができた。

(2) 普遍研究

生命誌系(分類学的多様性に関する基礎的研究)

ナガカメムシ上科の分類学的研究

【担 当】伴 光哲

【研究内容】数多くの分類学的な問題が残されている東アジア～東南アジアのナガカメムシ上科について分類学的研究を行い、生物多様性保全の基盤整備および応用利用に向けた有用種の探索に貢献する。

【年度実績】カメムシの分類やファウナに関する3編の原著論文と7編の和文短報を公表するとともに、9編を新たに投稿した。また、研究紹介ミニトピックス展「国内初記録の外来昆虫オオクロマダラナガカメムシ」を前年度から継続して本館で実施し、来館者に研究成果について紹介した。

2 研究員の執筆・研究発表

(1) 執筆

伴 光哲

学術論文・学術書

Ban, T. 2022. The genus *Kanigara* Distant (Heteroptera: Lygaeoidea: Rhyparochromidae) from Malay Peninsula and Thailand, with description of a new species. *Raffles Bulletin of Zoology*. 70: 22-29.

伴 光哲. 2021. 市原市大久保におけるサシガメ科2種の分布記録. 房総の昆虫. (68): 44.

伴 光哲. 2021. 千葉県初記録のカメムシ亜目4種. 房総の昆虫. (68): 46-47.

伴 光哲. 2021. 千葉市における外来種ムネアカハラビロカマキリの記録. 房総の昆虫. (68): 90.

伴 光哲. 2021. 千葉県立中央博物館生態園で採集された県初記録のカシカメムシ2種. 房総の昆虫. (69): 35.

伴 光哲. 2021. 東京大学千葉演習林で採集された注目すべきカメムシ亜目5種. 房総の昆虫. (69): 36-37.

伴 光哲. 2021. 神奈川県立生命の星・地球博物館に寄贈された平野幸彦コレクションのカメムシ亜目. 神奈川虫報. (204): 91-104.

伴 光哲. 2022. 利尻島および礼文島から初めて記録されるクロナガカメムシ族2種(カメムシ目: ナガカメムシ上科: ヒョウタンナガカメムシ科). 利尻研究. (41): 41-43.

渡部晃平・伴光哲. 2021. 石川県におけるコガシラコバネナガカメムシ(半翅目, コバネナガカメムシ科)の初記録. 昆虫(ニューシリーズ). 24(4): 106-107.

山崎 駿・岩田泰幸・富樫和孝・伴 光哲・碓井 徹. 2021. 山梨県におけるイトアメンボの初記録と千葉県で過去に記録されたイトアメンボ属の記録の修正. *Rostria*. (66): 51-54.

普及書

伴 光哲. 2021. 千葉県のムシのここが面白い! カメムシ編. 千葉県昆虫談話会ニュースレター. (127): 3-4.

伴 光哲. 2022. 川と昆虫 ～利根川には、どんな虫がいるのか～. たかつぼ通信. (14): 2-3.

3 研究交流

ア 共同研究員

氏名	研究テーマ	担当	区分
糠谷 隆	利根川下流域の稲作農具の変遷と特徴	秋山笑子	新規

イ 市民研究員

氏名	研究テーマ	担当	区分
高野直也	千葉県における湿地性ゴキブリの分布調査並びに生活史解明	伴 光哲	新規

第3 大多喜城分館

1 研究課題

(1) 地域研究

ア 人類誌系(房総という環境の成り立ち及び人々の生活誌に関する研究)

① 鳥瞰図などから見る房総

【担 当】渡辺善司

【研究内容】鳥瞰図などの資料から描かれた当時の房総の姿を明らかにし、加えて現在に至るまでの歴史の変遷を追う。

【年度実績】鳥瞰図等に見られる事象について、当時の新聞などの記述を確認した。

② 明治期銅版画に関する研究

【担 当】大谷弘幸

【研究内容】「博覧図」等の明治期銅版画について、出版社・絵師・彫師などを通じてその制作過程や変遷を調査するとともに、県内の産業・風俗などについて考察する。

【年度実績】「博覧図」の発行元である精行社の銅版画について、「博覧図」および一枚物銅版画のデータベースの作成を行った。

イ 博物館誌系(博物館とその社会的役割に関する研究)

① 博物館と学校の連携の在り方に関する研究

【担 当】藤原友里

【研究内容】子どもたちの学びや内容を広げることができる場として、博物館を利用することの意義を浸透させていくことを研究の目的とし、新規の学習プログラム開発を行う。

【年度実績】新しい学習プログラムの中で学習キットの活用を図り、学校との連携を進めることができた。HPやパンフレットの配布を工夫したことで、学校団体の利用数を昨年度より大きく増やすことができた。

(2) 普遍研究

人類誌系(景観史という新領域の創出)

原始・古代農耕技術に関する研究

【担 当】大谷弘幸

- 【研究内容】農耕生産の場である水田跡や畠跡などの遺構、生産用具である農具、生産物である穀類などの種実から、弥生時代から古代にかけての農業技術の変遷や生産物の対象について考察する。
- 【年度実績】水田遺構と農耕具の変遷について資料収集を行い、成果の一部を博物館セミナー「弥生農耕の実像を探る」と題して講演発表した。

2 研究員の執筆・研究発表

(1) 執筆

渡辺善司

普及書

- ・無記名. 2021. 令和3年度企画展「兜とカブト」. 千葉教育. (670): 31
- ・渡辺善司. 2021. 令和3年度企画展図録「兜とカブト」. 20 pp. 千葉県立中央博物館大多喜城分館. 大多喜町
- ・渡辺善司. 2021. 新刊紹介 宮間純一編「歴史資源としての城・城下町」. 千葉史学. (79): 92-93

第4 分館海の博物館

1 研究課題

(1) 地域研究 房総半島の海洋生物相とその特徴

① 房総半島沿岸の魚類相

【担 当】川瀬裕司

【研究内容】房総半島は北部と南部、太平洋岸と東京湾岸で海洋環境が大きく異なり、千葉県全体として多様な魚類相が形成されている。この魚類相の特徴を、県内および県外各地からの標本・資料収集により明らかにする。

【年度実績】地元漁業者や一般の方から提供された魚類の標本登録をはじめ、県内で採集した魚類の標本登録を行った。また、新型コロナウイルスのため県外で魚類の採集が行えなかったため、県外の漁業者から漁獲物を購入して標本登録を行った。

② 房総半島の海産無脊椎動物相

【担 当】奥野淳児・柳 研介・立川浩之

【研究内容】房総半島に生息する海産無脊椎動物相を掌握するため、資料の収集、同定、分類学的研究等を行う。

【年度実績】富津市ならびに勝浦市で頭足類と甲殻類の資料収集を行い、令和3年度収蔵資料展「イカ展」および令和3年度マリンスイエンスギャラリー「千葉県エビ・カニ大集合！」で展示した。また、沖縄をタイプ産地とする多岐腸類の1種、*Pseudoceros guttatomarginatus* を千葉県から初めて報告し、カツウラニセツノヒラムシの新称を与えた。

③ 房総半島沿岸の海藻相

【担 当】菊地則雄

【研究内容】房総半島沿岸の海藻相とその特徴を明らかにする。

【年度実績】勝浦市を中心に適宜採集を行い、85点の資料を登録した。また、千葉県レッドデータブックの改訂作業に合わせて、県内に生育する希少藻類数種の生育地調査を実施した。

(2) 専門研究

① 学校に収蔵されている自然誌標本の調査、保存と活用

【担 当】斎木健一

【研究内容】千葉県内の学校に保存されている古い自然誌標本や調査記録を調査し、千葉県のかつての自然環境についての記録を保存する。あわせて、学校において標本や調査記録の蓄積が行われた時代背景を考察する。

【年度実績】旧安房南高等学校校舎に残されていた標本を回収した。調査結果を取りまとめ、論文を投稿した。

② 沿岸性魚類の繁殖生態

【担 当】川瀬裕司

【研究内容】沿岸性海産魚類の繁殖生態（なわばり行動、産卵行動、卵保護行動など）について、フィールド観察を主体にして明らかにする。

【年度実績】新型コロナウイルスの影響により沖縄県でのフィールド調査を行えなかったため、現地から取り寄せた研究対象種（トンガリハゼ属の1種-3）の繁殖行動を海の博物館の水槽内で観察するとともに、耳石による日齢査定を行った。

③ 日本産共生性コエビ類の分類学的研究

【担 当】奥野淳児

【研究内容】テナガエビ科を中心として、様々な海産無脊椎動物と共生するコエビ類の分類学的研究を行う。

【年度実績】テッポウエビ類と共生するムカシカクレエビ属の1種の沖縄県産標本を調べ、日本新記録種であることを確認した。また、日本海で得られたアカホシカクレエビ属の標本を調査し、本属が日本海にも分布していることを確認した。

④ 原始紅藻亜綱植物の分類学的、生態学的研究

【担 当】菊地則雄

- 【研究内容】日本産原始紅藻亜綱植物の分類学的再検討を行うとともに、生活史について明らかにする。
- 【年度実績】外房産アマノリ類の新種センジュアマノリの新種記載論文を公表した。また、谷津干潟に生育が確認されたソメワケアマノリの一変種について形態学的な観察を行い、基変種との差異を調査した。
- ⑤ イソギンチャク類の分類・生態学的研究
- 【担 当】柳 研介
- 【研究内容】イソギンチャク類について、その「形」を明らかにしていくとともに、DNA解析の手法を用いた検証を行い、日本産のイソギンチャク類の分類の再検討を行う。
- 【年度実績】クマノミ類と共生するイソギンチャク類について、追加標本採集を2箇所で実施した。そのほかのイソギンチャク類についても分類学的研究を進め、ヨウサイイソギンチャク及びセイタカカワリギンチャク類に関する記載論文を公表した。
- ⑥ 小中学校への効果的な博物館広報の研究
- 【担 当】吉田真照
- 【研究内容】小中学生に博物館の存在を身近に感じてもらうための啓蒙活動を推進する。
- 【年度実績】昨年度、試験的に実施した近隣小中学校への「海博コーナー」の設置を夷隅郡市内全小中学校へ広げ、児童生徒が日常的に博物館情報に触れられる機会を設けることができた。一部の学校ではコーナーを独自に拡充し、児童の学習成果をコーナーで紹介するなど、海の生きものに関する学習機会を提供するきっかけづくりに役立った。
- ⑦ 日本産イシサンゴ類の分類・生物地理に関する研究
- 【担 当】立川浩之
- 【研究内容】日本産のイシサンゴ類はこれまでにおよそ500種が知られるが、無藻性種や温帯域の有藻性種を中心に従来の同定を再検討すべき種が多数存在する。本研究では、これらの種の再検討を中心として、日本産イシサンゴ類の分類学的・生物地理学的研究を行う。
- 【年度実績】日本産の有藻性イシサンゴ類の分類学的研究を行い、これまで1種とされていたパリカメノコキクメイシに2種が含まれていることを明らかにした論文および奄美大島産コモンサンゴ属の日本初記録種4種の報告論文を公表した。
- ⑧ 房総半島における自然災害史の研究
- 【担 当】本吉正宏
- 【研究内容】市町村史編纂過程等で作成された文書目録から、自然災害の古文書等史料を抽出し、その傾向等を明らかにする。
- 【年度実績】6市町村2個人の文書目録を調査し、47567点の中から、333点の自然災害史料を見出すことができ、その成果を執筆報告することができた。

2 外部資金等による研究

- (1) 文部科学省科学研究費補助金による研究
- ア 研究代表者
- ① フグが「ミステリーサークル」を建設するロジックを解明する—3Dシミュレーション
- 【担 当】川瀬裕司
- 【研究種目／審査区分／開始年度／期間】新学術領域研究／公募班／平成30年度／2年間（1年間再延長）
- ② クマノミ類の宿主イソギンチャク類の分類学的混乱の解決に向けて
- 【担 当】柳 研介
- 【研究種目／審査区分／開始年度／期間】基盤研究（C）／一般／平成29年度／5年間（1年間延長）
- ③ 学校に収蔵された標本類を通じた博学連携
- 【担 当】斎木健一
- 【研究分担者】黒住耐二・奥野淳兒・伴 光哲
- 【研究種目／審査区分／開始年度／期間】基盤研究（C）／一般／令和元年度／4年間
- ④ 博物館資料に基づく東京湾産十脚甲殻類相の推移と環境変遷
- 【担 当】奥野淳兒
- 【研究種目／審査区分／開始年度／期間】基盤研究（C）／一般／令和元年度／3年間
- ⑤ ハゼが海底につくる「ミステリーサークル」の適応的意義と形成ロジックの解明
- 【担 当】川瀬裕司
- 【研究種目／審査区分／開始年度／期間】基盤研究（C）／一般／令和元年度／4年間

3 研究成果の公表・周知

- (1) うみはくセミナー（会場：分館海の博物館2F講座実験室。新型コロナウイルス対策のため、一部Zoomによるオンラインを併用して開催）
- ① 令和3年11月25日（木）16:40～17:10
立川浩之 「海の博物館に収蔵されている浮遊性巻貝類標本」
- ② 令和3年12月9日（木）16:40～17:10

菊地則雄 「勝浦市内のミヤコタナゴの生息状況と保全活動」

③ 令和3年12月17日(金) 16:40~17:10

奥野淳兒 「千葉県勝浦市沖のキンメダイ漁で混獲された大型甲殻類」

④ 令和4年3月18日(金) 16:40~17:10

齋木健一 「千葉県総合計画と海の博物館」

4 研究員の執筆・研究発表

(1) 執筆

※海の博物館メールマガジン『海からのたより』連載への執筆は、「V情報の発信 2 (2) イ.メルマガコラム」を参照のこと。

齋木健一

学術論文・学術書

・齋木健一. 2021. 生徒の筆記から推定される明治30年代の尋常高等小学校における生物の教授法. 千葉生物誌, 71: 5-12.

川瀬裕司

報告書

・川瀬裕司. 2022. コロナ禍における博物館活動. 関東の博物館 (46): 15.

普及書

・川瀬裕司. 2022. 千葉県勝浦沖キンメ場の魚類 海の生きもの観察ノート 16. 22 pp. 千葉県立中央博物館分館海の博物館. 勝浦.

奥野淳兒

学術論文・学術書

・奥野淳兒・瀬戸熊卓見. 2021. 千葉県勝浦市におけるカツウラニセツノヒラムシ (新称)(有棒状体綱: 多岐腸目: ニセツノヒラムシ科) の記録. 千葉生物誌, 71(1): 1-4.

普及書

・無記名. 2021. 令和3年度マリンサイエンスギャラリー「千葉県エビ・カニ大集合!」. 千葉教育, (672): 33.

菊地則雄

学術論文・学術書

・Minamida, Y., H. Matsuura, T. Ishii, K. Sato, T. Kamada, A. Kato, Y. Yamagishi, T. Abe, N. Kikuchi and M. Suzuki 2021. Chemical composition of *Laurencia* spp. collected from the Seto of Japan. *Biochemical Systematics and Ecology*, 96 (2021) 104259.

・Abe, M., N. Kikuchi, M. Tamaki, T. Sato, N. Murase, E. Fujiyoshi and M. Kobayashi 2021. *Neoporphyra kitoi* sp. nov. (Bangiales, Rhodophyta) from Japan, with new blades arising from rhizoidal cells. *Phycological Research*, 69: 237-245.

・Minamida, Y., H. Matsuura, T. Ishii, M. Miyagi, Y. Shinjo, K. Sato, T. Kamada, Y. Mihara, I. Togashi, K. Sugimoto, T. Abe, N. Kikuchi and M. Suzuki 2022. New acetogenin katsuuralene from *Laurencia saitoi* collected from Katsuura, Japan. *Natural Products and Bioprospecting*, DOI: 10.1007/s13659-022-00328-1

普及書

・菊地則雄. 2021. 書評・新刊紹介 大場達之・宮田昌彦著 日本海草図譜 [改訂版]. 藻類, 69: 108-109.

柳 研介

学術論文・学術書

・Yanagi, K. and T. Izumi. 2021. Redescription of the Sea Anemone, *Capnea japonica* (Cnidaria: Anthozoa: Actiniaria). *Species Diversity*, 26: 153-163. DOI <https://doi.org/10.12782/specdiv.26.153>

・Izumi, T. and K. Yanagi. 2021. Description of the second species of *Synhalcurias* Carlgren, 1914, *Synhalcurias kahakui* sp. nov. (Actiniaria: Actinernidae) with redescription of *S. elegans* (Wassilieff, 1908). *Zootaxa*, 5048(4): 561-574. DOI <https://doi.org/10.11646/zootaxa.5048.4.5>

普及書

・柳研介. 2021. サンゴ、イソギンチャクのなかま. in 藤原義弘(監修). 小学館の図鑑 NEO 深海の生き物. Pp. 98-101. 小学館.

立川浩之

学術論文・学術書

・Mitsuki, Y., N. Isomura, Y. Nozawa, H. Tachikawa, D. Huang & H. Fukami. 2021. Distinct species hidden in the widely distributed coral *Coelastrea aspera* (Cnidaria, Anthozoa, Scleractinia). *Invertebrate Systematics*, 2021, 35: 876-891.

・野村恵一・鈴木 豪・立川浩之・藤井琢磨. 2021. 奄美諸島から採集された国内初記録の4種のコモンサンゴ類 (イシサンゴ目ミドリイシ科). *Fauna Ryukyuna*, 63: 41-52.

普及書

・立川浩之. 2021. 海の宝石-ウミウシ. 生命のにぎわいとつながり (生物多様性ちばニュースレター), 70: 1-2.

本吉正宏

学術論文・学術書

・本吉正宏. 2022. 地域史料目録に見える自然災害. 千葉文華(46): 27-31.

(2) 研究発表

菊地則雄

- ・須賀菜々子・小林哲幸・菊地則雄・寫田智/2022.3./紅藻アマノリ類の異なる温度環境における生育特性と脂肪酸に関する解析/日本藻類学会第46回大会/オンライン(福井).
- ・山岸幸正・弘岡瑞樹・米須夏美・佐藤光将・鎌田昂・菊地則雄・鈴木稔・阿部剛史・三輪泰彦/2022.3./広島県東部海域に生育する紅藻ソゾ属の分類について/日本藻類学会第46回大会/オンライン(福井).

柳 研介

- ・泉水奏・大倉信彦・大森紹仁・大矢佑基・瑞慶覧朝盛・柳研介/2021.5.29/ヘマトキシリン-エオシン染色組織標本の蛍光観察における、自家蛍光とエオシン蛍光について/沖縄生物学会第58回大会/オンライン.
- ・泉貴人・柳研介・幸塚久典/2021.6/日本各地で採集される富士山型の未記載種イソギンチャクは、果たして何者か?/日本動物分類学会第56回大会/オンライン
- ・八巻鮎太・伊勢優史・今原幸光・岡西政典・榎田優花・小枝圭太・駒井智幸・高岡博子・西田和記・野中正法・柳研介・杉村誠・伊藤昌平/2022.3/相模湾江の島沖大陸斜面の水深100-300mにおける水中ドローンをを用いた生物相調査/日本生態学会第69回大会/オンライン

5 研究交流

(1) 海外出張

※該当なし

(2) 各種委員・非常勤講師等の受託

- 齋木 健一
 - ・八千代市立郷土博物館協議会委員/八千代市教育委員会/2022.4-2022.7
 - ・千葉県勝浦海中公園センター評議員/一般財団法人千葉県勝浦海中公園センター/2022.4-2023.3
- 川瀬 裕司
 - ・千葉大学大学院理学研究科非常勤講師/千葉大学大学院理学研究院/2021.4-2022.3
- 菊地 則雄
 - ・千葉県希少生物及び外来生物に係るリスト作成検討会委員(植物・菌類部会:藻類)/千葉県環境生活部自然保護課/2021.4-2022.3
 - ・千葉県ミヤコタナゴ保全協議会委員/千葉県環境生活部自然保護課/2018.4.1-(期限明記なし)
 - ・非常勤講師/東京大学/2021.4-2022.3
 - ・勝浦市浜勝浦川浄化対策推進協議会委員/勝浦市/2021.4-2023.3
 - ・勝浦市文化財審議会委員/勝浦市教育委員会/2021.6-2023.3
- 立川 浩之
 - ・千葉県希少生物及び外来生物に係るリスト作成検討会貝類分科会委員/千葉県環境生活部自然保護課/2021.4-2022.3
 - ・絶滅のおそれのある野生生物の選定・評価検討会サンゴ類分科会委員/(一財)自然環境研究センター/2021.4-2022.3
- 本吉 正宏
 - ・いすみ市文化財審議会委員/いすみ市教育委員会/2020.4-2022.3
 - ・いすみ市郷土資料館運営協議会委員/いすみ市教育委員会/2020.4-2022.3
 - ・勝浦市文化財審議会委員/勝浦市教育委員会/2021.4-2023.3
 - ・南房総市文化財審議会委員/南房総市教育委員会/2020.4-2022.3

(3) 共同研究員の受入れ

ア 共同研究員

共同研究員は、当館職員と共同で当館の資料や設備等を利用して研究を行う館外の研究者・専門家で、本年度は5名(継続)を受け入れた。

氏名	研究テーマ	担当	区分
鈴木 稔	房総半島沿岸域に生育するソゾ属 (<i>Laurencia</i>)海藻の成分分類学的研究	菊地則雄	継続
平野弥生	Medusozoa の刺胞動物の多様性と生活史に関する研究	柳 研介	継続
泉 貴人	変形イソギンチャク 亜目イソギンチャクの系統分類学	柳 研介	継続
吉川晟弘	ヤドカリと共生するキンカライソギンチャク属の系統分類学的研究	柳 研介	継続
吉田隆太	館山湾を中心とした南房総の甲殻類相の解明	奥野淳兒	継続

Ⅲ 展示

第1 本館

1 常設展示

(1) 常設展示の更新

展示室名	展示コーナー	資料名	更新内容
房総の地学	銚子地域の地質-アンモナイトの海	銚子層群産微小巻貝（解説パネル）	新規
	銚子地域の地質-アンモナイトの海	タイプ標本の解説	新規
	銚子地域の地質-アンモナイトの海	SEM 蒸着資料の解説	新規
	銚子地域の地質-アンモナイトの海	<i>Pseudomelania yamadai</i> （巻貝化石 2点）	新規
	銚子地域の地質-アンモナイトの海	<i>Ampezzopleura barremica</i> （巻貝化石 1点）	新規
	銚子地域の地質-アンモナイトの海	<i>Choshipleura striata</i> （巻貝化石 2点）	新規
	銚子地域の地質-アンモナイトの海	<i>Metacerithium boshuae</i> （巻貝化石 5点）	新規
	銚子地域の地質-アンモナイトの海	<i>Antiphora aurora</i> （巻貝化石 1点）	新規
	銚子地域の地質-アンモナイトの海	<i>Stuoraxis kasei</i> （巻貝化石 3点）	新規
	銚子地域の地質-アンモナイトの海	銚子層群産骨片化石	撤収
	銚子地域の地質-アンモナイトの海	銚子層群産骨片化石（解説パネル）	撤収
	上総丘陵の地質-安房丘陵の地質	房総半島とフィリピン海プレート（文字パネル）	撤収
	上総丘陵の地質-安房丘陵の地質	フィリピン海の発達史（イラストパネル）	撤収
	上総丘陵の地質-安房丘陵の地質	フィリピン海海底地形模型	撤収
	上総丘陵の地質-チバニアン	チバニアン（チバニアン期の地層）（小項目パネル）	新規
	上総丘陵の地質-チバニアン	地磁気逆転の地層（複合パネル）	新規
	上総丘陵の地質-チバニアン	地磁気逆転地層はぎ取り標本	新規
	上総丘陵の地質-チバニアン	チバニアン誕生（映像）	新規
	上総丘陵の地質-地層に残されたメッセージ	ミズナギドリ科胸骨（化石）	新規
	上総丘陵の地質-地層に残されたメッセージ	ミズナギドリ科胸骨の解説（解説パネル）	新規
上総丘陵の地質-地層に残されたメッセージ	ミズナギドリ科鳥類写真（複合パネル）	新規	
上総丘陵の地質-地層に残されたメッセージ	キタクシノハクモヒトデ（液浸標本）	撤収	
生物の分類	生物のなかま分け	最新系統樹の一例	補足パネル追加
房総の歴史	千葉県の方史研究の歴史	新『千葉県史の編集』（パネル）	写真・文字パネルの追加
	軍国化と敗戦	水筒	資料変更
	軍国化と敗戦	飯盒	資料変更
	軍国化と敗戦	背囊	資料変更
	軍国化と敗戦	奉公袋	資料変更
	軍国化と敗戦	軍事郵便	資料変更
	軍国化と敗戦	灯火管制遮光カバー	資料変更
	軍国化と敗戦	千人針	資料変更
	軍国化と敗戦	水筒	撤収
	軍国化と敗戦	鉄帽	撤収
	軍国化と敗戦	案内状（村葬開催に付）	撤収
	軍国化と敗戦	軍事郵便葉書	撤収
	軍国化と敗戦	時局防空必携	撤収
	軍国化と敗戦	千人針	撤収
自然と人間の のかかわり	屋敷まわりの自然の利用 屋敷での生活	柱時計	川崎家住宅 内部、時計資料の更新・打刻運用再開
	都市化と水の変化 都市化と川の変化 > 流域の生活空間の変化	生活用水の使用量	パネル更新、旧「水の需要量の変化」

展示室名	展示コーナー	資料名	更新内容
	海に生きる 漁師の一日	船の位置を知り、魚群を探る	パネル更新、旧「ロランと魚群探知機」
	都市化と生物 都市化と動物	タヌキ（剥製）	標本を新規追加
	都市化と生物都市化と動物	生態園の哺乳類誘導パネル	パネル追加
	東京湾の変貌	東京湾の赤潮・青潮	パネル更新、旧「東京湾の赤潮生物」

(2) 展示室音声ガイド機器の貸出

常設展示の解説を聞くことができる展示室音声ガイド機器（台数：10台）の貸出を行った。

貸出月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
貸出回数	22	24	12	44	51	36	31	23	15	21	30	33	342回

2 野外展示（生態園）

展示室名	展示コーナー	資料名	更新内容
園路	各所	スマートフォンでよめる生態園ガイド	追加(5枚)
	各所	あなたの発見おしえてください	追加(10枚)
	各所	植物解説板	入れ替え・追加(計15枚)
	各所	樹名板	交換・追加(計20枚)
植生管理	イヌシデ・コナラ林	ナラ枯れ被害木(コナラ)	伐倒(3本)
	保存林	ナラ枯れ被害木(コナラ)	伐倒(1本)
	舟田池の水辺	鳥が止まり糞尿が直接池に落ちる樹木	伐採(23本)
	各所	シュロ	除伐(成木約200本+実生約600本)
	各所	シュロ以外の鳥散布樹木・つる植物(アオキ・ヤツデ・トウネズミモチ・タブノキ・シロダモ・マンリョウ・フジ等)	間引き伐採(計約100本)
舟田池管理	舟田池	抽水植物(アシ、マコモ、ヒメガマ、ショウブなど)群落	抽水植物の保護のための水位攪乱による食害生物アメリカザリガニ低密度管理 過剰繁茂したヒメガマの根茎切断による群落規模管理 マコモ補植栽3株
湿原再生	湿原	陸生草本	刈り払い、堆積土壌掘り下げ湿地創出準備(約4㎡、掘削0.4m)
	湿原	旧木道	東側腐朽木道の一部撤去

3 特別展

(1) 千葉県立中央博物館 特別展「バラのすべて ～All about Roses～」

ア 会 期 令和3年10月9日(土)～11月28日(日)〔開催日数44日間〕

イ 会 場 第1企画展示室、第2企画展示室、常設展示室廊下壁

ウ 主 催 等 (ア) 主 催 千葉県立中央博物館

(イ) 後 援 朝日新聞社千葉総局、NHK千葉放送局、千葉テレビ放送、株式会社千葉日报社、bayfm、毎日新聞社千葉支局、読売新聞千葉支局

(ウ) 協 力 アリオ蘇我、京葉銀行、そごう千葉店、千葉銀行、千葉興業銀行

(エ) 資料借用・展示協力 NPOバラ文化研究所、足利市立美術館、一般財団法人 雑花園文庫、医療法人 式場病院、丘の上バラ園、宮内庁三の丸尚蔵館、京成バラ園芸株式会社、公益財団法人 北澤美術館、公益財団法人 摘水軒記念文化振興財団公益財団法人、松浦史料博物館、国立歴史民俗博物館、コノサズ・コレクション東京、佐倉草ぶえの丘、里見公園、サントリーホールディングス株式会社、清水公園花ファンタジア、草雲美術館、千葉県立柏の葉公園、千葉市都市緑化植物園、千葉市美術館、千葉大学園芸学部、東京ドイツ村、ドリプレ・ローズガーデン、文京ふるさと歴史館、ミュージアムパーク茨城県自然博物館、谷津バラ園、有限会社 薔薇園植物場、今井由江、上田善弘、宇田川知克、大久保直美、大作晃一、大場秀章、小川晶、小山内健、河合伸志、木村卓功、吹田明日香、武内俊介、田中良和、豊田路子、橋本晴男、平野恵、山田道恵、三富浩信、流郷由紀子

エ 入 場 者 数 11,689人

オ 主 担 当 者 御巫由紀

カ 概 要 花の女王、バラ。園芸植物として長い歴史を持つバラの古今東西の絵画、稀観本、工芸品等を展示した。また標本、レプリカ、写真等でバラという植物について解説した。

バラは西洋文化の象徴のように受け止められているが、約200年前にアジアのバラがヨーロッパに運ばれ育種に用いられて初めて、現代の栽培バラが誕生した。これまで注目されることがなかった日本のバラ栽培の歴史を取り上げ、とくに戦後、世界有数のバラ大国となった日本のバラ栽培における

千葉県に役割に焦点を当てた。メイン展示は第1企画展示室と常設展示室廊下壁にて、第1章 バラの植物学、第2章 バラの歴史、第3章 バラの育種、第4章 花の女王、バラ、第5章 日本のバラの歴史、第6章 バラの魅力、という章立てで開催した。博物館情報システム Wi-Fi を用いて音声ガイド（ナレーター 吹田明日香）、英文ガイドも提供した。

第2企画展示室では「バラの現代作家展」と称して、1期 バラの植物画展（道恵）、2期 バラの写真展（大作晃一）、3期 絵と染と陶展（流郷由紀子）を開催した。

関連事業「千葉県のバラ園スタンプラリー」を県内のバラ園10園で5月1日（土）から特別展終了日まで開催した。3園のスタンプを集めて特別展に来場されたスタンプラリー参加者数が800人に達したことから、特別展の事前広報とともに県内の優れたバラ園を広く紹介し、来館・来園者数を増やすという目的は、十分達成された。

キ 主な展示資料

ドーム兄弟「薔薇文高脚杯」、ベスラー『アイヒシュテットの庭園』より Plate 96、ケンペル『廻国奇観』、レーシヒ『バラ彩色図譜』、ルドゥーテ『バラ図譜』より No.55 ロサ・ガリカ・ウェルシコロール、ウィルモット『バラ属』 Vol.1, Vol.2、宋紫石「梅鳩薔薇図」、関根雲停「万年青七種 金魚葉椿 斑入薔薇」、田崎草雲『生写四十八鷹図』など館蔵資料100点、借用資料267点 計367点

ク 関連行事

- (ア) 内覧会 10月8日(金)
 - (イ) 自然誌シンポジウム「バラの育種最前線！」 10月17日(日)
講師：大場秀章、上田善弘、パネリスト：小山内健、河合伸志、木村卓功、武内俊介、司会：御巫由紀 参加者 66人（オンライン配信 113人） 特別展終了後にYouTubeで一部公開、視聴回数 6,445回（令和4年3月7日現在）
 - (ウ) 県立中央図書館連携事業 トークイベント「バラの図鑑ができるまで」 10月31日(日)
講師：大作晃一、御巫由紀、斎木健一、司会：山田浩子（中央図書館） 参加者 44人（オンライン配信 51人）、展示終了後にYouTubeで公開、視聴回数 463回（令和4年3月7日現在）
 - (エ) 「講座 バラの歴史」 11月14日(日) 講師：御巫由紀参加者 65人
 - (オ) 「二口善雄画伯と日本の植物画の夜明け」 11月21日(日) 講師：豊田路子、御巫由紀、司会：斎木健一 参加者 10人（オンライン配信 15人）
 - (カ) 「講座 バラの植物画体験教室」 10月10日(日) 講師：道恵（山田道恵）参加者 10人
 - (キ) 「講座 花の写真を撮ってみよう」 11月7日(日) 講師：大作晃一参加者 14人
 - (ク) 「講座 バラの手描き染体験教室」 11月28日(日) 講師：流郷由紀子参加者 12人
 - (ケ) ミュージアム・トーク（講堂にて1日に2回開催 11:00～、14:30～、所要約30分）
10月9日、16日、23日、30日、11月3日、6日、13日、20日、23日、27日、計20回
講師：御巫由紀 参加者 計242人
 - (コ) バラクイズ ワークシート：小学生対象 体験交流員が実施
 - (サ) 職員向け解説会 11月2日(火) 講師：御巫由紀
 - (シ) 千葉県のバラ園スタンプラリー 5月1日(土)～11月28日(日)
協力園：谷津バラ園、京成バラ園、千葉市都市緑化植物園、千葉県立柏の葉公園、東京ドイツ村、清水公園、佐倉草ぶえの丘、里見公園、ドリプレ・ローズガーデン、丘の上バラ園
 - (ス) 生態園コラボ展示 ノイバラ 担当：西内李佳
- ケ 印刷物
- (ア) チラシ A4版カラー両面/80,000枚
 - (イ) ポスター A2版カラー/200枚
 - (ウ) ポストカード レーシヒ『バラ彩色図譜』8枚組900セット
 - (エ) 図録 縦256mm×横210mm A4判変形、4色64P 1色16P、1,000部
ミュージアムショップ販売用（株式会社ミュージアムクルー）1刷500部、2刷500部
 - (オ) 千葉県のバラ園探訪ガイド A6判、16p、カラー、1刷12,000部、2刷12,000部
 - (カ) 入場券 8,000枚

4 季節展

(1) 春の展示 「九十九里浜の自然誌」

ア 会 期 令和3年3月23日(火)～3年5月30日(日) [開催日数：50日間（令和3年度）]
[当初予定期間：令和3年3月9日(土)～5月30日(日)]
[※臨時休館：令和3年1月9日(火)～3月21日(日)]

イ 会 場 第1企画展示室
ウ 主 催 等 千葉県立中央博物館
エ 入 場 者 数 6,607名(令和3年度：4月1日～5月30日)
オ 主 担 当 者 由良 浩
カ 概 要 約60kmにわたって、連続する砂浜である九十九里浜をとりあげ、九十九里浜ができるまでの地史やそこで見られる生き物、蜃気楼などの面白い現象を、標本や写真、動画、解説パネルなどで紹介した。また、九十九里浜からの恵みや、今深刻な状況にある侵食の問題などについても触れた。

キ 主な展示資料

アカウミガメの剥製、ボーリングコアやコアの剥ぎ取り標本、野鳥の剥製、動植物の写真や動画、魚類や貝類、カニなどの標本、万祝やいわしを運ぶためのヤッサかご、蜃気楼の写真と動画等。217点、解説パネル31点、合計248点

ク 関連行事

- (ア) シンポジウム「九十九里浜の侵食を考える」
※講堂での講演を取りやめ、講演録画を視聴希望者にネット配信した
- (イ) 講座「鳥の標本を見てみよう」(R3/5/29担当 桑原、参加者6人)
- (ウ) 巡回展「千葉県立中央博物館巡回展 九十九里浜の自然誌」(来場者数合計12,277名)
・分館海の博物館 令和3年9月14日(火)～10月24日(日)
・銚子市地域交流センター 令和3年10月2日(土)～10月31日(日)

- ・海の駅九十九里 令和3年11月5日(金)～12月5日(日)
 - ・いいおかユートピアセンター 令和3年12月12日(日)～1月26日(水)
 - (エ) 体験交流員によるワークシート「九十九里浜ではまくりんを見つけ出せ」
 - (オ) その他
 - 観察会 「砂浜の生きものを観察しよう」 5月30日 ※開催中止
 - 観察会 「九十九里浜で蜃気楼を観察しよう」 2月13日 ※開催中止
 - ケ 印刷物 (ア) チラシ A4版カラー両面/30,000部
 - (イ) パンフレット「九十九里浜で自然観察」 A4版カラー4ページ/10,000部
- ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため

(2) 収蔵資料展 「ノスタルジック・ポストカード」

当初、季節展として企画したが、コロナ感染症対策により、開催時期が変更となり、収蔵資料展として開催した。

- ア 会 期 令和3年3月23日(火)～5月30日(日) [開催日数：50日間(令和3年度)]
 - [当初予定期間：令和3年1月9日(土)～3月7日(日)]
 - [※臨時休館：令和3年1月9日(火)～3月21日(日)]
 - イ 会 場 第2企画展示室、展示室前廊下
 - ウ 主 催 等 千葉県立中央博物館
 - エ 入 場 者 数 6,607名(令和3年度：4月1日～5月30日)
 - オ 主 担 当 者 小田島高之
 - カ 概 要 近年当館が寄贈を受けた故菱田忠義氏の膨大な絵はがきコレクションを中心に、絵はがきの歴史やその役割の移り変わり等について紹介し、次に、絵はがきに記録された懐かしい風景が、その後どのように変化して来たか、様々な時代の絵はがきや現在の写真などを通して紹介した。
 - キ 主な展示資料 絵はがき、写真、観光パンフレット等217点、解説パネル31点、合計248点
 - ク 印刷物 (ア) チラシ A4版カラー両面/10,000部
 - (イ) 解説パンフレット A4版カラー4ページ/8,000部
 - (ウ) ノベルティ用絵はがき 2種/各4,000部
- ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため

(3) 夏の展示「うみ鳥つぷ」

- ア 会 期 令和3年7月3日(土)～9月12日(日) [開催日数：62日間]
 - (巡回展1：令和3年9月27日～12月3日、巡回展2：令和3年12月4日～令和4年2月27日)
 - イ 会 場 第1企画展示室、2階ホール
 - (巡回展1：利島村郷土資料館・巡回展2：銚子市地域交流センター)
 - ウ 主 催 等 千葉県立中央博物館(協力：利島村教育委員会・銚子ジオパーク推進協議会ほか)
 - エ 入 場 者 数 12,195名(令和3年度：7月3日～9月12日)
 - (巡回展1：69名、巡回展2：751名)
 - オ 主 担 当 者 平田和彦
 - カ 概 要 海の多様な環境をうまく利用して暮らす海鳥の視点で、海や半島、島の魅力を紹介した。最新の研究成果を含む生態学的な視点に加え、生息環境の成り立ちに関わる地球科学、海鳥と人を取り巻く産業や文化といった社会的な視点から、幅広く海鳥と地球と人のかかわりについて解説した。
 - キ 主な展示資料 ハジロシロハラミズナギドリ等鳥類剥製標本、アホウドリ等鳥類剥製標本、ウミガラス卵複製、ハシブトアジサシ糞標本、海鳥生態映像、海鳥バイオロギング調査道具、地形模型、植物さく葉標本、郵便局風景印、鉄道ヘッドマークパネル、鉄道きつぷ、キタオットセイ等哺乳類剥製標本、ウミガラスデコイ、燐鉱石標本、ウミウ捕獲道具、御朱印、海鳥をモチーフとした土産品、カワウ油絵、マンホール蓋、展示パネル等 計555点
 - ク 関連事業 (ア) オープニングイベント「umi-Trip 出航式」 7月3日(土)
 - (イ) 海の日企画 オンライン講演会「海鳥のグルメリポート」 7月22日(木・祝) ※開催中止
 - (ウ) 海の日企画 plus 「海鳥はグルメ?実証クッキング」 7月22日(木・祝) ※開催中止
 - (エ) umi-Trip フェリー編 「海鳥の飛び方を見比べよう!」 9月4日(土)
 - (オ) umi-Trip 漁港編 「君たちは包囲されている by カモメ」 1月22日(土)
 - (カ) umi-Trip 展示室編 「学芸員とっておきの展示ウラ話」 7月11日(日)ほか計5日×2回
 - ケ 印刷物 (ア) ちらし A4版両面カラー/25,000枚
 - (イ) おとな用パンフレット A5変型中綴じカラー16頁/15,000部
 - (ウ) こども用パンフレット A4版片面カラー・片面単色/10,000部
 - (エ) JR車内広告 まど上ワイド(280mm*1030mm) カラー/500枚
- ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため

(4) 春の展示「苔松苔梅—春を寿ぐ うめのきごけ—」

- ア 会 期 令和4年1月8日(土)～5月8日(日) (開催日数：104日間)
- イ 会 場 第1企画展示室、生物展示室前廊下
- ウ 主 催 等 千葉県立中央博物館
- エ 入 場 者 数 10,370名(令和3年度：1月8日～3月31日)
- オ 主 担 当 者 坂田歩美
- カ 概 要 お正月にはお客様を迎えるためや神仏に供えるために木や花をいける。中でも苔がついた松や梅は、苔松苔梅と呼ばれ、おめでたい迎え花として珍重される。このような苔は、ウメノキゴケをはじめとする地衣類の仲間、日本画や能舞台の松の上にも描かれている。本展示では日本文化の中に見られる苔(ここでは地衣類)と、地衣類の不思議な世界についても併せて紹介した。

キ	主な展示資料	苔松、松、苔梅、地衣類樹脂含浸標本、地衣類乾燥標本、地衣類レプリカ、リトマス、立花に関する古典籍、立華瓶、鏡板雛形、鏡板下図、掛袱紗、万祝、五月人形、高砂人形、着物、帯等 95 点、解説パネル 82 点、合計 177 点
ク	関連事業	(令和 3 年度のみ) (ア) 講座「地衣類をのぞいてみよう！」 2 月 23 日(水・祝) (イ) 観察会「青葉の森の地衣類」 3 月 21 日(月・祝) (ウ) ミュージアムトーク 1/9 (日)、2/13 (日)、27 (日)、3/13 (日)、27 (日)
ケ	印刷物	(ア) チラシ A4 版カラー両面/15,000 部 (イ) 解説パンフレット A4 版カラー16 ページ/1,000 部

5 生態園トピックス展

(1) 身近なコケ

ア	会期	令和 3 年 3 月 27 日(土)～5 月 23 日(日)※土日祝日のみ〔令和 3 年度開催日数：20 日間〕 〔当初予定期間：令和 3 年 2 月 17 日(水)～5 月 23 日(日)〕 〔※臨時休館：令和 3 年 1 月 9 日(火)～3 月 21 日(日)〕
イ	会場	生態園オリエンテーションハウス
ウ	主催等	千葉県立中央博物館
エ	入場者数	6,186 名(令和 3 年度：4 月 1 日～5 月 23 日)
オ	主担当者	古木達郎・林 浩二
カ	概要	「コケ」は小さい植物や菌類などの総称として使われているため、本当のコケ植物(蘚苔類ともいう)ばかりではなく、花が咲く植物やシダ植物、きのこ、藻類などにも「・・・コケ」と呼ばれているものがある。この展示では、生態園や身近な街中に生えているコケ植物をとおして、本当のコケ植物の知られざる正体を紹介した。また、生態園は開園 30 年が経過し、樹木の成長に伴い、コケ植物も変化したので、本展示ではその変遷も解説した。
キ	主な展示資料	解説パネル 16 枚、写真 98 点、蘚苔類植木鉢 41 点、その他資料 3 点。園路解説パネル 15 点。
ケ	印刷物	ポスター A2 版カラー片面/7 枚 ほか、本展示開催に先立って、生態園観察ノート「身近なコケ」(A5 版 16 ページ)を令和元年度に刊行した。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため

(2) 生態園の虫たち

ア	会期	令和 3 年 6 月 12 日(土)～9 月 5 日(日)※土日祝日および県民の日のみ〔開催日数：30 日間〕
イ	会場	生態園オリエンテーションハウス
ウ	主催等	千葉県立中央博物館
エ	入場者数	5,685 名(会期中生態園入場者数)
オ	主担当者	尾崎輝雄
カ	概要	都市の中に作った自然、生態園はさまざまな虫たちにとっての貴重な生息場所になっている。専門の学芸員の調査研究に基づき、生態園で見られる多くの昆虫やクモなどの虫たちを写真と標本で紹介した。
キ	主な展示資料	昆虫標本 161 点、生態写真 204 点、解説パネル 17 枚、昆虫生体 6 種 11 個体
ク	関連事業	生態園観察会「生態園の虫たち」 6 月 13 日(日)※開催中止
ケ	印刷物	ポスター A2 版カラー片面/10 枚

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため

(3) カエル

ア	会期	令和 3 年 3 月 1 日(火)～5 月 15 日(日)※土日祝日のみ〔令和 3 年度開催日数：9 日間〕 〔当初予定期間：令和 3 年 3 月 1 日(火)～5 月 15 日(日)〕
イ	会場	生態園オリエンテーションハウス
ウ	主催等	千葉県立中央博物館
エ	入場者数	4,246 名(令和 3 年度：3 月 1 日～3 月 31 日)
オ	主担当者	栗田隆気
カ	概要	日本及び千葉県のカエル相の特徴、千葉県に分布するカエルの見分け方や生態、千葉県でカエルを観察できる場所などを、パネル、写真、標本、及び生体の展示によって解説した。また、来館者から写真を募集して掲示するコーナーを設けた。
キ	主な展示資料	解説パネル 15 枚、写真 9 点、液浸標本 20 点、生体 6 点。
ケ	印刷物	ポスター A2 版カラー片面

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため

6 トピックス展

(1) 十二支にちなんで-寅年-

ア	会期	令和 3 年 12 月 18 日(土)～令和 4 年 1 月 16 日(日)〔開催日数：19 日間〕
イ	会場	第二企画展示室・かかわり展示室前廊下
ウ	主催等	千葉県立中央博物館
エ	入場者数	2,069 名(会期中本館入場者総数)
オ	担当者	樽宗一朗
カ	概要	令和 4 年の十二支は「寅」(とら)であり、トラにちなんで命名された様々な生き物や化石、人文資料などを紹介した。
キ	主な展示資料	化石レプリカ、動物・植物・菌類の標本、張り子、千人針、マッチラベルなど 計 89 点

7 ミニトピックス展

(1) 新鉱物『房総石』の発見

- ア 会 期 令和3年3月23日(火)～令和3年5月30日(日) [開催日数：50日間 (令和3年度)]
- イ 会 場 地学・生物展示室前廊下
- ウ 主 催 等 千葉県立中央博物館
- エ 協 力 門馬綱一 (国立科学博物館)
- オ 入 場 者 数 6,607名 (令和3年度：4月1日～5月30日)
- カ 担 当 者 高橋直樹
- キ 概 要 「千葉石」に続き、千葉県で2番目の新鉱物「房総石」が発見されたことから、その標本を展示するとともに、鉱物の産状や性質などの解説を行った。
- ク 主な展示資料 房総石標本 (千葉石標本)、メラノフロジャイト標本 (房総半島産・アメリカ産)、房総石結晶構造模型、石英結晶構造模型 5点

(2) 千葉県指定文化財「明治二年奥州出征米国船ハーマン号勝浦沖遭難絵巻」指定記念展

- ア 会 期 令和3年6月8日(火)～9月5日(日) [実質開催日数：80日間]
- イ 会 場 歴史展示室前廊下
- ウ 主 催 等 千葉県立中央博物館
- エ 入 場 者 数 13,851名
- オ 担 当 者 米谷博
- カ 概 要 令和3年3月に千葉県指定文化財に指定された本資料の展示とともに、慰霊祭を通じた勝浦市や熊本県の遺族、アメリカ大使館との交流、日本水中考古学調査会による潜水調査の成果などにも触れ、千葉県の歴史を語る上で貴重な資料であることを紹介した。
- キ 主な展示資料 明治二年奥州出征米国船ハーマン号勝浦沖遭難絵巻、関連古文書 (海難記、覚)、海中引揚遺物 (そばちょこ片、スूपチュリーン、白磁器片、陶器片、土瓶片)、写真パネル (官軍塚の慰霊祭、川津地区津慶寺の供養碑、江戸両国回向院の供養碑)

(3) 珍しいナナフシモドキの雄

- ア 会 期 令和3年11月16日(火)～11月28日(日) [開催日数：12日間]
- イ 会 場 2階ホール
- ウ 主 催 千葉県立中央博物館
- エ 入 場 者 数 3,411名 (会期中本館入場者総数)
- オ 担 当 者 尾崎煙雄・斉藤明子・樽宗一朗
- カ 概 要 通常、ナナフシモドキは雌のみで単為生殖しており、雄はごく稀にしか見つからない。この度、東大千葉演習林において発見された雄生体を同演習林より提供していただいたので、この珍しい昆虫を広く県民に見ていただく機会とした。本展示は東大千葉演習林との連携協定の一環であり、同演習林と当館の連携研究による成果である。なお、展示終了後に展示個体はナナフシモドキ雄ではなくアマミトガリナナフシ雄であることが判明したため、ウェブページに訂正情報を掲載すると共に誤同定の訂正に関する報道発表を行った。
- キ 主な展示資料 アマミトガリナナフシ雄成虫標本1点、解説パネル1枚

8 その他の展示

(1) 令和2年度「生命 (いのち) のにぎわい 生命のにぎわい調査団・生物多様性写真展」

- ア 会 期 令和3年3月23日(火)～5月9日(日) [開催日数：33日間(令和3年度)]
- イ 会 場 「生物」展示室前廊下
- ウ 主 催 等 千葉県立中央博物館
- エ 入 場 者 数 11,981名 (令和3年度：4月1日～5月9日)
- オ 担 当 者 大木淳一・加藤久佳・伴 光哲
- カ 概 要 千葉県生物多様性センターの事業「生命のにぎわい調査団」の団員が撮影した写真を展示し、広く県民に生物の魅力を紹介した。
- キ 主な展示資料 写真パネル31点

(2) 令和3年度「生命 (いのち) のにぎわい 生命のにぎわい調査団・生物多様性写真展」

- ア 会 期 令和4年3月8日(火)～5月8日(日) [開催日数：21日間(令和3年度)]
- イ 会 場 「歴史」展示室前廊下
- ウ 主 催 等 千葉県立中央博物館
- エ 入 場 者 数 8,534名 (令和3年度：3月8日～3月31日)
- オ 担 当 者 大木淳一・加藤久佳・水野大樹
- カ 概 要 千葉県生物多様性センターの事業「生命のにぎわい調査団」の団員が撮影した写真を展示し、広く県民に生物の魅力を紹介した。
- キ 主な展示資料 写真パネル41点

9 出前展示

(1) 三島小学校教室博物館

- ア 会 期 令和3年4月9日(金)～令和4年3月25日(金) [開催日数：23日]
- イ 会 場 旧君津市立三島小学校

ウ 入 場 者 数 33名
エ 担 当 者 尾崎煙雄、斉藤明子、千葉友樹、ほか生態環境研究部職員
オ 概 要 旧君津市立三島小学校の一室を借り、毎週金曜日に開館して房総丘陵の自然に関する展示を行い、来館者と対話した。
キ 主な展示資料 房総丘陵の動植物、地学資料等

(2) 君津市清和公民館文化祭

ア 会 期 令和3年11月13日(土)～11月14日(日)〔開催期間：2日〕
イ 会 場 旧君津市立秋元小学校
ウ 入 場 者 数 200名
エ 担 当 者 尾崎煙雄、斉藤明子、八木令子、千葉友樹
オ 概 要 君津市清和公民館の文化祭において出張展示を行った。
キ 主な展示資料 房総丘陵の動植物、地学資料等

(3) イオン津田沼出張展示(令和3年度 千葉県産フェア)

ア 会 期 令和3年6月17日(木)～6月20日(日)〔開催期間：4日〕
イ 会 場 イオン津田沼店
ウ 主 催 等 千葉県、千葉県教育庁、千葉県立中央博物館
エ 入 場 者 数 4000名
オ 担 当 者 石井友菜、渡辺善司、吹春俊光
カ 概 要 中央博から、房総ゆかりの武将の甲冑(複製)3点、オリンピック・パラリンピック紹介パネル12点を展示した。
キ 主な展示資料 房総ゆかりの武将の甲冑(複製)3点、オリンピック・パラリンピック紹介パネル12点

(4) 青葉の森公園芸術文化ホール出張展示「苔松苔梅」

ア 会 期 令和4年2月4日(金)～2月13日(日)〔開催期間：10日間〕
イ 会 場 青葉の森公園芸術文化ホール
ウ 主 催 等 千葉県立中央博物館、青葉の森公園芸術文化ホール
エ 入 場 者 数 1372名
オ 担 当 者 坂田歩美
カ 概 要 県施設との連携・中央博物館の事業広報を目的に、青葉の森公園芸術文化ホールの中で、「苔松苔梅—春を寿ぐ うめのきごけ—」のパネル展示を行った。
キ 主な展示資料 説明パネル5点

(5) さわやかちば県民プラザ出張展示「ちばのお宝再発見」

ア 会 期 令和3年10月20日(水)～10月31日(日)〔開催期間：11日間〕
イ 会 場 さわやかちば県民プラザ
ウ 主 催 等 さわやかちば県民プラザ、千葉県立中央博物館
エ 入 場 者 数 734名
オ 担 当 者 地学研究科、相原康平、島立理子
カ 概 要 県施設との連携・中央博物館の事業広報を目的に、今年度は、その名称が正式に認められた「チバニアン(Chibanian)」についての資料および、千葉の地層10選を貸出し、展示を行った。
キ 主な展示資料 チバニアン資料5点、チバニアン動画、田淵の地形模型 地層10選パネル12点

(6) さわやかちば県民プラザ出張展示「植物にみる「虎の尾」

ア 会 期 令和4年1月21日(金)～2月27日(日)〔開催期間：33日間〕
イ 会 場 さわやかちば県民プラザ
ウ 主 催 等 千葉県立中央博物館、さわやかちば県民プラザ
エ 入 場 者 数 17,691名
オ 担 当 者 平田 和弘、相原康平、島立理子
カ 概 要 県施設との連携・中央博物館の事業広報を目的に、令和4年 中央博ミニトピックス展「十二支にちなんで—寅年—」で使用した植物標本及び説明パネル、中央博PRパネルを貸出し、展示を行った。
キ 主な展示資料 植物標本2点、説明パネル2点、中央博PRパネル1点

(7) さわやかちば県民プラザ出張展示「苔松苔梅」

ア 会 期 令和4年3月1日(日)～6月30日(木)〔開催期間：122日間〕
イ 会 場 さわやかちば県民プラザ
ウ 主 催 等 千葉県立中央博物館、さわやかちば県民プラザ
エ 入 場 者 数 19,301名
オ 担 当 者 坂田歩美、相原康平、島立理子
カ 概 要 県施設との連携・中央博物館の事業広報を目的に、令和3年度春の展示「苔松苔梅」で使用した資料と説明パネルを貸出し、展示を行った。
キ 主な展示資料 標本資料1点、その他資料2点、説明パネル2点、中央博PRパネル1点

(8) 環境教育出張展示「カミツキガメ」

ア 会 期 令和3年11月19日(金)～12月5日(日)〔開催期間：17日間〕
イ 会 場 習志野市民プラザ大久保

- ウ 入 場 者 数 408 名
- エ 担 当 者 林紀男
- オ 概 要 環境教育推進事業として、B1 定型ポスターフレーム 23 枚にカミツキガメ最新情報を取りまとめ、出張展示を行った。
- カ 主な展示資料 説明パネル等 23 点、骨格標本等 12 点

第 2 大 利 根 分 館

1 企 画 展

- (1) ちばらき ー千葉県と茨城県の境ー
- ア 会 期 令和 3 年 5 月 29 日 (土)～令和 3 年 6 月 27 日 (日) [開催日数：30 日間]
 - イ 会 場 第 3 展示室
 - ウ 主 催 等 千葉県立中央博物館大利根分館
 - エ 入 場 者 数 2,275 名
 - オ 担 当 者 秋山 笑子
 - カ 概 要 利根川下流域の千葉県と茨城県の境である「ちばらき」の古代からの歴史の変遷や、江戸とのつながりの中で発展してきた生活について、資料を交え紹介した。
 - キ 主な展示資料 香炉形顔面付土器、銅鏡・香取神宮神幸祭絵巻、十六島開発関係文書、利根川図志など
 - ク 関 連 事 業
 - (ア) 講演会①「ちばらき」5 月 29 日 (土) 講師：秋山笑子 (大利根分館)
 - 講演会②「ちばらき」6 月 12 日 (土) 講師：秋山笑子 (大利根分館)
 - ケ 印 刷 物
 - (ア) 展示解説書
 - (イ) チラシ

2 テーマ展示

- (1) トピックス展 うめ・もも・さくら
- ア 会 期 令和 3 年 4 月 1 日 (木)～令和 3 年 5 月 5 日 (水・祝) [開催日数：31 日間]
 - イ 会 場 第 3 展示室
 - ウ 主 催 等 千葉県立中央博物館大利根分館
 - エ 入 場 者 数 323 名
 - オ 担 当 者 水野大樹・秋山笑子・伴 光哲
 - カ 概 要 日本人には馴染みの深い春の植物であるうめ・もも・さくらについて、科学的・文化的側面から紹介した。
 - キ 主な展示資料 バラ科植物さく葉標本、モモ類種子標本、ひな人形等
 - ク 関 連 事 業
 - (ア) 講演会「うめ・もも・さくら」5 月 1 日 (土) 講師：水野大樹 (企画調整課)
- (2) 夏休み展示 躍進の佐原ー新聞記者の見た戦前の暮らしと世相ー
- ア 会 期 令和 3 年 7 月 17 日 (土)～令和 3 年 8 月 31 日 (火) [開催日数：39 日間]
 - イ 会 場 第 3 展示室
 - ウ 主 催 等 千葉県立中央博物館大利根分館
 - エ 入 場 者 数 816 名
 - オ 担 当 者 秋山笑子・伴 光哲
 - カ 概 要 佐原駐在の朝日新聞記者真田健一氏が、昭和 6 年から 14 年にかけて撮影し整理した写真アルバム「躍進の佐原」(香取市教育委員会蔵)から、当時の世相を表すものを選んで当館の収蔵資料とともに展観し、約 90 年前の佐原の様子を紹介した。
 - キ 主な展示資料 写真パネル約 150 点、水車、座棺輿等
 - ク 関 連 事 業
 - (ア) 講座「躍進の佐原ー新聞記者の見た戦前の暮らしと世相ー」7 月 17 日 (土) 講師：秋山笑子 (大利根分館)
 - ケ 印 刷 物
 - (ア) チラシ
- (3) 収蔵資料展 古い道具と昔の暮らし
- ア 会 期 令和 3 年 9 月 14 日 (火)～ 令和 4 年 3 月 4 日 (金) [開催日数：117 日間]
 - イ 会 場 第 3 展示室
 - ウ 主 催 等 千葉県立中央博物館大利根分館
 - エ 入 場 者 数 545 名
 - オ 担 当 者 木本利行
 - カ 概 要 小学校 3 年生の学習内容「道具と暮らしのうつりかわり」の調べ学習に対応した展示を行った。
 - キ 主な展示資料 行燈、提灯、氷冷蔵庫、初期型電話機、竈、羽釜、自在鉤、野良着など
 - ク 関 連 事 業
 - (ア) 講座「古い道具と昔の暮らし」9 月 18 日 (土) 講師：秋山笑子 (大利根分館)

3 出前展示

- (1) 出張写真展 水郷の原風景 一米づくり・魚とり、そして日々の暮らしー
 ア 会 期 令和3年4月1日(金)～令和3年4月20日(火)〔開催日数：17日間〕
 イ 会 場 道の駅・川の駅 水の郷さわら 佐原ホール
 ウ 主 催 等 千葉県立中央博物館大利根分館
 エ 入 場 者 数 4,653名
 オ 担 当 者 木本利行
 カ 概 要 昭和初期から昭和30年を中心に、農業や漁撈、当時の生活風景の写真パネルを展示した。
 キ 主な展示資料 農業や漁撈、当時の生活風景関係写真パネル
- (2) 出張写真展 古写真にみる佐原の大祭
 ア 会 期 令和3年6月2日(水)～令和3年7月27日(火)〔開催日数：48日間〕
 イ 会 場 道の駅・川の駅 水の郷さわら 佐原ホール
 ウ 主 催 等 千葉県立中央博物館大利根分館
 エ 入 場 者 数 8,997名
 オ 担 当 者 木本利行
 カ 概 要 昭和初期から昭和30年を中心に、佐原の大祭の写真パネルを展示した。
 キ 主な展示資料 佐原の大祭関係写真パネル(本宿を中心に)
- (3) 出張写真展 古写真にみる佐原の大祭
 ア 会 期 令和3年9月14日(火)～令和3年10月12日(火)〔開催日数：25日間〕
 イ 会 場 道の駅・川の駅 水の郷さわら 佐原ホール
 ウ 主 催 等 千葉県立中央博物館大利根分館
 エ 入 場 者 数 4,859名
 オ 担 当 者 木本利行
 カ 概 要 昭和初期から昭和30年を中心に、佐原の大祭の写真パネルを展示した。
 キ 主な展示資料 佐原の大祭関係写真パネル(新宿を中心に)
- (4) 出張写真展 水郷の原風景 一米づくり・魚とり、そして日々の暮らしー
 ア 会 期 令和4年1月7日(金)～令和4年2月15日(火)〔開催日数：33日間〕
 イ 会 場 道の駅・川の駅 水の郷さわら 佐原ホール
 ウ 主 催 等 千葉県立中央博物館大利根分館
 エ 入 場 者 数 5,850名
 オ 担 当 者 木本利行
 カ 概 要 昭和初期から昭和30年を中心に、農業や漁撈、当時の生活風景の写真パネルを展示した。
 キ 主な展示資料 農業や漁撈、当時の生活風景関係写真パネル
- (5) 出張写真展 水郷の原風景 一米づくり・魚とり、そして日々の暮らしー
 ア 会 期 令和4年3月23日(水)～令和4年3月31日(木)〔開催日数：8日間〕
 イ 会 場 道の駅・川の駅 水の郷さわら 佐原ホール
 ウ 主 催 等 千葉県立中央博物館大利根分館
 エ 入 場 者 数 1,768名
 オ 担 当 者 木本利行
 カ 概 要 昭和初期から昭和30年を中心に、農業や漁撈、当時の生活風景の写真パネルを展示した。
 キ 主な展示資料 農業や漁撈、当時の生活風景関係写真パネル

第3 大多喜城分館

1 常設展示

(1) 常設展示の更新

展示室名	展示コーナー	資料名	更新内容
1階ロビー	ロビー展示	刀(坂倉言之進照包/延宝五年二月日)	展示更新
	ロビー展示	刀(無銘:伝青江貞次)	展示更新
	ロビー展示	刀(源信国平四郎吉政)	展示更新
	ロビー展示	刀(近江大掾藤原忠広)	展示更新
	ロビー展示	脇差(法橋藤原金道)	展示更新
	ロビー展示	脇差(近江大掾藤原忠広)	展示更新
	ロビー展示	薙刀(越中守正俊)	展示更新
	ロビー展示	金梨子地葵紋散打刀拵	展示更新
	ロビー展示	黒蠟色塗鞘打刀拵	展示更新
	ロビー展示	短刀拵(紅葉散)	展示更新
	ロビー展示	紫糸威童同具足(拵付)	展示更新
2階展示室	房総の城と城下町	刀(播磨大掾藤原忠国)	展示更新
	房総の城と城下町	刀(菊紋丹)	展示更新
	房総の城と城下町	太刀(近村上)	展示更新

展示室名	展示コーナー	資料名	更新内容
	房総の城と城下町	脇差 (水府住藤原真慶國光)	展示更新
	房総の城と城下町	十文字槍 (山城守國重)	展示更新
	房総の城と城下町	火繩銃 (10 匁筒)	展示更新
	房総の城と城下町	洋式銃 (エンフィールド銃)	展示更新
	房総の城と城下町	透平根鋸	展示更新
	房総の城と城下町	鎗矢	展示更新
	房総の城と城下町	紺糸威本小札胴丸具足	展示更新
	房総の城と城下町	紺糸威仏胴具足 (小星兜付)	展示更新
	房総の城と城下町	本多家御膳	展示更新
	房総の城と城下町	本多忠勝馬上図	展示更新
	房総の城と城下町	忠勝君御武功記	展示更新
	房総の城と城下町	大多喜藩校明善堂蔵書	展示更新
	房総の城と城下町	松平正敏筆絵画 (蓬萊山図)	展示更新
	房総の城と城下町	上総國輿地全図	展示更新
	房総の城と城下町	題目板碑	展示更新
3階展示室	房総の城と城下町	笹穂槍 (綱寛)、槍拵	展示更新
	房総の城と城下町	薙刀 (伊賀守源包道)、薙刀拵	展示更新
	房総の城と城下町	軍扇	展示更新
	房総の城と城下町	船采配	展示更新
	房総の城と城下町	火事装束	展示更新
	房総の城と城下町	十手	展示更新
	房総の城と城下町	袖搦	展示更新
	房総の城と城下町	金蔀絵草文耳盪	展示更新
	房総の城と城下町	蓬萊鏡	展示更新
	房総の城と城下町	花見道具	展示更新
	房総の城と城下町	樋口一葉書簡	展示更新
	房総の城と城下町	諸国道中金の草鞋	展示更新

(2) 研修館展示 大多喜城と城下町

ア 会 期 令和3年3月14日(月)～〔※令和3年度開催日数：18日間〕

イ 会 場 研修館

ウ 主 催 等 千葉県立中央博物館大多喜城分館

エ 担 当 者 渡辺善司

オ 概 要 中世の大多喜城、本多3代と大多喜藩、大河内(松平氏)と大多喜藩、城下町大多喜の4つのテーマから、大多喜城と城下町の歴史について写真とパネルで紹介した。

カ 主な展示資料 甲冑(複製)、かわらけ、五輪塔、紙本著色本多忠勝像(写真パネル)、本多忠勝書状(写真パネル)など

2 企画展

(1) 企画展 兜とカブト

ア 会 期 令和3年10月22日(金)～12月5日(日)(開催日数：39日間)

イ 会 場 2階展示室

ウ 主 催 等 千葉県立中央博物館大多喜城分館

エ 入 場 者 数 10,944名

オ 担 当 者 渡辺善司

カ 概 要 戦において頭を保護する防具である兜は、戦の変化にあわせて発達を遂げてきた。また、身につけた武士の戦に対する意識・価値観なども装飾という形で兜に表現され、武士が自らを表現する手段となっていく。動物、植物などをモチーフに意匠を凝らした変わり兜は、当時の美意識の結晶であったといえる。一方、私たちの身の回りには、その形態が兜に似ていることを由来として「カブト」を名乗る動物が多く生存している。今回の展覧会では、「かぶと」を取り上げ、意匠を凝らした変わり兜と「かぶと」にまつわる動物を紹介した。

キ 主な展示資料 (ア)戦のなかの兜

日本列島において兜が確認されるようになるのは、古墳時代中期以降とされる。地方の豪族が武装化する平安時代中期になると当時の主要な戦法であった騎射戦に対応して馬上で動きやすく、矢を防ぐのに適した大型の甲冑・大鎧が成立する。ここでは、戦のなかで変化した甲冑・鎧について紹介した。

(展示資料：赤糸威大鎧・星兜(複製)、大薙刀(重文)、「後三年合戦絵巻」など)

(イ)変わり兜いろいろ

平安時代中期に定まった兜の形式は、江戸時代まで続くこととなる。一方で、室町時代末期になると変形の兜が登場する。いわゆる変わり兜である。室町時代末期になると、戦の方法が大規模な集団戦へと変化し、下克上の気風の中、自己をアピールする必要性に迫られた武士たちは頭に被った

兜に意匠を求め、それが変わり兜の流行へとつながった。ここでは、戦場における武士たちの己の表現としてのさまざまな変わり兜を紹介した。

(展示資料：兎形兜、兎耳桃成兜、鉄錆地六十二間小星兜鉢、十六間阿古陀形筋兜など)

(ウ)今に生きるカブトたち

私たちに最も知られた昆虫にカブトムシがある。頭部に発達した角を持つ独特な姿がまるで「兜のように見える」ことからカブトムシという名が付けられた。子供たちにも人気の高いこの昆虫は、「昆虫の王様」ともいわれる。改めて私たちの周りを見回してみると、意外にも兜を名付けの理由とする生物が多いことに気づく。戦場における自己表現だった兜が、生物の容姿を表現することになった。ここでは、本館が所蔵する標本のなかから、「カブト」を名乗る動物標本等を紹介した。

(展示資料：カブトムシ標本、カブトガニ標本、クワガタムシ標本など)

ク 関連事業 (ア)講演会「戦国時代の東上総—上総武田氏から正木氏へ—」

日時：令和3年11月6日(土)13:30~15:30

講師：駿河台大学教授 黒田基樹氏

参加者：24名

(イ)お茶席

日時：令和3年11月20日(土)

協力：大多喜高校茶道部

参加者：70人

ケ 印刷物 (ア)解説書 400部

(イ)ポスター 400部

(ウ)チラシ 15,000部

3 テーマ展示

(1) 収蔵資料展 古文書にみる近世の大多喜

ア 会 期 令和3年7月8日(木)~10月17日(日)〔開催日数：89日間〕

イ 会 場 3階展示室

ウ 主 催 等 千葉県立中央博物館大多喜城分館

エ 入 場 者 数 16,222名

オ 担 当 者 渡辺善司

カ 概 要 大多喜城分館が所蔵する古文書のなかから特に近世初期のものを取り上げ、これら古文書から見える大多喜の姿を紹介した。

キ 主な展示資料 大多喜根古屋城主武田氏系譜、里見義頼朱印状、西畑之内平澤村坪入改帳、上総伊北庄山中郷御縄打水帳、大多喜市場関係文書、房総志料など

(2) 特別公開 赤羽刀

ア 会 期 令和3年12月9日(木)~12月26日(日)〔開催日数：16日間〕

〔当初開催期間：令和3年12月9日(木)~令和4年2月6日(日)〕

イ 会 場 2階展示室

ウ 主 催 等 千葉県立中央博物館大多喜城分館

エ 入 場 者 数 3,185名

オ 担 当 者 大谷弘幸

カ 概 要 第二次大戦後、GHQが接収して東京都北区赤羽にある米第八軍兵器補給廠に集められていた刀剣類を「赤羽刀」という。その後公開、活用を目的として、全国の博物館等に譲与され、大多喜城分館では38振を収蔵・保管している。これらのうち令和2年度に新たに研磨を行ったので、これまでに研磨されたものも含めて公開した。

キ 主な展示資料 太刀(近村上)、刀(備州長船清光/永正十年八月日)、刀(備州長船祐[以下切]/八月)、薙刀(月山正口作/文亀元年辛酉八月日)、昭和13年制定陸軍制式軍刀拵など

※大多喜城分館休館のため開催期間短縮

第4 分館海の博物館

1 常設展示

(1) 常設展示の更新

展示室名	展示コーナー	資料名	更新内容
展示室	自然観察エリア(理想郷観察エリア)	理想郷観察エリアで撮影された植物写真等	鶴原理想郷で植物等のモニタリングを行い、最新の情報を更新した(18回)。
	自然観察エリア(磯の観察エリア)	磯の観察エリアで撮影された生きものの写真等	磯の観察エリア(博物館前の岩礁海岸)で見られる生きものと潮汐の情報を更新した(毎日)。
	こんな研究をやっています	研究紹介ポスター	偶然見つけた史料から—103年前の高潮災害—(令和2年9月29日~令和3年6月17日、本吉正宏) ヨウサイイソギンチャク 100年ぶりの再発見(6月18日~7月30日) ハゼも「ミステリーサークル」をつくる?(7月31日~、川瀬裕司)
	こんなのみたよ	ヨロイカイメン、ゾウリエビ、クジラの耳骨の写真等	博物館利用者等からの提供資料をポスターで随時紹介した(5回)。

展示室名	展示コーナー	資料名	更新内容
	博物館をとりまく自然	季節ユニット展示一式	季節ごとにユニット展示を交換した(4回)。
	さまざまな海の姿・博物館をとりまく自然	ユニット展示一式	常設展示のユニット部分を交換した(1回)。
	体験学習カウンター	センジュアマノリ、ゾウリエビの幼生の生体等	トピック展示として、観察会などで見つかった興味深い生きものを水槽などで紹介した(10回)。

2 マリンサイエンスギャラリー (分館海の博物館の研究成果に基づき、海の生きものを深く掘り下げて紹介する企画展示)

(1) ウミカラ ー海の生きものの殻の話ー

ア 会 期 令和3年3月23日(土)～5月5日(水・祝) [※令和3年度内開催日数：76日間]
 イ 会 場 研修室
 ウ 主 催 等 千葉県立中央博物館分館海の博物館
 エ 入 場 者 数 10,102名(令和3年度：4月1日～5月5日)
 オ 担 当 者 立川浩之
 カ 概 要 殻を持つ海の生きものについて紹介した。
 キ 主な展示資料 オーストンフクロウニ、タスマニアオオガニ、オオシャコガイなど
 ク 印 刷 物 (ア) ポスター 500部
 (イ) チラシ 40,000部

(2) 千葉県エビ・カニ大集合！

ア 会 期 令和4年2月26日(土)～5月8日(日) [※令和3年度内開催日数：29日間]
 イ 会 場 研修室
 ウ 主 催 等 千葉県立中央博物館分館海の博物館
 エ 入 場 者 数 5,644名(令和3年度：2月26日～3月31日)
 オ 担 当 者 奥野淳兒
 カ 概 要 千葉県で見られるエビやカニの仲間を紹介した。
 キ 主な展示資料 オオホモラ、カノコイセエビ、タカアシガニなど
 ク 印 刷 物 (ア) ポスター 500部
 (イ) チラシ 40,000部

3 収蔵資料展 (分館海の博物館の収蔵資料を中心にして海の生きものを紹介する企画展示)

(1) 収蔵資料展 イカ展

ア 会 期 令和3年7月17日(土)～9月5日(日) [開催日数：44日間]
 イ 会 場 研修室
 ウ 主 催 等 千葉県立中央博物館分館海の博物館
 エ 入 場 者 数 17,030名
 オ 担 当 者 柳研介
 カ 概 要 海の博物館に収蔵されている標本を中心にイカの仲間を展示した。
 キ 主な展示資料 ダイオウイカ成体と子供、ヒメイカ、コブシメなど
 ク 印 刷 物 (ア) ポスター(館内で印刷)
 (イ) チラシ 40,000部
 ケ 関 連 事 業 講座「イカを調べよう」8月1日(日) 募集人数8名、申込者9名、参加者数6名

IV 教育普及

第1 本館（講師・担当者は、特に断らないかぎり、本館職員）

1 展示観覧支援

(1) ミュージアムトーク（展示解説・収蔵庫探検）30回 362人 中止2回

通常、研究員が、展示室入場者を対象に、展示室や収蔵庫、生態園などで、1日2回（①11:00～11:30、②14:30～15:00）、各回30分程度の解説を行う。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催場所を展示室、講堂、研修室に変更し、1日1回（11:00～11:30）と回数を減らし、10月3日から再開した。

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
9月12日(日)	海鳥とめぐる島の旅・半島の旅	平田和彦	展示室	中止※
9月26日(日)	房総のタカラガイ	黒住耐二	展示室	中止※
10月3日(日)	地層の模様	岡崎浩子	展示室	5人
10月9日(土)	特別展「バラのすべて」展示解説	御巫由紀	講堂	13人
10月16日(土)	特別展「バラのすべて」展示解説	御巫由紀	講堂	16人
10月23日(土)	特別展「バラのすべて」展示解説	御巫由紀	講堂	13人
10月30日(土)	特別展「バラのすべて」展示解説	御巫由紀	講堂	16人
11月3日(水祝)	特別展「バラのすべて」展示解説	御巫由紀	講堂	46人
11月6日(土)	特別展「バラのすべて」展示解説	御巫由紀	講堂	27人
11月13日(土)	特別展「バラのすべて」展示解説	御巫由紀	講堂	20人
11月20日(土)	特別展「バラのすべて」展示解説	御巫由紀	講堂	26人
11月23日(水祝)	特別展「バラのすべて」展示解説	御巫由紀	講堂	24人
11月27日(土)	特別展「バラのすべて」展示解説	御巫由紀	講堂	41人
12月5日(日)	冬の昆虫観察	樽 宗一朗	展示室	4人
12月12日(日)	ちばの鉄道物語	内田龍哉	研修室	4人
12月19日(日)	地球温暖化・気候変動・気候危機を考える	林 浩二	講堂	2人
12月26日(日)	ちばの鉄道物語	内田龍哉	研修室	6人
1月9日(日)	春の展示「苔松苔梅ー春を寿ぐうめのきごけ」展示解説	坂田歩美	講堂	7人
1月10日(月祝)	今と昔のトラのおはなし	丸山啓志	展示室	12人
1月16日(日)	利根川下流域の江戸時代	米谷 博	展示室	0人
1月30日(土)	つくってシダ植物なの！？ ー多様なシダ植物のお話ー	水野大樹	展示室	5人
2月6日(土)	骨から探るクジラの進化	宮川尚子	展示室	10人
2月11日(金祝)	展示室で見る天然記念物	平田和弘	展示室	1人
2月13日(日)	春の展示「苔松苔梅ー春を寿ぐうめのきごけ」展示解説	坂田歩美	講堂	18人
2月20日(日)	「天神台遺跡展」展示解説	黒住耐二	展示室	4人
2月23日(水祝)	房総丘陵の自然	尾崎煙雄	展示室	5人
2月27日(日)	春の展示「苔松苔梅ー春を寿ぐうめのきごけ」展示解説	坂田歩美	講堂	5人
3月6日(日)	生痕化石のいろいろ	加藤久佳	展示室	10人
3月13日(日)	春の展示「苔松苔梅ー春を寿ぐうめのきごけ」展示解説	坂田歩美	講堂	8人
3月20日(日)	古墳時代の房総	石井友奈	展示室	3人
3月21日(月祝)	江戸川下流域の江戸時代	米谷 博	展示室	5人
3月27日(日)	春の展示「苔松苔梅ー春を寿ぐうめのきごけ」展示解説	坂田歩美	講堂	6人

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため

(2) 体験プログラム

本館展示では、体験プログラム「中央博調査隊」を学校団体向けに、生態園では、自然体験プログラム「森の調査隊」を学校団体、個人向けにワークシートを使って実施するが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施しなかった。

2 講座・観察会等の開催

(1) 講座・観察会

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、博物館の体制に合わせて講座・観察会を第2段階、第3段階に分けて実施した。今年度は第3段階への移行はなかった。

ア 地学 5回 92人 中止9回

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
6月13日(日)	海岸で化石を探そう	加藤久佳	富津市	17人
8月7日(土)	セキツイ動物の比べ方	丸山啓志	研修室	20人

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
8月8日(日)	千葉県の地形模型を作ろう	八木令子	1階ホール	11人
10月16日(土)	化石発掘たいけん	伊左治鎮司	1階ピロティ	27人
1月15日(土)	九十九里浜で蜃気楼を観察しよう	大木淳一	九十九里町不動堂海岸	17人

第三段階で計画されていた行事

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
5月9日(日)	地質の日関連 千葉の地層10選観察会1 チバニアンをみよう	岡崎浩子・高橋直樹	市原市	中止※
6月6日(日)	東京の旧海岸線を歩く	八木令子	東京都	中止※
8月1日(日)	化石の模型をつくろう	加藤久佳	研修室	中止※
8月8日(日)	海岸で石ころをひろおう	高橋直樹	富津市	中止※
11月7日(日)	県外岩石観察会13 北関東群馬太田の藪塚石	高橋直樹	群馬県太田市・みどり市	中止※
12月11日(土)	トドの化石を見つけよう	大木淳一	市原市	中止※
1月23日(日)	メタセコイア化石林の観察	西内李佳	東京都八王子市	中止※
2月11日(金祝)	峰のかたち	八木令子	研修室	中止※
2月27日(日)	岩石薄片をつくろう	高橋直樹	研修室	中止※

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため

イ 動物 7回 104人 中止4回

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
7月17日(土)	昆虫標本のつくり方	斉藤明子	研修室	12人
7月18日(日)	バケツ一杯の水から海の魚を探る 第1回	宮 正樹	研修室	16人
9月19日(月祝)	バケツ一杯の水から海の魚を探る 第2回	宮 正樹	研修室	16人
10月24日(日)	ホネール(鯨骨)ウォッチング	宮川尚子	研修室	15人
11月14日(日)	土の中の生き物	萩野康則	研修室	6人
1月8日(土)	昆虫標本整理たいけん!	伴 光哲	研修室	13人
2月20日(日)	深海の映像を見よう	駒井智幸	講堂	26人

第三段階で計画されていた行事

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
6月13日(日)	生態園観察会 生態園の虫たち	尾崎輝雄	生態園	中止※
8月1日(日)	夜の公園でセミの羽化を観察しよう	伴 光哲	青葉の森公園	中止※
11月14日(日)	土の中の生き物の観察	萩野康則	研修室	中止※
1月8日(土)	冬のむしさがし	伴 光哲	青葉の森公園	中止※

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため

ウ 植物・菌類 4回 24人 中止7回

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
7月10日(土)	街中のシダ植物の見分け方	水野大樹	研修室	7人
11月27日(土)	きのこの顕微鏡観察	吹春俊光	研修室	13人
1月15日(土)	キイチゴの分類	天野 誠	研修室	1人
2月6日(日)	冬の樹木観察	平田和弘	軽食喫茶室	3人

第三段階で計画されていた行事

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
4月25日(日)	生態園観察会 コケのくらし	古木達郎	生態園	中止※
4月25日(日)	春の植物観察	天野 誠・水野大樹	一宮町	中止※
9月5日(日)	生態園観察会 つる植物	林 浩二	生態園	中止※
10月2日(土)	地衣類の分類 全6回連続講座(他11/13, 12/26, 1/30, 3/6, 3/20)	原田 浩	研修室	中止※
10月17日(日)	秋の植物観察	水野大樹・天野 誠	一宮町	中止※
11月7日(日)	生態園観察会 秋の植物	西内李佳	生態園	中止※
1月16日(日)	生態園観察会 植物の冬越し	由良 浩	生態園	中止※

エ 歴史・民俗 7回 112人 中止1回

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
8月9日(月)	こども考古学教室	米谷 博・田邊由美子	研修室	11人
9月18日(土)	縄文時代の考古学	田邊由美子	講堂	16人
11月6日(土)	大正期の流感禍と千葉県 第1回	内田龍哉	研修室	2人
11月20日(土)	大正期の流感禍と千葉県 第2回	内田龍哉	研修室	3人

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
12月12日(日)	お浜降りセミナー2021 下総国会場	小林裕美・米谷博	講堂	22人
1月30日(日)	東部図書館共催事業「お浜降りセミナー2021-②」	小林裕美・米谷博	千葉県立東部図書館	24人
2月19日(土)	講演会「市原市 天神台遺跡展～縄文人と海のかかわりのはじまり～」	忍澤成視(市原市教委)	講堂	34人

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため

オ 自然と人間 1回 4人 中止1回

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
12月19日(日)	写真で探る埋め立て前の東京湾岸の景観	白井 豊	研修室	4人
2月13日(土)	花粉を顕微鏡で見てみよう	奥田昌明	軽食喫茶室	中止※

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため

カ 自然いろいろ 3回 20人 中止9回

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
7月25日(日)	磯の生きものを探そう	村田明久	鴨川市	7人
11月21日(日)	小糸川流域の地形を訪ねる2	八木令子	君津市	9人
1月10日(月祝)	天然記念物とは何か	平田和弘	研修室	4人

第三段階で計画されていた行事

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
4月24日(土)	山の学校 151 春の里の生きもの	尾崎煙雄・斉藤明子・八木令子	旧三島小学校	中止※
5月5日(水祝)	プランクトンの小宇宙をのぞこう	林紀男	研修室	中止※
5月9日(日)	ジュニア自然誌研究クラブ 全6回連続講座(他7/11, 9/12, 11/14, 1/9, 3/13)	平田和彦・宮川尚子	館外・館内(回によって異なります)	中止※
5月29日(土)	山の学校 152 初夏の山の生きもの	尾崎煙雄・斉藤明子・八木令子	清和県民の森	中止※
6月26日(土)	山の学校 153 夏の里の生きもの	尾崎煙雄・斉藤明子・八木令子	旧三島小学校	中止※
7月31日(土)	山の学校 154 川の生きもの1	尾崎煙雄・斉藤明子・八木令子	清和県民の森	中止※
8月28日(土)	山の学校 155 川の生きもの2	尾崎煙雄・斉藤明子・八木令子	清和県民の森	中止※
9月11日(土)	水槽栽培の水草を比べてみよう	林 紀男	生態園	中止※
9月25日(土)	山の学校 156 秋の里の生きもの	尾崎煙雄・斉藤明子・八木令子	旧三島小学校	中止※

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため

(2) 特別展「バラのすべて」関連行事 27回 743人

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
10月9日(土)	特別展関連ワークシート「ばらクイズ」	藤田雅代・柳原亜矢子	展示室	17人
10月10日(日)	バラの植物画体験教室	道惠(植物画家)	研修室	10人
10月10日(日)	特別展関連ワークシート「ばらクイズ」	塩地明子・柳原亜矢子	展示室	20人
10月16日(土)	特別展関連ワークシート「ばらクイズ」	藤田雅代・塩地明子	展示室	18人
10月17日(日)	自然誌シンポジウム「バラの育種最前線！」	大場秀章(東京大学名誉教授)・上田善弘(岐阜県立国際園芸アカデミー前学長)・武内俊介(京成バラ園芸株式会社)・河合伸志(横浜イングリッシュガーデン)・木村卓功(バラの家)・小山内健(京成バラ園芸株式会社)	講堂	66人
10月17日(日)	自然誌シンポジウム「バラの育種最前線！」	大場秀章(東京大学名誉教授)・上田善弘(岐阜県立国際園芸アカデミー前学長)・武内俊介(京成バラ園芸株式会社)・河合伸志(横浜イングリッシュガーデン)・木村卓功(バラの家)・小山内健(京成バラ園芸株式会社)	オンライン	113人
10月17日(日)	特別展関連ワークシート「ばらクイズ」	柳原亜矢子	展示室	20人
10月23日(土)	特別展関連ワークシート「ばらクイズ」	柳原亜矢子・塩地明子	展示室	21人
10月24日(日)	特別展関連ワークシート「ばらクイズ」	藤田雅代・塩地明子	展示室	20人
10月30日(土)	特別展関連ワークシート「ばらクイズ」	藤田雅代・柳原亜矢子	展示室	17人

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
10月31日(日)	県立中央図書館連携事業 トークイベント「バラの図鑑ができるまで」	大作晃一(自然写真家)・ 御巫由紀・斎木健一	講堂	44人
10月31日(日)	県立中央図書館連携事業 トークイベント「バラの図鑑ができるまで」	大作晃一(自然写真家)・ 御巫由紀・斎木健一	オンライン	51人
10月31日(日)	特別展開連ワークシート「ばらクイズ」	塩地明子・柳原亜矢子	展示室	21人
11月6日(土)	特別展開連ワークシート「ばらクイズ」	藤田雅代・塩地明子	展示室	19人
11月7日(日)	花の写真を撮ってみよう	大作晃一(自然写真家)	研修室・青葉の 森公園	14人
11月7日(日)	特別展開連ワークシート「ばらクイズ」	藤田雅代・柳原亜矢子	展示室	20人
11月13日(土)	特別展開連ワークシート「ばらクイズ」	塩地明子・柳原亜矢子	展示室	20人
11月14日(日)	講座「バラの歴史」	御巫由紀	講堂	65人
11月14日(日)	特別展開連ワークシート「ばらクイズ」	藤田雅代・塩地明子	展示室	20人
11月20日(土)	特別展開連ワークシート「ばらクイズ」	藤田雅代・柳原亜矢子	展示室	20人
11月21日(日)	講演会「二口善雄画伯と日本の植物画の夜明け」	豊田路子(植物画家)	講堂	10人
11月21日(日)	講演会「二口善雄画伯と日本の植物画の夜明け」	豊田路子(植物画家)	オンライン	18人
11月21日(日)	特別展開連ワークシート「ばらクイズ」	塩地明子・柳原亜矢子	展示室	20人
11月23日(火祝)	特別展開連ワークシート「ばらクイズ」	藤田雅代・塩地明子	展示室	23人
11月27日(土)	特別展開連ワークシート「ばらクイズ」	藤田雅代・塩地明子	展示室	24人
11月28日(日)	バラの手描き染体験教室	流郷由紀子(植物画家)	研修室	12人
11月28日(土)	特別展開連ワークシート「ばらクイズ」	藤田雅代・柳原亜矢子	展示室	20人

(3) 春の展示「九十九里浜の自然誌」関連行事 24回 1014人 中止1回

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
4月1日(木)～5月 12日(水)	春の展示関連行事「九十九里浜の浸食を考 える」	由良 浩	館外(オンライン)	44人
4月3日(土)	春の展示「九十九里浜の自然誌」関連ワーク シート	藤田雅代	展示室	33人
4月4日(日)	春の展示「九十九里浜の自然誌」関連ワーク シート	藤田雅代	展示室	26人
4月10日(土)	春の展示「九十九里浜の自然誌」関連ワーク シート	藤田雅代・塩地明子	展示室	35人
4月11日(日)	春の展示「九十九里浜の自然誌」関連ワーク シート	藤田雅代・塩地明子	展示室	55人
4月17日(土)	春の展示「九十九里浜の自然誌」関連ワーク シート	大野将史・樽宗一朗	展示室	32人
4月18日(日)	春の展示「九十九里浜の自然誌」関連ワーク シート	塩地明子	展示室	42人
4月24日(土)	春の展示「九十九里浜の自然誌」関連ワーク シート	藤田雅代・塩地明子	展示室	34人
4月25日(日)	春の展示「九十九里浜の自然誌」関連ワーク シート	藤田雅代・塩地明子	展示室	50人
4月29日(木祝)	春の展示「九十九里浜の自然誌」関連ワーク シート	藤田雅代・塩地明子	展示室	46人
5月1日(土)	春の展示「九十九里浜の自然誌」関連ワーク シート	藤田雅代・塩地明子	展示室	33人
5月2日(日)	春の展示「九十九里浜の自然誌」関連ワーク シート	藤田雅代・柳原亜矢子	展示室	56人
5月3日(月祝)	春の展示「九十九里浜の自然誌」関連ワーク シート	塩地明子・柳原亜矢子	展示室	56人
5月4日(火祝)	春の展示「九十九里浜の自然誌」関連ワーク シート	藤田雅代・塩地明子	展示室	58人
5月5日(水祝)	春の展示「九十九里浜の自然誌」関連ワーク シート	藤田雅代・塩地明子	展示室	43人
5月8日(土)	春の展示「九十九里浜の自然誌」関連ワーク シート	塩地明子・柳原亜矢子	展示室	31人
5月9日(日)	春の展示「九十九里浜の自然誌」関連ワーク シート	塩地明子	展示室	46人
5月15日(土)	春の展示「九十九里浜の自然誌」関連ワーク シート	藤田雅代・柳原亜矢子	展示室	32人
5月16日(日)	春の展示「九十九里浜の自然誌」関連ワーク シート	塩地明子・柳原亜矢子	展示室	51人

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
5月22日(土)	春の展示「九十九里浜の自然誌」関連ワークシート	塩地明子・藤田雅代	展示室	54人
5月23日(日)	春の展示「九十九里浜の自然誌」関連ワークシート	塩地明子・柳原亜矢子	展示室	61人
5月29日(土)	鳥の標本をみてみよう	桑原和之・千葉友樹	研修室	6人
5月29日(土)	春の展示「九十九里浜の自然誌」関連ワークシート	塩地明子・柳原亜矢子	展示室	40人
5月30日(日)	春の展示「九十九里浜の自然誌」関連ワークシート	藤田雅代・塩地明子	展示室	50人

第三段階で計画されていた行事

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
5月22日(土)	春の展示関連行事 砂浜の生きものを観察しよう	由良 浩	白子町	中止※

(4) 夏の展示「うみ鳥つぶ [umi-Trip] -海鳥とめぐる島の旅・半島の旅-」関連行事 8回 97人 中止2回

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
7月3日(土)	オープニングイベント「umi-Trip 出航式」	平田和彦	展示室	8人
7月11日(日)	umi-Trip 展示室編「学芸員とっておきの展示ウラ話」	平田和彦	展示室	13人
7月22日(木祝)	海の日企画 オンライン講演会「海鳥のグルメレポート」	平田和彦	オンライン	中止※
7月22日(木祝)	海の日企画+“plus”「海鳥はグルメ?実証クッキング」	平田和彦	千葉科学大学	中止※
7月25日(日)	umi-Trip 展示室編「学芸員とっておきの展示ウラ話」	平田和彦	展示室	14人
8月8日(日祝)	umi-Trip 展示室編「学芸員とっておきの展示ウラ話」	平田和彦	展示室	13人
8月22日(日)	umi-Trip 展示室編「学芸員とっておきの展示ウラ話」	平田和彦	展示室	15人
9月4日(土)	umi-Trip フェリー編「海鳥の飛び方を見比べよう！」	平田和彦	東京湾フェリー	15人
9月5日(日)	umi-Trip 展示室編「学芸員とっておきの展示ウラ話」	平田和彦	展示室	11人
1月22日(土)	umi-Trip 漁港編「君たちは包围されている! by カモメ」	平田和彦	銚子漁港	8人

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため

(5) 春の展示「令和4年春の展示 苔松苔梅 -春を寿ぐ うめのきごけ-」関連行事 2回 11人

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
2月23日(水祝)	地衣類をのぞいてみよう!	坂田歩美	軽食喫茶室	6人
3月21日(月祝)	青葉の森の地衣類	坂田歩美	青葉の森公園	5人

(6) 体験イベント・特別企画

ア 体験イベント 22回 744人 中止11回

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
5月23日(日)	あなたの発見おしえてください・初夏1	林 浩二	生態園	40人
6月6日(日)	あなたの発見おしえてください・初夏2	林 浩二	生態園	30人
6月20日(日)	あなたの発見おしえてください・初夏3	林 浩二	生態園	51人
8月1日(日)	達人への道 夏の巻	塩地明子・藤田雅代	展示室	5人
8月7日(土)	達人への道 夏の巻	藤田雅代・柳原亜矢子	展示室	21人
8月8日(日)	達人への道 夏の巻	柳原亜矢子・塩地明子	展示室	22人
8月9日(月祝)	達人への道 夏の巻	塩地明子・藤田雅代	展示室	20人
8月13日(金)	達人への道 夏の巻	柳原亜矢子	展示室	40人
8月14日(土)	達人への道 夏の巻	藤田雅代	展示室	40人
8月15日(日)	達人への道 夏の巻	藤田雅代	展示室	40人
8月16日(月)	達人への道 夏の巻	藤田雅代・柳原亜矢子	展示室	26人
8月21日(土)	達人への道 夏の巻	塩地明子・柳原亜矢子	展示室	20人
8月22日(日)	達人への道 夏の巻	藤田雅代・塩地明子	展示室	34人
8月28日(土)	達人への道 夏の巻	藤田雅代・柳原亜矢子	展示室	27人
8月29日(日)	達人への道 夏の巻	塩地明子・柳原亜矢子	展示室	33人
10月3日(日)	あなたの発見おしえてください・秋1	林 浩二	生態園	50人

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
10月17日(日)	あなたの発見おしえてください・秋2	林 浩二	生態園	18人
10月23日(土)	チバニアンはどうぶつ	丸山啓志	研修室	16人
10月24日(日)	あなたの発見おしえてください・秋3	林 浩二	生態園	43人
11月3日(水祝)	生態園でツリーラリー	由良浩・西内李佳・尾崎煙雄・林 紀男	生態園	113人
12月5日(日)	まつぼっくりのクリスマスツリー	塩地明子・藤田雅代・柳原亜矢子	研修室	28人
12月25日(土)	貝化石をひろってみよう	千葉友樹	研修室・1階入口	27人

第三段階で計画されていた行事

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
5月3日(月祝)	貝の化石を調べよう	伊左治鎮司	1階入口	中止※
5月4日(火祝)	石を割ってみよう	高橋直樹	1階入口	中止※
5月4日(火祝)	体験！身近な生きものの不思議	由良浩ほか	生態園	中止※
5月30日(日)	春の親子科学クラブ びっくりおもちゃをつくろう	加藤久佳	1階ホール	中止※
6月19日(日)	バックヤードツアー (花粉)	奥田昌明	2階ホール～第1化学分析室	中止※
7月25日(日)	夏の親子科学クラブ 手づくりおもちゃであ・そ・ぼ！	加藤久佳	1階ホール	中止※
8月20日(日)	砂カードを作ろう	岡崎浩子	研修室	中止※
10月2日(土)	バックヤードツアー (花粉)	奥田昌明	2階ホール～第1化学分析室	中止※
10月3日(日)	秋の親子科学クラブ 空飛ぶおもちゃをつくろう	加藤久佳	1階ホール	中止※
10月24日(日)	生態園スタンプラリー	西内李佳・由良 浩	生態園	中止※
1月23日(日)	冬の親子科学クラブ 電子工作 えんぴつオルガンをつくろう	加藤久佳	研修室	中止※

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため

イ 夏休み特別企画 2回 15人

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
8月21日(土)	夏休み自由研究相談会		1階ホール・研修室	8人
8月22日(日)	夏休み自由研究相談会		1階ホール・研修室	7人

ウ 文化の日特別企画 中止1回

月日	タイトル	受付担当者・参加団体	場所	参加者数
11月3日(火祝)	自然誌フェスタ千葉			中止※

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため

3 アウトリーチ支援

(1) 学校対象 (館内で実施した博物館学習を含む)

ア 小学校 1回 23人

月日	事業名(学校名)	講師・担当者等	場所	参加者数
8月25日(金)	千葉県夢チャレンジ体験スクール	大野将史・桑原和之・千葉友樹	研修室	23人

イ 特別支援学校 3回 72人

月日	事業名(学校名)	講師等	場所	参加者数
7月1日(木)	理科学習 (県立千葉盲学校)	丸山啓志・大野将史	研修室	10人
11月18日(木)	理科学習「化石にさわってみよう！」(県立千葉盲学校)	大野将史・丸山啓志	研修室	10人
11月30日(火)	博物館学習「身近な鳥たちのはなし」(千葉県盲学校)	大野将史・桑原和之	県立千葉盲学校	52人

ウ 大学 5回 196人

月日	事業名(学校名)	講師等	場所	参加者数
6月30日(水)	菌類の生態と分類 (東京理科大学)	吹春俊光	房総のむら	30人
7月21日(水)	「細胞活性物質特論1」地衣類に関する講義 (東京理科大学)	原田 浩	オンライン	67人
9月4日(土)	千葉大学博物館資料論実習	岡崎浩子	収蔵庫	17人
10月13日(水)	園芸学部講義「緑の環境を育む」(千葉大学)	水野大樹	千葉大学松戸キャンパス	62人

月日	事業名(学校名)	講師等	場所	参加者数
11月19日(金)	学芸員コース進路参考講座「学芸員の魅力・学芸員になるには」	米谷博	千葉経済大学	20人

(2) 団体・機関等への支援

ア 講座等講師(館内) 6回 196人

月日	事業名(依頼者)	講師	場所	参加者数
11月6日(土)	サイエンスアゴラ 2021 スペシャルワークショップ「フラワープロジェクト」	高橋直樹	オンライン	54人
11月7日(日)	もっと知りたい!オオミズナギドリのこと(御蔵島のオオミズナギドリを守りたい有志の会)	平田和彦	オンライン	15人
11月12日(金)	千葉市都市緑化植物園講座「身近な自然を学ぶ講座」	林紀男	生態園	14人
11月27日(土)	アイランダー×うみ鳥つぶー島と人と海鳥のかかわり(日本離島センター)	平田和彦	オンライン	39人
12月18日(土)	千葉県で観測される屋気楼の特徴～九十九里屋気楼を中心に～(日本気象予報士会千葉支部)	大木淳一	オンライン	33人
2月27日(日)	「苔松苔梅」と房総の地衣類について(日本樹木医会 千葉県支部)	原田浩	オンライン	41人

イ 講座等講師(館外) 20回 817人

月日	事業名(依頼者)	講師	場所	参加者数
5月19日(水)	生命のにぎわい調査団 現地研修会	由良浩・千葉友樹	白子町剝金海岸	12人
5月23日(日)	生命のにぎわい調査団 現地研修会	由良浩・千葉友樹	白子町剝金海岸	39人
5月26日(水)	くらしの植物苑観察会(国立歴史民俗博物館)	坂田歩美	くらしの植物苑	18人
6月23日(水)	ちばの鉄道の発展(千葉市生涯学習センター)	内田龍哉	千葉市生涯学習センター	23人
7月11日(日)	「オリンピック・パラリンピック」と千葉のスポーツ史(千葉市生涯学習センター)	島立理子	千葉市生涯学習センター	18人
7月14日(水)	「京成電鉄とちば」(千葉市生涯学習センター)	内田龍哉	千葉市生涯学習センター	20人
9月25日(土)	子供のための里山観察会「やさしいきのご観察会」(千葉県立房総のむら)	吹春俊光	千葉県立房総のむら	15人
10月10日(日)	里山観察会「野生のきのこ」(千葉県立房総のむら)	吹春俊光	千葉県立房総のむら	12人
10月14日(木)～10月15日(金)	ホクト生物化学振興財団 野生のきのこ観察会/野生のきのこ講座	吹春俊光	長野県箕輪町、飯山市	70人
10月16日(土)	企画展「海とジュゴンと貝塚人」第531回博物館文化講座 沖縄の貝塚と貝類(沖縄県立博物館)	黒住耐二	沖縄県立博物館	84人
10月30日(土)	「ところ変われば備えも変わる あなたの街と自然災害」(千葉県立西部図書館)	八木令子	千葉県立西部図書館	18人
10月31日(日)	講演会「きのこの自然誌」(宮崎県総合博物館)	吹春俊光	宮崎県総合博物館	50人
11月12日(金)	「おばちゃんたちの野菜行商 カゴを背負って東京へ」(市原市立南総公民館)	小林裕美	市原市立南総公民館	50人
11月27日(土)	里山観察会「コケ植物」(千葉県立房総のむら)	古木達郎	千葉県立房総のむら	10人
11月30日(火)	検視実務専科「獣骨学」	田邊由美子	千葉県警察学校	30人
12月4日(土)	千葉の野鳥について(銚子ジオパーク推進協議会)	平田和彦	銚子市勤労コミュニティセンター	8人
12月7日(火)	房総の地層と岩石について(市原市教育委員会)	高橋直樹	市原市立南部保険福祉センター	40人
12月11日(土)	千葉の地層10選について(銚子ジオパーク推進協議会)	高橋直樹	銚子市勤労コミュニティセンター	50人
12月17日(金)	池沼の水環境保全に果たす水草・ミジンコの役割(千葉県自然観察指導員協議会)	林紀男	千葉市生涯学習センター	25人
12月18日(土)	「もっと知りたい!植物のあれこれ」(袖ヶ浦市郷土博物館友の会)	平田和弘	長浦おかのうえ図書館	25人
12月18日(土)	「秋田県鹿半島の堆積層と貝類化石を題材とした研究」(千葉県地学教育研究会)	千葉友樹	千葉県立中央博物館	34人
1月18日(火)	第四紀「チバニアン」の時代を中心とする環境花粉学について(市原市教育委員会)	奥田昌明	市原市加茂公民館	40人
1月30日(日)	「『チバニアン』と房総の大地のなりたち」(房総の地域文化を学ぶ会)	高橋直樹	木更津市中央公民館	56人
2月5日(土)	「チバニアン」をもっとよく知ろう(千心会)	岡崎浩子	千葉県立中央博物館	13人

月日	事業名(依頼者)	講師	場所	参加者数
3月4日(金)	顕微鏡で花粉観察(千葉市科学館)	奥田昌明	千葉市科学館	8人
3月11日(金)	顕微鏡で花粉観察(千葉市科学館)	奥田昌明	千葉市科学館	9人
3月12日(土)	ちはら台学歴史講座「『千葉の地層10選』について」(ちはら台コミュニティーセンター運営協議会)	高橋直樹	ちはら台コミュニティーセンター	40人

ウ 学会・研究会・会議等の開催(館外を含む) 1回 62人

月日	事業名	担当者等	場所	参加者数
3月24日(木)	講演会「博物館における収蔵庫増設の実際」	萩野康則	オンライン	62人

エ 施設の貸し出し 3回 54人

月日	事業名	担当者等	場所	参加者数
10月24日(日)	千葉県昆虫談話会幹事会	伴光哲・樽宗一朗	会議室	10人
12月18日(土)	千葉県地学教育研究会 2022年度総会、研究発表会、談話会、第70回地学研究発表会(児童・生徒)	高橋直樹	講堂	34人
12月19日(日)	千葉県昆虫談話会幹事会	伴光哲・樽宗一朗	会議室	10人

(3) 専門分野における相談対応

研究員が専門分野の知識を活かし、個人からの質問相談および各種機関等への助言や技術指導を行った。なお、これまで学術情報センターで行っていた来館者対応は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、昨年度に引き続き本館2階案内所で実施した。

相談件数 3072件

質問分野	官公庁	公的団体	民間団体	小中高校	大学	海外	個人	小計
地学	20	0	4	1	3	0	21	49
動物	177	31	468	3	43	32	456	1210
植物・菌類	79	26	9	2	82	5	124	327
人文	21	1	0	1	0	1	22	46
生態・環境	518	344	97	69	62	23	308	1421
博物館一般	4	0	0	1	2	0	12	19
合計	819	402	578	77	192	61	943	3072

4 職場体験・インターンシップ・博物館実習・教員研修等

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、千葉県庁インターンシップは実施しなかった。職場体験は1件は中止し1件はオンラインで実施した。

(1) 職場体験 1校4人 中止1回

月日	学校名	日数	人数	担当科
11月18日(木)	富里市立富里南中学校	1日	4人	動物学研究科(オンライン)
1月27日(木)	千葉市立みつわ台中学校	1日	中止※	教育普及課

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため

(2) 博物館実習

ア 実施期間 令和3年8月25日(水)~31日(火) [7日間]

イ 受入校 8校10人[国士舘大学(1人)、淑徳大学(1人)、帝京科学大学(1人)、東京農業大学(2人)、日本女子大学(1人)、日本大学(2人)、宮崎大学(1人)、和洋女子大学(1人)]

ウ カリキュラム

8月25日(水) 開講式、常設展示解説、夏の展示「うみ鳥つぶ」の企画から運営まで(平田和彦)、資料管理について(御巫由紀)、展示企画実習の説明(高橋直樹)、化石学習キット紹介(加藤久佳)

8月26日(木) 生態園解説(尾崎煙雄・西内李佳)、人文系資料の取り扱い(小林裕美・米谷博・田邊由美子)、教育普及業務について(乃一哲久)、広報について(石井友菜)

8月27日(金)~8月29日(日) 班別実習(各担当科対応)

8月30日(月) 自宅研修

8月31日(火) 資料収集・昆虫標本作成(斉藤明子・樽宗一朗)、展示企画実習(高橋直樹)、閉講式

(3) 教員研修

ア 館主催 教員のための博物館の日 2回11人

月日	事業名	担当者等	場所	参加者数
7月28日(水)	持続可能な開発目標(SDGs)を考える	林浩二・大野将史	研修室	6人
8月5日(木)	教員のための博物館利用研修会	大野将史、加藤久佳、斉藤明子、田邊由美子	講堂・研修室・展示室	5人

イ 教員研修制度 7回 15人

月日	事業名	担当者等	場所	参加者数
7月21日(水)	中堅教員等資質向上研修における社会体験研修 (千葉市立土気小・千葉市立小谷小)	大野将史、林 浩二、 宮川尚子、岡崎浩子、 丸山啓志、原田浩、 御巫由紀	展示室・案内所・教育 普及課	2人
7月24日(土)	中堅教員等資質向上研修における社会体験研修 (千葉市立土気小・千葉市立小谷小)	大野将史、林 浩二、 宮川尚子、岡崎浩子、 丸山啓志、原田浩、 御巫由紀	展示室・案内所・教育 普及課	2人
7月27日(火)	中堅教員等資質向上研修における社会体験研修 (千葉市立土気小・千葉市立小谷小)	大野将史、林 浩二、 宮川尚子、岡崎浩子、 丸山啓志、原田浩、 御巫由紀	展示室・案内所・教育 普及課	2人
7月29日(木)	中堅教員等資質向上研修における社会体験研修 (千葉市立あすみが丘小・千葉市立真砂西小・ 千葉県立柏陵高)	大野将史、林 浩二、 宮川尚子、岡崎浩子、 丸山啓志、原田浩、 御巫由紀	展示室・案内所・教育 普及課	3人
7月30日(金)	中堅教員等資質向上研修における社会体験研修 (千葉市立あすみが丘小・千葉市立真砂西小)	大野将史、林 浩二、 宮川尚子、岡崎浩子、 丸山啓志、原田浩、 御巫由紀	展示室・案内所・教育 普及課	2人
8月3日(火)	中堅教員等資質向上研修における社会体験研修 (千葉市立あすみが丘小・千葉市立真砂西小)	大野将史、林 浩二、 宮川尚子、岡崎浩子、 丸山啓志、原田浩、 御巫由紀	オンライン	2人
3月18日(金)	フォローアップ研修における社会体験研修(千 葉県立土気高等学校)	大野将史、原田 浩、 樽宗一朗	展示室・収蔵庫	2人

5 県民参画

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、来館者と接するボランティアの活動を自粛した。一方、資料整理・調査研究・イベント(準備)ボランティア、並びに、中央博サークルの一部は、コロナ対策をとり、参加者数、活動時間等の制約を設けたうえで活動を実施した。

(1) ボランティア

名称	登録者数	活動延べ人数	活動内容
展示室ボランティア	16人	0人	常設展示室での展示解説、案内所での学習サポート
生態園パートナー	7人	0人	生態園での自然観察サポート
資料整理ボランティア	68人	296人	博物館資料(岩石、化石、昆虫、貝、哺乳類、植物、菌類、地衣類、歴史)の整理保存サポート
講座・観察会・イベントボランティア	52人	18人	当館で開催する講座や観察会、イベントの運営サポート
調査研究ボランティア	11人	23人	重点調査のサポート、野鳥調査サポート
房総の山の観察会サポーター	3人	0人	「房総の山のフィールド・ミュージアム」での観察会のサポート
合計	157人	337人	

(2) 中央博サークル

名称	登録者数	名称	登録者数
ヒスイの会	18人	コケサークル(地衣類)	2人
親子科学クラブ	10人	歴史サークル	17人
地学同好会	28人	生きもののサークル	55人
コケサークル(蘚苔類)	52人	もりたん	44人

サークル名	期日	内容	場所	講師	参加者数	担当者
歴史サークル	2021.7.29	第1回 例会(古文書勉強会)	講堂		10人	田邊由美子
歴史サークル	2021.9.30	第2回 例会(古文書勉強会)	研修室		10人	米谷 博
歴史サークル	2021.10.28	第3回 例会(古文書勉強会)	研修室		12人	田邊由美子
歴史サークル	2021.11.21	第4回 例会(歴史見学会)	野田市	むらさきの里野田 ガイドの会(生方氏)	6人	米谷 博
ヒスイの会	2021.11.25	第1回 例会	研修室		6人	高橋直樹
ヒスイの会	2021.12.10	第2回 例会	研修室		8人	高橋直樹

歴史サークル	2021.12.23	第5回 例会 (古文書勉強会)	研修室		7人	田邊由美子
ヒスイの会	2022.1.14	第3回 例会	研修室		6人	高橋直樹
歴史サークル	2022.1.27	第6回 例会	研修室	蜂屋孝之氏 (県教育庁文化財課)	15人	田邊由美子
もりたん	2022.3.17	研修会	講堂		19人	由良 浩

6 外部機関との協定

(1) 大学共同利用機関法人人間文化研究機構国立歴史民俗博物館

タイトル: 大学共同利用機関法人人間文化研究機構国立歴史民俗博物館と千葉県立中央博物館との博物館活動に関する協定

提携期間: 令和3年4月1日～令和4年3月31日(平成23年3月29日締結、現在の協定は令和3年3月25日～令和8年3月31日)

連携事業内容: 研究教育職員の交流並びに共同研究の実施、博物館の展示活動、展示活動、資料の保存及び活動等を共同で行う。

(2) 大学共同利用機関法人人間文化研究機構国文学研究資料館

タイトル: 日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画におけるデータベース構築に関する覚書

提携期間: 令和3年4月1日～令和4年3月31日(現在の協定は令和3年3月2日～令和6年3月31日)

連携事業内容: 日本語の歴史的典籍データベースを連携して構築する。

(3) 東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林

タイトル: 東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林と千葉県立中央博物館との連携協力に関する協定

提携期間: 令和3年4月1日～令和4年3月31日(令和3年3月25日締結、以降1年毎の更新)

連携事業内容: 調査研究活動、自然誌資料の収集と整理活動、県民・市民向けの展示や学習機会の提供等を共同で行う。

第2 大利根分館 (講師・担当者等は特に断らない限り、大利根分館職員)

1 展示観覧支援

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、展示解説は実施しなかった。

2 講座・観察会等の開催

(1) 講座「水郷の歴史と自然」 6回

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
5月1日(土)	うめ・もも・さくら	水野大樹	集会室	6人
5月29日(土)	ちばらき	秋山笑子	集会室	30人
6月12日(土)	ちばらき	秋山笑子	集会室	15人
7月17日(土)	躍進の佐原-新聞記者の見た戦前の暮らしと世相-	秋山笑子	集会室	4人
9月18日(土)	古い道具と昔の暮らし	秋山笑子	集会室	1人
3月13日(日)	川のフィールドミュージアム報告会	桑原和之、伴 光哲	集会室	8人

(2) 体験講座 10回

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
4月29日(木)、5月5日(水)、7月21日(水)、7月22日(木)、8月13日(金)、8月14日(土)	かわいいカモをつくろう	木本利行、伴 光哲	集会室	247人
6月6日(日)	土器ッとしおりづくり	教育振興部文化財課職員、木本利行	集会室	26人
8月21日(土)、8月22日(日)	まが玉づくり	教育振興部文化財課職員、木本利行	集会室	49人
11月3日(水)	松ぼっくりのミニツリーづくり	木本利行、伴 光哲	集会室	26人

(3) イベント・特別企画 中止1回

月日	タイトル	担当者	場所	参加者数
3月19日(土)	昭和の名車大集合 10	木本利行・伴 光哲	前庭・駐車場	中止※

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため

3 アウトリーチ支援

(1) 学校対象

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、小学校対応は入館者を分散させる方式で実施し、出前展示は学習キットの貸し出しにより実施した。

ア 小学校 12回 467人 中止9回

月日	学校名(事業名)	場所	延べ参加者数
6月29日(火)	潮来市立潮来小学校(3年生)	展示室・集会室	43人
9月8日(水)	匝瑳市立豊和小学校(4年生)	展示室・集会室	10人
9月22日(水)	我孫子市立並木小学校(4年生)	展示室・集会室	中止※
11月2日(火)	市原市立有秋西小学校(4年生)	展示室・集会室	73人
11月9日(火)	銚子市立高神小学校(4年生)	展示室・集会室	23人
11月16日(火)	旭市立琴田小学校(3年生)	展示室・集会室	27人
11月17日(水)	香取市立山田小学校(3年生)	展示室・集会室	49人
11月19日(金)	千葉市立弥生小学校(4年生)	展示室・集会室	28人
11月25日(木)	八千代市立南高津小学校(4年生)	展示室・集会室	47人
12月14日(火)	君津市立南子安小学校(4年生)	展示室・集会室	83人
1月13日(木)	神崎町立米沢小学校(3,4年生)	展示室・集会室	12人
1月14日(金)	旭市立嚶鳴小学校(3年生)	展示室・集会室	62人
1月21日(金)	香取市立津宮小学校(3年生)	展示室・集会室	10人
1月21日(金)	成田市立豊住小学校(3,4,5年生)	展示室・集会室	中止※
1月28日(金)	匝瑳市立共興小学校(4年生)	展示室・集会室	中止※
2月2日(水)	多古町立中村小学校(3年生)	展示室・集会室	中止※
2月2日(水)	九十九里町立豊海小学校(4年生)	展示室・集会室	中止※
2月8日(火)	香取市立北佐原小学校(3年生)	展示室・集会室	中止※
2月21日(月)	潮来市立津知小学校(3年生)	展示室・集会室	中止※
3月9日(水)	九十九里町立豊海小学校(4年生)	展示室・集会室	中止※
3月10日(木)	潮来市立津知小学校(3年生)	展示室・集会室	中止※

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため

イ 中学校 4回 60人

月日	学校名(学年)	場所	延べ参加者数
5月26日(水)	千葉県立香取特別支援学校(3年生)	展示室・集会室	16人
5月27日(木)	千葉県立香取特別支援学校(2年生)	展示室・集会室	10人
6月16日(水)	香取市立新島中学校(1年生)	展示室・集会室	22人
11月2日(火)	銚子市立第三中学校(1年生)	展示室・集会室	12人

ウ 出前展示「古い道具とむかしのくらし」 16回1,251人

月日	学校名(学年)	場所	参加者数
10月6日(水)～10月13日(水)	日出学園小学校(3年生)	日出学園小学校	110人
11月10日(水)～11月17日(水)	成田市立平成小学校(3年生)	成田市立平成小学校	92人
12月1日(水)～12月8日(水)	銚子市立豊里小学校(3年生)	銚子市立豊里小学校	29人
12月8日(水)～12月15日(水)	銚子市立双葉小学校(3年生)	銚子市立双葉小学校	42人
12月15日(水)～12月22日(水)	白井市立桜台小学校(3年生)	白井市立桜台小学校	63人
1月6日(木)～1月13日(木)	旭市立富浦小学校(3年生)	旭市立富浦小学校	31人
1月12日(水)～1月19日(水)	東庄町立東庄小学校(3年生)	東庄町立東庄小学校	86人
1月19日(水)～1月26日(水)	佐倉市立井野小学校(3年生)	佐倉市立井野小学校	158人
1月26日(水)～2月2日(水)	銚子市立船木小学校(3年生)	銚子市立船木小学校	11人
2月2日(水)～2月9日(水)	旭市立滝郷小学校(3年生)	旭市立滝郷小学校	12人
2月9日(水)～2月16日(水)	柏市立風早南部小学校(3年生)	柏市立風早南部小学校	58人
2月16日(水)～2月24日(木)	柏市立柏第六小学校(3年生)	柏市立柏第六小学校	103人
2月24日(木)～3月2日(水)	市川市立妙典小学校(3年生)	市川市立妙典小学校	132人
3月2日(水)～3月9日(水)	柏市立柏の葉小学校(3年生)	柏市立柏の葉小学校	193人
3月9日(水)～3月17日(木)	柏市立中原小学校(3年生)	柏市立中原小学校	100人
3月16日(水)～3月23日(水)	匝瑳市立椿海小学校(3年生)	匝瑳市立椿海小学校	31人

エ 出張展示

月日	行事名	場所	見学者数
4月1日(木)～4月20日(火) 1月7日(金)～2月15日(火) 3月23日(水)～3月31日(木)	出張写真展「水郷の原風景 -米づくり・魚とり、そして日々の暮らし-」	道の駅・川の駅 水の郷さわら(香取市)	12,873人
6月2日(水)～7月27日(火)、 9月14日(火)～10月12日(火)	出張写真展「古写真にみる佐原の大祭」	道の駅・川の駅 水の郷さわら(香取市)	13,856人

(2) 団体・機関等への支援

ア 出前展示 2回 464人

月日	行事名	場所	参加者数
3月7日(月)～3月11日(金)	出前展示「古い道具とむかしの暮らし」	千代田区役所1階区民ホール	192人
3月18日(金)～3月28日(月)	出前展示「古い道具とむかしの暮らし」	多古町魅力発信交流館	272人

(3) 専門分野における相談対応

研究員が専門分野の知識を活かし、個人からの質問相談対応および各種機関等への助言や技術指導を行った。

相談件数 32件

質問分野	官公庁	公的団体	民間団体	小中高校	大学	海外	個人	小計
動物		1	1				9	11
歴史		2	1				18	21
合計		3	2				27	32

第3 大多喜城分館 (講師・担当者は特に断らない場合、大多喜城分館職員)

1 展示観覧支援

(1) 展示解説 (試着体験での解説を含む)

ア ミュージアムトーク

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、個人入館者向け、団体向けともに展示解説は実施しなかった。

2 講座・観察会等の開催

(1) 博物館セミナー「大多喜を学ぶ」 5回31人 中止2回

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
6月26日(土)	弥生農耕の実像を探る	大谷弘幸	研修館	4人
7月10日(土)	日本の鎧兜	藤原友里	研修館	7人
10月2日(土)	きのご観察会	吹春俊光	館周辺	5人
11月27日(土)	街並み探検	大谷弘幸	茂原市	11人
12月4日(土)	古文書講座	渡辺善司	研修館	4人
1月8日(土)	古文書講座	渡辺善司	研修館	中止※

※施設改修による閉館のため

(2) 企画展「兜とカブト」関連行事 2回94人

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
11月6日(土)	講演会 「戦国時代の東上総ー上総武田氏から正木氏へー」	黒田 基樹氏 (駿河台大学教授)	研修館	24人
11月20日(土)	お茶席	県立大多喜高等学校茶道部	研修館	70人

3 アウトリーチ支援

(1) 学校対象 「展示解説」は大多喜城の歴史を含む

ア 中学校 1回10人

月日	学校名(事業名)	担当者等	場所	延べ参加者数
11月30日(火)	大多喜町立大多喜中学校(展示解説)	藤原友里	研修館	10人

イ 出前授業 (高等学校) 1回68人

月日	学校名(事業名)	担当者等	場所	参加者数
6月17日(木)	大多喜の城と街の成り立ち	大谷弘幸	千葉県立大多喜高等学校	68人

(2) 団体・機関等への支援

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今年度は行わなかった。

(3) 専門分野における相談対応

研究員が専門分野の知識を活かし、個人からの質問相談対応および各種機関等への助言や技術指導を行った。

相談件数 10件

質問分野	官公庁	公的団体	民間団体	小中高校	大学	海外	個人	小計
歴史		1					9	10
合計		1					9	10

4 職場体験・インターンシップ・博物館実習・教員研修等

(1) 職場体験 (オンラインインタビュー) 1校2人

月日	学校名	日数	人数	担当者
11月2日(火)	いすみ市立岬中学校	1日	2人	藤原友里

5 県民参画

新型コロナウイルス感染拡大防止のためボランティアの活動を自粛した。

- (1) ボランティア
ア ボランティアの受入れ

名称	登録者数	活動内容
体験教室ボランティア	15人	体験教室「甲冑・小袖・袴の試着」、学習キットを活用した体験学習のサポート

第4 分館海の博物館 (講師・担当者は、特に断らないかぎり、分館海の博物館職員)

1 展示観覧支援

新型コロナウイルス感染拡大防止のため全ての行事を中止した。

- (1) 展示解説 中止 12回

月(回数)	タイトル	講師	場所	参加者数
4月(0回)	展示室の歩き方	村井ゆかり・金子美織	展示室	中止※
5月(0回)	展示室の歩き方	村井ゆかり・金子美織	展示室	中止※
6月(0回)	展示室の歩き方	村井ゆかり・金子美織	展示室	中止※
7月(0回)	展示室の歩き方	村井ゆかり・金子美織	展示室	中止※
8月(0回)	展示室の歩き方	村井ゆかり・金子美織	展示室	中止※
9月(0回)	展示室の歩き方	村井ゆかり・金子美織	展示室	中止※
10月(0回)	展示室の歩き方	村井ゆかり・金子美織	展示室	中止※
11月(0回)	展示室の歩き方	村井ゆかり・金子美織	展示室	中止※
12月(0回)	展示室の歩き方	村井ゆかり・金子美織	展示室	中止※
1月(0回)	展示室の歩き方	村井ゆかり・金子美織	展示室	中止※
2月(0回)	展示室の歩き方	村井ゆかり・金子美織	展示室	中止※
3月(0回)	展示室の歩き方	村井ゆかり・金子美織	展示室	中止※

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため

2 講座・観察会等の開催

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、講座・観察会は通常よりも参加人数等を制限して実施し、磯・いそ探検隊(フィールドトリップ)、博物館探検隊(バックヤードツアー)、みんなで工作 海の生きもの、海の体験コーナーは中止とした。

- (1) 講座 6回

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
7月18日(日)	磯で見られるウミウシを知ろう	立川浩之・奥野淳兒	講座実験室	6人
8月1日(日)	イカを調べよう	柳 研介・立川浩之	講座実験室	6人
8月14日(土)	図鑑の使い方入門	斎木健一・吉田真照	講座実験室	3人
12月11日(土)	海の博物館の魚類標本が出来るまで	川瀬裕司	講座実験室	5人
2月26日(土)	アサクサノリの話	菊地則雄・本吉正宏	講座実験室	6人
3月12日(土)	勝浦の甲殻類	奥野淳兒・菊地則雄	講座実験室	3人

- (2) 観察会 14回

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
4月25日(日)	鵜原理想郷 花と歴史散歩	斎木健一・本吉正宏	鵜原理想郷	8人
5月15日(土)	海の生きもの観察ツアー	川瀬裕司・吉田真照	館前の磯	11人
5月16日(日)	海の生きもの観察ツアー	立川浩之・柳 研介	館前の磯	2人
5月27日(木)	海の生きもの観察ツアー	奥野淳兒・川瀬裕司	館前の磯	荒天中止
5月28日(金)	海の生きもの観察ツアー	柳 研介・奥野淳兒	館前の磯	0人
6月12日(土)	海の生きもの観察ツアー	菊地則雄・立川浩之	館前の磯	8人
6月15日(火)	海の生きもの観察ツアー	川瀬裕司・菊地則雄	館前の磯	12人
6月25日(金)	海の生きもの観察ツアー	立川浩之・吉田真照	館前の磯	0人
6月26日(土)	海の生きもの観察ツアー	奥野淳兒・柳 研介	館前の磯	8人
7月10日(土)	海の生きもの観察ツアー	菊地則雄・奥野淳兒	館前の磯	11人
7月11日(日)	海の生きもの観察ツアー	柳 研介・立川浩之	館前の磯	8人
7月13日(火)	海の生きもの観察ツアー	吉田真照・菊地則雄	館前の磯	0人
9月8日(水)	海の生きもの観察ツアー	吉田真照・川瀬裕司	館前の磯	0人
9月26日(日)	鵜原理想郷 花と歴史散歩	斎木健一・本吉正宏	鵜原理想郷	1人

- (3) 磯・いそ探検隊(フィールドトリップ) 中止

- (4) 博物館探検隊(バックヤードツアー) 中止

- (5) みんなで工作 海の生きもの 中止

- (6) 海の体験コーナー 中止

3 アウトリーチ支援

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、対面での対応は8月以降に受入を再開し、実施内容や参加人数等の制限を設けて実施した。

(1) 団体・機関等への支援

ア 講座等講師（館外）

月日	事業名（依頼先）	担当者等	場所	参加者数
8月22日(日)	図鑑マスターになろう！（千葉市科学館）	齋木健一	千葉市科学館	18人
10月10日(日)	一般文化講座「図鑑マニアが語る図鑑の世界」（日高市立図書館）	齋木健一	日高市立図書館	35人
12月11日(土)	あなたの散歩を10倍楽しくする図鑑の話（千葉市生涯学習センター）	齋木健一	千葉市生涯学習センター	24人

イ 団体フィールドトリップ

月日	相手先	担当者等	場所	参加者数
7月25日(日)	千葉青年会議所	菊地則雄	千葉市教育会館（海の博物館からオンラインで実施）	85人
8月21日(土)	県生涯学習課「夢チャレンジ体験スクール」	柳 研介・吉田真照	館前の磯、講座実験室	7人

ウ 野外実習授業

(ア) 小学校

月日	学校名	担当者等	場所	参加者数
6月18日(金)	勝浦市立豊浜小学校	菊地則雄	豊浜小学校（海の博物館からオンラインで実施）	19人
11月4日(木)	千葉県立長生特別支援学校小学部	菊地則雄・吉田真照	飼育室	9人

(イ) 中学校

月日	学校名	担当者等	場所	参加者数
11月18日(木)	千葉県立長生特別支援学校中学部	菊地則雄	飼育室	12人

4 職場体験・インターンシップ・博物館実習・教員研修等

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、対面での対応は8月以降に受入を再開し、実施内容や参加人数等の制限を設けて実施した。

(1) 職場体験

月日	学校名	担当者等	場所	参加者数
11月2日(火)	いすみ市立岬中学校	菊地則雄	岬中学校（海の博物館からオンラインで実施）	4人
11月18日(木)	千葉県立大原高等学校	奥野淳兒	館内	2人

(2) 教員研修

月日	相手先	担当者等	場所	参加者数
8月24日(火)	千葉県総合教育センター	菊地則雄・吉田真照	館前の磯、館内	18人

V 情報発信

1 出版物・印刷物の発行

行事案内やチラシ、ポスターなどの広報印刷物、年報、研究報告書等の印刷物を発行した。

(1) 出版物・印刷物

ア 本館

名称	規格	頁数	部数	年月日
常設展示パンフレット(一般用)	A3変(観音折)	8	20,000	2022.3.15
常設展示パンフレット(小学生団体用)	B4(観音折)	8	8,000	2022.3.30
令和3年度行事案内(4-9月)	A4	2	500	2021.4.1
令和3年度行事案内(10-3月)	A4	2	500	2021.9.2
令和4年度行事案内(4-9月)	A4	2	500	2022.3.16
令和4年度展示会案内	A4	2	10,000	2022.3.31
千葉県立中央博物館年報 33 令和2年度版	A4	101	PDF	2021.8.27
千葉県立中央博物館研究報告 第16巻 第1号	A4	72	650	2022.3.25
自然誌資料集 第2号 千葉県産の地衣類標本(1) ウメノキゴケ科	A4	48	100	2022.2.28
房総の山のフィールド・ミュージアムニュースレター「しいむじな」第73号	A4	4	5,000	2021.6.25
房総の山のフィールド・ミュージアムニュースレター「しいむじな」第74号	A4	4	5,000	2021.9.25
房総の山のフィールド・ミュージアムニュースレター「しいむじな」第75号	A4	4	5,000	2021.12.25
房総の山のフィールド・ミュージアムニュースレター「しいむじな」第76号	A4	4	5,000	2022.3.25
特別展「バラのすべて」				
ポスター	A2	1	200	2021.7.28
チラシ	A4	2	80,000	2021.7.28
図録	A4変型	82	1,000	2021.10.20
ポストカード 8種類	ハガキ	2	各900	2021.10.7
千葉県のバラ園探訪ガイド スタンプラリー付き(増刷)	A6	16	12,000	2021.6.1
夏の展示「うみ鳥つぶ」				
ポスター(車内広告用)	w106xh26cm	1	500	2021.5.30
チラシ	A4	2	25,000	2021.5.25
パンフレット「海鳥とめぐる房総半島の旅」	A5変型	14	15,000	2021.7.3
パンフレット(子ども向け) 4種類	A4	2	各	2021.7.3
			10,000	
春の展示「苔松苔梅ー春を寿ぐうめのみごけー」				
チラシ	A4	2	15,000	2021.12.14
展示解説パンフレット	A4	16	1,000	2022.3.25
生態園観察ノート No22「生態園のシダ」	A5	18	1,000	2022.3.25
生態園ガイドマップ	A4	2	3,500	2021.7.15

イ 大利根分館

名称	規格	頁数	部数	年月日
令和3年度行事案内	A4	2	15,000	2021.4.27
企画展「ちばらきー千葉県と茨城県の境ー」チラシ	A4	2	15,000	2021.5.11
企画展「ちばらきー千葉県と茨城県の境ー」解説パンフレット	A4	4	7,000	2021.5.11
夏休み展示「躍進の佐原ー新聞記者の見た戦前のくらしと世相ー」チラシ	A5	2	35,000	2021.6.18
「昭和の名車大集合10」チラシ	A4	2	15,000	2022.1.24
大利根 川のフィールド・ミュージアムニュースレター「たかっぼ通信」第14号	A4	4	1,500	2022.3.31

ウ 大多喜城分館

名称	規格	頁数	部数	年月日
企画展「兜とカブト」				
ポスター	B2	1	400	2021.9.24
チラシ	A4	2	15,000	2021.9.24
図録	A4	24	400	2021.10.21

エ 分館海の博物館

名称	規格	頁数	部数	年月日
令和4年度行事案内	A6切	4	11,000	2022.3.25
マリンサイエンスギャラリー「千葉県エビ・カニ大集合！」				
ポスター	A2	1	500	2022.1.25
チラシ	A4	2	40,000	2022.1.25

名称	規格	頁数	部数	年月日
収蔵資料展「イカ展」 チラシ	A4	2	40,000	2021. 6. 18
海の生きもの観察ノート16「千葉県勝浦沖キンメ場の魚」	A5	22	4,000	2022. 3. 31

2 インターネットの活用

ホームページで展示や各種行事案内、研究員紹介等の更新を行ったほか、メールマガジンの配信、行事情報や事業の実施状況のツイート、研究員による研究の成果を紹介するデジタルミュージアムの公開等を行った。

(1) ウェブサイト

ア ウェブサイトの更新

	更新回数	新規追加ファイル数	更新ファイル数
本館	329	153	357
房総の山のフィールドミュージアム	13	156	12
大 利 根 分 館	16	8	42
大多喜城分館	28	17	45
分館海の博物館	63	57	85
合 計	449	391	541

イ ウェブサイトへのアクセス件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
本館	15,254	14,667	17,867	22,297	26,338	17,794	19,993	20,010	11,445	13,270	12,515	12,872	204,322
房総の山のフィールド・ミュージアム	257	361	360	453	426	368	360	261	221	226	274	265	3,832
大 利 根 分 館	1,333	2,163	2,566	1,691	2,002	1,316	1,507	1,368	1,006	2,061	2,358	2,146	21,517
大多喜城分館	4,979	4,954	2,760	3,297	4,889	4,592	4,162	4,547	4,901	3,266	2,777	4,659	49,783
分館海の博物館	4,246	4,921	4,845	7,299	10,505	5,374	4,012	3,633	3,045	3,364	3,626	4,632	59,502
合 計	26,069	27,066	28,398	35,037	44,160	29,444	30,034	29,819	20,618	22,187	21,550	24,574	338,956

(2) メールマガジン

ア メールマガジンの配信

	メルマガ名	巻次	配信回数	配信日	総配信数
本館 大 利 根 分 館 大多喜城分館	ちば中央博メール	176～187	12回	毎月10日	21,363
房総の山のフィールド・ミュージアム	しいむじなメール	205～216	12回	毎月10日	8,161
分館海の博物館	海からのたより	194～205	12回	毎月1日	8,876

イ メールマガコラム

(ア) ちば中央博メール「中央博の窓」

回次	記事名	執筆者名	掲載号	掲載月
139	九十九里浜の鳥類	桑原和之	176	4月
140	生態園トピックス展「生態園の虫たち」	尾崎煙雄	177	5月
141	大 利 根 分 館 企 画 展 「ちばらきー千葉県と茨城県の境ー」の紹介	秋山笑子	178	6月
142	うみ鳥つづ [umi-Trip] -海鳥とめぐる島の旅・半島の旅-	平田和彦	179	7月
143	チバニアンを正しく理解するために	加藤久佳	180	8月
144	特別展「バラのすべて ～All about Roses～」	御巫由紀	181	9月
145	企画展「兜とカブト」	渡辺善司	182	10月
146	子ども向けのワークシートを使った学習	藤田雅代	183	11月
147	ミニトピックス展「十二支にちなんで一寅年ー」	樽宗一朗	184	12月
148	春の展示「苔松苔梅ー春を寿ぐ(ことほぐ)うめのきごけー」	原田 浩	185	1月
149	生態園トピックス展「カエル」	栗田隆気	187	3月

(イ) ちば中央博メール「コラム 研究室から」

回次	記事名	執筆者名	掲載号	掲載月
112	熱帯雨林でトカゲの進化を探る	栗田隆気	176	4月
113	下を向いて歩こう	樽宗一朗	177	5月
114	古墳大国ちばに奉職して	石井友菜	178	6月
115	おいしいバラ科	山本伸子	179	7月
116	釣り針を飲み込んだ魚の行く末は？	乃一哲久	180	8月
117	古文書展示は難しい	米谷 博	181	9月

回次	記事名	執筆者名	掲載号	掲載月
118	下総地方の農家（民家）の移築—35年前、初夏の川崎家を回想しつ—	白井 豊	182	10月
119	私の中央博物館	森田利仁	183	11月
120	博物館の地層資料	岡崎浩子	184	12月
121	九十九里浜は日本有数の蟹気楼観測地	大木淳一	185	1月
122	オーシャンビューの太東埼での調査の思い出	由良 浩	186	2月
123	ネズミにひかれる	秋山笑子	186	2月
124	日陰のムシが日の目を見るように…	萩野康則	187	3月

(ウ) 海からのたより「研究員ノート」

記事名	執筆者名	掲載号	掲載月
温暖化で勝浦の海藻がなくなる？	菊地則雄	194	4月
イカの話	柳 研介	195	5月
貝殻のトゲはどのようにして作られる？	立川浩之	196	6月
地域史料の調査で垣間見える歴史災害	本吉正宏	197	7月
学校教育支援活動の現状	吉田真照	198	8月
磯観察と潮位	斎木健一	199	9月
アゴハゼとドローメー海の博物館前の磯で見られるそっくりな魚—	川瀬裕司	200	10月
形と色で勝負	奥野淳兒	201	11月
房総から新種のノリを発見！	菊地則雄	202	12月
ヨウサイイソギンチャクの再発見と再記載の意義	柳 研介	203	1月
「バリカメノコキクメイシ」には2種が含まれていた	立川浩之	204	2月
史料渉猟のおもしろさ	本吉正宏	205	3月

(3) ツイッター

	アカウント名	フォロワー数	ツイート数	開始年月日
本館 大利根分館 大多喜城分館	@chiba_chuohaku	3,714	532	平成25年3月26日
分館海の博物館	@umihaku	1,705	49	平成25年4月18日
合計	—	5,419	581	—

(4) YouTube

コンテンツ名
青年海外協力隊 環境教育分野のOB/OG 松橋杏子さんからのメッセージ【新規コンテンツ】
青年海外協力隊 環境教育分野のOB/OG 杉山圭美さんからのメッセージ【新規コンテンツ】
青年海外協力隊 環境教育分野のOB/OG 浦林貴子さんからのメッセージ【新規コンテンツ】
地球規模で考え、地域で活動する —青年海外協力隊・環境教育分野のOB/OGたち【新規コンテンツ】
これからのバラの育種【新規コンテンツ】
令和2年度出土遺物公開事業「北方交流録 —北とつながる五つの物語—」第Ⅲ部 弥生再葬墓と地域交流（弥生時代）
令和2年度出土遺物公開事業「北方交流録 —北とつながる五つの物語—」第Ⅳ部 房総から南東北へ —人とモノの移動—（古墳時代）
令和2年度千葉学講座 不思議ミステリー 房総丘陵の穴をさぐる 房総の川廻しトンネル
令和2年度出土遺物公開事業「北方交流録 —北とつながる五つの物語—」プロローグ
ダイオウイカ現る
巣から出入りするオオスズメバチ（千葉県立中央博物館 生態園）
アカメヤナギの柳絮（りゅうじょ）
房総の山のケモノ イタチ
昆虫標本 保管
昆虫標本 軟化

コンテンツ名
青年海外協力隊 環境教育分野のOB/OG 藤本亜子さんからのメッセージ【新規コンテンツ】
青年海外協力隊 環境教育分野のOB/OG 山口泰昌さんからのメッセージ【新規コンテンツ】
青年海外協力隊 環境教育分野のOB/OG 新堀春輔さんからのメッセージ【新規コンテンツ】
千葉県立中央図書館・中央博物館連携事業トークイベント「バラの図鑑ができるまで」【新規コンテンツ】
令和2年度千葉学講座 不思議ミステリー 房総丘陵の穴をさぐる 歴史秘話「印旛」（2）
令和2年度出土遺物公開事業「北方交流録 —北とつながる五つの物語—」第Ⅴ部 —東北から房総へ（奈良・平安時代）—
令和2年度千葉学講座 不思議ミステリー 房総丘陵の穴をさぐる 歴史秘話「印旛」（1）
令和2年度出土遺物公開事業「北方交流録 —北とつながる五つの物語—」第Ⅱ部 漁撈活動にみる地域間交流と地域性（縄文時代）
地質ジオラマの列車を動かします
よこすか登場
「房総富岳36景～カメラがとらえた千葉の魅力」 千葉県立中央博物館 トピックス展
房総の山のケモノ ハクビシン
昆虫標本 全体
昆虫標本 標本箱
昆虫標本 道具

コンテンツ名
昆虫標本 展翅
昆虫標本 ラベル
昆虫標本 バッタ

コンテンツ名
昆虫標本 展足
昆虫標本 はりつけ
昆虫標本 トンボ

(5) デジタルミュージアムの公開
ア 本館

コンテンツ名
チバニアン誕生【新規コンテンツ】
下総台地と周辺の貝化石【更新コンテンツ】
ノスタルジック・ポストカード
タネの大冒険
地衣類のタイプ標本
海岸生地衣類
房総の海の遊び
生態園の外来哺乳類
梵天にみる房総の出羽三山信仰
地衣類って何？
房総(千葉県)の地衣類誌
館蔵美術品紹介(絵画)
百年前の千葉県『日本博覧図』
中央博資料百選
樹木検索図鑑
房総ジオツアー
昆虫標本のつくり方
地域の音が出る地図
維管束植物標本百選
ネパールと東南アジアの蛾

コンテンツ名
淡水生地衣類【新規コンテンツ】
音の標本箱
おばあちゃんの畑プロジェクト
ききみみコレクション
耳をたよりにプロジェクト
野草・雑草検索図鑑
房総の山のケモノ
花の植物画集
房総の植物誌づくりと中央博物館
千葉県の毒さのこ
空からみた千葉県(1987・88年)
千葉県の滝一所在と成因
故・林辰雄氏撮影写真集
生態園植物歳時記
カラス大調査
カエル教室
浮世絵にみる江戸時代の園芸
房総のハチ世界のハチ
環境教育と千葉県
旅する地球の水

イ 大利根分館

コンテンツ名
水郷の原風景
むかしの道具

ウ 大多喜城分館

コンテンツ名
甲冑展
武具のデザイン

コンテンツ名
火縄銃

エ 分館海の博物館

コンテンツ名
磯の生きもの図鑑
館山の海底

コンテンツ名
理想郷生きもの図鑑
勝浦探訪

3 マスコミ等の活用

マスコミ等を活用して、行事や新発見など専門的な話題の発信、情報提供を行ったほか、取材への対応を行った。

(1) 本館

ア 記者発表

区分	発表日	内容
資料提供	4月28日(水)	新指定・千葉県指定文化財「明治二年奥州出征米国船ハーマン号勝浦沖遭難絵巻」の先行展示について
	5月25日(火)	令和3年度 生態園トピックス展「生態園の虫たち」の開催について
	6月1日(火)	千葉県立中央博物館 研究紹介「南房総沖の深海から新種の甲殻類を発見！ーヨツスジテングクモエビーー」
	6月8日(火)	千葉県立中央博物館と東京大学千葉演習林の協定について
	6月9日(水)	令和3年度夏の展示「うみ鳥つづ [umi-Trip]ー海鳥とめぐる島の旅・半島の旅ー」の開催について
	6月15日(火)	県立中央博物館研究員による恐竜卵殻化石の共同研究発表について
	6月29日(火)	千葉県立中央博物館「楽しみ方新発見！ 生態園の展示リニューアル」について

区分	発表日	内容
	8月18日(水)	令和3年度第1回千葉県博物館協議会の開催について
	9月14日(火)	県立中央博物館 令和3年度特別展「バラのすべて ～All about Roses～」の開催について
	10月29日(火)	「串本海中公園センターで新種のエビ発見」について
	11月15日(月)	県立中央博物館 令和3年度ミニトピックス展「珍しい雄のナナフシモドキ」の開催について
	12月10日(金)	千葉県立中央博物館 ミニトピックス展「十二支にちなんで 一寅年」の開催について
	12月10日(金)	令和3年度第2回千葉県博物館協議会の開催について
	12月22日(水)	県立中央博物館 令和3年度春の展示「苔松苔梅一春を寿ぐ うめのみごけ」の開催について
	1月7日(金)	千葉県立中央博物館 博物館の収蔵庫から新種の巻貝化石を発見!
	2月4日(金)	令和3年度 千葉県立博物館文化セミナー「千葉学講座」の開催について
	2月15日(火)	令和3年度 生態園トピックス展「カエル」の開催について
	2月15日(火)	令和3年度第3回千葉県博物館協議会の開催について
	3月25日(金)	千葉県立中央博物館「珍しい雄のナナフシモドキ」発見に関する訂正について
知事定例会見	11月11日(木)	県立中央博物館特別展「バラのすべて」の開催について

イ 行事情報の発信 121件

ウ 職員の取材対応

- ① 新聞・雑誌等 60件
- ② テレビ・ラジオ等 48件

エ メディア掲載実績

- ①新聞・雑誌等

掲載日	媒体名	内容	対応者
6月4日(金)	朝日新聞	黒いバッタについて	樽 宗一郎
6月5日(土)	毎日新聞	新種の甲殻類「ヨツスジテングクモエビ」発見 千葉・南房総沖	駒井智幸
6月24日(木)	千葉日報	テングクモエビ新種発見 南房総市沖の深海で	駒井智幸
6月23日(水)	琉球新報	コロナ形のカタツムリ発見	黒住耐二
6月24日(木)	千葉教育蓮号	令和3年度夏の展示「うみ鳥つぶ [umi-Trip] 一海鳥とめぐる島の旅・半島の旅」	平田和彦
7月5日(月)	ちば県民だより7月号	令和3年度夏の展示「うみ鳥つぶ [umi-Trip] 一海鳥とめぐる島の旅・半島の旅」	平田和彦
7月8日(木)	読売 KODOMO 新聞	ならべる図鑑 第40回 タカラガイ	黒住耐二
7月8日(木)	朝日新聞	誘うマントの女王 ウスキヌガサタケ	
7月11日(日)	東京新聞	南房総市の大房岬沖 県立中央博物館が深海で甲殻類の新種発見 薄ピンク色、甲羅に筋4本	駒井智幸
7月15日(木)	観光情報8月号	令和3年度夏の展示「うみ鳥つぶ [umi-Trip] 一海鳥とめぐる島の旅・半島の旅」	平田和彦
7月17日(土)	県教委ニュース vol. 275	令和3年度夏の展示「うみ鳥つぶ [umi-Trip] 一海鳥とめぐる島の旅・半島の旅」	平田和彦
7月26日(月)	日経サイエンス	奥深い石ころ観察のススメ	高橋直樹
8月3日(火)	朝日小学生新聞	海は新種の生物の宝庫 東京湾や相模湾で発見相次ぐ	駒井智幸
8月16日(月)	月刊誌「BIRDER」	夏の展示「うみ鳥つぶ [umi-Trip] 一海鳥とめぐる島の旅・半島の旅」について	平田和彦
8月17日(火)	県教委ニュース vol. 276	令和3年度夏の展示「うみ鳥つぶ [umi-Trip] 一海鳥とめぐる島の旅・半島の旅」	平田和彦
9月1日(水)	日本鳥類保護連盟機関誌『私たちの自然』9・10月号	バードピアとしての生態園の現状と管理について	尾崎煙雄・平田和彦
9月16日(木)	月刊誌「BIRDER」	夏の展示「うみ鳥つぶ [umi-Trip] 一海鳥とめぐる島の旅・半島の旅」について	平田和彦
10月5日(火)	千葉日報	千葉市で「巨大シメジ」見つかる 直径50センチ 掘り起こした麻生さん「キノコご飯に…」	吹春俊光
10月26日(火)	沖縄タイムス	カタツムリの殻に「星空」	黒住耐二
10月29日(金)	千葉経済新聞	千葉県立中央博物館で特別展 「バラ」を多角的な視点で探る	御巫由紀
11月6日(土)	地域情報紙シティライフ	まさに!バラのすべてを大解明【千葉市】	御巫由紀
11月22日(日)	読売新聞	特別展「バラのすべて～All about Roses～」について	御巫由紀
11月24日(水)	沖縄タイムス	「生きた姿を見る機会ほぼない」やっとなり撮影に成功 希少な「リュウキュウギセル」とは?	黒住耐二

掲載日	媒体名	内容	対応者
1月8日(土)	富山新聞	巻貝6新種の化石発見 千葉の博物館 富大准教授が助言	伊左治鎮司
1月13日(木)	日刊大衆日報	苔松苔梅-春を寿ぐうめのきごけー	坂田歩美
1月31日(月)	毎日新聞	新種の貝に発見者2人の名前 白亜紀の岩石から微小な巻き貝	伊左治鎮司
2月7日(月)	千葉日報	白亜紀の新種貝発見 愛好家採取、銚子岩石から6種 千葉県立中央博物館で常設展示	伊左治鎮司
2月9日(水)	朝日新聞	収蔵庫に眠っていた白亜紀岩石、溶かしてみたら…新種の貝続々	伊左治鎮司
2月25日(金)	東京新聞	微小な巻き貝化石6種発見 千葉県立中央博物館で公開 銚子の1億2500万年前地層から	伊左治鎮司

②テレビ・ラジオ等

放送日	媒体名	内容	対応者
4月7日(水)	千葉テレビ放送「newsチバ」	JR千葉駅に迷い込んだ野鳥について	平田和彦
4月24日(土)	NHK ラジオ第1「マイあさ！」いきもの☆いろいろコーナー	ハナミズキについて	尾崎煙雄
5月13日(木)	News every.	九十九里浜白里海岸の侵食について	由良 浩
5月29日(土)	NHK ラジオ第1「マイあさ！」いきもの☆いろいろコーナー	冬虫夏草について	尾崎煙雄
6月16日(水)	NHK 首都圏ネットワーク	メガマウスらしきサメの映像について	宮 正樹
6月17日(木)	日本テレビ「news every.」	館山で目撃されたメガマウスについて	宮 正樹
6月18日(金)	NHK「ひるナマ！」	中央博ウェブサイト「おうちで中央博」について	坂田歩美・吹春俊光
6月20日(日)	東海テレビ ごちそうハンター	イワタケについて	坂田歩美
6月25日(金)	テレビ朝日 じゅん散歩	千葉寺について	天野 誠
7月1日(木)	NHKBS プレミア	ダークサイドミステリー	島立理子
7月2日(金)	NHK 沖縄 ニュース	珍しい形の殻 カタツムリ	黒住耐二
7月2日(金)	NHK NEWS WEB	殻の形がソフトクリーム 珍しいカタツムリ見つかる	黒住耐二
7月3日(土)	NHK ラジオ第1「マイあさ！」いきもの☆いろいろコーナー	ナラ枯れについて	尾崎煙雄
7月19日～8月1日	広域高速ネット二九六	九十九里浜の海岸侵食について	岡崎浩子
8月7日(土)	NHK ラジオ第1「マイあさ！」いきもの☆いろいろコーナー	ソテツについて	尾崎煙雄
9月4日(土)	テレビ朝日 アニマルエレジー	ヤドカリの背負っている巻貝について	黒住耐二
9月11日(土)	NHK ラジオ第1「マイあさ！」いきもの☆いろいろコーナー	モウセンゴケについて	尾崎煙雄
9月20日(月)	おらんだラジオ	「ふるさとへ声をとどけよう！」	高橋直樹
9月22日(水)	おらんだラジオ	「ふるさとへ声をとどけよう！」	高橋直樹
9月25日(土)	おらんだラジオ	「ふるさとへ声をとどけよう！」	高橋直樹
9月26日(日)	BS-TBS 噂の東京マガジン	「白浜の屏風岩」について	高橋直樹
10月8日(金)	ベイエフエム「ミンナノチカラ～CHIBA～」	令和3年度特別展「バラのすべて～All about Roses～」について	御巫由紀
10月16日(土)	NHK ラジオ第1「マイあさ！」いきもの☆いろいろコーナー	カエデについて	尾崎煙雄
10月18日(月)	千葉テレビ「newsチバ」	令和3年度特別展「バラのすべて～All about Roses～」について	御巫由紀
10月18日(月)	フジテレビ「めざましテレビ」	野生きのこの危険性について	吹春俊光
10月20日(水)	フジテレビ「Live news イット！」	野生きのこについて	吹春俊光

放送日	媒体名	内容	対応者
10月23日(土)	千葉テレビ「ウィークリー千葉県」	令和3年度特別展「バラのすべて～All about Roses～」について	御巫由紀
10月25日(月)	TBS「THE TIME」	カエンタケの危険性について	吹春俊光
10月26日(火)	日本テレビ「news every」	カエンタケの危険性について	吹春俊光
11月20日(土)	テレビ朝日「ごほんジャパン」	千葉県君津市で採集された野生きのこについて	吹春俊光
11月20日(土)	NHK ラジオ第1「マイあさ！」いきもの☆いろいろコーナー	ヤツデについて	尾崎煙雄
11月23日(火)	日本テレビ「ザ！世界仰天ニュース」	きのこの食中毒事故について	吹春俊光
12月25日(土)	広域高速ネット二九六	デザイナー高橋春人～「パラリンピック」の名を広めた日本人	島立理子
12月25日(土)	NHK ラジオ第1「マイあさ！」いきもの☆いろいろコーナー	クリスマスにちなんだ植物たちについて	尾崎煙雄
1月7日(金)	BBC Radio	Fungi: The New Frontier. Down The Rabbit Hole	吹春俊光
1月29日(土)	NHK ラジオ第1「マイあさ！」いきもの☆いろいろコーナー	シュロについて	尾崎煙雄
2月7日(月)	コマラジ「日本文化とその明日」	能に表される苔(地衣類)について	坂田歩美
2月24日(木)	千葉テレビ「シャキット！」	わがまちの海の大発見 かもめの聖地銚子	平田和彦
3月6日(土)	NHK ラジオ第1「マイあさ！」いきもの☆いろいろコーナー	イタドリ(すかんぼ)について	尾崎煙雄
3月22日(火)	日本テレビ「超無敵クラス」	水草について	林 浩二
3月22日(火)	NHK 首都圏ネットワーク	博物館で保管の岩石から新種の貝の化石6種類見つかる 千葉市	伊左治鎮司

(2) 大利根分館

ア 記者発表

区分	発表日	内容
資料提供	5月18日(火)	令和3年度企画展「ちばらき」について

イ 行事情報の発信 21件

ウ 職員の取材対応

- ① 新聞・雑誌等 9件
- ② テレビ・ラジオ等 2件

エ メディア掲載実績

①新聞・雑誌等

掲載日	媒体名	内容	対応者
4月11日(月)	県教委ニュース4月号(Web)	トピックス展「うめ・もも・さくら」について	秋山笑子
5月5日(水)	ちば県民だより5月号	企画展「ちばらき」について	秋山笑子
5月10日(月)	県教委ニュース5月号(Web)	企画展「ちばらき」について	秋山笑子
5月28日(金)	株式会社 朝日新聞社	東大構内に国内初の外来カメムシ「一目で」発見の学生	伴 光哲
6月10日(木)	県教委ニュース6月号(Web)	企画展「ちばらき」について	秋山笑子
6月11日(金)	東京新聞	企画展「ちばらき」について	秋山笑子
7月9日(金)	朝日小学生新聞	日本にはいないカメムシだ！オオクロマダラナガカメムシ	伴 光哲
7月19日(月)	県教委ニュース7月号(Web)	夏の展示「躍進の佐原-新聞記者の見た戦前の暮らしと世相-」(県立中央博物館 大利根分館)について	秋山笑子
7月28日(水)	ぐるっとちば8月号	夏の展示「躍進の佐原-新聞記者の見た戦前の暮らしと世相-」(県立中央博物館 大利根分館)について	秋山笑子
9月1日(水)	まるごとe!ちば(Web)	収蔵品展「古い道具と昔の暮らし」について	秋山笑子
9月10日(金)	県教委ニュース9月号(Web)	収蔵品展「古い道具と昔の暮らし」について	秋山笑子

②テレビ・ラジオ等

放送日	媒体名	内容	対応者
6月17日(木)	NHK「首都圏ネットワーク」	企画展「ちばらき」について	秋山笑子

(3) 大多喜城分館

ア 記者発表

区分	発表日	内容
資料提供	10月13日(水)	企画展「兜とカブト」の開催について

イ 行事情報の発信 35件

ウ 職員の取材対応

- ① 新聞・雑誌等 5件
- ② テレビ・ラジオ等 2件

エ メディア掲載実績

①新聞・雑誌等

掲載日	媒体名	内容	対応者
10月29日(金)	千葉日報	忙人寸語(企画展「兜とカブト」)	—
11月9日(火)	千葉日報	企画展「兜とカブト」	渡辺善司
10月15日(金)	いすみ鉄道(Web)	沿線地域イベント情報 県立中央博物館大多喜城分館企画展「兜とカブト」	渡辺善司
10月28日(木)	千葉教育	県立中央博物館大多喜城分館企画展「兜とカブト」	渡辺善司
11月1日(月)	関東・東北じゃらん	観光施設情報・大多喜城分館の紹介	藤原友里
11月13日(土)	いすみライフ11月号	県立中央博物館大多喜城分館企画展「兜とカブト」	藤原友里
12月6日(月)	まっふる千葉・房総	観光施設情報・大多喜城分館の紹介	藤原友里
12月8日(木)	るるぶ千葉 房総'23	観光施設情報・大多喜城分館の紹介	藤原友里
12月12日(日)	千葉日報	「大多喜城」町に移譲	—
12月13日(月)	産経新聞	「本多忠勝の城」本丸跡の博物館、27日から休館	—
12月16日(木)	朝日新聞	博物館分館を大多喜町に移譲	—
1月20日(木)	ことりっぷ千葉・房総	観光施設情報・大多喜城分館の紹介	藤原友里

②テレビ・ラジオ等

放送日	媒体名	内容	対応者
9月27日(月)	テレビ朝日「帰れマンデー」	大多喜町のシンボルとして紹介	大谷弘幸
11月26日(金)	チバテレビ「市町村てくてく散歩」	大多喜町の観光名所として紹介	藤原友里

(4) 分館海の博物館

ア 記者発表

区分	発表日	内容
資料提供	6月15日(火)	約100年ぶりに相模湾で発見された幻のインギンチャク
資料提供	7月9日(金)	令和3年度収蔵資料展「イカ展」開催
資料提供	8月17日(火)	房総から新種のノリを発見
資料提供	11月12日(金)	サンゴ「パリカメノコキクメイシ」に2種が含まれていたことを発見
資料提供	2月18日(金)	令和3年度マリンサイエンスギャラリー「千葉県エビ・カニ大集合！」開催

イ 行事情報の発信

- (ア) 行政、民間への定期広報 55件
- (イ) 行政、民間への随時広報 自治体広報誌 15件
- 新聞等 3件
- 合計 73件

ウ 職員の取材対応

- ① 新聞・雑誌等 34件
- ② テレビ・ラジオ等 22件

エ メディア掲載実績

①新聞・雑誌等

掲載日	媒体名	内容	対応者
4月10日(土)	いすみライフ4月号	令和2年度マリンサイエンスギャラリー「ウミカラー海の生きものの殻の話」について	吉田真照
4月23日(金)	東京新聞	令和2年度マリンサイエンスギャラリー「ウミカラー海の生きものの殻の話」について	吉田真照
5月8日(土)	いすみライフ5月号	令和2年度マリンサイエンスギャラリー「ウミカラー海の生きものの殻の話」について	吉田真照
6月4日(金)	房日新聞	令和2年度マリンサイエンスギャラリー「ウミカラー海の生きものの殻の話」について	立川浩之
6月12日(土)	いすみライフ6月号	令和2年度マリンサイエンスギャラリー「ウミカラー海の生きものの殻の話」について	吉田真照
6月18日(金)	房日新聞	カツウラニセツノヒラムシについて	奥野淳兒
7月下旬	千葉県観光情報誌 ちばnote2021夏号	海の博物館紹介	吉田真照
7月10日(土)	いすみライフ7月号	令和3年度収蔵資料展「イカ展」について	吉田真照
7月21日(水)	地域情報紙 「CLIP」7月号	令和3年度収蔵資料展「イカ展」について	吉田真照
7月31日(土)	フリーペーパー 「0470-」	海藻および分館海の博物館の業務について	菊地則雄
8月1日(日)	月刊誌「母の友」8月号	図鑑とは何か？ 図鑑の歴史 日本独自の図鑑の進化	斎木健一
8月8日(日)	毎日新聞	観察会「図鑑の使い方入門」について	吉田真照
8月12日(木)	月刊誌「GINZA」8月号	究極のアーカイブとしての図鑑 見方が変わる7冊を紹介	斎木健一
8月20日(金)	東京新聞	令和3年度収蔵資料展「イカ展」について	吉田真照
8月25日(水)	房日新聞	房総から見つかったノリの新種センジュアマノリについて	菊地則雄
8月27日(金)	読売新聞	令和3年度収蔵資料展「イカ展」について	吉田真照
9月11日(土)	千葉日報	房総から見つかったノリの新種センジュアマノリについて	菊地則雄
11月下旬	昭文社まっぷる・房総	令和4年度版観光スポット	吉田真照
2月12日(土)	NIKKEI プラス1	審査で選ばれた図鑑10冊を紹介	斎木健一
2月12日(土)	いすみライフ2月号	令和3年度マリンサイエンスギャラリー「千葉県エビ・カニ大集合！」について	吉田真照
2月22日(火)	房日新聞	令和3年度マリンサイエンスギャラリー「千葉県エビ・カニ大集合！」について	奥野淳兒
2月26日(土)	地域情報紙 「CLIP」2月号	令和3年度マリンサイエンスギャラリー「千葉県エビ・カニ大集合！」について	吉田真照
3月1日(火)	月刊誌「mom」3月号	大人向け図鑑の最新事情とおすすめの図鑑紹介	斎木健一
3月1日(火)	Someone 中高生のための 研究キャリア・サイエンス入門 58号	設計図なしが美しさの鍵？ 奄美の海底に住む「愛の建築家」	川瀬裕司
3月3日(木)	季刊「AERA with Kids」春号	ネットでは味わえない知的な冒険へ誘ってくれる、お勧め図鑑の紹介	斎木健一
3月5日(土)	千葉日報	令和3年度マリンサイエンスギャラリー「千葉県エビ・カニ大集合！」について	奥野淳兒
3月11日(土)	地域情報紙 「CLIP」3月号	令和3年度マリンサイエンスギャラリー「千葉県エビ・カニ大集合！」について	吉田真照
3月22日(火)	房日新聞	令和3年度マリンサイエンスギャラリー「千葉県エビ・カニ大集合！」について	奥野淳兒
3月24日(木)	千葉県広報 Twitter	令和3年度マリンサイエンスギャラリー「千葉県エビ・カニ大集合！」について	奥野淳兒
4月2日(土)	東京新聞	令和3年度マリンサイエンスギャラリー「千葉県エビ・カニ大集合！」について	吉田真照

②テレビ・ラジオ等

放送日	媒体名	内容	対応者
6月22日(火)	TBS	図鑑について	斎木健一
7月12日(月)	FMヨコハマ	「海底のミステリーサークル」について	川瀬裕司
7月13日(火)	FMヨコハマ	ミステリーサークルは、何のために、どうやって作られているのか	川瀬裕司
7月14日(水)	FMヨコハマ	海のミステリーサークルの形状	川瀬裕司
7月15日(木)	FMヨコハマ	海底ミステリーサークルの作られ方	川瀬裕司

放送日	媒体名	内容	対応者
7月18日(日)	FMヨコハマ	番外編：川瀬さんが魚の研究をするきっかけーアミメハギについて	川瀬裕司
7月18日(日)	FMヨコハマ	番外編：海中での観察・研究の難しさ	川瀬裕司
7月19日(月)	FMヨコハマ	ミステリーサークルを作る最初の一步が、どのようにして始まるのか	川瀬裕司
7月20日(火)	FMヨコハマ	どのようにしてメスがやってくるのか	川瀬裕司
7月21日(水)	FMヨコハマ	アマミホシゾラフグの産卵	川瀬裕司
7月22日(木)	FMヨコハマ	変わった産卵・子育てをする魚	川瀬裕司
7月25日(日)	FMヨコハマ	番外編：日本の海の魅力について	川瀬裕司
7月25日(日)	FMヨコハマ	番外編：海を守るために	川瀬裕司
7月30日(金)	Bay-FM	令和3年度収蔵資料展「イカ展」の紹介	吉田真照
8月19日(木)	NHK	ゴカイの頭部構造について	柳 研介
8月30日(月)	Bay-FM	房総から見つかったノリの新種センジュアマノリについて	菊地則雄
9月19日(日)	TBS ラジオ	図鑑について	斎木健一
10月23日(土)	千葉テレビ	分館海の博物館の紹介	菊地則雄
3月20日(日)	日本テレビ	甲殻類画像の使用について	奥野淳兒

4 郵メンバー

郵メンバーとは、館内で無料配布される刊行物を、事前申込みにより着払いで入手できる制度で、令和3年度は32名の申込者を得た。(前期は着払い「ゆうメール」を利用し、料金はゆうメール310円と着払い手数料21円で計331円、後期はゆう「ゆうパケット」を利用し、料金はゆうパケット250円と着払い手数料21円で計271円)

VI 施設維持保守

1 施設維持保守工事

来館者の安全で快適な環境の提供、および博物館施設の維持保守のため、更新工事を行った。

工事1件 9,878千円

	工 事 名	費用 (千円)	実施月
1	中央博物館本館研修室外空調設備更新工事	9,878	12~3

Ⅶ 千葉県立博物館ネットワーク

1 千葉県立博物館情報システム

千葉県立博物館情報システムは、博物館収蔵資料の管理を目的として平成4年度に供用開始した。これまで平成9年度、平成13年度、平成18年度、平成23年度、平成29年度にそれぞれシステムリプレースがあり、時代に応じた機能の追加や機器の更新等が行われてきた。平成9年度からは公式ウェブサイト「千葉の県立博物館」も公開している。

当館は千葉県立博物館ネットワークのセンター館として、情報システムの運営統括を行っている。令和3年度はシステム全般の管理運営を行うとともに現行契約の1年延長（令和5年2月まで）を決め、次期システムリプレースに向けた準備を進めた。

令和3年度末の収蔵資料のシステム総登録件数は502,033件、インターネット公開件数は411,624件である。

2 千葉県立博物館文化セミナー「千葉学講座」

千葉県立博物館文化セミナー「千葉学講座」は、新型コロナの影響により講座開催が困難となったため、動画配信によるウェブ開催とし、千葉県立博物館ネットワークのセンター館である中央博が中心となり動画番組を作成し配信した。

「不思議ミステリー 房総丘陵の穴をさぐる」

(1) 房総の川廻しトンネル(講師：八木令子)

(2) 歴史秘話「印旛」－龍角寺岩屋古墳の謎を探る－(講師：白井久美子)(配信は令和3年度)

Ⅷ 入館者状況

1 月別入館者数

※20名以上のグループを団体とした

(1) 本館

ア 個人（生態園入園者含む）

	開館 日数	総入館者数	個人計	個人（有料）			個人（無料）			
				有料計	一般	高・大	無料計	一般	高・大	中以下
4月	25	7,612	7,527	1,265	1,210	55	6,262	5,386	0	876
5月	25	8,378	8,318	1,747	1,670	77	6,571	5,401	0	1,170
6月	26	6,121	5,980	1,203	1,117	86	4,777	3,777	17	983
7月	27	7,163	6,854	1,876	1,796	80	4,978	3,537	2	1,439
8月	28	9,448	9,448	2,999	2,815	184	6,449	3,925	0	2,524
9月	22	7,494	7,450	1,816	1,712	104	5,634	4,285	32	1,317
10月	25	8,970	8,368	1,861	1,773	88	6,507	5,605	0	902
11月	25	13,092	11,864	1,985	1,879	106	9,879	8,672	25	1,182
12月	23	4,995	4,337	652	612	40	3,685	3,193	0	492
1月	23	4,809	4,644	999	919	80	3,645	2,867	0	778
2月	24	7,687	7,523	1,449	1,433	66	6,024	5,093	2	929
3月	27	11,264	11,099	1,634	1,513	121	9,465	8,283	0	1,182
合計	300	97,033	93,412	19,536	18,449	1,087	73,876	66,024	78	13,774
通算	9,876	5,206,680	4,550,934							

イ 団体（生態園入園者含む）

	開館 日数	団体数	団体計	団体（有料）			団体（無料）			
				有料計	一般	高・大	無料計	一般	高・大	中以下
4月	25	1	85	5	5	0	80	0	0	80
5月	25	1	60	8	8	0	52	0	0	52
6月	26	2	141	32	11	21	109	0	0	109
7月	27	6	309	11	11	0	298	27	0	271
8月	28	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9月	22	1	44	0	0	0	44	4	0	40
10月	25	7	602	3	3	0	599	41	0	558
11月	25	20	1,228	8	8	0	1,220	128	23	1,069
12月	23	9	658	8	8	0	650	38	0	612
1月	23	3	165	0	0	0	165	11	0	154
2月	24	3	164	14	7	7	150	10	0	140
3月	27	4	165	2	2	0	163	25	0	138
合計	300	57	3,621	91	63	28	3,530	284	23	3,223
通算	9,876		640,483							

ウ 生態園（個人）

月	開館 日数	計
4月	25	4,617
5月	25	4,759
6月	26	3,089
7月	27	2,729
8月	28	3,086
9月	22	3,640
10月	25	3,996
11月	25	5,648
12月	23	2,574
1月	23	2,071
2月	24	4,051
3月	27	6,952
合計	300	47,212
通算	9,770	3,308,414

(2) 大利根分館

ア 個人

	開館 日数	総入館者数	個人計	個人 (有料)			個人 (無料)			
				有料計	一般	高・大	無料計	一般	高・大	中以下
4月	26	175	175	67	61	6	108	82		26
5月	27	601	601	277	269	8	324	272		52
6月	29	2,043	2,043	692	669	23	1,351	1,202		149
7月	27	389	389	190	187	3	199	88		111
8月	26	518	518	230	221	9	288	101	1	186
9月	26	163	163	77	77		86	52	1	33
10月	5	9	9				9	8		1
11月	13	337	68				68	50		18
12月	6	104	11				11	11		
1月	8	100	17				17	17		
2月	2	5	5				5	5		
3月	6	22	22				22	20		2
合計	201	4,466	4,031	1,533	1,484	49	2,488	1,908	2	578
通算	2,768	260,305	162,792							

イ 団体

	開館 日数	団体数	団体計	団体 (有料)			団体 (無料)			
				有料計	一般	高・大	無料計	一般	高・大	中以下
4月	26									
5月	27									
6月	29									
7月	27									
8月	26									
9月	26									
10月	5									
11月	13	8	269				269	35		234
12月	6	2	93				93	9	6	78
1月	8	3	83				83	8		75
2月	2									
3月	6									
合計	201	13	445				445	52	6	387
通算	2,768		179,155							

(3) 大多喜城分館

ア 個人

	開館 日数	総入館者数	個人計	個人 (有料)			個人 (無料)			
				有料計	一般	高・大	無料計	一般	高・大	中以下
4月	26	6,895	6,895	2,823	2,753	70	4,072	3,356	0	716
5月	26	7,030	7,030	3,680	3,574	106	3,350	2,361	0	989
6月	26	3,442	3,442	1,571	1,541	30	1,871	1,484	4	383
7月	25	3,796	3,796	1,785	1,726	59	2,011	1,412	0	599
8月	27	5,767	5,767	2,888	2,705	183	2,879	1,497	0	1,382
9月	26	4,175	4,175	1,902	1,804	98	2,273	1,646	0	627
10月	24	4,641	4,616	2,092	1,973	119	2,524	2,014	0	510
11月	25	7,402	6,979	2,989	2,791	198	3,990	3,324	8	658
12月	21	4,689	4,663	1,994	1,864	130	2,669	2,321	0	348
1月	0									
2月	0									
3月	0									
合計	226	47,837	47,363	21,724	20,731	993	25,639	19,415	12	6,212
通算	4,557	1,235,619	1,139,763							

イ 団体

	開館 日数	団体数	団体計	団体 (有料)			団体 (無料)			
				有料計	一般	高・大	無料計	一般	高・大	中以下
4月	0									
5月	0									
6月	0									
7月	25	0								
8月	27	0								
9月	26	0								
10月	24	1	25				25	4		21
11月	25	10	423	36	36		387	78		309
12月	21	1	26				26	4		22

1月	0									
2月	0									
3月	0									
合計	148	12	474	36	36	0	438	86	0	352
通算	4,311		96,773							

(4) 分館海の博物館

ア 個人

	開館 日数	総入館者数	個人計	個人(有料)			個人(無料)			
				有料計	一般	高・大	無料計	一般	高・大	中以下
4月	26	2,781	2,781	1,580	1,518	62	1,201	412	30	759
5月	26	4,865	4,865	2,892	2,776	116	1,973	442	0	1,531
6月	25	2,593	2,593	1,391	1,339	52	1,202	498	12	692
7月	27	5,260	5,218	3,115	2,978	137	2,103	572	0	1,531
8月	26	11,838	11,809	6,648	6,118	530	5,161	1,121	4	4,036
9月	25	3,764	3,764	2,293	2,136	157	1,471	453	0	1,018
10月	26	2,753	2,522	1,453	1,391	62	1,069	429	0	640
11月	25	3,392	3,065	1,440	1,383	57	1,625	831	33	761
12月	21	1,950	1,809	1,003	969	34	806	411	1	394
1月	22	1,912	1,912	1,061	1,021	40	851	331	0	520
2月	24	2,428	2,428	1,494	1,403	91	934	319	0	615
3月	27	4,938	4,850	2,563	2,343	220	2,287	938	0	1,349
合計	300	48,474	47,616	26,933	25,375	1,558	20,683	6,757	80	13,846
通算		2,308,126	2,128,971							

イ 団体

	開館 日数	団体数	団体計	団体(有料)			団体(無料)			
				有料計	一般	高・大	無料計	一般	高・大	中以下
4月	26	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5月	26	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6月	25	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7月	27	1	42	42	3	39	0	0	0	0
8月	26	1	29	4	4	0	25	0	0	25
9月	25	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10月	26	4	231	5	5	0	226	43	0	183
11月	25	4	327	1	1	0	326	45	0	281
12月	21	3	141	9	9	0	132	6	0	126
1月	22	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2月	24	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3月	27	2	88	5	5	0	83	7	0	76
合計	300	15	858	66	27	39	792	101	0	691
通算			179,155							

2 団体入館状況

※20名以上のグループを団体とした

(1) 本館(生態園を含む)

	大学	高校	中学校	小学校	特別支 援学校	義務 教育	各種 学校	保育園	幼稚園	子ども 団体	身障者 施設	老人介 護施設	一般 団体	合計	割合
千葉市			2	13				5	5	1				26	48.1%
葛南				2					1					3	5.6%
東葛飾		1			1									2	3.7%
北総				10		1				1				12	22.2%
東上総				5										5	9.3%
南房総			1	2					1					4	7.4%
県外				2										2	3.7%
海外															
合計		1	3	34	1	1		5	7	2				54	100%
割合		1.9%	5.6%	63.0%	1.9%	1.9%		9.3%	12.9%	3.7%				100%	

(2) 大利根分館(来館者のみ)

	大学	高校	中学校	小学校	特別支 援学校	義務 教育	各種 学校	保育園	幼稚園	子ども 団体	身障者 施設	老人介 護施設	一般 団体	合計	割合
千葉市				1										1	10.0%
葛南				1										1	10.0%
東葛飾															

北総			1	4											5	50.0%
東上総																
南房総				2											2	20.0%
県外				1											1	10.0%
海外																
合計			1	9											10	100%
割合			10.0%	90.0%											100%	

(3) 大多喜城分館

	大学	高校	中学校	小学校	特別支援学校	義務教育	各種学校	保育園	幼稚園	子ども団体	身障者施設	老人介護施設	一般団体	合計	割合
千葉市															
葛南				1										1	8.0%
東葛飾													1	1	8.0%
北総				4										4	33.0%
東上総				2										2	17.0%
南房総													2	2	17.0%
県外				2										2	17.0%
海外															
合計				9									3	12	100%
割合				75.0%									25.0%	100%	

(4) 分館海の博物館

	大学	高校	中学校	小学校	特別支援学校	義務教育	各種学校	保育園	幼稚園	子ども団体	身障者施設	老人介護施設	一般団体	合計	割合
千葉市			3	1										4	26.7
葛南															
東葛飾															
北総				1									1	2	13.3
東上総				2									1	3	20.0
南房総			1	1						1				3	20.0
県外		1		1						1				3	20.0
海外															
合計		1	4	6						2			2	15	
割合		6.7	26.7	40.0						13.3			13.3	100	

3 団体の種類・地域内訳

(1) 本館（生態園を含む）

地域	市町村	大学	高校	中学校	小学校	特別支援学校	義務教育	各種学校	保育園	幼稚園	子ども団体	身障者施設	老人介護施設	一般団体	合計
	千葉市			2	13				5	5	1				26
葛南	市川市									1					1
	船橋市				1										1
	習志野市														
	八千代市														
	浦安市				1										1
東葛飾	松戸市					1									1
	野田市														
	柏市			1											1
	流山市														
	我孫子市														
北総	鎌ヶ谷市														
	銚子市														
	成田市				2			1							3
	佐倉市				2										2
	旭市				1										1
	四街道市				1										1
	八街市				1							1			2
	印西市														
	白井市				1										1
	富里市														
	匝瑳市				1										1
	香取市				1										1
栄町															
酒々井町															
神崎町															

東上総	多古町															
	東庄町															
	茂原市				2											2
	東金市															
	勝浦市															
	山武市				1											1
	いすみ市															
	横芝光町				1											1
	芝山町															
	九十九里町				1											1
	大網白里市															
	白子町															
	長柄町															
	長南町															
	睦沢町															
	一宮町															
御宿町																
大多喜町																
長生村																
南房総	館山市															
	木更津市															
	市原市			1	1					1						3
	鴨川市															
	君津市															
	富津市															
	袖ヶ浦市				1											1
	南房総市															
鋸南町																
県外																
海外																
合計			1	3	32	1	1		5	7	2				52	

都県名	大学	高校	中学校	小学校	特別支援学校	義務教育	各種学校	保育園	幼稚園	子ども団体	身障者施設	老人介護施設	一般団体	合計
東京都				2										2

(2) 大利根分館

地域	市町村	大学	高校	中学校	小学校	特別支援学校	義務教育	各種学校	保育園	幼稚園	子ども団体	身障者施設	老人介護施設	一般団体	合計
葛南	千葉市				1										1
	市川市														
	船橋市														
	習志野市														
	八千代市				1										1
東葛飾	浦安市														
	松戸市														
	野田市														
	柏市														
	流山市														
	我孫子市														
北総	鎌ヶ谷市														
	銚子市				1										1
	成田市														
	佐倉市														
	旭市				2										2
	四街道市														
	八街市														
	印西市														
	白井市														
	富里市														
	匝瑳市														
	香取市				1	1									2
	栄町														
	酒々井町														
神崎町															
多古町															

東上総	東庄町																
	茂原市																
	東金市																
	勝浦市																
	山武市																
	いすみ市																
	横芝光町																
	芝山町																
	九十九里町																
	大網白里市																
	白子町																
	長柄町																
	長南町																
	睦沢町																
	一宮町																
御宿町																	
大多喜町																	
長生村																	
南房総	館山市																
	木更津市																
	市原市					1										1	
	鴨川市																
	君津市					1										1	
	富津市																
	袖ヶ浦市																
	南房総市																
鋸南町																	
県外					1												
海外																	
合計				1	9											10	

(3) 大多喜城分館

地域	市町村	大学	高校	中学校	小学校	特別支援学校	義務教育	各種学校	保育園	幼稚園	子ども団体	身障者施設	老人介護施設	一般団体	合計
葛南	千葉市														
	市川市														
	船橋市														
	習志野市														
	八千代市					1									1
浦安市															
東葛飾	松戸市													1	1
	野田市														
	柏市														
	流山市														
	我孫子市														
	鎌ヶ谷市														
北総	銚子市														
	成田市														
	佐倉市														
	旭市														
	四街道市					1									1
	八街市														
	印西市														
	白井市														
	富里市														
	匝瑳市														
	香取市					3									3
	栄町														
	酒々井町														
	神崎町														
多古町															
東庄町															
東上総	茂原市														
	東金市														
	勝浦市														
	山武市														

	いすみ市														
	横芝光町														
	芝山町														
	九十九里町														
	大網白里市														
	白子町				2										2
	長柄町														
	長南町														
	睦沢町														
	一宮町														
	御宿町														
	大多喜町														
	長生村														
南房総	館山市														
	木更津市														
	市原市														
	鴨川市														
	君津市													1	1
	富津市													1	1
	袖ヶ浦市														
	南房総市														
	鋸南町														
	県外				2										2
	海外														
	合計				9									3	12

都県名	大学	高校	中学校	小学校	特別支援学校	義務教育	各種学校	保育園	幼稚園	子ども団体	身障者施設	老人介護施設	一般団体	合計
東京都				2										2

(4) 分館海の博物館

地域	市町村	大学	高校	中学校	小学校	特別支援学校	義務教育	各種学校	保育園	幼稚園	子ども団体	身障者施設	老人介護施設	一般団体	合計
	千葉市			2	2										
葛南	市川市														
	船橋市														
	習志野市														
	八千代市														
	浦安市														
東葛飾	松戸市														
	野田市														
	柏市														
	流山市														
	我孫子市														
	鎌ヶ谷市														
北総	銚子市														
	成田市													1	
	佐倉市														
	旭市														
	四街道市														
	八街市														
	印西市				1										
	白井市														
	富里市														
	匝瑳市														
	香取市														
	栄町														
	酒々井町														
	神崎町														
	多古町														
	東庄町														
東上総	茂原市														
	東金市														
	勝浦市														
	山武市				1										

	いすみ市														1	
	横芝光町															
	芝山町															
	九十九里町															
	大網白里市															
	白子町															
	長柄町															
	長南町															
	睦沢町															
	一宮町															
	御宿町					1										
	大多喜町															
	長生村															
南房総	館山市					1										
	木更津市				1											
	市原市															
	鴨川市															
	君津市											2				
	富津市															
	袖ヶ浦市															
	南房総市															
	鋸南町															
	県外		1			1										
	海外															
	合計		1	4		6						2				2

IX 組織・運営

1 千葉県博物館協議会

(1) 協議会委員 (任期：令和2年4月1日～令和4年3月31日)

分野	氏名	役職等
学校教育	前林 典子	佐倉市立佐倉東小学校校長
学校教育	由利 知子	千葉市立幸町第一中学校校長
社会教育	篠崎 道成	市川市幸公民館館長
家庭教育	細井 和美	千葉県子ども会育成連合会専門委員
学識経験者	柴田 良貴	筑波大学名誉教授
学識経験者	関沢 まゆみ	国立歴史民俗博物館教授
学識経験者	高橋 正	東邦大学教授
学識経験者	西田 治文	中央大学教授
学識経験者	湯浅 治久	専修大学文学部教授
学識経験者	米本 信	一般財団法人 NHK サービスセンター 元理事長

※分野ごとに五十音順

(2) 議題

月日	議 題	場 所	参加者数
8月26日(木)	県立博物館・美術館における学校教育及び研究機関・団体との連携	中央博物館・会議室 (オンライン開催)	24人
12月23日(木)	県立博物館・美術館における地域連携	中央博物館・会議室 (オンライン開催)	24人
2月24日(木)	新型コロナウイルス感染症と県立博物館・美術館の運営について	中央博物館・会議室 (オンライン開催)	24人

2 職員

() 内は研究分野／〔兼〕は教育庁教育振興部文化財課学芸振興室兼務、〔併〕は環境生活部自然保護課生物多様性センター併任

館 長	古泉 弘志	自然誌・歴史研究部
副 館 長	金井 一喜	部 長 萩野 康則 (土壌動物学)
副 館 長	植野 英夫	地学研究科
		科 長 加藤 久佳 (古生物学)
庶務部		主任上席研究員 伊左治 鎮司〔併〕 (古生物学)
部 長	小川 豊	主任上席研究員 岡崎 浩子 (堆積学)
庶務課		研 究 員 丸山 啓志 (古生物学)
庶 務 課 長	山本 恵美子	動物学研究科
副 主 幹	鎌田 操	科 長 駒井 智幸 (動物分類学-甲殻類)
副 主 幹	渡辺 真	上 席 研 究 員 黒住 耐二 (貝類学)
主 査	本橋 晶子	研 究 員 宮川 尚子 (哺乳類学(鯨類))
副 主 査	長谷 久夫	植物学研究科
主 事	松森 貴史	科 長 平田 和弘 (森林生態学)
会計年度任用職員(事務補助)	宮田 良介	上 席 研 究 員 天野 誠 (植物分類学(細胞分類学))
教育普及課		研 究 員 坂田 歩美 (地衣類分類学)
課 長	乃一 哲久(魚類額・水産学)	歴史学研究科
主任上席研究員	古木 達郎 (植物分類学)	科 長 小林 裕美 (民俗学)
主任上席研究員	白井 豊 (歴史地理学)	主任上席研究員 米谷 博 (日本近代史)
上 席 研 究 員	大野 将史 (教育)	上 席 研 究 員 田邊 由美子 (動物考古学)
上 席 研 究 員	高橋 直樹 (地質学・岩石学)	大利根分館
上 席 研 究 員	原田 浩 (地衣類分類学)	主 席 研 究 員 秋山 笑子 (日本民俗学)
研 究 員	山本 伸子 (植物分類学(種子植物))	上 席 研 究 員 木本 利行 (教育)
研 究 員	樽 宗一郎 (昆虫分類学)	研 究 員 伴 光哲 (昆虫分類学)
会計年度任用職員(体験交流員)	藤田 雅代	主 査 篠原 憲一
会計年度任用職員(体験交流員)	塩地 明子	大多喜城分館
会計年度任用職員(体験交流員)	柳原 亜矢子	主任上席研究員 渡辺 善司 (日本近世史・近代史)
企画調整課		主任上席研究員 大谷 弘幸 (日本考古学)
課 長	島立 理子 (民俗学・日本近代史)	主任上席研究員 藤原 友里 (博学連携)
主 査	神田 美智子〔兼〕	主 査 佐久間 敦子
上 席 研 究 員	相原 康平 (教育)	資料管理研究科
上 席 研 究 員	吹春 俊光 (菌学)	科 長 御巫 由紀 (植物分類学)
研 究 員	水野 大樹 (植物生態学(シダ植物))	主任上席研究員 友田 暁子 (図書資料論)
研 究 員	石井 友菜 (日本考古学(古墳時代))	主任上席研究員 奥田 昌明 (第四紀地質学)
		主任上席研究員 村田 明久 (海洋生態学)
		主任上席研究員 宮 正樹 (分子生態学・系統学)

主任上席研究員	内田 龍哉 (日本近世史)	研究員	平田 和彦 (海洋生態学・鳥類学)
副主幹	森田 利仁 (古生物学)	分館海の博物館	
生態・環境研究部		分館長	齋木 健一 (植物学・理科教育)
部長	小田島 高之 (地理学)	主任上席研究員	川瀬 裕司 (魚類生態学)
生態学・環境研究科		主任上席研究員	奥野 淳兒 (動物分類学-甲殻類)
科長	尾崎 煙雄 (森林生態学)	主任上席研究員	菊地 則雄 (藻類学)
主任上席研究員	大木 淳一 [併] (地質学)	主任上席研究員	柳 研介 (動物分類学)
主任上席研究員	由良 浩 (植物生理生態学)	主任上席研究員	吉田 真照 (博学連携)
主任上席研究員	斉藤 明子 (昆虫分類学)	主任上席研究員	立川 浩之 (海洋生物学)
主任上席研究員	桑原 和之 (鳥類学)	主任上席研究員	本吉 正宏 (文化財保存)
上席研究員	八木 令子 (地形学)	副主幹	宇津木 規之
研究員	栗田 隆気 (爬虫・両生類学)	主事	角田 竜太郎
研究員	千葉 友樹 (古生態学・堆積学)	会計年度任用職員(体験交流員)	村井 ゆかり
研究員	西内 李佳 (植生史学)	会計年度任用職員(体験交流員)	金子 美織
環境教育研究科		会計年度任用職員(事務補助)	渡邊 竜次
科長	林 紀男 (微生物生態学)		
上席研究員	林 浩二 (植物生態学・環境教育)		

3 分掌

(1) 庶務部

- | | |
|-------|--|
| 庶務課 | ・庶務、会計、施設管理に関すること |
| 教育普及課 | ・教育普及、本館来館者対応に関すること
・「体験学習室」の維持管理に関すること |
| 企画調整課 | ・館事業の企画運営、評価事業、博物館協議会の運営、他館との調整等に関すること
・報道、広報に関すること |

(2) 自然誌・歴史研究部

- | | |
|---------|---|
| 地学研究科 | ・地学分野の調査研究、資料、教育普及、展示に関すること
・「房総の地学」展示室の維持管理に関すること |
| 動物学研究科 | ・動物分野の調査研究、資料、教育普及、展示に関すること
・「生物の分類」「海洋」展示室の維持管理に関すること |
| 植物学研究科 | ・植物分野の調査研究、資料、教育普及、展示に関すること
・「房総の生物」展示室の維持管理に関すること |
| 歴史学研究科 | ・歴史分野の調査研究、資料、教育普及、展示に関すること
・「房総の歴史」展示室の維持管理に関すること |
| 大利根分館 | ・大利根分館の維持管理、博物館事業に関すること |
| 大多喜城分館 | ・大多喜城分館の維持管理、博物館事業に関すること |
| 資料管理研究科 | ・博物館資料に関する研究、収蔵資料の統括、収蔵庫の維持管理、図書資料の管理に関すること |

(3) 生態・環境研究部

- | | |
|-----------|---|
| 生態学・環境研究科 | ・生態環境分野の調査研究、資料、教育普及、展示に関すること
・生態園の運営、維持管理に関すること
・房総の山のフィールド・ミュージアムに関すること |
| 環境教育研究科 | ・環境教育分野の調査研究、資料、教育普及、展示に関すること
・「自然と人間のかかわり」展示室の維持管理に関すること |

(4) 分館海の博物館

- ・分館海の博物館の庶務、会計、施設管理に関すること
- ・分館海の博物館の博物館事業に関すること

4 運営推進チーム・委員会・専門グループ・プロジェクトチーム

複数の組織にまたがる業務は、各課科職員により構成された以下のチーム、委員会及びグループにより、企画運営を行った。

- ・運営推進チーム 展示チーム／調査研究チーム
- ・委員会 資料管理委員会／資料審査委員会／安全管理委員会
- ・専門グループ 地学／動物／植物／人文
- ・プロジェクトチーム 特別展・企画展、季節展チーム／
リニューアル検討チーム／
・本館各課科及び分館の学芸員及び事務職員で構成された横断的組織で、令和3年度は6回会議を開催し、若手の会が作成した原案を基に「千葉県立中央博物館リニューアル改革プラン素案」を作成した。
若手の会／
・本館各課科及び分館の若手の学芸員及び事務職員で構成された組織で、令和3年度は20回会議を開催し、「千葉県立中央博物館リニューアル改革プラン素案」の検討を行い、原案を作成した。

5 利用方法

■開館時間・休館日

(1) 本館

- ア 開館時間 午前9時～午後4時30分（入館は午後4時まで）
 イ 休館日 毎週月曜日（月曜日が休日の場合は開館し、翌火曜日が休館）
 年末年始（令和2年12月28日～令和3年1月4日）

※令和3年度実施

- 開館時間 午前10時～午後4時30分（入館は午後4時まで）
 （新型コロナウイルス感染拡大防止のため）
 臨時開館日 令和3年8月10日（火）、8月16日（月）
 （本館のみ開館、生態園は休園）
 臨時休館日 令和3年4月27日（火）、5月11日（火）、9月14日（火）～9月17日（金）、10月7日（木）～10月8日（金）
 （メンテナンス作業のため、本館・生態園とも）

(2) 大利根分館

- ア 開館時間 午前9時～午後4時30分（入館は午後4時まで）
 イ 休館日 毎週月曜日（月曜日が休日の場合は開館し、翌火曜日が休館）
 年末年始（令和3年12月29日～令和4年1月4日）
 （10月1日～予約の場合のみ見学可）

※令和3年度実施

- 臨時開館日 令和3年5月31日（月）、6月7日（月）・14日（月）・21日（月）、11月3日（水）
 休館 10月1日～3月31日（予約の場合のみ見学可）

(3) 大多喜城分館

- ア 臨時開館日 午前9時～午後4時30分（入館は午後4時まで）
 イ 休館日 毎週月曜日（月曜日が休日の場合は開館し、翌火曜日が休館）
 （令和3年12月27日～休館）

※令和3年度実施

- 臨時開館日 令和3年6月15日（火）、8月10日（火）
 臨時休館日 令和3年7月6日（火）・7日（水）、10月19日（火）～21日（木）、12月7日（火）・8日（水）
 休館 令和3年12月27日（月）～3月31日
 （施設改修のため）

(4) 分館海の博物館

- ア 開館時間 午前9時～午後4時30分（入館は午後4時まで）
 イ 休館日 毎週月曜日（月曜日が休日の場合は開館し、翌火曜日が休館）
 年末年始（令和2年12月28日～令和3年1月3日）

※令和3年度実施

- 臨時休館日 令和3年6月29日（火）、9月7日（火）、10月1日（金）、12月14日（火）～15日（水）、令和4年1月16日（日）

■入場料

	本館				大利根分館・大多喜城分館・分館海の博物館			
	通常期間		特別展期間		通常期間		企画展期間*	
	個人	団体	個人	団体	個人	団体	個人	団体
一般	300円	240円	800円	640円	200円	160円	300円	240円
高校生・大学生	150円	120円	400円	320円	100円	80円	150円	120円

※団体は20名以上

※65歳以上の者、中学生以下の者、障害者（身体障害者、知的障害者、精神障害者及び、これらの者を介護する者）は無料

※6月15日（県民の日）、11月3日（文化の日）は入場無料

※生態園は入場無料

*分館海の博物館の企画展期間中の入場料は通常期間に同じ

■年間パスポート

	本館		大利根分館・大多喜城分館・分館海の博物館	
	料金	特別展追加料金	料金	企画展追加料金※
一般	1,500円	500円	1,000円	100円
高校生・大学生	750円	250円	500円	50円

※分館海の博物館の企画展期間中の入場料は通常期間に同じ

■所在地

千葉県立中央博物館（本館・生態園、房総の山のフィールド・ミュージアム連絡先）

〒260-8682 千葉市中央区青葉町955-2

電話 043-265-3111 FAX 043-266-2481

千葉県立中央博物館大利根分館

〒287-0816 香取市佐原ハ4500

電話 0478-56-0101 FAX 0478-56-1456

千葉県立中央博物館大多喜城分館

〒298-0216 夷隅郡大多喜町大多喜481

電話 0470-82-3007 FAX 0470-82-4959

千葉県立中央博物館分館海の博物館

〒299-5242 勝浦市吉尾123

電話 0470-76-1133 FAX 0470-76-1821

千葉県立中央博物館年報34 (令和3年度版)

編集・発行 千葉県立中央博物館©
〒260-8682 千葉市中央区青葉町955-2
電 話 043-265-3111 FAX 043-266-2481
<http://www.chiba-muse.or.jp/NATURAL/>

発 行 日 令和 4年 8月25日